NEC

MultiWriter

マルチライタ 2300 2100 210S

レーザープリンター



ユーザーズマニュアル

808-895324-001-A
第4版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

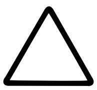
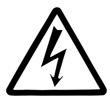
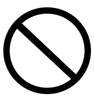
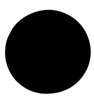
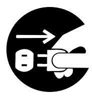
安全にかかわる表示について

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。
このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

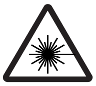
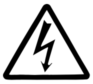
⚠ 警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
⚠ 注意	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。**（注意の喚起）**	 （感電注意）
	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。**（行為の禁止）**	 （接触禁止）
	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。**（行為の強制）**	 （プラグを抜け）

ユーザーズマニュアルおよび
警告ラベルで使用する記号とその内容

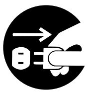
注意の喚起

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります

行為の強制

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。

商標について

MultiWriter、PrintAgent、MOPYING、NMPSは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Netscapeは米国 Netscape Communications Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HP 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Adobe、AcrobatおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

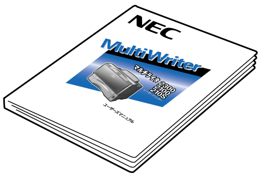
MultiWriter 2300/2100/210Sは高性能なCPUを搭載し、省スペース、高速ウォームアップを実現した、NECが提唱する「MOPYING」コンセプトに適したプリンターです。用途に合わせた豊富な給紙を実現しています。

それぞれの特長として、MultiWriter 2300は両面印刷機能標準装備で20ページ/分の印刷速度をもち、リアル1200dpi（47.2ドット/mm）の高画質印刷を可能にしたプリンターです。MultiWriter 2100は両面印刷機能標準装備で12ページ/分の印刷速度をもち、1500dpi（59.1ドット/mm）相当の高画質印刷を可能にしたプリンターです。MultiWriter 210Sは600dpi（23.6ドット/mm）の解像度で12ページ/分の印刷速度をもちながら、コストパフォーマンスの高いプリンターです。

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただけるPrintAgentを搭載しています。この機能により、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適にMOPYINGすることができます。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 2300/2100/210S本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル（本書）」と「オンラインマニュアル（2冊）」があります。それぞれのマニュアルに記載されている内容は次のとおりです。



MultiWriter 2300/2100/210S　ユーザーズマニュアル（本書）

プリンターを箱から取り出して印刷するまでの手順やプリンターソフトウエアのインストール、より進んだ使い方、日常の保守、および正しく動作しない場合の対処方法をこの1冊で説明しています。



オンラインマニュアル　プリンターの設定と技術仕様

MultiWriter 2300/2100/210Sでメニューモードや制御コードを使ってできる設定内容や、技術情報などを詳細に説明しています。
詳細については「オンラインマニュアルの読み方と構成」（viページ）をご覧ください。



オンラインマニュアル　プリンターソフトウエアの詳細

プリンタードライバーやPrintAgent、MultiWriter 2300/2100/210Sで使われるプリンターソフトウエアについて詳細に説明しています。
詳細については「オンラインマニュアルの読み方と構成」（viページ）をご覧ください。

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMより行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに入っているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスク作成の手順については「FD作成」(58ページ)をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」等でフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の必要事項をお調べいただき、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。無償にて、ご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

① プリンターの名称	MultiWriter 2300、MultiWriter 2100、またはMultiWriter 210S
② プリンターの製造番号	保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
③ フロッピーディスクタイプ	3.5インチ型の1.44MBタイプ*[1]、または3.5インチ型の1.2MBタイプ*[2]
④ ご住所	
⑤ ご氏名	
⑥ ご連絡先	昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。

*[1] PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機(DOS/V対応機)に対応
*[2] PC-9800シリーズに対応

本書の読み方と構成

MultiWriter 2300/2100/210Sを初めてお使いになる方は、まず「安全にお使いいただくために」から2章までお読みになりセットアップを行ってください。3章以降では本プリンターの基本的な操作から、さらに進んだ使い方までを記載しています。また、日常的な保守のしかた、故障かなと思ったときの対処方法、その他技術情報なども記載しています。本書はいつでもご覧になれるように、プリンターの近くに置いてください。

各章の記載内容は次のとおりです。

安全にお使いいただくために

プリンターを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

プリンティングスタイル「MOPYING」とは

NECが提唱するMOPYINGの概念、MultiWriter 2300/2100/210Sを使ったMOPYINGについて説明しています。

1章　プリンターの設置

プリンターを箱から取り出して、コンピューターやネットワークにつなぐまでの手順を説明しています。

2章　プリンターソフトウエアのインストール
プリンターソフトウエアのインストール手順について説明しています。

3章　用紙のセット
MultiWriter 2300/2100/210Sでお使いになれる用紙の種類、用紙のセット方法について説明しています。

4章　操作パネルについて
プリンターの操作パネル(ディスプレイ/ランプ/スイッチ)の機能について説明しています。

5章　より進んだ使い方
プリンタードライバーの概要、またMultiWriter 2300/2100/210Sのもつ便利な機能の紹介、設定方法について説明しています。

6章　日常の保守
プリンターの日常的な保守(EPカートリッジの交換、清掃など)の方法について説明しています。

7章　故障かな？と思ったら
プリンターが思うように動作しなかった場合や紙づまりの原因、および対処方法について説明しています。

8章　オプション
プリンターの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品、および使用できるプリンターケーブルについて説明しています。

付録　技術情報
MultiWriter 2300/2100/210Sの仕様、用紙の規格について説明しています。

本文中で使用の記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピュータシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない可能性があることを示しています。

オンラインマニュアルの読み方と構成

オンラインマニュアルは2冊あります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[MANUAL]フォルダーに収録されており、パソコンの画面(「Adobe Acrobat Reader」)を使って閲覧できます。
オンラインマニュアルの構成は次のとおりです。

プリンターの設定と技術仕様

メニューモードや制御コードを使ってできるプリンターの設定内容、技術情報などを記載しています。

1　メニューモード(MultiWriter 2300/2100)

MultiWriter 2300/2100の操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。

2　メニューモード(MultiWriter 210S)

MultiWriter 210Sの操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。

3　制御コード

制御コードの一覧および、機能拡張制御コード機能について説明しています。

4　技術情報

下記の技術情報について説明しています。

- 使用できるコンピューターとプリンターケーブル
- 印刷範囲
- NPDLの初期状態
- インターフェース
- 文字の種類
- テスト印刷のプリント結果
- 文字コード表
- ディスプレイ表示一覧

プリンターソフトウエアの詳細

プリンタードライバーの詳細、PrintAgent管理ユーティリティーなどプリンターソフトウエアの詳細を記載しています。

1　プリンタードライバー

一般的な印刷の手順、印刷のプロパティダイアログボックスの詳細を説明しています。

2　PrintAgent

PrintAgentを構成するソフトウエアの概要と、それらのソフトウエアを使って実現する便利なプリンター管理機能を説明しています。

3　PrintAgentでMultiWriterを管理する

PrintAgentの機能でネットワークで管理する使い方を説明しています。

目次

安全にお使いいただくために

プリンティングスタイル「MOPYING」とは

1章 プリンターの設置

2章 プリンターソフトウエアのインストール

3章 用紙のセット

4章 操作パネルについて

5章 より進んだ使い方

6章 日常の保守

7章 故障かな？と思ったら

8章 オプション

付録 技術情報

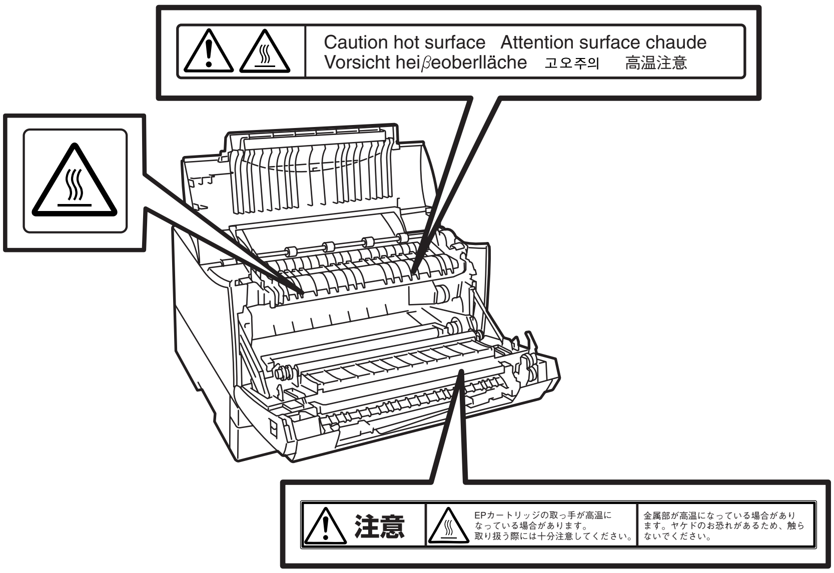
（空白ページ）

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 2300/2100/210Sプリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店にご連絡ください。

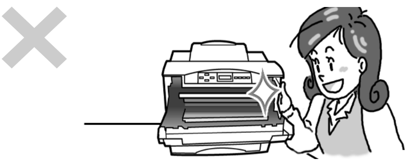


安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

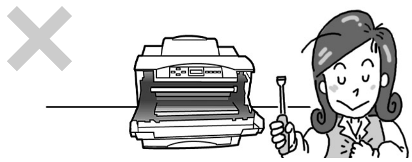
⚠ 警告

プリンターの内部をのぞかない



このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない



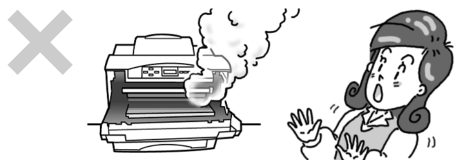
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら使わない



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない



操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

電源コードに薬品類をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意



プリンターの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

雷が発生しそうなときは装置に触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

プリンター内に水や異物を入れない



プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店に連絡してください。

損傷した電源コードは使わない



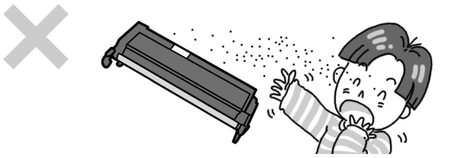
損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

巻き込み注意



プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

EPカートリッジはお子様に近づけない



EPカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。トナーカートリッジに入っているトナーが、目や口などに入ると健康を損なうおそれがあります。

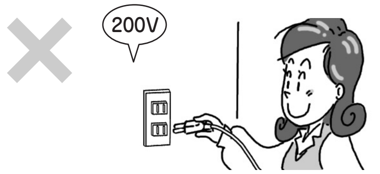
ほこり・湿気の多い場所を避ける



プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。

また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

指定外のコンセントに差し込まない



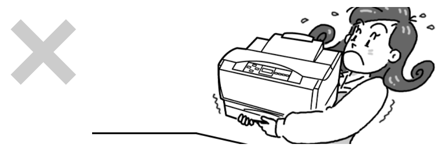
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

日の当たるところには置かない



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを一人で持ち上げない

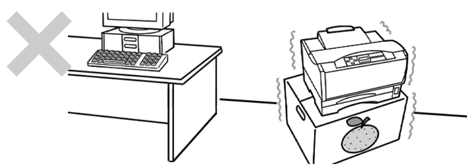


プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです（EPカートリッジ含まず）。

- MultiWriter 2300/2100：約16.7kg
- MultiWriter 210S：約14.7kg

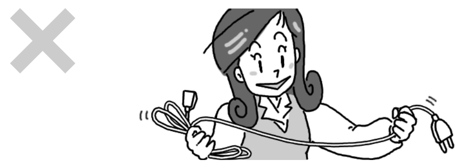
装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて二人以上で運んでください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

不安定な場所に置かない



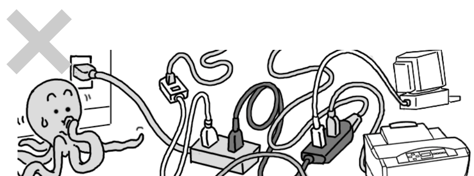
プリンターを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

指定以外の電源コードは使わない



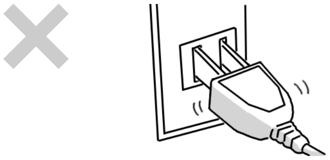
プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源をたこ足配線にしない



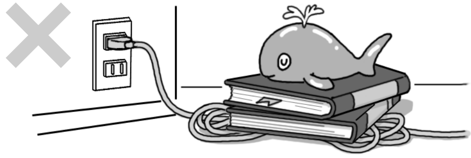
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になるおそれがあります。

電源コードは曲げたり、ねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンティングスタイル「MOPYING」とは

〜MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！〜

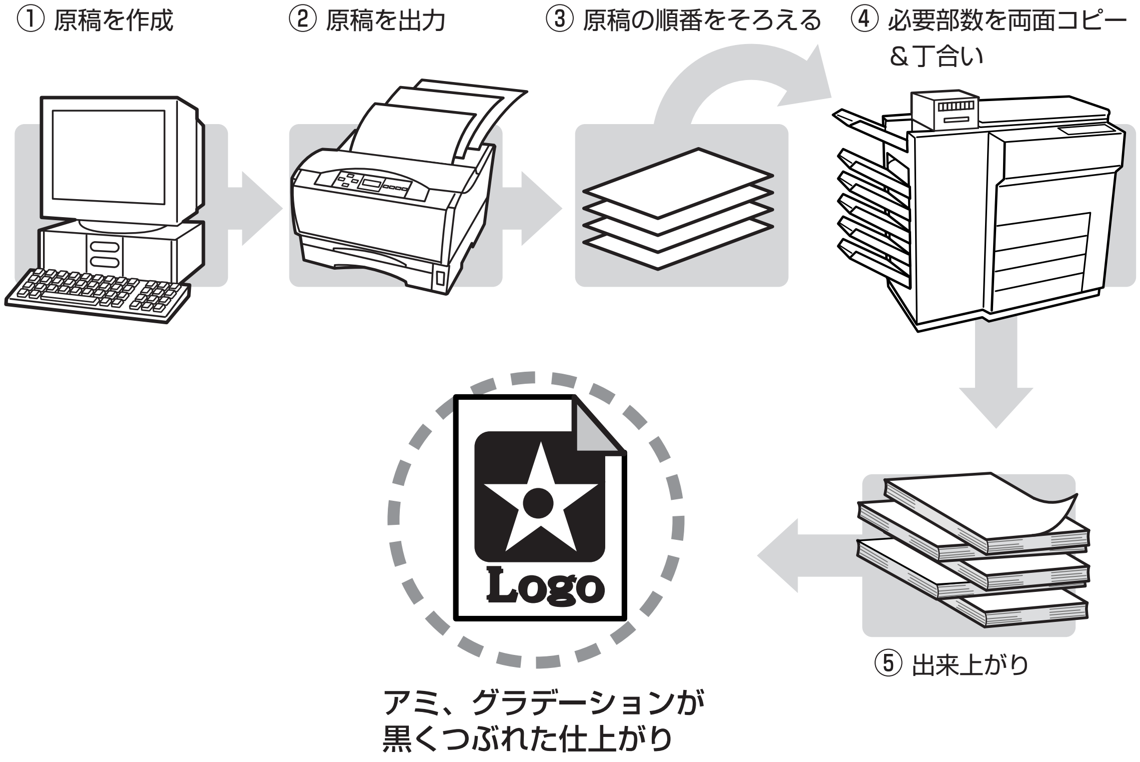
NEC MultiWriter 2300/2100/210Sに搭載されているPrintAgentの機能を使うと従来は机上で行っていた作業やコピー機を使っていた仕事がすべてパソコン上で処理できるようになります。

同機能を持ったコピー機と比較した場合、導入コストやランニングコストを低く押さえることができます。

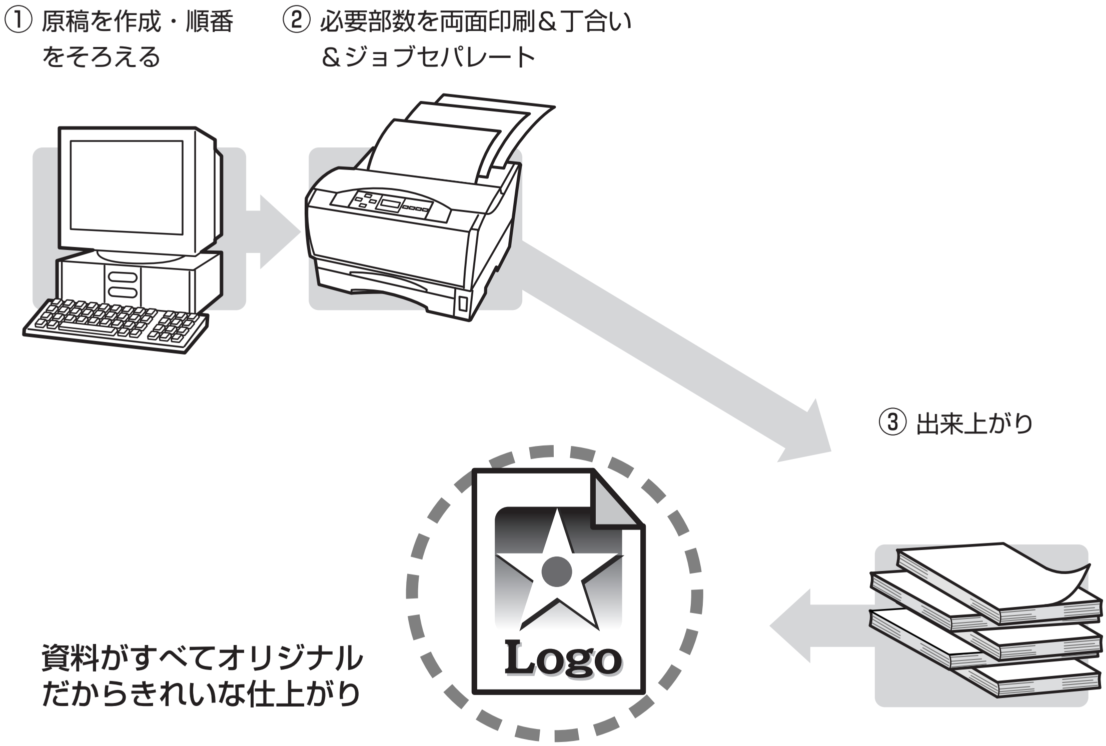
コピーを使わず必要部数をそのまま印刷（MOPYING）

会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷することをお勧めします。MultiWriter 2300/2100/210Sはジョブセパレート機能による簡単仕分け印刷、またMultiWriter 2300/2100では両面印刷機能を標準でサポートしています。

コピー機を使った複写出力



MOPYINGによるオリジナル出力



原稿に合わせて、いちいちコピー機のように濃度調整をする必要がなく写真やグラフの網かけ、グラデーションが黒くなりません。MultiWriter 2300の場合、1200dpi(47.2ドット/mm)で、MultiWriter 2100/210Sの場合、600dpi(23.6ドット/mm)の解像度で必要な分だけオリジナルの資料が作成できます。

コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、約12,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L2300-12)は1枚あたり約4円*[2]、約6,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L2300-11)は1枚あたり約5円*[2]と低コスト。MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが約1/2から1/3の経費削減になります。

*[1] A4画像面積比5%の場合
*[2] 平成12年7月現在

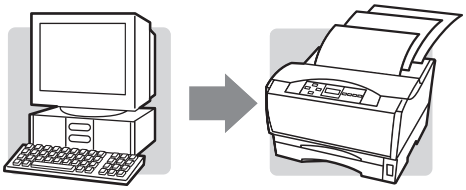
一度印刷した文書なら、すぐリプリント(再印刷)

「リプリント機能」を使うと一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えばいちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷。

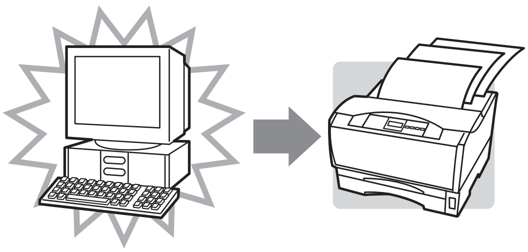
しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

① 一度印刷したデータなら．．．



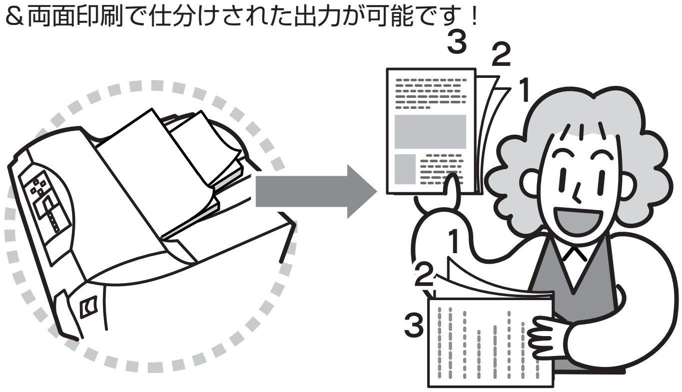
② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ再印刷



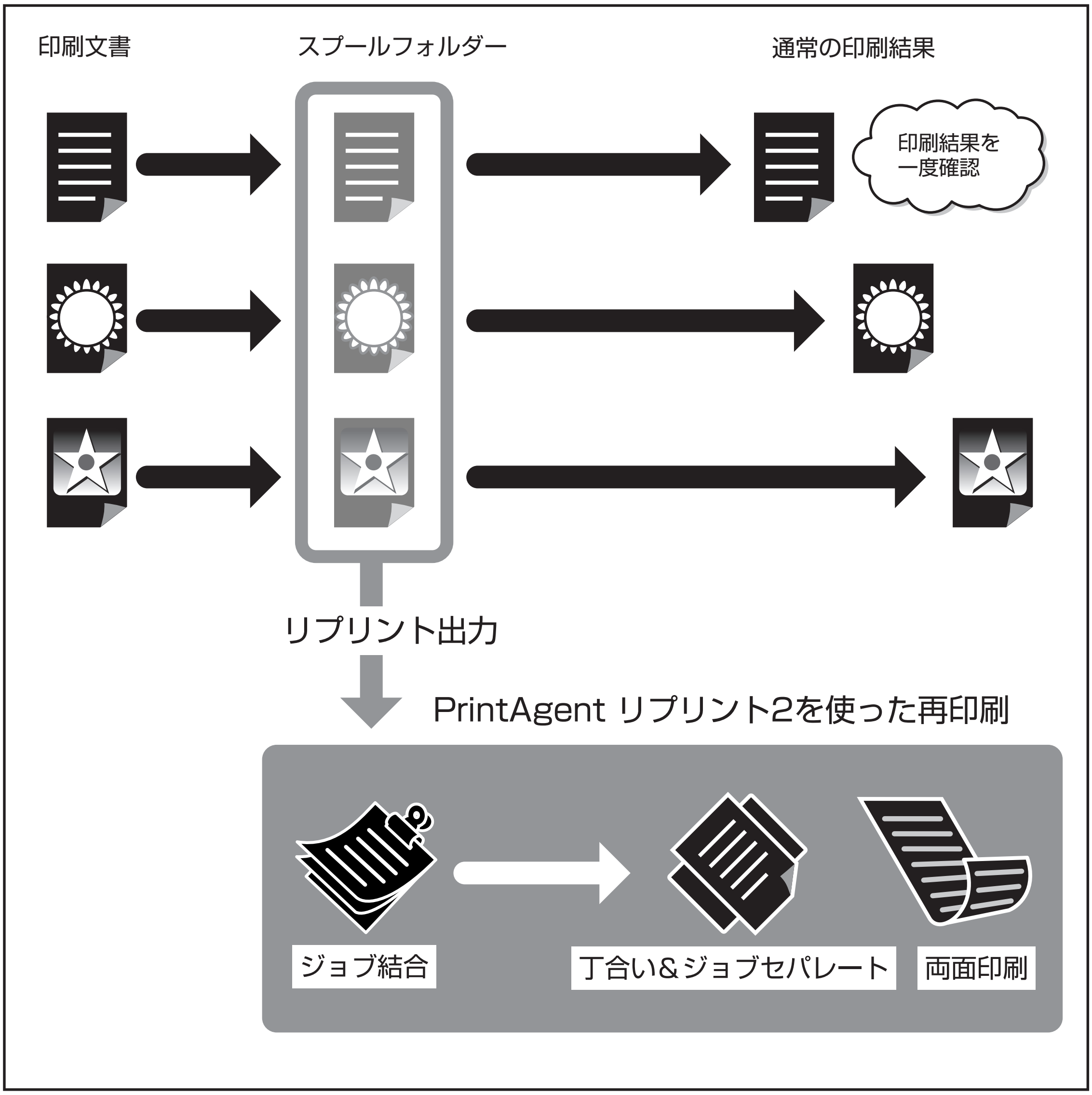
しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能(ジョブ結合)



さらに、再印刷する文書でも丁合い＆ジョブセパレート＆両面印刷で仕分けされた出力が可能です！



リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。 PrintAgent リプリント2を使ったMOPYINGのフローは以下のとおりです。



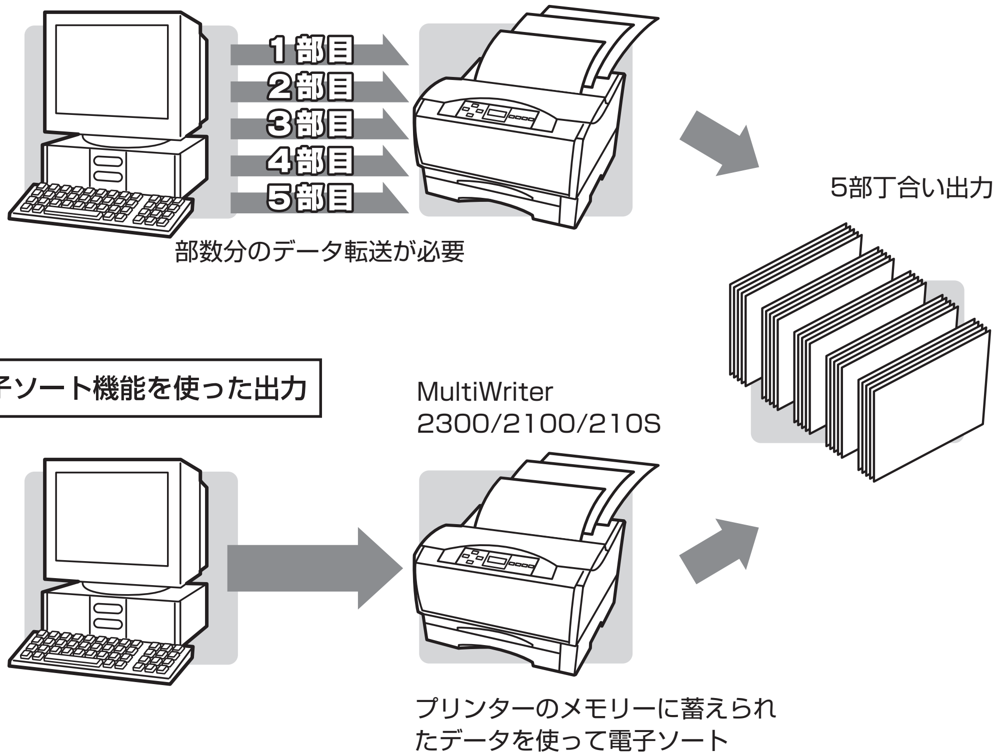
高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 2300は毎分20ページの高速印刷を実現（2100/210Sは毎分12ページ）。電子ソート機能*[1]を使えばパソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です*[2]。プリンターのメモリーに印刷データを蓄え、必要部数を印刷するのでトータル印刷処理時間が短縮されます。

*[1]　電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設（オプション）が必要です。

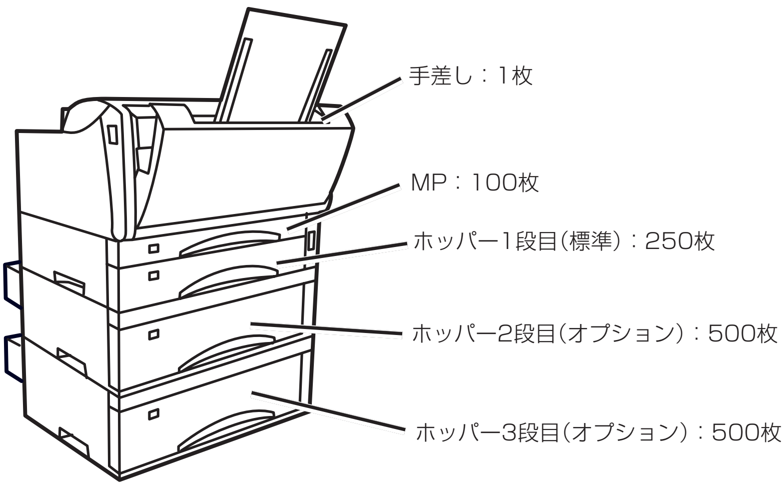
*[2]　増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力



MultiWriter 2300/2100/210S*[3]は増設ホッパーを最高2段まで増設が可能です。標準ホッパー、MPも合わせた用紙容量は最大1,350枚。

*[3]　MultiWriter 210Sには手差し給紙機能はありません。

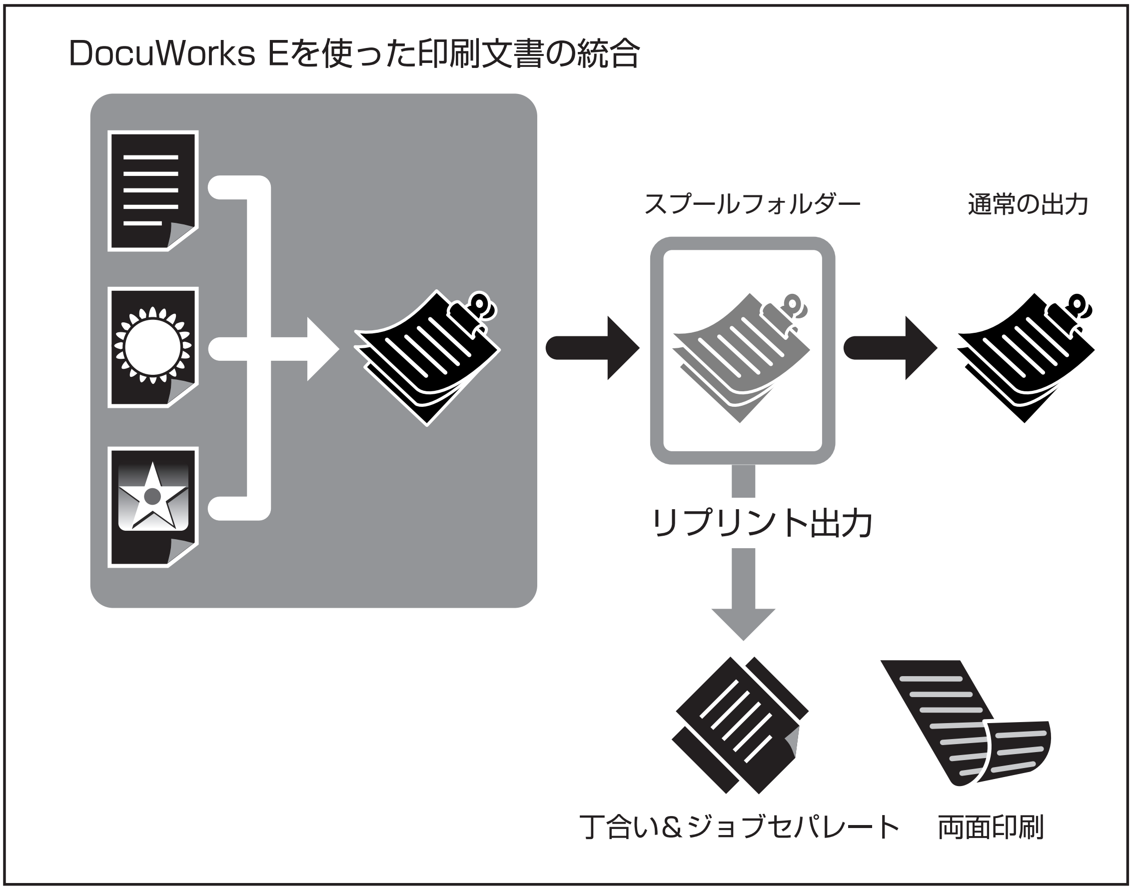


DocuWorks Eでさらに快適なMOPYING環境を

MultiWriterに標準添付されているドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「富士ゼロックス DocuWorks Ver.3.0E（NECバンドル版）」を使うと、さらに便利なMOPYING環境がご利用になれます。

DocuWorks Eはそれぞれの文書のアプリケーションをいちいち立ち上げることなく、あたかも「ダブルクリップで原稿を束ねる」ように希望文書をページ単位で編集し、ひとまとめ（異種文書の統合）にすることができます。

さらに文書統合したデータに対してはページ順の入れ替え、見出し・ページ番号付け、出力用紙サイズに合わせた拡大・縮小なども自由自在です。DocuWorks Eを使ったMOPYINGのフローは以下のとおりです。

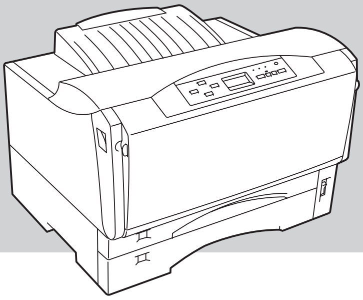


DocuWorks Ver. 3.0E（NECバンドル版）は、富士ゼロックス（株）が販売しているDocuWorks（製品版）の機能限定版であり、NEC製品において印刷動作を確認したものです。DocuWorksに関するお問い合わせは、以下のとおりです。

Xerox Direct Information Service Center　☎ 0120-81-2209
URLアドレス　http://www.fujixerox.co.jp/soft/docuworks

（空白ページ）

1章
プリンターの設置

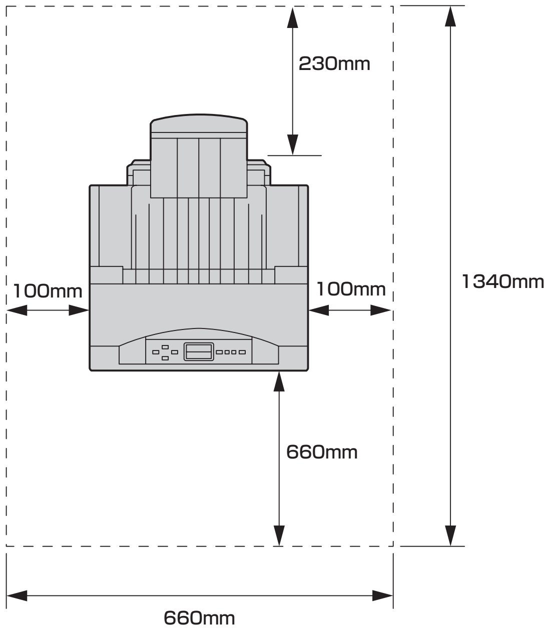


この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを次のような手順で説明します。

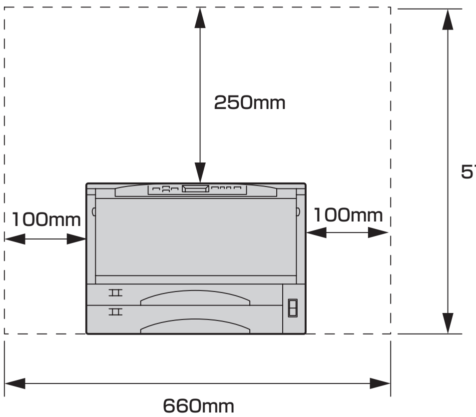
1 設置に必要なスペースを用意する
↓
2 箱の中身を確認する
↓
3 固定用部材を取り外す
↓
4 各部の名称を確認する
↓
5 EPカートリッジを取り付ける
↓
6 用紙をセットする
↓
7 電源コードを接続する
↓
8 テスト印刷をする
↓
9 コンピューターに接続する
↓
10 ネットワークに接続する

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 2300/2100/210Sを安全、快適にご使用いただくためには次のスペースを確保してください。設置にあたって注意すべき事柄を次ページに示します。



プリンター上面



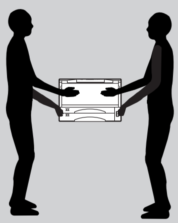
プリンター正面

⚠注意

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです（EPカートリッジ含まず）。

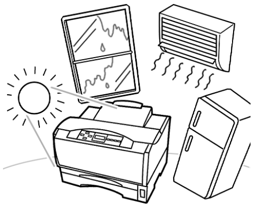
- MultiWriter 2300：約16.7kg
- MultiWriter 2100：約16.7kg
- MultiWriter 210S：約14.7kg

装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて2人以上で運んでください。装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

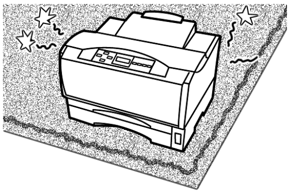


設置してはいけない場所

次のような場所には設置しないでください。



直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



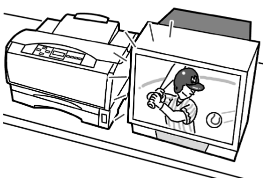
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



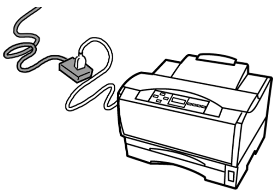
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。



ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

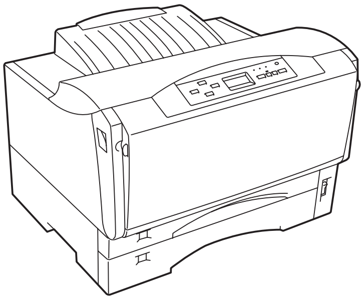


添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

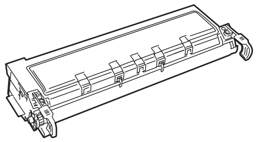
2 箱の中身を確認する

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。
梱包材料(箱や緩衝材など)はプリンターを運搬するときに必要となります。大切に保存しておいてください。

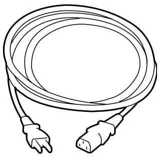
□ MultiWriter 本体



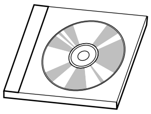
□ EPカートリッジ



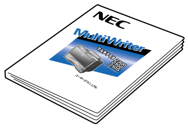
□ 電源コード



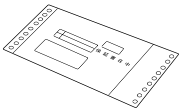
□ プリンターソフトウエア CD-ROM



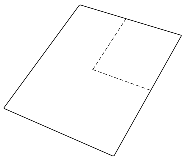
□ ユーザーズマニュアル（本書）



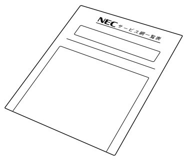
□ 保証書



□ お客様登録申込書



□ NECサービス網一覧表



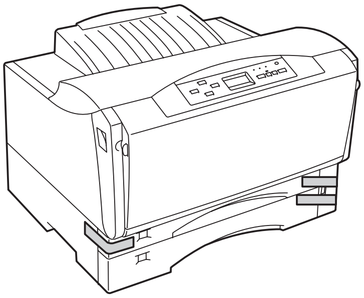
● プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください

1. お客様登録申込書に所定事項を記入して投函してください。(FAXでも受け付けております。詳しくはお客様登録申込書をお読みください。)
2. 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

3 固定用部材を取り外す

プリンターは輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープで固定してあります。次の手順に従ってテープを取り除きます。

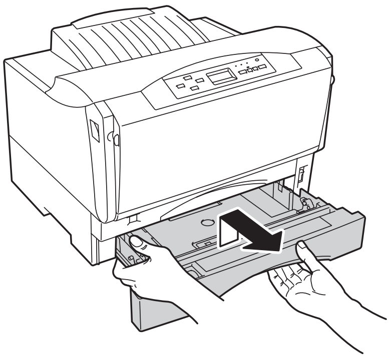
❶ プリンターの外側に貼り付けてあるテープ(3か所)をはがす。



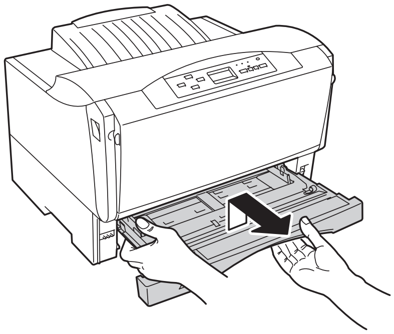
❷ 標準カセット、MPカセットをゆっくりと取り外す。

✔チェック

カセットを取り外す際は、カセットを軽く持ち上げて取り外してください。

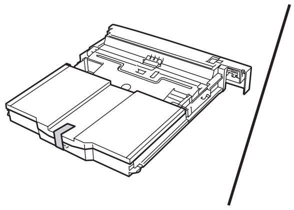


標準カセット



MPカセット

❸ 標準カセット、MPカセットにそれぞれ貼り付けてあるテープ(1か所)をはがす。



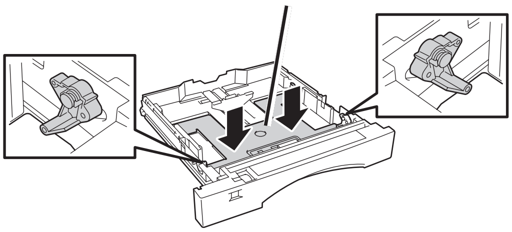
標準カセット　　MPカセット

❹ MPカセット、標準カセットをそれぞれ取り付ける。

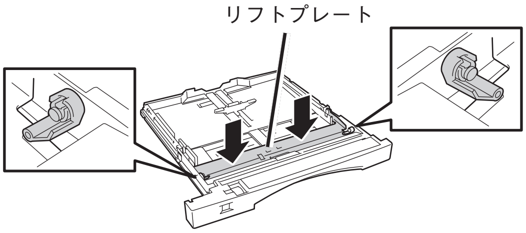
チェック

標準カセット、MPカセットを取り付ける前に、それぞれのカセット内のリフトプレートが確実に下がっていることを確認してください。

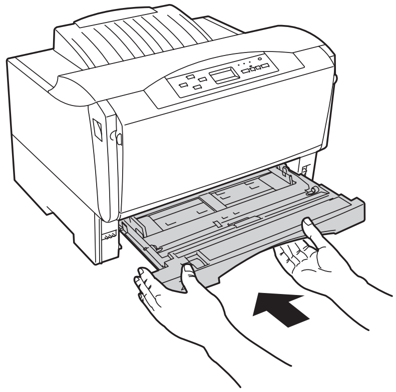
リフトプレートが完全に下がっていないと標準カセット、MPカセットをホッパー、MPにそれぞれ取り付けることはできません。



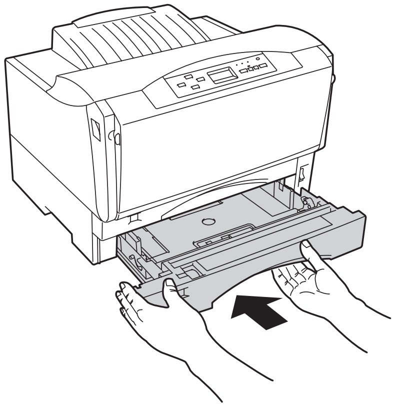
標準カセット



MPカセット



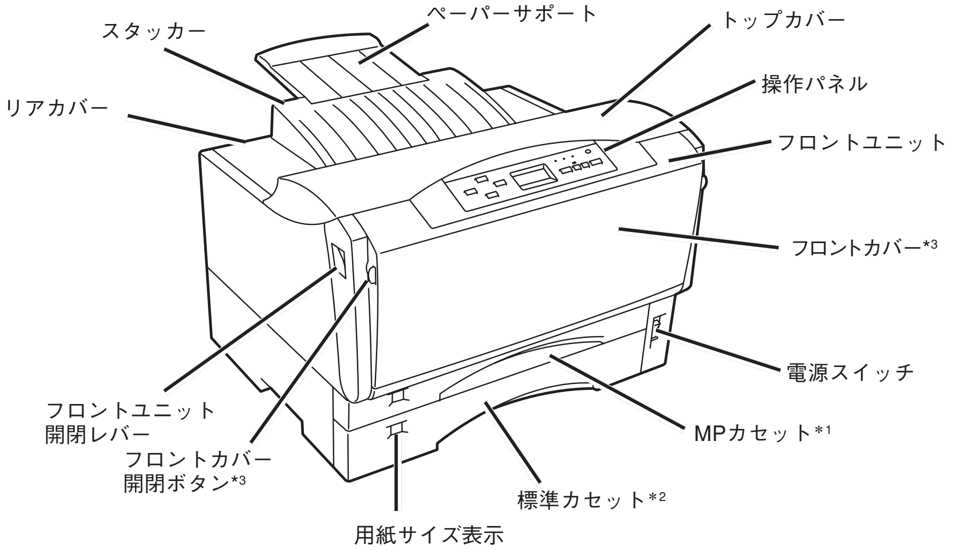
MPカセット



標準カセット

4 各部の名称を確認する

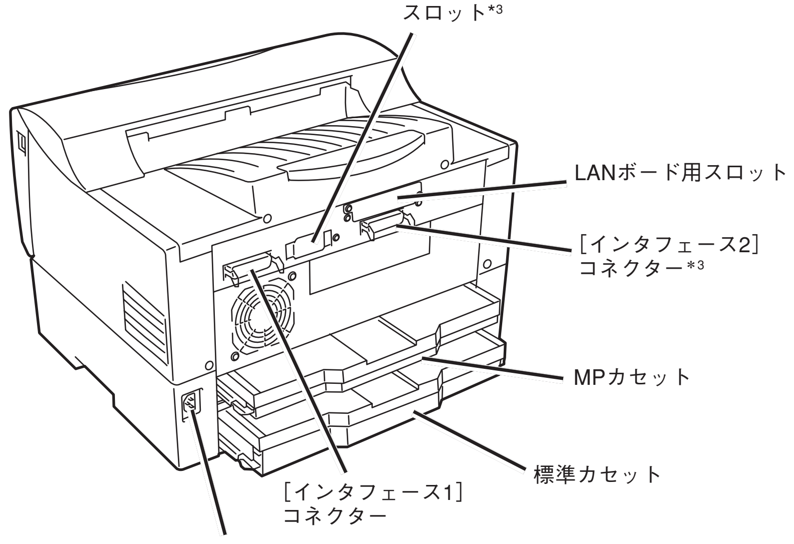
プリンター各部の名称について説明します。プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



*1 用紙をセットする部分を「MPカセット」といいます。このMPカセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「MP」といいます。

*2 用紙をセットする部分を「標準カセット」といいます。この標準カセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「ホッパー」といいます。

プリンター前面



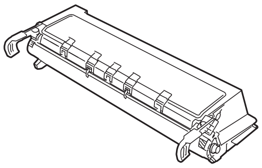
*3 MultiWriter 2300/2100のみ装備しています。

プリンター背面

5 EPカートリッジを取り付ける

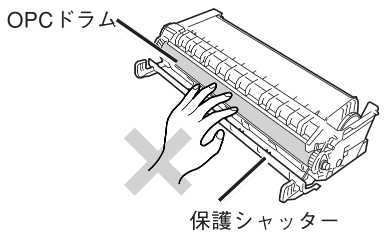
EPカートリッジは印刷を行うためのトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します。このEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。ご使用後はお買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。

❶ **EPカートリッジを袋から取り出す。**



重要

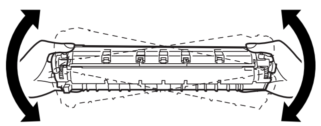
EPカートリッジのOPCドラム保護シャッターおよびOPCドラムには触らないようにしてください。



❷ **トナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくり振る。**

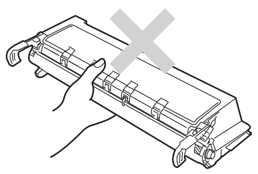
チェック

EPカートリッジは取っ手を持たず、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。

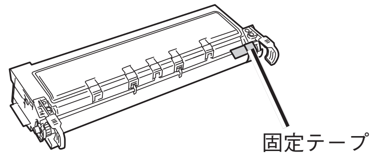


重要

EPカートリッジの中央部を持たないでください。



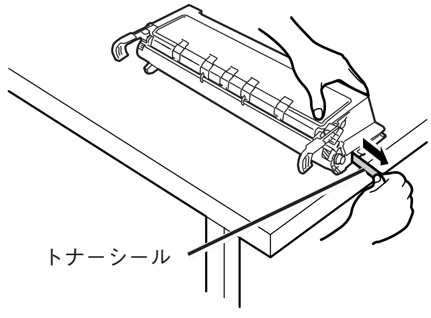
❸ **保護シャッターを止めているテープ(1か所)を上から下方向へはがす。**



❹ **EPカートリッジの取っ手を手前にして、机など水平な面に置いて、側面から出ているトナーシールの端を持ち、ゆっくり引き抜く。**

重要

- 正常に引き抜けた場合約70cmの長さになります。正常に引き抜けなかった場合は、プリンターを購入された販売店に連絡してください。
- トナーシールを引き抜くとき少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についたら、水で洗い流してください。

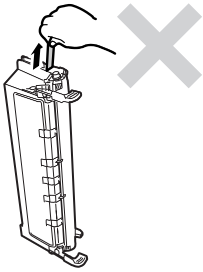


重要

EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引き抜かないでください。

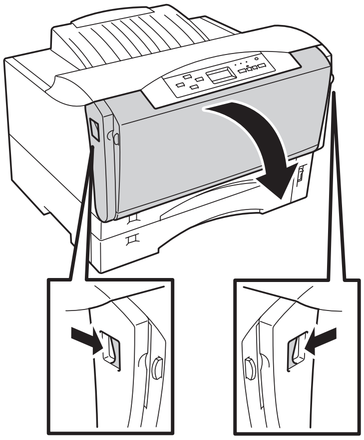
EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。

もしトナーシールが途中で引き抜けなくなった状態、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター本体に障害が生じることがあります。

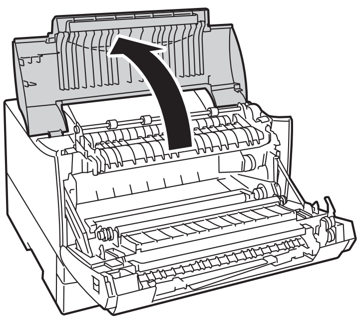


5 **左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。**

フロントユニットが開いて止まります。

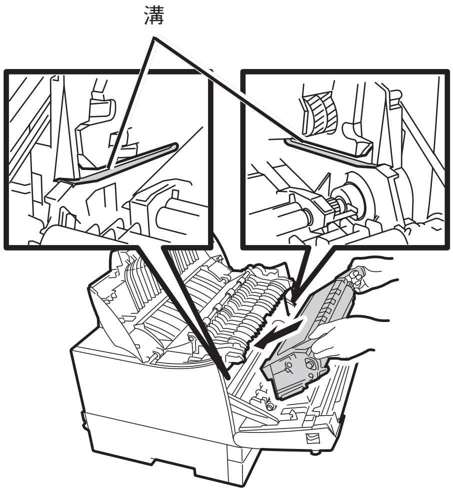


6 **トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。**

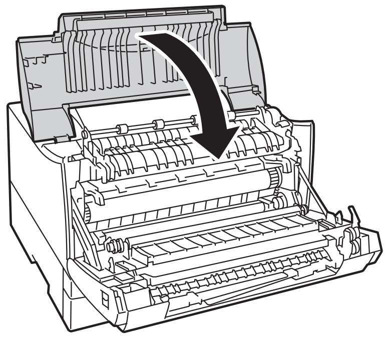


7 **図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ちEPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットする。**

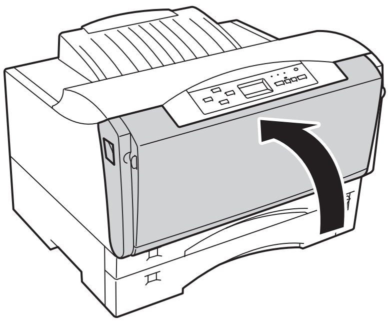
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。



8 **トップカバーをゆっくりと閉じる。**



9 **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**



6 用紙をセットする

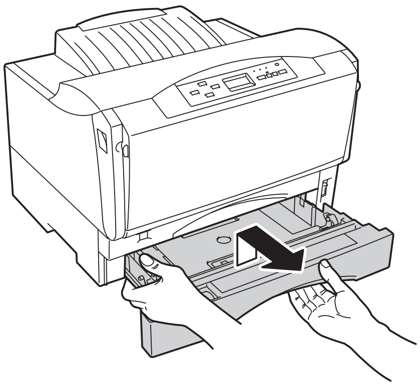
ここではまず、テスト印刷する(25ページ)ためにA4サイズの用紙を横置きにホッパーにセットします。その他の用紙のセット方法、MultiWriter 2300/2100/210Sで使用できる用紙については「3章　用紙のセット」(91ページ)をご覧ください。

重要

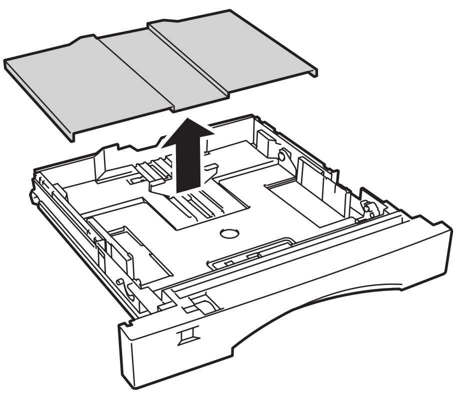
プリンターにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をプリンターにセットしないでください。

一度印刷された用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。

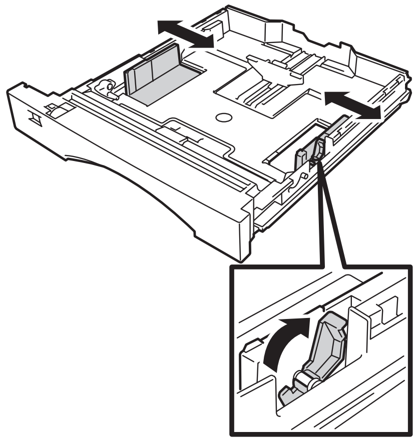
❶ 標準カセットを両手で軽く持ち上げ、ゆっくりと取り外す。



❷ カセットカバーを取り外す。

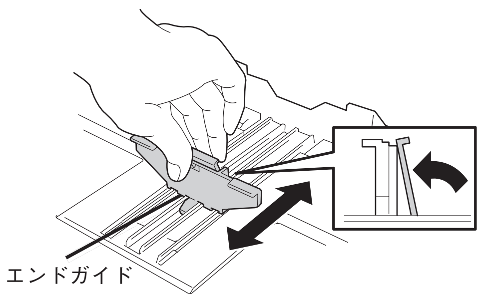


❸ サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。



❹ エンドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。

エンドガイドは中央部のつまみを前に押しながらスライドさせます。

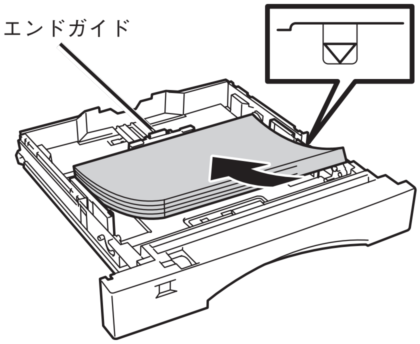


❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

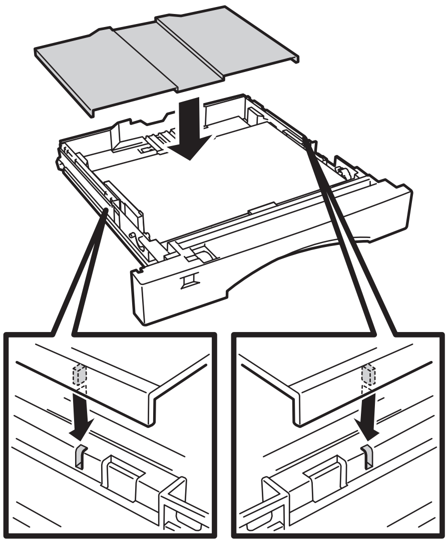
用紙を入れた後サイドガイドを再セットします。

✔チェック

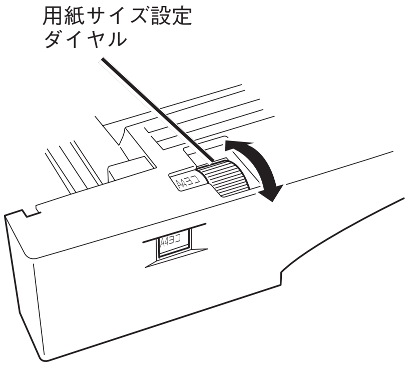
- リフトプレートが下がっていることを確認してください。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示（▼）を越えないようにセットしてください。



❻ カセットカバーを標準カセットの溝に合わせて取り付ける。



❼ 用紙サイズ設定ダイヤルを「A4ヨコ」に設定する。

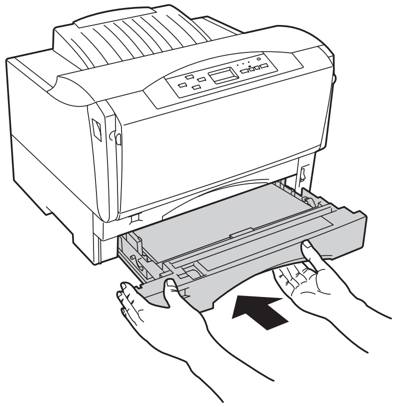


重要

セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因となる場合があります。

❽ 標準カセットをプリンターに取り付ける。

標準カセットは両手で持ち、ゆっくり差し込んでください。



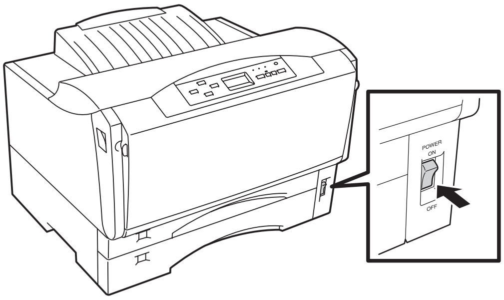
重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は、標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

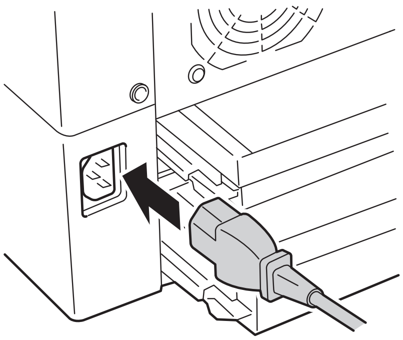
7 電源コードを接続する

⚠注意　電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

❶ **プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**



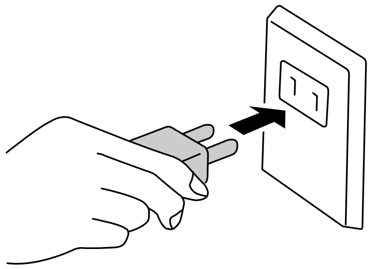
❷ **電源コードの三極プラグをプリンター背面の電源コネクターに差し込む。**



❸ **もう一方の電源プラグを壁付きコンセント（電流容量10A以上）に差し込む。**

✔チェック

プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。



8 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動くことを確かめるテスト印刷を行います。「6　用紙をセットする」(22ページ)でA4サイズの用紙をホッパーにセットしてから行ってください。
このテスト印刷は「7章　故障かな？と思ったら」の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

重要

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

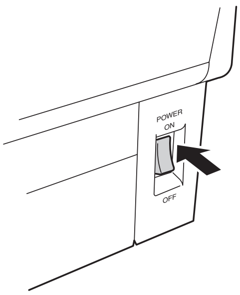
チェック

標準カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

❶ 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”



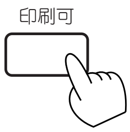
❷ ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。



ホッパ゜　　　A4ヨコ　ポ゜ート
NPDL

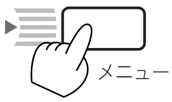
❸ [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



❹ [メニュー]スイッチを押す。

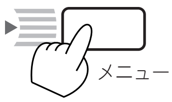
ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。



テストメニュー　→

❺ [▶]スイッチを押す。

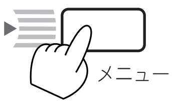
ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。



テストメニュー
←ステータスインサツジ゛ッコウ→

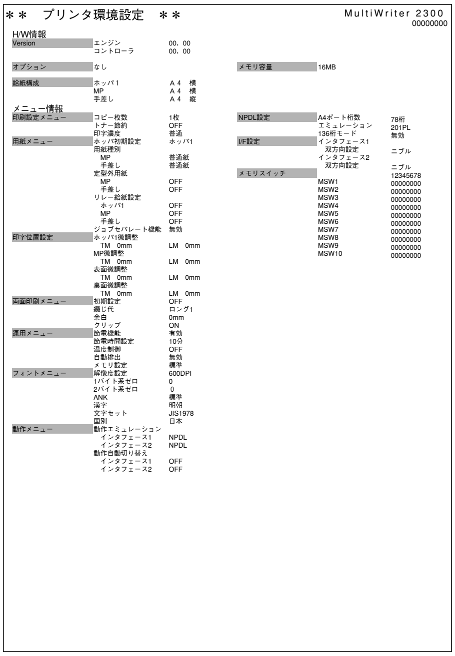
❻ [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。



テストインサツチュウ

❼ 印刷結果を確認する。



＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

MultiWriter 2300
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00．00
	コントローラ	00．00
オプション	なし	
給紙構成	ホッパ1	A 4　横
	MP	A 4　横
	手差し	A 4　縦

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	MP	普通紙
	手差し	普通紙
	定型外用紙	
	MP	OFF
	手差し	OFF
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	MP	OFF
	手差し	OFF
	ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	MP微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	表面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	裏面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
両面印刷メニュー	初期設定	OFF
	綴じ代	ロング1
	余白	0mm
	クリップ	ON
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	温度制御	OFF
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
フォントメニュー	解像度設定	600DPI
	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インタフェース2	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	インタフェース2	OFF

メモリ容量	16MB	
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インタフェース2	
	双方向設定	ニブル
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

MultiWriter 2300のステータス印刷結果

これでテスト印刷は終了です。

次に、パソコンとプリンターまたは、パソコンとネットワークへの接続について説明します。
パソコンとプリンターを接続するには、次ページの「9 コンピューターに接続する」、プリンターをネットワークに接続するには「10 ネットワークに接続する」(29ページ)に進んでください。

9 コンピューターに接続する

ここでは、ローカルプリンターとしてコンピューターと接続する方法を説明します。ネットワークプリンターとしてお使いになる場合は「10　ネットワークに接続する」(29ページ)に進んでください。

MultiWriter 2300/2100/210Sにはプリンターケーブルが添付されていません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、「使用できるコンピューターとプリンターケーブル」(287ページ)をご覧になり、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

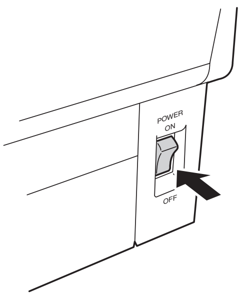
重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

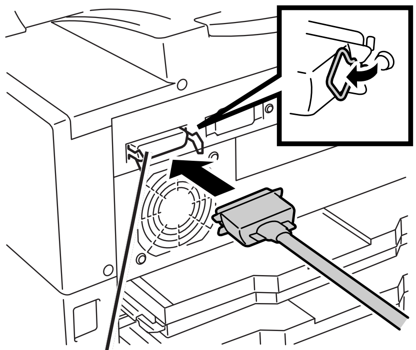
ケーブル接続について

- MultiWriter 2300/2100の背面にはインターフェースコネクターが2か所あります。プリンターの設置環境、ご使用方法に合わせてお使いください。また、両方のインターフェースコネクターを使用すると、プリンターケーブルのつなぎ替えを行わずに、2台のコンピューターのデータを印刷することができます。この場合、2つのインターフェースの切り替えは自動で行われます。ただし、オプションのLANボード接続時は[インタフェース2]コネクターは使用できません。
- MultiWriter 210Sの場合は、背面にインターフェースコネクターが1か所あります。

❶ プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。

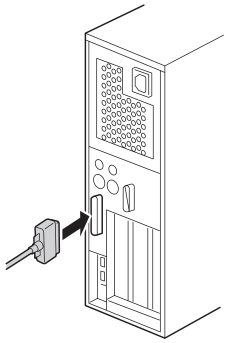


❷ プリンターケーブルを[インタフェース1]コネクターまたは[インタフェース2]コネクターに差し込み、コネクター両端のロックスプリングで固定する。



❸ プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続する。

コンピューターのインターフェースコネクターの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。



これでコンピューターへの接続は終わりました。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(39ページ)に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

10 ネットワークに接続する

MultiWriter 2300/2100/210Sはネットワークプリンターとしてお使いいただけます。ネットワークプリンターとしてお使いになる場合は、LANボード/LANアダプターのプリンターへの取り付けとネットワークへの接続が必要です。以下の手順で設定してください。

1. LANボード、LANアダプターを取り付ける
2. ネットワークケーブルを接続する
3. コンフィグレーションページを印刷する
4. IPアドレスとサブネットマスクを設定する

1 LANボード、LANアダプターを取り付ける

MultiWriter 2300/2100/210SにはLANボード/LANアダプターは添付されていませんので、別途お買い求めになる必要があります。「8章　オプション」(263ページ)をご覧になり、ご使用のネットワーク環境に合ったLANボード/LANアダプターを確認の上、お買い求めください。
LANボードまたはLANアダプターを取り付ける前にはそれぞれの取扱説明書をお読みください。

LANボードの取り付け、取り外し

重要

- LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。
- MultiWriter 2300/2100の場合でLANボードをご使用の場合は、[インタフェース2]コネクターは使用できません。プリンターケーブルは取り外してください。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

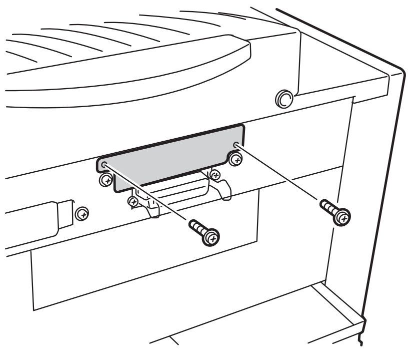
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ LANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

チェック

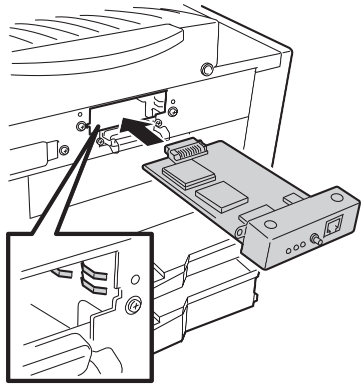
LANボード用スロットのプレートはボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。大切に保管しておいてください。



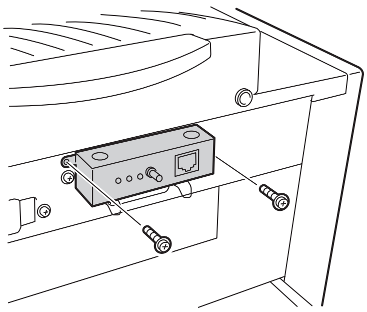
1 プリンターの設置

❸ **LANボードのネットワークコネクターを手前にして、ガイドレールに沿ってLANボードを差し込む。**

手ごたえがあるまで押し込みます。



❹ **ネジ2本でLANボードを固定する。**



LANボードを取り外すときは、取り付けの手順❹から逆に行ってください。

LANアダプターの取り付け、取り外し

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

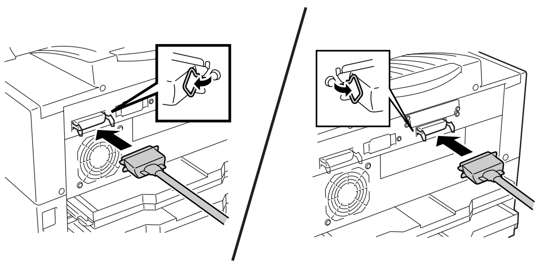
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ **LANアダプターの電源をOFFにし、LANアダプターの電源コードを抜く。**

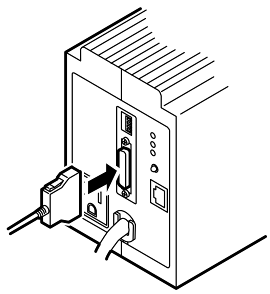
❸ **LANアダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。**

チェック

MultiWriter 2300/2100の場合ですでにLANボードが取り付けられている場合は、［インタフェース1］コネクターをお使いください。

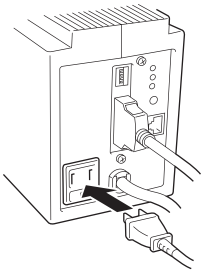


［インタフェース1］　［インタフェース2］



❹ **プリンターの電源コードのプラグをLANアダプター背面のACコンセントに差し込む。**

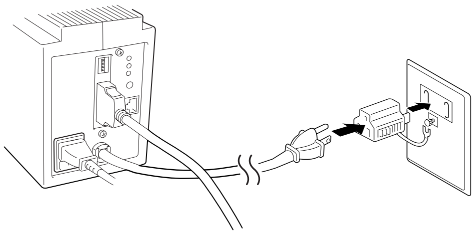
LANアダプタ型番 PR-NP-02T2の場合は、プリンターの電源コードをACコンセントに差し込んでください。



❺ **LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。**

✔チェック

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント(AC100V、電源容量15A以上)に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。



❻ **LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。**

ご使用の際には、以下の手順で電源を入れてください。

PR-NP-03TR2の場合：プリンターの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押します。

PR-NP-02T2：プリンターの電源を入れます。

LANアダプターを取り外すときは、取り付けの手順❹から逆に行ってください。

2 ネットワークケーブルを接続する

LANボード/LANアダプター、およびプリンターには、ネットワークケーブルは添付されていません。次に示すケーブルを別途お求めの上、LANボード/LANアダプターに接続してください。

- ケーブルのタイプ .... 100BASE-TX、10BASE-Tに対応したUTPカテゴリー5ケーブル
- 型番 .... LANケーブル(5M)(PK-CA117)、LANケーブル(10M)(PK-CA118)

ケーブルの接続

重要

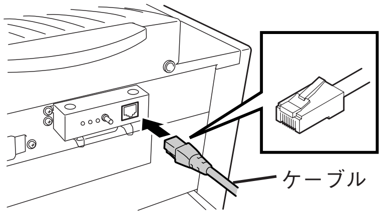
- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンター、LANアダプターの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

❶ ケーブルのコネクターを接続する。

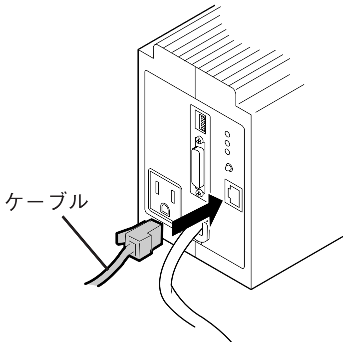
<LANボードを使用の場合>
プリンターの電源をOFFにし、ケーブルのコネクターをLANボードのコネクターに差し込みます。

<LANアダプターを使用の場合>
LANアダプターの電源コードを壁付きACコンセントから抜き、ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのEthernet用コネクターに差し込みます。

ネットワークケーブル接続後の確認については、LANボード/LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



LANボード



LANアダプター

❷ 電源を入れる。

<LANボードを使用の場合>
プリンターの電源をONにします。

<LANアダプターを使用の場合>
LANアダプターの電源コードのプラグを壁付きACコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにします。

3 コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、LANボード/LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレス等のネットワークの設定情報が一覧できるステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い設定内容の確認をしてください。

ただし、LANボード/LANアダプターの種類によって印刷結果は異なりますので、印刷内容についてはご使用のLANボード/LANアダプター添付のマニュアルをご覧ください。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

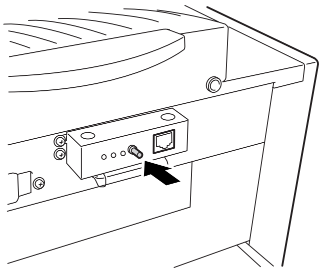
電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

✔チェック

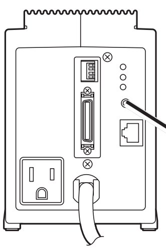
コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は、「3章　用紙のセット」(91ページ)を参照してセットしてください。

❷ コンフィグレーションページ印刷ボタンを押して、コンフィグレーションページを印刷する。

LANボード/LANアダプターの設定情報が印刷されます。



LANボード



LANアダプター

❸ コンフィグレーションページを参照してLANボードまたはLANアダプターの設定内容を確認する。

次ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

印刷例は工場出荷時におけるLANボードの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

また、ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

工場出荷時の印刷例

```
      NEC NIC Configuration Page [400-01]

      <LAN Card information>

          ROM Version                 :    00.00
  *1      ID Number                   :    NFE-290001
  *1      Printer Name                :    NFE-290001
  *1      MAC Address                 :    00:00:4C:29:00:01
          H/W Description             :    NEC FastEthernet000102
          10Base/100Base              :    ” Auto（？）”
          Half/Full Duplex            :    ” Auto（？）”

      <TCP/IP parameters>

  *2      IP Address                  :     11. 22. 33. 44
  *2      Subnet Mask                 :    255.  0.  0.  0
          Geteway Adress              :      0.  0.  0.  0
          Auto IP Address             :    ” On”
          Max.Number of Session       :    64
          Session Timeout             :    120
          Keep Alive                  :    ” On”
          FTP Timeout                 :    10
          DHCP                        :    ” Off”
          e-Mail Service              :    ” Off”

      <TCP/IP network connection>

          Current Active Session      :    0

      <Print Status Information>

          Printing Log                :    ” Off”
          Status Monitor              :    50

      <Self-Diagnosis>

          Link Test                   :    ” No connection”
          LAN Card Status             :    ” OK”
```

IPアドレス、サブネットマスク設定変更後の印刷例

```
      NEC NIC Configuration Page [400-01]

      <LAN Card information>

          ROM Version                 :    ００.００
  *1      ID Number                   :    NFE-290001
  *1      Printer Name                :    NFE-290001
  *1      MAC Address                 :    00:00:4C:29:00:01
          H/W Description             :    NEC FastEthernet000102
          10Base/100Base              :    ” Auto（10Base）”
          Half/Full Duplex            :    ” Auto（Half Duplex）”

      <TCP/IP parameters>

  *3      IP Address                  :    123. 123. 123.123
  *3      Subnet Mask                 :    255. 255.  0.  0
          Geteway Adress              :      0.  0.  0.  0
          Auto IP Address             :    ” On”
          Max.Number of Session       :    64
          Session Timeout             :    120
          Keep Alive                  :    ” Off”
          FTP Timeout                 :    10
          DHCP                        :    ” Off”
          e-Mail Service              :    ” Off”

      <TCP/IP network connection>

          Current Active Session      :    0

      <Print Status Information>

          Printing Log                :    ” Off”
          Status Monitor              :    50

      <Self-Diagnosis>

          Link Test                   :    ” OK”
          LAN Card Status             :    ” OK”
```

*1 ID Number、 Printer Nameおよび、MAC AddressはLANボード個々の情報を示します。

*2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷値です。

*3 IPアドレス、サブネットマスクの変更された例です。

4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

LANボード/LANアダプターをTCP/IPネットワーク環境で利用するために、LANボード/LANアダプターにIPアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。

MultiWriter 2300/2100/210Sではプリンターの操作パネルによってLANボード/LANアダプターの設定をすることができます。また、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティもしくは、LANボード/LANアダプターに添付されているユーティリティーを使用して設定することもできます。詳しくは、LANボード/LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

ここでは、プリンターの操作パネルでの設定方法を説明します。プリンターの操作パネルによる設定には、あらかじめ、メニューモードでI/F設定の「双方向設定」を「ECP」に設定しておく必要があります。設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。なお、以下に説明する手順はPR-NP-01T2、PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2を接続時に有効です。

I/F設定をECPに変更する

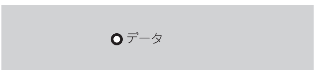
❶ [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



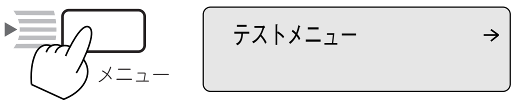
❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。



❸ [メニュー]スイッチを押す。

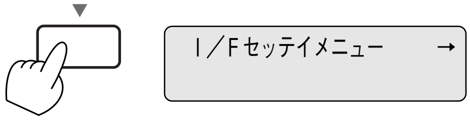
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー　　→"を表示します。



次からの手順は、接続するインターフェースコネクターの位置によって異なります。

❹ ディスプレイに"I／Fセッテイメニュー"と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については120ページ～126ページの「メニューツリー」を参照してください。

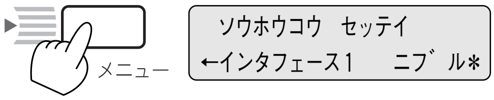


次にインターフェースを選択します。
LANボードの場合は[インタフェース2]、LANアダプターの場合はプリンターケーブルを接続しているインターフェースを選択してください。

❺ ＜LANアダプターを[インタフェース1]コネクターに接続する場合＞

[▶]スイッチ2回押して、以下のメッセージを表示させる。

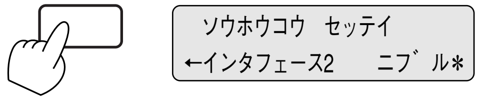
手順❻に進んでください。



<LANボードもしくはLANアダプターを[インタフェース2]コネクターに接続する場合>

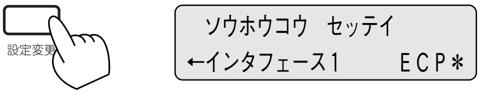
[▶]スイッチ1回、[▼]スイッチを1回、[▶]スイッチ1回押して、以下のメッセージを表示させる。

手順❼に進んでください。

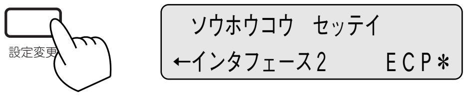


❻ [設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ECP＊”を表示させる。

手順❽に進んでください。



❼ [設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース2　ECP＊”を表示させる。



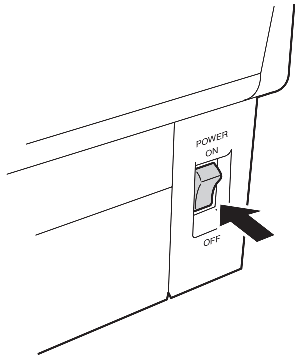
❽ [メニュー終了]スイッチを押す。

メニューモードを終了します。



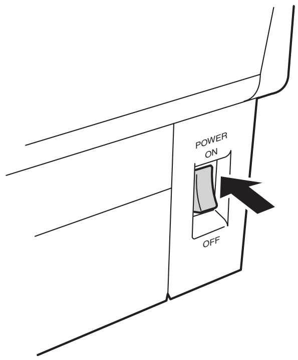
❾ プリンターの電源をOFFにする。

[ソウホウコウ　セッテイ]の設定の変更を有効にするために、プリンターの電源をいったんOFFにする必要があります。



❿ プリンターの電源をONにする。

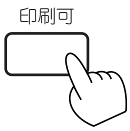
プリンターの電源を再投入することによって、設定が有効になります。



IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

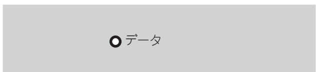
❶ **[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。



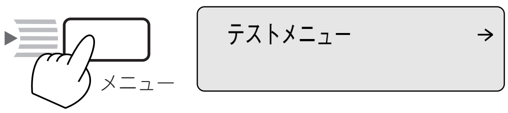
❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。



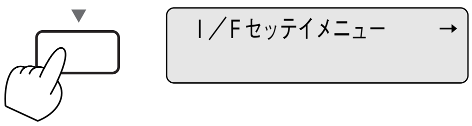
❸ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”を表示します。



❹ **ディスプレイに“Ｉ／Ｆセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。**

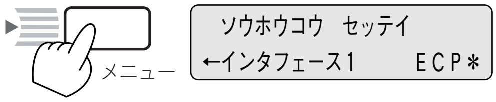
手順❺または❻に進んでください。



❺ **<LANアダプターが[インタフェース1]コネクターの場合>**

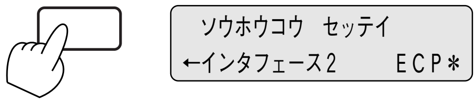
[▶]スイッチを2回押し、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ＥＣＰ＊”を表示させる。

手順❼へ進んでください。

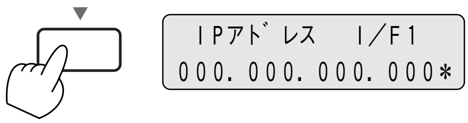


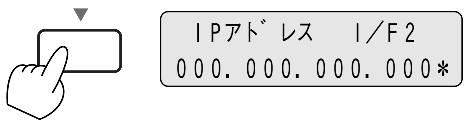
❻ **<LANボードもしくはLANアダプターが[インタフェース2]コネクターの場合>**

[▶]スイッチ1回、[▼]スイッチを1回、[▶]スイッチを1回押し、ディスプレイ下段に“←インタフェース2　ＥＣＰ＊”を表示させる。



❼ **[▼]スイッチを1回押し、ディスプレイに“ＩＰアドレス　Ｉ／ＦＸ”を表示させる。**





❽ IPアドレスを設定する。

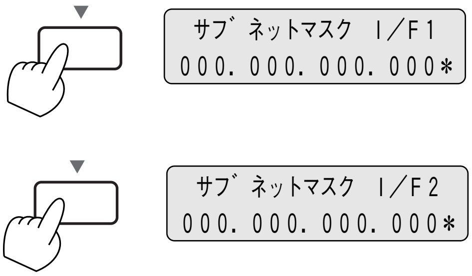
[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、
[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順❹に戻って入力し直してください。

❾ [▼]スイッチを押す。

ディスプレイに“サブネットマスク　I／F×”と表示します。



❿ サブネットマスクを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、
[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順❹に戻って入力し直してください。

⓫ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



⓬ コンフィグレーションページ印刷をする。

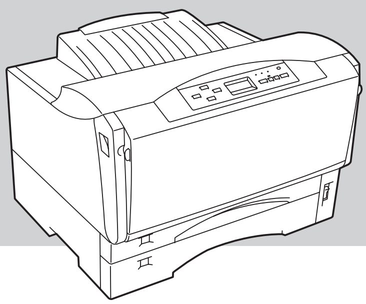
手順については「③　コンフィグレーションページを印刷する」(33ページ)を参照してください。

⓭ コンフィグレーションページの印刷例(34ページ)を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は終わりました。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(39ページ)に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

2章
プリンターソフトウエアのインストール



この章では、様々な接続方法から、Windows 98 *⁄95 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版、Windows NT 3.51 日本語版、Windows 3.1 日本語版、そしてその他のOS環境にプリンターソフトウエアをインストールをし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。

*以下、本書でWindows 98と表記しているのは、Windows 98 Second Editionを含みます。

✔チェック

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするために、プリンターソフトウエアをインストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」(242ページ)をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

- **フロッピーディスクでインストールする場合**

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

- **MultiWriter 2100/210Sをお使いのお客様へ**

本書中にMultiWriter 2100または、210Sの記述がない場合は2300の記述を2100、または210Sと読み替えてください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 2300/2100/210S に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。本プリンターソフトウエアをご使用になる前に必ず、メニュープログラム内の「はじめにお読みください」をお読みください。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。Macintoshでこのcd-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめにお読みください
- プリンタソフトウエアのインストール
  Windows98/95/2000、WindowsNT4.0に対応した、MultiWriter2300/2100/210S用のプリンターソフトウエアがインストールできます。
- オンラインマニュアルを読む
  「プリンターの設定と技術仕様」と「プリンターソフトウエアの詳細」の2冊のオンラインマニュアルが収録されています。「Adobe Acrobat Reader」を使って閲覧します。詳細については本ディレクトリー内のReadme、または本書の「オンラインマニュアルの読み方と構成」(viページ)をご覧ください。
- 付属ユーティリティー
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.3.0E(NECバンドル版)」
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウエアをインストールすることによりWindows環境でバーコードフォント(5種類)の印刷をすることができます。
    1. Industrial 2 of 5(モジュール比2.2、3.0)
    2. NW-7(モジュール比2.2、3.0)
    3. CODE39(モジュール比2.2、3.0)
    4. JAN
    5. カスタマーバーコード(郵便バーコード)
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
    1. FA 丸ゴシックM
    2. FA 教科書体M
    3. FA 端筆行書M
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - iPrinting.DeliveryService

その他に、Windows98/95/2000、WindowsNT4.0/3.51、Windows3.1に対応したMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」(Readme.txt)をご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 2300/2100/210 S添付のプリンターソフトウエアが対応しているOSは以下のとおりです。

プリンターソフトウエア	対応OS				
	Windows 98/95 日本語版	Windows 2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 3.51 日本語版	Windows 3.1 日本語版
プリンタードライバー	○	○	○	○	○
PrintAgent	○	○	○	X	X

PrintAgentの動作環境について

- PrintAgent がサポートしているネットワークプロトコルはNet BEUI とTCP/IP のみです。ただし、LANボード／LAN アダプターに接続されたプリンターを使用する場合には、サポートしているネットワークプロトコルはTCP/IP のみです。
- PrintAgent はWindows 2000 Advanced Server 、Windows 2000 Datacenter Server 、Windows NT Server,Enterprise Edition 4.0 のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0,Terminal Server Edition 、Windows 2000 のTerminal Service を実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgent は正常に動作しない場合がありますので、PrintAgent をインストールしないでご利用ください。

重要

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のソフトウエアをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

  －Windows 98/95の場合：「Microsoft ネットワーク共有サービス」
  －Windows 2000の場合：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
  －Windows NT 4.0/3.51の場合：「サーバー」

- ネットワーク環境でLANプリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

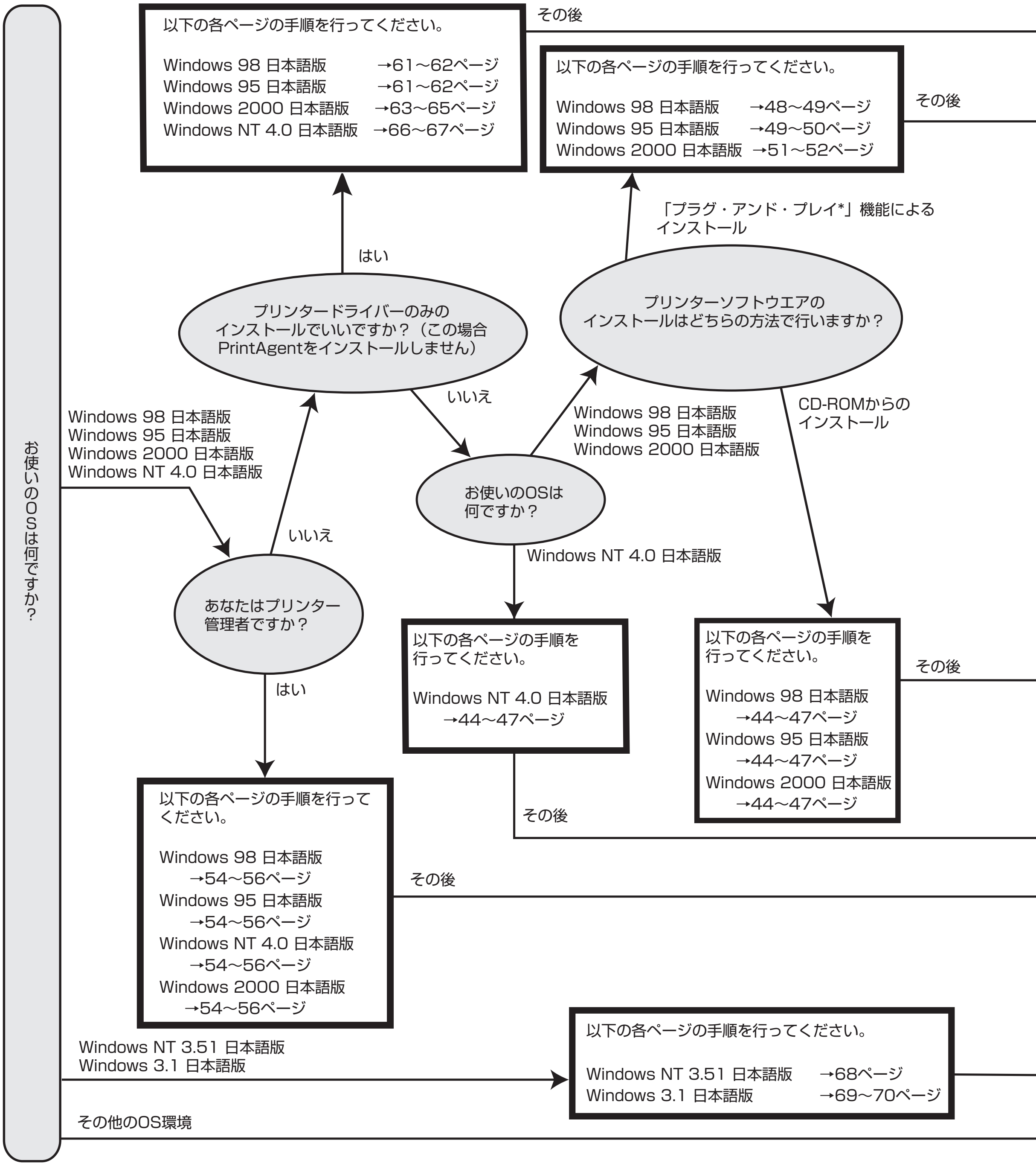
プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows 98/95 日本語版	Windows 2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 3.51 日本語版	Windows 3.1 日本語版
PrintAgentを含む標準でのインストール	約9MB	約9.5MB	約10MB	－	－
PrintAgentを含む一般でのインストール	最大 約11.5MB	最大 約12MB	最大 約12.5MB	－	－
PrintAgentを含む管理者でのインストール	最大 約13.5MB	最大 約14MB	最大 約14.5MB	－	－
プリンタードライバーのみのインストール	約2.5MB	約3.0MB	約3.5MB	約2.0MB	約0.6MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールします。
お使いになるコンピューターの条件に従って、以下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページに進んでください。



* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows 98/95/2000がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時にその周辺機器を検出し、自動的にセットアップを実行する機能です。

プリンターをLANボードあるいはLANアダプターで接続していますか?

はい

以下の各ページの手順を行ってください。

Windows 98 日本語版
→71ページ
Windows 95 日本語版
→71ページ
Windows 2000 日本語版
→72ページ
Windows NT 4.0 日本語版
→73ページ

いいえ

これで終了です。

以下の各ページの手順を行ってください。

Windows NT 3.5 日本語版/日本語MS-DOS環境 →84～86ページ
PC-PTOS環境でプリンターを選択する →87ページ
ESC/Pエミュレーションでプリンターを選択する →89ページ

CD-ROMからのインストール

Windows 98/95 、Windows 2000 、Windows NT 4.0 で動作しているコンピューターでMultiWriter をご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROM のインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエアをインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROM はドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。お使いのコンピューターによっては自動的にメニュープログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「MWSETUP.exe 」を実行してください。

Windows 98/95/2000/NT 4.0 日本語版

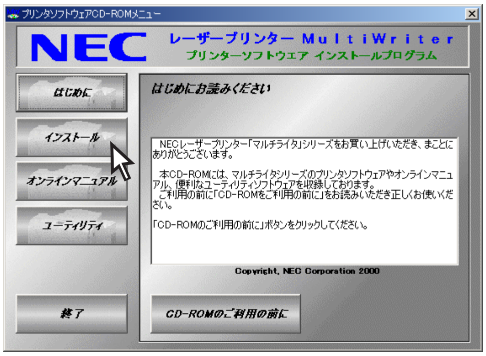
ここではWindows 98 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエアのインストールを説明します。

❶ **Windows 98 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

❸ **[インストール]ボタンをクリックする。**



❹ **[MultiWriter 2300]を選んで[インストール開始]をクリックする。(MultiWriter 2300の場合)**



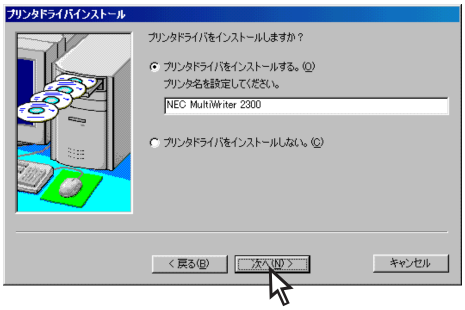
お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ **[次へ]をクリックする。**



❻ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだときは、手順❾へ進んでください。



❼ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。「ローカルポートを選んだときは」へ進んでください。

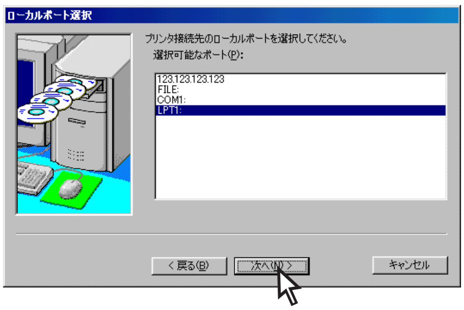


- [ローカルポート]を選ぶのは、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときです。
- [ネットワーク共有プリンタ]を選ぶのは、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときです。
- [NEC TCP/IP Port]を選ぶのは、プリンターがLANボードまたはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときです。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。

手順❽へ進んでください。



＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

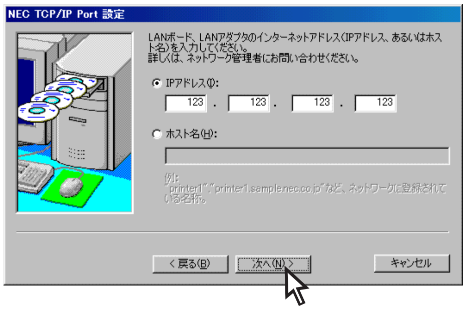
プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。



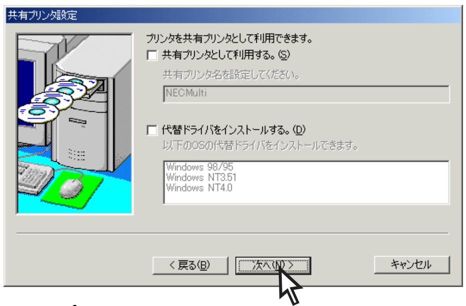
＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。



❽ [次へ]をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合、またはWindows 98/95をご利用の場合は、このダイアログボックスは表示されません。
次の手順❾へ進んでください。

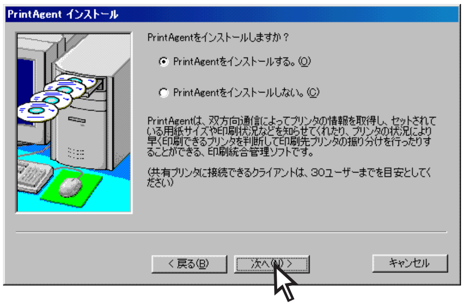


✔チェック

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

❾ **[PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓬へ進んでください。



❿ **使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。**



[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

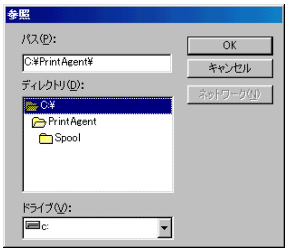


⓫ **PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。**

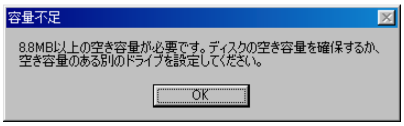
すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。



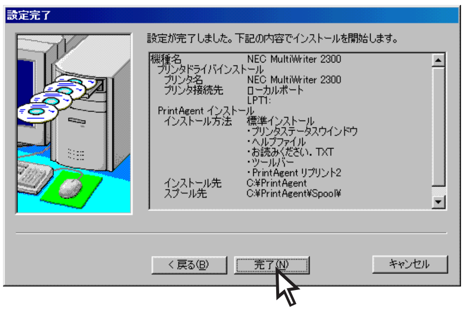
- 作成先のフォルダーを変更したいときは[参照]をクリックするか直接パスを入力してください。



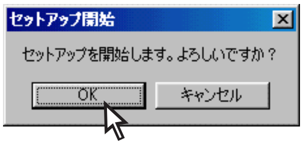
- 次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。



⓬ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**



⑬ [OK]をクリックする。

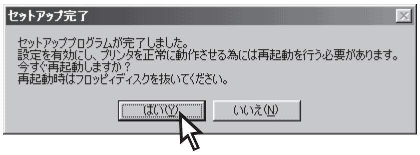


⑭ インストールが終了したら[OK]をクリックする。



✔チェック

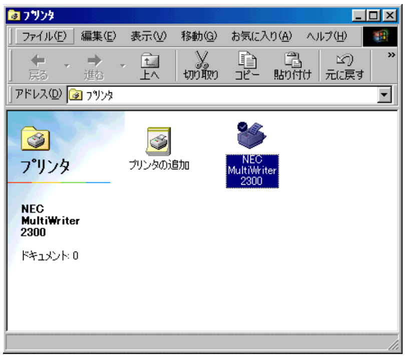
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。



⑮ プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。

カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

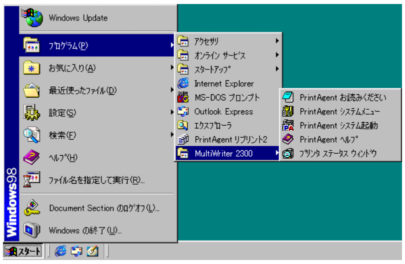
□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 2300]アイコンが登録されている。



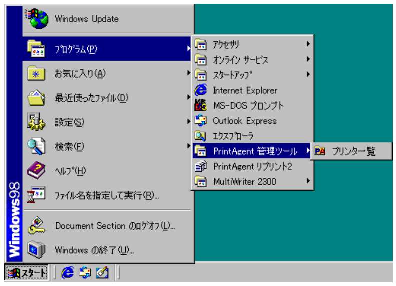
□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。



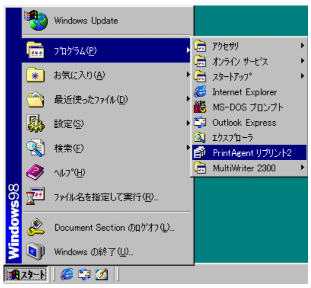
□ スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 2300]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。（MultiWriter 2300の場合）



□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター覧]が登録されている。



□ スタートメニューの[プログラム]の下に[PrintAgent リプリント2]というフォルダーが登録されている。



「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98　日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **MultiWriter 2300/2100/210Sの電源をONにする。**

❷ **コンピューターの電源をONにする**

Windows 98 日本語版を起動します。

❸ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、44ページの「CD-ROMからのインストール」を行ってください。

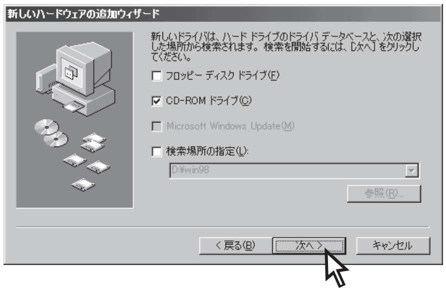


❹ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

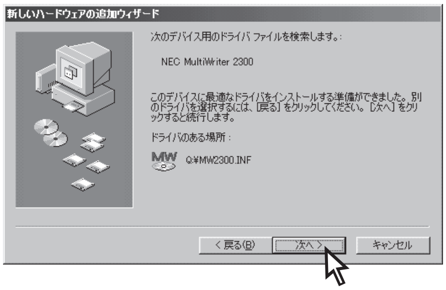


❺ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

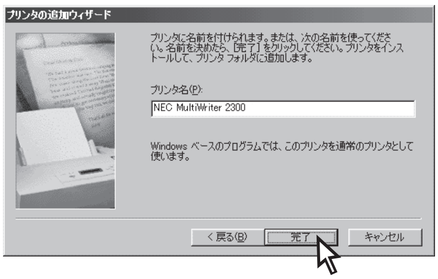
❻ **選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。**



❼ **[次へ]をクリックする。**



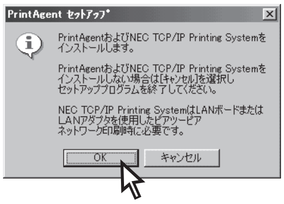
❽ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**



❾ [完了]をクリックする。



❿ PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。



このあとは44ページの手順❺からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95　日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ MultiWriter 2300/2100/210Sの電源をONにする。

❷ コンピューターの電源をONにする

Windows 95 日本語版を起動します。

＜[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合＞

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

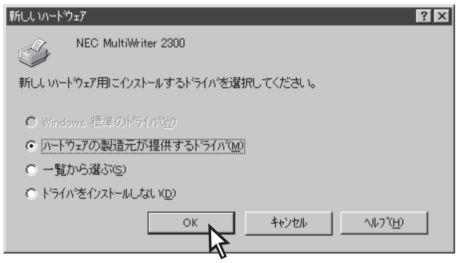
手順❸に進んでください。



＜[新しいハードウエア]ダイアログボックスが表示された場合＞

[ハードウエアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順❸に進んでください。



❸ [完了]をクリックする。



❹ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

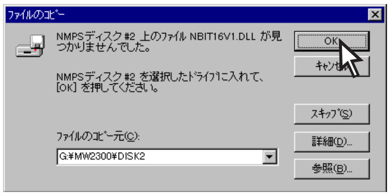


❺ **[OK]をクリックする。**



❻ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2300¥DISK2」と入力します。



プリンタードライバーがインストールされます。

❼ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

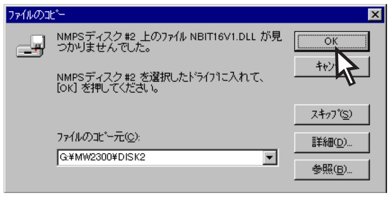


このあとは44ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて、「MW2300¥DISK2」と入力します。

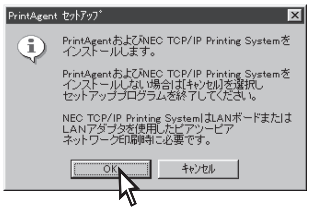


❿ **プリンターの名前を確認し、[完了]をクリックする。**



プリンタドライバーがインストールされます。

⓫ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**



このあとは44ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000　日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

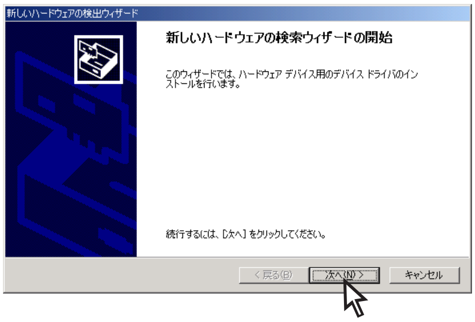
❶ MultiWriter 2300/2100/210Sの電源をONにする。

❷ コンピューターの電源をONにする。

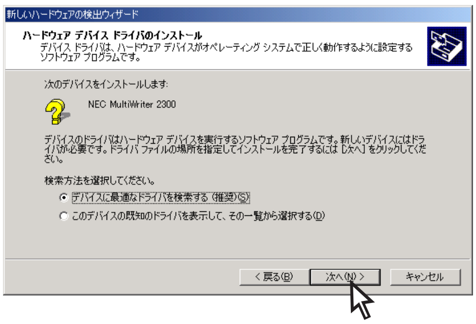
Windows 2000 日本語版を起動します。

❸ ［次へ］をクリックする。

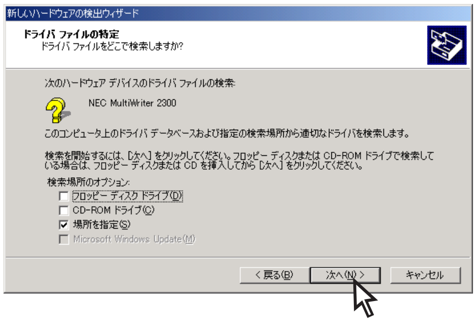
このダイアログボックスが表示されなかったら、44ページの「CD-ROMからのインストール」を行ってください。



❹ ［デバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。



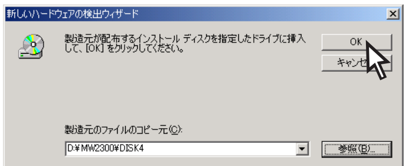
❺ ［場所を指定］を選び、［次へ］をクリックする。



❻ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

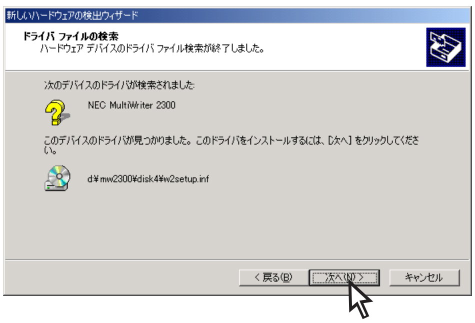
❼ ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2300¥DISK4」と入力します。

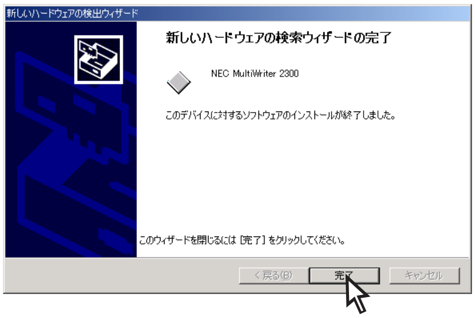


❽ 内容を確認し、［次へ］をクリックする。

インストールを開始します。



❾ [完了]をクリックする。

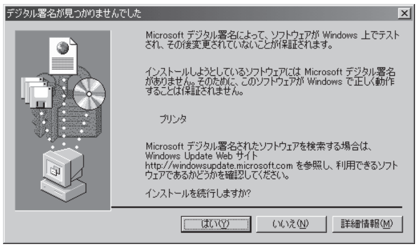


チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログが表示される場合があります。MultiWriter 2300/2100/210Sに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているMultiWriter 2300/2100/210Sのプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。



これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgent をインストールするには、「CD-ROMからのインストール」の手順❻(45ページ)で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従って、インストールしてください。

プリンター管理者向けインストール

> **MultiWriter 2100/210Sをお使いのお客様へ**
>
> 本書中にMultiWriter 2100、または210Sの記述がない場合は2300の記述を2100、または210Sと読み替えてください。

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする場合の手順を説明します。

プリンター管理者向けのインストールを行うと、以下の機能を利用することができます。

- WebPrintAgent
- プリンタ管理ユーティリティーによる、LANボード/LANアダプターのリモート設定、プリンタ自動切替機能、保守情報のメール通知機能
- 印刷ログ

また、プリンターを管理する方に以下の機能をご利用いただけます。

- インストール用フロッピーディスクの作成

  プリンターソフトウエアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。またファイルサーバーのハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。プリンター管理者がハードディスクなどにコピーし、複数台のコンピューターにプリンターソフトウエアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

- セキュリティのためのパスワード設定

  プリンター管理者以外の人に「プリンタ管理ユーティリティー」の使用や、プリンターソフトウエアの削除を保護するためにパスワードの設定が可能です。

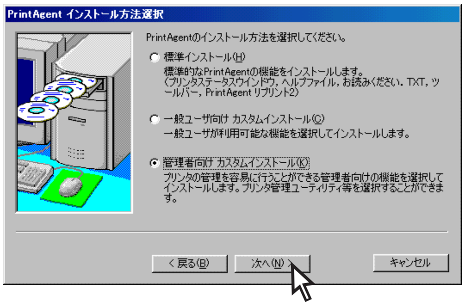
Windows 98/95/2000/NT 4.0 日本語版

ここでは、Windows 98/95/2000/NT 4.0　日本語版にプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ ［PrintAgent インストール方法選択］ダイアログを開く。

「CD-ROMからのインストール」（44ページ）の手順❶～❾に従ってください。

❷ ［管理者向けカスタムインストール］を選び、［次へ］をクリックする。



❸ 任意の機能を選び、［次へ］をクリックする。

［全追加］をクリックすると、すべてチェックされます。［全削除］をクリックすると、すべてチェックが外れます。



選択可能なオプション

以下の機能が選択可能です。

■　MultiWriter 2300

- □　PrintAgent リプリント2
- □　Web PrintAgent*1
- □　お読みください．TXT
- □　ツールバー
- □　プリンタステータスウィンドウ
  - □　音声
- □　プリンター覧
- □　プリンタ管理ユーティリティ
  - □　プリンタ自動切替
  - □　メール通知*2
- □　ヘルプファイル
- □　印刷ログ*3

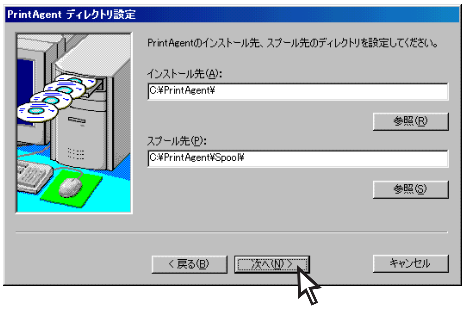
*1　プリントサーバーにWeb サーバーがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

*2　ネットワーク設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

*3　Windows 2000/NT 4.0で選択できます。

❹ PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して［次へ］をクリックする。

すでに他のMultiWriterのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。

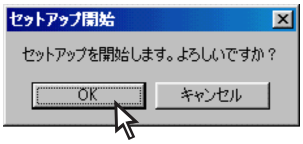


❺ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

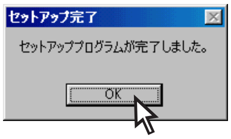


❻ [OK]をクリックする。

ソフトウエアのインストールが開始されます。

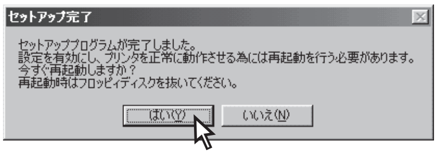


❼ インストールが終了したら、[OK]をクリックする。



✔チェック

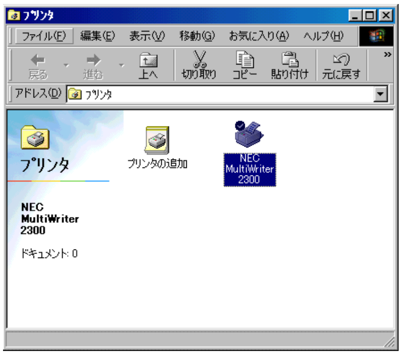
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。



❽ プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

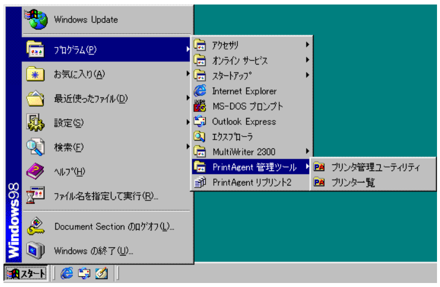
□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 2300]アイコンが登録されている。(MultiWriter 2300の場合)



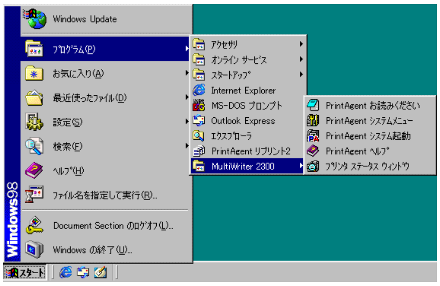
□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。



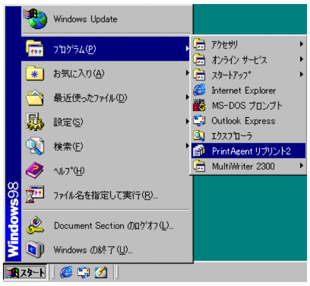
□ スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンタ管理ユーティリティ]と[プリンター覧]が登録されている。



□　スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 2300]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。（MultiWriter 2300の場合）



□　スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。



パスワードの設定

管理者としてプリンターソフトウエアをインストールした場合パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。

✔チェック

- パスワードで保護される機能はプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウエアの削除です。
- 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラム立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

[MultiWriter 2300]を選んで[インストール開始]ボタンをクリックします。



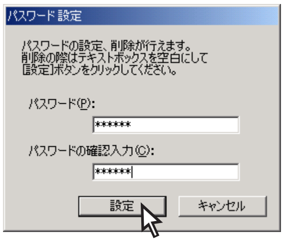
❷ パスワード設定の[設定]をクリックする。



❸ パスワードを入力し[設定]をクリックする。

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま[設定]をクリックします。すでに入力してあるパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、[設定]をクリックします。



FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして　　MultiWriter 2300　用プリンターソフトウエアすべてコピーします。（1.44MB もしくは1.25MB でフォーマットされたフロッピーディスクが9枚必要です）
- 「カスタム」インストール用として　　機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。（1.44MB もしくは1.25MB でフォーマットされたフロッピーディスクが9枚必要です）

> プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

[MultiWriter 2300]を選んで[インストール開始]ボタンをクリックします。



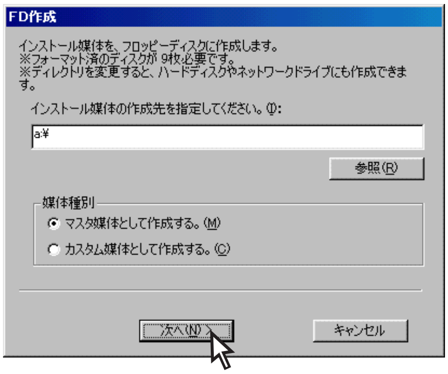
❷ FD作成の[作成]をクリックする。



❸ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。
インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

[マスタ媒体として作成する。]を選ぶとCD-ROMと、同様の内容をすべてコピーします。



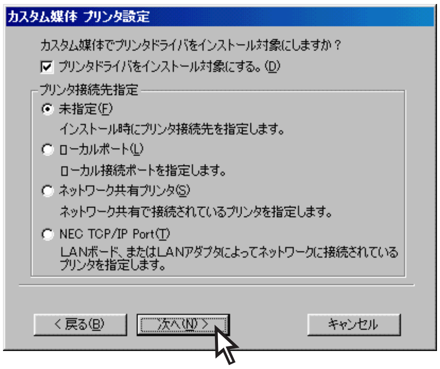
<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❼へ進んでください。

<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❹へ選んでください。

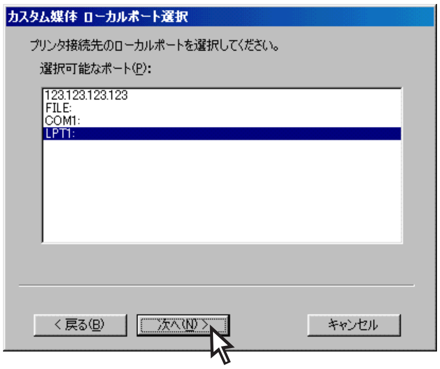
❹ プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。



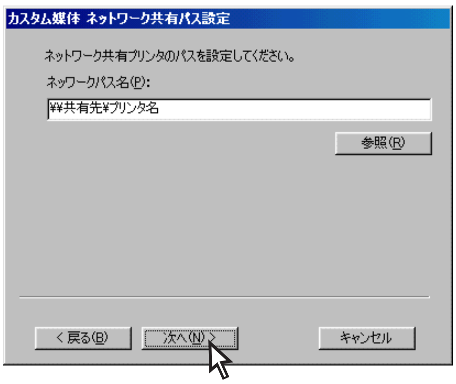
<[未指定]を選んだ場合>

手順❺に進んでください。

<[ローカルポート]を選んだ場合>



<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>



<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

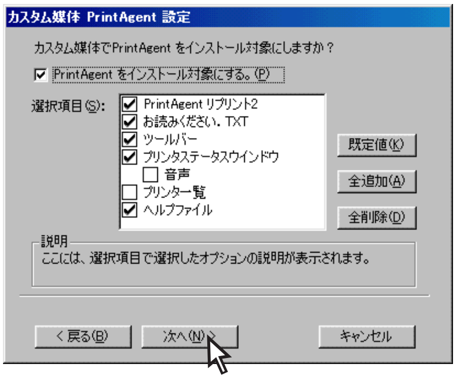


❺ 任意の機能を選ぶ。

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

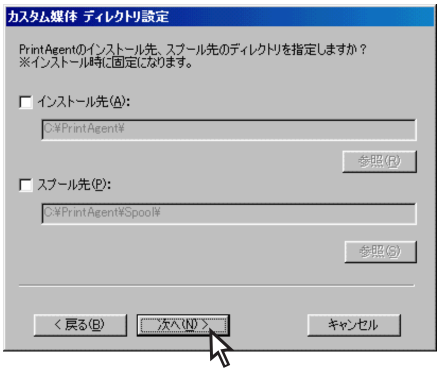
✔チェック

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールしたあとクライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。



❻ インストール先、スプール先を指定し、[次へ]をクリックする。

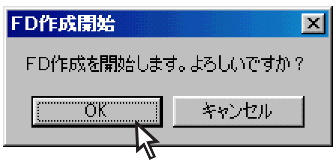
ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。



❼ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。



❽ [OK]をクリックする。



インストール媒体の作成が開始します。

❾ [OK]をクリックする。



✔チェック

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk 1	インストールプログラム
Disk 2	Windows 98/95プリンタードライバー
Disk 3	Windows NT 4.0/3.51プリンタードライバー
Disk 4	Windows 2000プリンタードライバー
Disk 5	PrintAgentソフトウエア
Disk 6	
Disk 7	
Disk 8	
Disk 9	

作成したフロッピーディスクでのプリンターソフトウエアのインストールには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

また、Windows 3.1のプリンタードライバーはコピーされません。別途フロッピーディスクにコピーが必要です。プリンターソフトウエアCD-ROMのプリンター名のフォルダーの下にある¥Win31のすべてのフロッピーディスクにコピーしてください。

プリンタードライバーのみのインストール

Windows 98/95 日本語版

ここでは、Windows 98/95　日本語版にプリンタードライバーのみをインストールする手順を説明します。

❶ **Windows 98/95 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

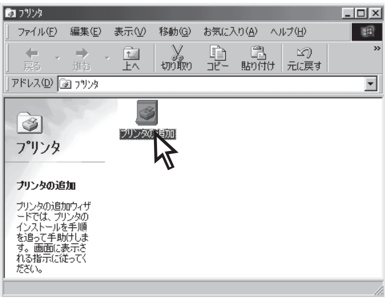
ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

❸ **[終了]をクリックする。**

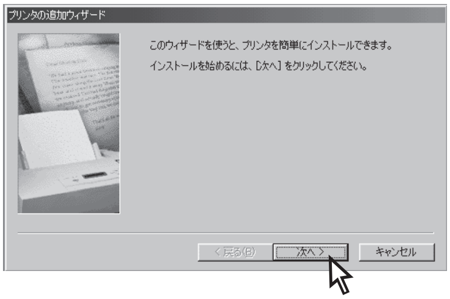


❹ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❺ **[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。**



❻ **[次へ]をクリックする。**

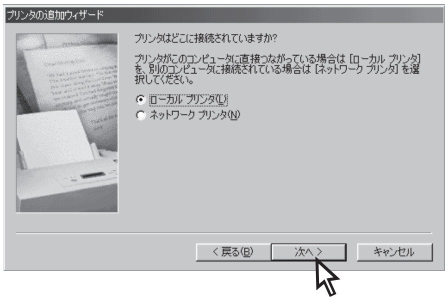


❼ **[ローカルプリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。**

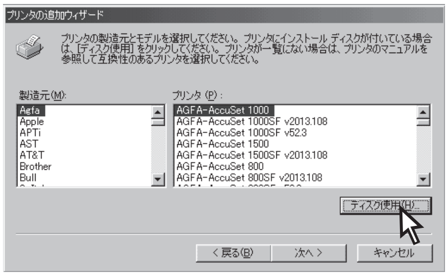
✔チェック

印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに変更するには、このままインストールを行った後、71ページを参照して印刷先を変更してください。

[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

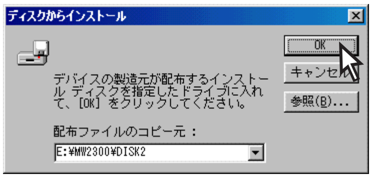


❽ [ディスク使用]をクリックする。

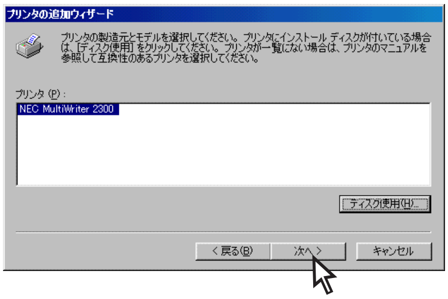


❾ 配付ファイルのコピー元を入力して、[OK]をクリックする。

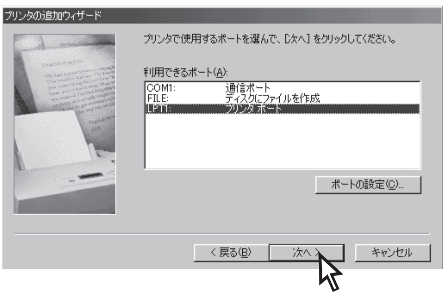
[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2300¥DISK2」と入力します。



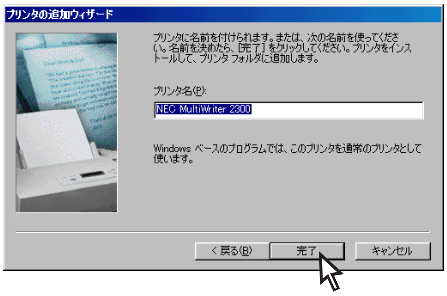
❿ 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



⓫ 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

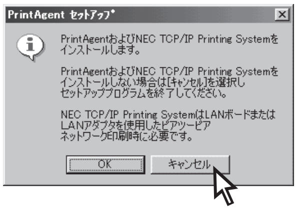


⓬ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

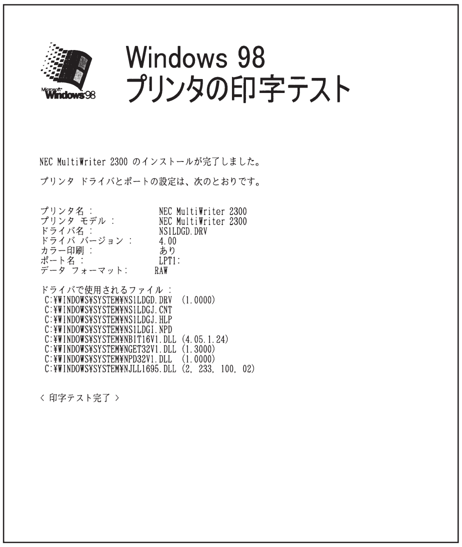


プリンタードライバーがインストールされます。

⓭ [キャンセル]をクリックする。



この後テストページを印刷する場合は、プリンターのプロパティの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。テストページが印刷されます。


Windows 98
プリンタの印字テスト

NEC MultiWriter 2300 のインストールが完了しました。

プリンタ ドライバとポートの設定は、次のとおりです。

プリンタ名 :	NEC MultiWriter 2300
プリンタ モデル :	NEC MultiWriter 2300
ドライバ名 :	NS1LDGD.DRV
ドライバ バージョン :	4.00
カラー印刷 :	あり
ポート名 :	LPT1:
データ フォーマット:	RAW

ドライバで使用されるファイル :
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NS1LDGD.DRV (1.0000)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NS1LDGJ.CNT
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NS1LDGJ.HLP
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NS1LDGI.NPD
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NBIT16V1.DLL (4.05.1.24)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NGET32V1.DLL (1.3000)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NPD32V1.DLL (1.0000)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥NJLL1695.DLL (2, 233, 100, 02)

< 印字テスト完了 >

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000　日本語版にプリンタードライバーのみをインストールする手順を説明します。

❶ **Windows 2000 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

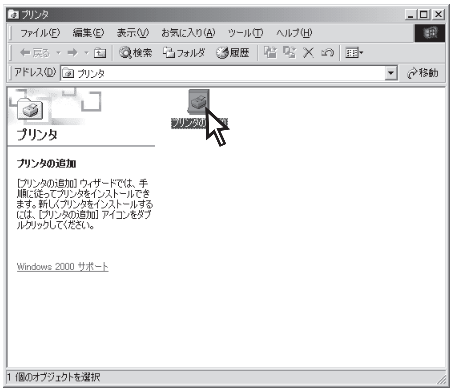
ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

❸ **[終了]をクリックする。**

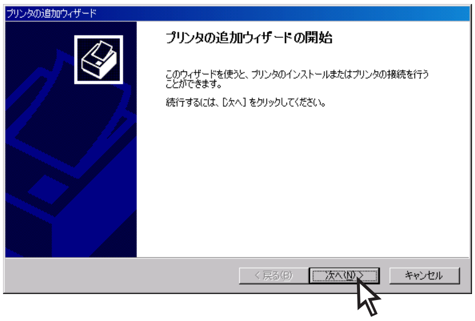


❹ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❺ **[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。**

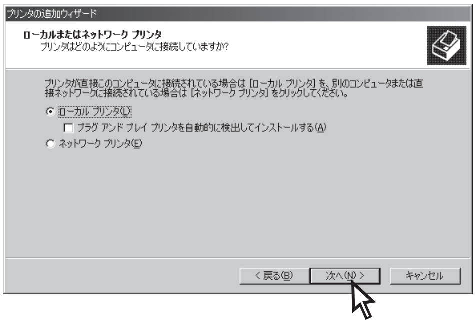


❻ **[次へ]をクリックする。**



❼ **プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。**

[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

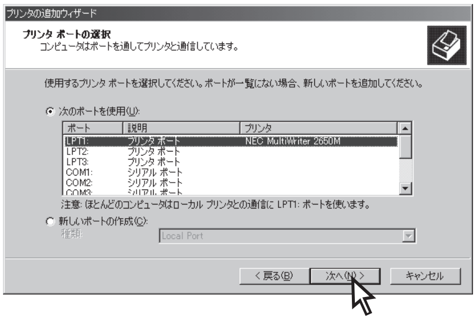


✔チェック

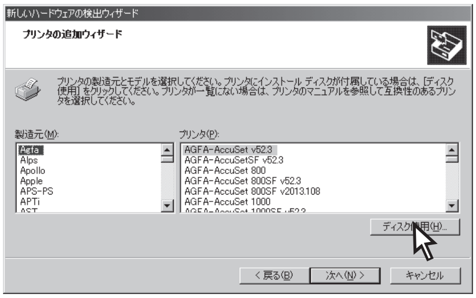
印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに変更するには、このままインストールを行った後、72ページを参照して印刷先を変更してください。

[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]を選んだ場合、プリンターの電源をONにするだけでコンピューターはプリンターを自動的に検出します。51ページの手順を参照してください。

❽ 使用するプリンタポートを選び、[次へ]をクリックします。

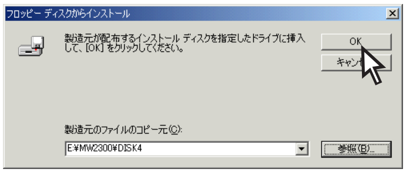


❾ [ディスク使用]をクリックする。

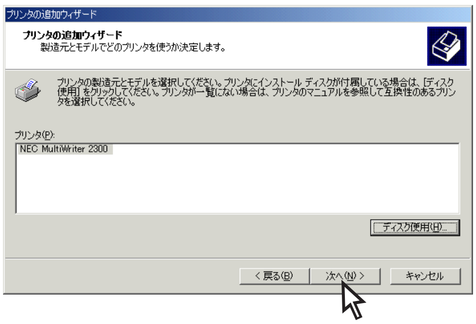


❿ [製造元のファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2300¥DISK4」と入力します。

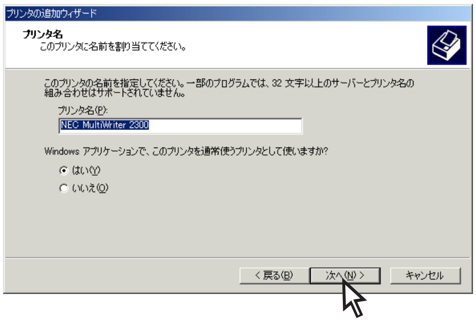


⓫ 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。

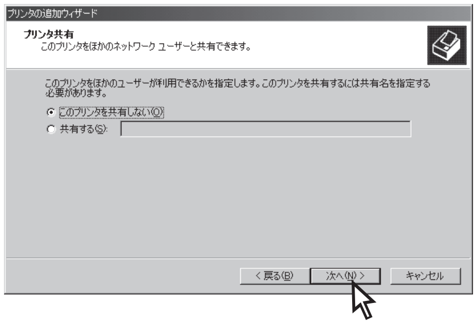


⓬ プリンターの名前を確認して[次へ]をクリックする。

すでに他のプリンタードライバーがインストールされている場合、通常使うプリンターとして使用するかしないかを選択してください。

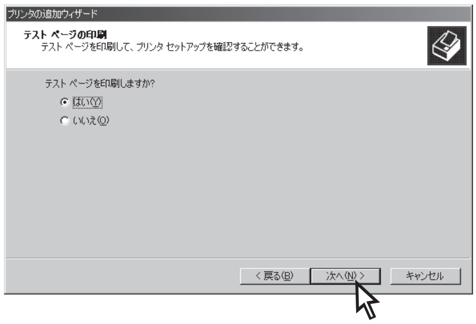


⓭ [このプリンタを共有しない]を選び、[次へ]をクリックする。

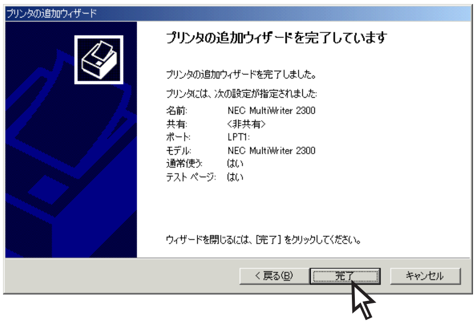


⓮ [テスト ページの印刷]で[はい]を選び、[次へ]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。



⑮ [完了]をクリックする。

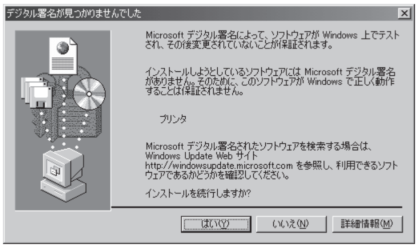


✔チェック

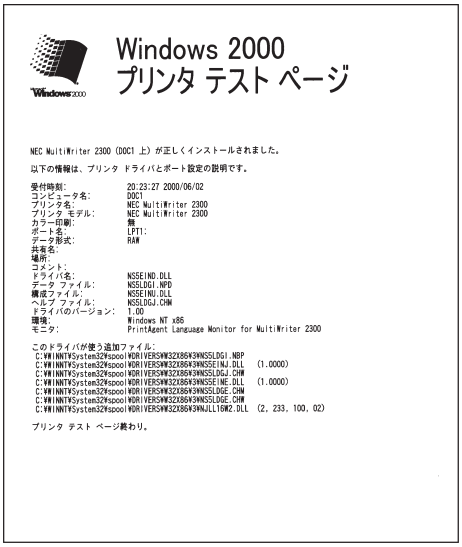
[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログが表示される場合があります。MultiWriter 2300/2100/210Sに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているMultiWriter 2300/2100/210Sのプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。



テストページが印刷されます。



Windows 2000
プリンタ テスト ページ

NEC MultiWriter 2300 (DOC1 上) が正しくインストールされました。

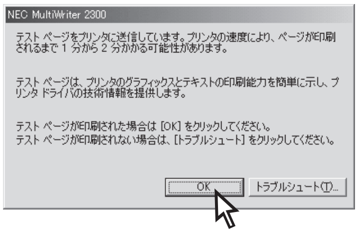
以下の情報は、プリンタ ドライバとポート設定の説明です。

受付時刻:	20:23:27 2000/06/02
コンピュータ名:	DOC1
プリンタ名:	NEC MultiWriter 2300
プリンタ モデル:	NEC MultiWriter 2300
カラー印刷:	無
ポート名:	LPT1:
データ形式:	RAW
共有名:	
場所:	
コメント:	
ドライバ名:	NS5EIND.DLL
データ ファイル:	NS5LDGI.NPD
構成ファイル:	NS5EINU.DLL
ヘルプ ファイル:	NS5LDGJ.CHM
ドライバのバージョン:	1.00
環境:	Windows NT x86
モニタ:	PrintAgent Language Monitor for MultiWriter 2300

このドライバが使う追加ファイル:
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥NS5LDGI.NBP
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥NS5EINJ.DLL (1.0000)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥NS5LDGJ.CHW
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥NS5EINE.DLL (1.0000)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥NS5LDGE.CHM
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥NS5LDGE.CHW
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥NJLL16W2.DLL (2, 233, 100, 02)

プリンタ テスト ページ終わり。

⑯ テストページが正しく印刷されたら、[OK]をクリックする。



Windows NT 4.0 日本語版

ここでは、Windows NT 4.0　日本語版にプリンタードライバーのみをインストールする手順を説明します。

❶ **Windows NT 4.0 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

ソフトウエアインストールのメニュー画面が表示されます。

❸ **[終了]をクリックする。**



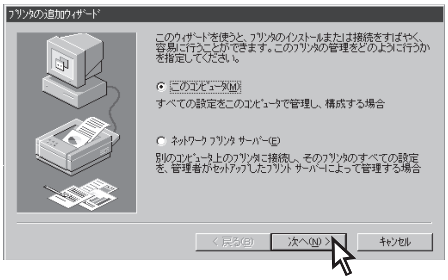
❹ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❺ **[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。**



❻ **[このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックする。**

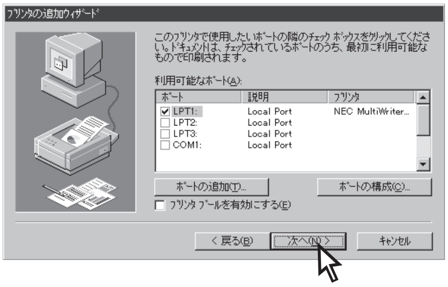
[ネットワークプリンタサーバー]を選択する場合は、OSの取扱説明書をご覧ください。



❼ **使用するポートをチェックして、[次へ]をクリックします。**

✔チェック

印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに変更するには、このままインストールを行った後、73ページを参照して印刷先を変更してください。

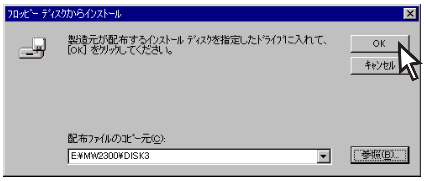


❽ **[ディスク使用]をクリックする。**

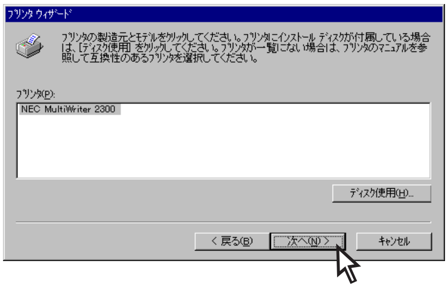


❾ [配付ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(：)、円記号(¥)に続けて「MW2300¥DISK3」と入力します。



❿ 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



⓫ プリンターの名前を確認して、[次へ]をクリックする。



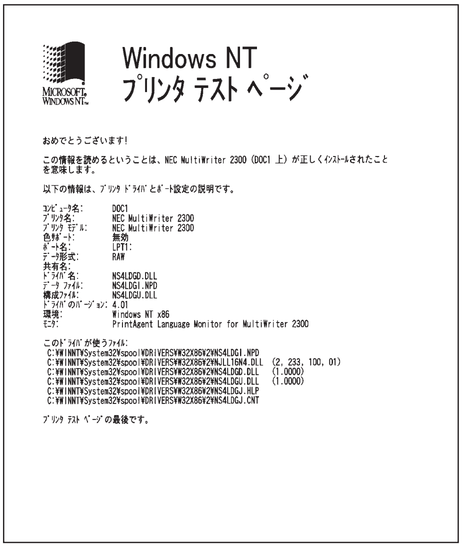
⓬ [次へ]をクリックする。



⓭ [完了]をクリックする。



テストページが印刷されます。


Windows NT
プリンタ テスト ページ

おめでとうございます!

この情報を読めるということは、NEC MultiWriter 2300 (DOC1 上) が正しくインストールされたことを意味します。

以下の情報は、プリンタ ドライバ とポート設定の説明です。

コンピュータ名:	DOC1
プリンタ名:	NEC MultiWriter 2300
プリンタ モデル:	NEC MultiWriter 2300
色サポート:	無効
ポート名:	LPT1:
データ形式:	RAW
共有名:	
ドライバ名:	NS4LDGD.DLL
データ ファイル:	NS4LDGI.NPD
構成ファイル:	NS4LDGU.DLL
ドライバのバージョン:	4.01
環境:	Windows NT x86
モニタ:	PrintAgent Language Monitor for MultiWriter 2300

このドライバが使うファイル:
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥NS4LDGI.NPD
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥NJLL16N4.DLL (2, 233, 100, 01)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥NS4LDGD.DLL (1.0000)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥NS4LDGU.DLL (1.0000)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥NS4LDGJ.HLP
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥NS4LDGJ.CNT

プリンタ テスト ページの最後です。

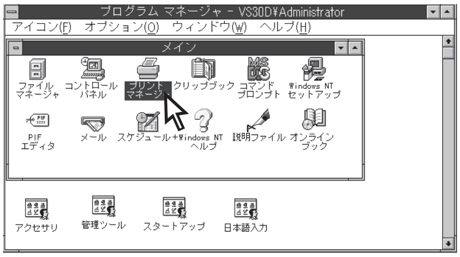
Windows NT 3.51 日本語版

ここでは、Windows NT 3.51　日本語版にプリンタードライバーのみをインストールする手順を説明します。

❶ **Windows NT 3.51 日本語版を起動する。**

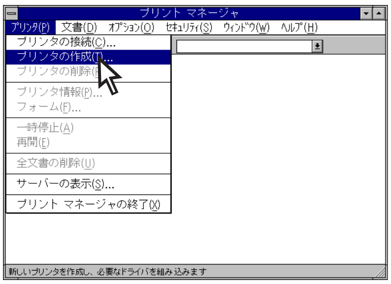
❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❸ **[プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。**

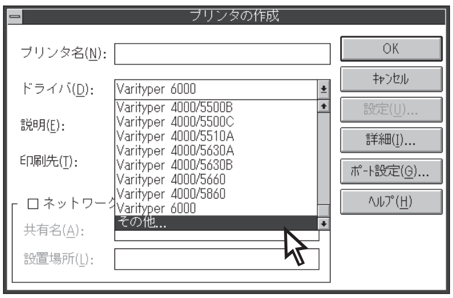


❹ **[プリンタ]メニューの[プリンタの作成]をクリックする。**

共有設定されているプリンターに接続する場合は、OSの取扱説明書をご覧ください。



❺ **[ドライバ]ボックスから、一番下の[その他]を選択する。**



❻ **パス名を入力し、[OK]をクリックする。**

ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(：)、円記号(￥)に続けて「MW2300¥DISK3」と入力します。



✔チェック

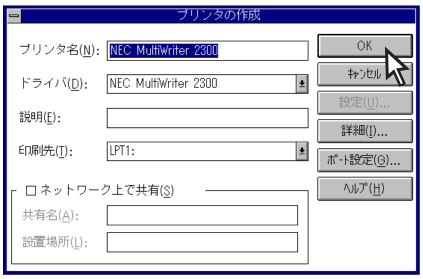
- MultiWriter 2100の場合、指定するディレクトリーは「￥MW2100¥DISK3」と入力してください。
- MultiWriter 210Sの場合、指定するディレクトリーは「￥MW210S¥DISK3」と入力してください。

❼ **使用するプリンターを選択して、[OK]をクリックする。**



プリンタードライバーがインストールされます。

❽ **[プリンタ名]を入力して、[OK]をクリックする。**



❾ **[OK]をクリックする。**

Windows 3.1 日本語版

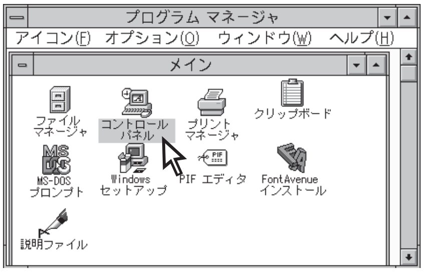
ここでは、Windows 3.1　日本語版にプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

❶ **Windows 3.1 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

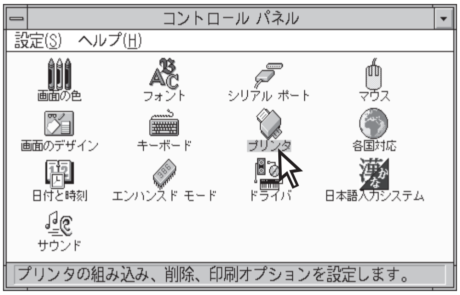
❸ **プログラムマネージャ中の[メイン]グループ内の[コントロールパネル]をダブルクリックする。**

[コントロールパネル]ダイアログが開きます。

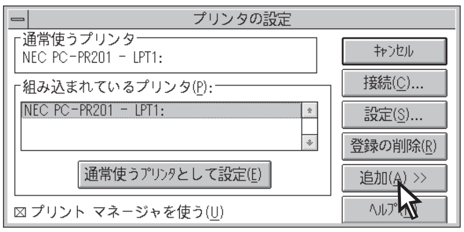


❹ **[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。**

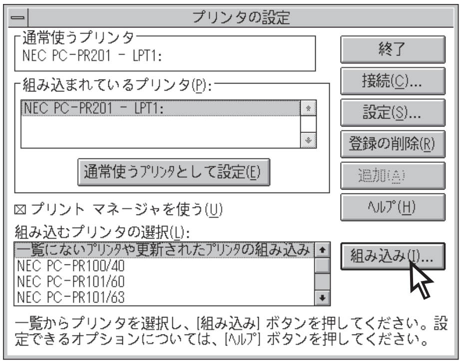
[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。



❺ **[追加]をクリックする。**



❻ **[組み込むプリンタの選択]一覧から[一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み]を選択し、[組み込み]をクリックする。**



[プリンタの組み込み]ダイアログボックスが表示されます。

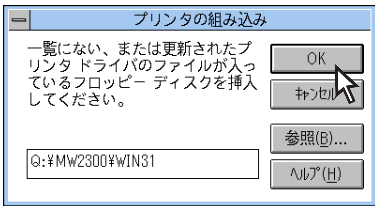
❼ **パスを指定する。**

テキストボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)に続けて「￥MW2300￥WIN31」と入力し、[OK]をクリックします。

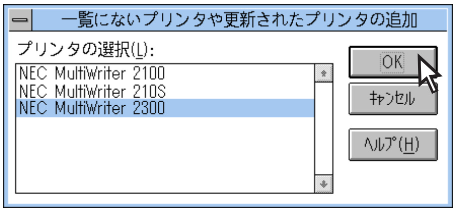
または[参照]をクリックしてCD-ROMを挿入したドライブを指定し、[ディレクトリ]の中から[MW2300]の下にある[WIN31]を指定し、[OK]をクリックします。

✔チェック

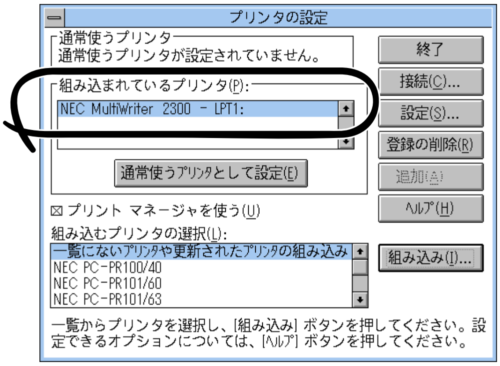
- MultiWriter 2100の場合、指定するディレクトリーは「￥MW2100￥WIN31」と入力してください。
- MultiWriter 210Sの場合、指定するディレクトリーは「￥MW210S￥WIN31」と入力してください。



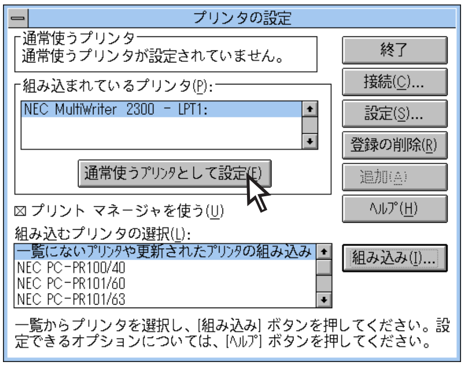
❽ [プリンタの選択]一覧から[NEC MultiWriter 2300]を選択し、[OK]をクリックする。



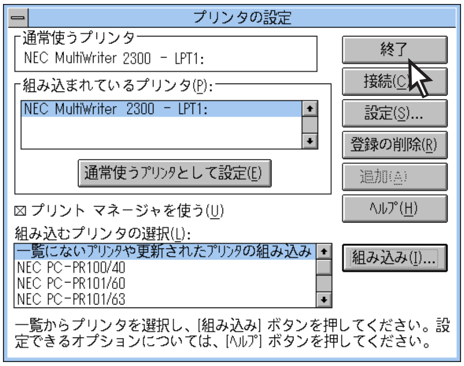
❾ [組み込まれているプリンタ]に[NEC MultiWriter 2300]が表示されていることを確認する。



❿ [通常使うプリンタとして設定]をクリックする。



⓫ [終了]をクリックする。



印刷先の変更

次に、LANボードまたはLANアダプターによってネットワークに接続されているプリンターの印刷先を変更する方法を説明します。NEC Network Port　およびNEC TCP/IP Printing System　を選択し、ポートを追加する場合にはセットアップブログラムでプリンタードライバーがインストールされている必要があります。

Windows 98/95　日本語版

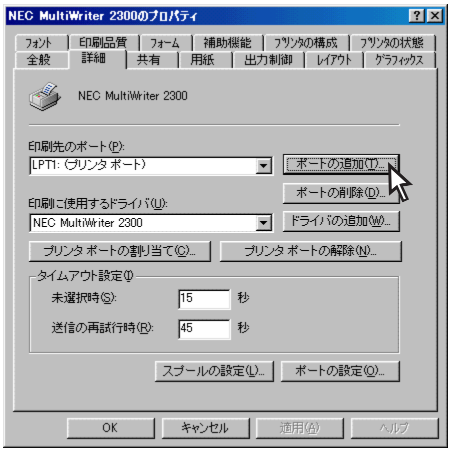
❶ **[MultiWriter 2300のプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの「NEC MultiWriter 2300」アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。(MultiWriter 2300の場合)

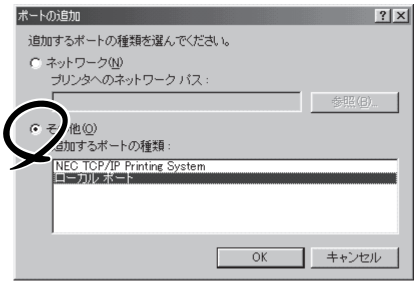


❷ **[詳細]タブをクリックする。**

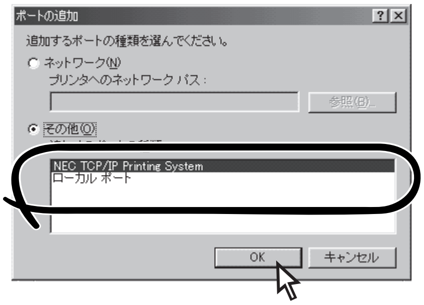
❸ **[ポートの追加]をクリックする。**



❹ **[その他]を選ぶ。**

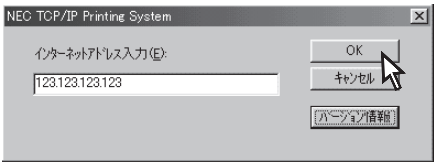


❺ **[NEC TCP/IP Printing System]を選んで、[OK]をクリックする。**



❻ **LANボードまたはLANアダプターの「インターネットアドレス」を入力し、[OK]をクリックする。**

インターネットアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❼ **[OK]をクリックする。**

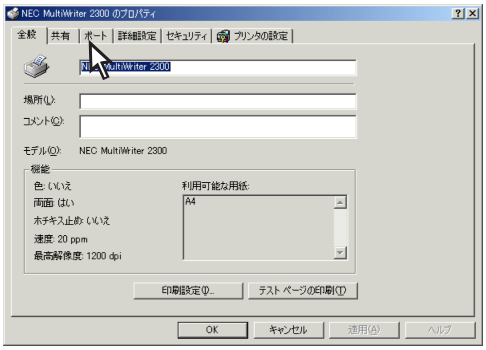
[MultiWriter 2300のプロパティ]のダイアログボックスを閉じます。

Windows 2000 日本語版

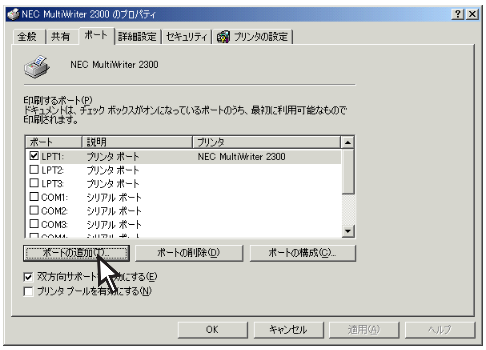
❶ **[MultiWriter 2300のプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[MultiWriter 2300]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

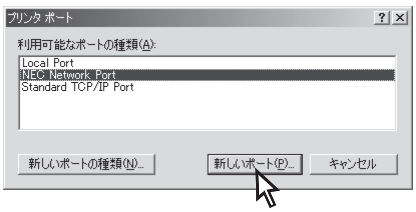
❷ **[ポート]タブをクリックする。**



❸ **[ポートの追加]をクリックする。**



❹ **[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。**



❺ **LANボードまたはLANアダプターの「インターネットアドレス」を入力し、[OK]をクリックする。**

インターネットアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❻ **[閉じる]をクリックする。**

[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。

❼ **[OK]をクリックする。**

Windows NT 4.0 日本語版

❶ **[MultiWriter 2300のプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの「NEC MultiWriter 2300」アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。(MultiWriter 2300の場合)

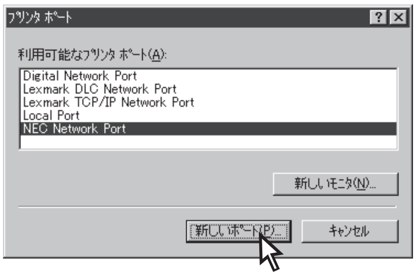


❷ **[ポート]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**



❹ **[NEC Network Port]を選んで、[新しいポート]をクリックする。**



❺ **LANボードまたはLANアダプターの「インターネットアドレス」を入力し、[OK]をクリックする。**

インターネットアドレス設定の確認は、LANボードまたはLANアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❻ **[閉じる]をクリックする。**

[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。

❼ **[OK]をクリックする。**

[MultiWriter 2300のプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときは、プリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除(アンインストール)してから行います。ここでは削除方法を説明します。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- MultiWriter 2300/2100/210Sが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

Windows 98/95 日本語版

❶ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC MultiWriter 2300]アイコンをクリックする。(MultiWriter 2300の場合)**

❸ **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**



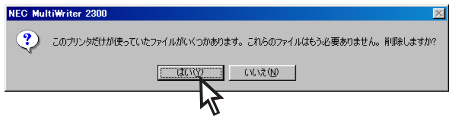
❹ **[はい]をクリックする。**

MultiWriter 2300のプリンタードライバーが削除されます。(MultiWriter 2300の場合)



チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



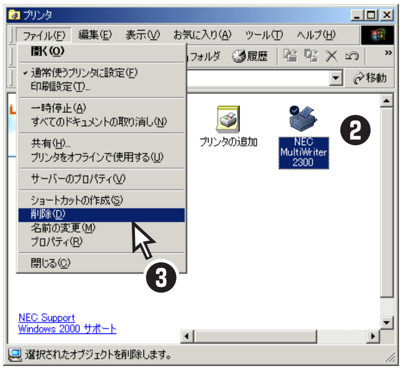
Windows 2000 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 2300]アイコンをクリックする。（MultiWriter 2300の場合）

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



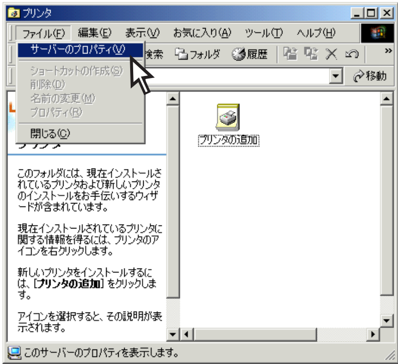
❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2300のプリンタードライバーが削除されます。（MultiWriter 2300の場合）



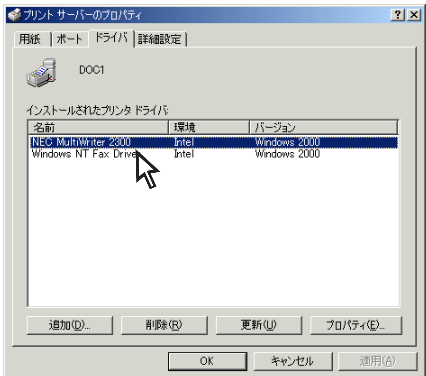
❺ [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。



❻ [ドライバ]タブをクリックする。

❼ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 2300]をクリックする。



❽ [削除]をクリックする。



❾ [はい]をクリックする。



チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順❺からやり直してドライバーを削除してください。



❿ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 2300]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。



Windows NT 4.0 日本語版

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ 「NEC MultiWriter 2300」アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。



❹ ［はい］をクリックする。

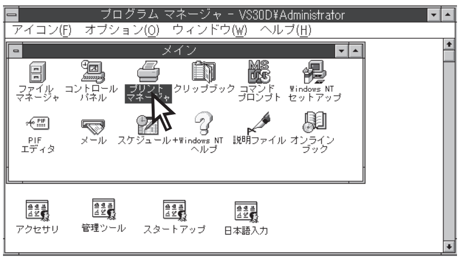
MultiWriter 2300のプリンタードライバーが削除されます。



Windows NT 3.51 日本語版

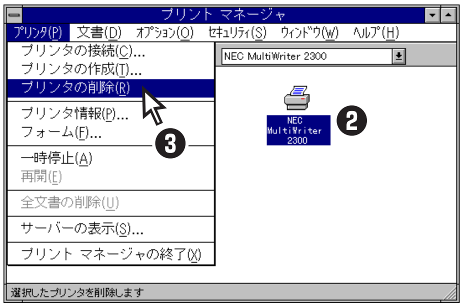
❶ ［プログラムマネージャ］の［メイン］グループから［プリントマネージャ］をダブルクリックする。

［プリントマネージャ］ウィンドウが表示されます。



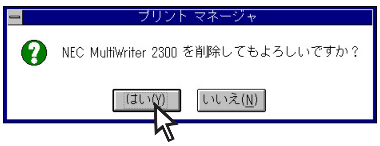
❷ ［MultiWriter 2300］アイコンをクリックする。

❸ ［プリンタ］メニューの［プリンタの削除］をクリックする。



❹ ［はい］をクリックする。

MultiWriter 2300のプリンタードライバーが削除されます。



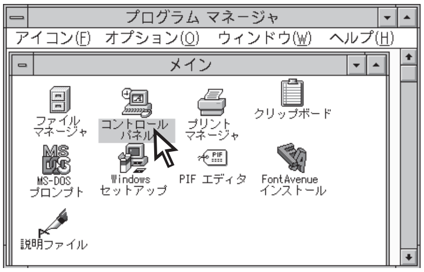
Windows 3.1 日本語版

重要

MultiWriter 2300が通常使うプリンターに設定されている場合は、すべてのアプリケーションを終了してから削除を行ってください。

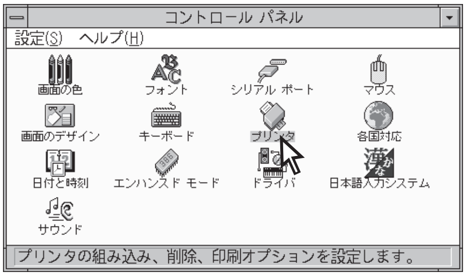
❶ **[プログラムマネージャ]の[メイン]ウィンドウ内の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする。**

[コントロールパネル]フォルダーが開きます。

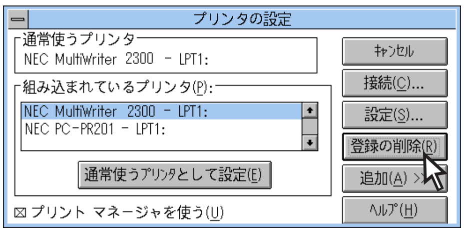


❷ **[コントロールパネル]内の[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。**

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

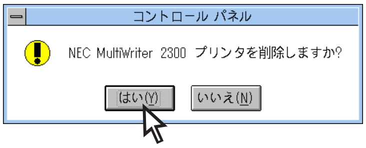


❸ **[組み込まれているプリンタ]リストボックス内の[NEC MultiWriter 2300]を選んで、[登録の削除]ボタンをクリックする。**



❹ **[はい]をクリックする。**

これでMultiWriter 2300プリンタードライバーが削除されます。



PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 2300/2100/210S　　のプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。
ここではPrintAgent　の追加と削除方法について、OS 別に説明します。

重要

- インストールプログラムを実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- すでに他のMultiWriterをお使いの場合

  すでに他のMultiWriterのプリンターソフトウエアをインストールしてお使いの場合、そのソフトウエアを削除しないと正常に動作しなくなる場合があります。詳しくは「PrintAgentを正しく動作させるために」(242ページ)をご覧ください。
- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのフォルダー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)を変更している場合、ソフトウエアの削除は正常に行えません。変更されているフォルダー名をインストール時のフォルダー名に戻してからソフトウエアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウエアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 2300/2100/210Sが印刷中の場合は、PrintAgentの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態でMultiWriter 2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また、MultiWriter 2200XのPrintAgentをアンインストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合は、まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから、MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

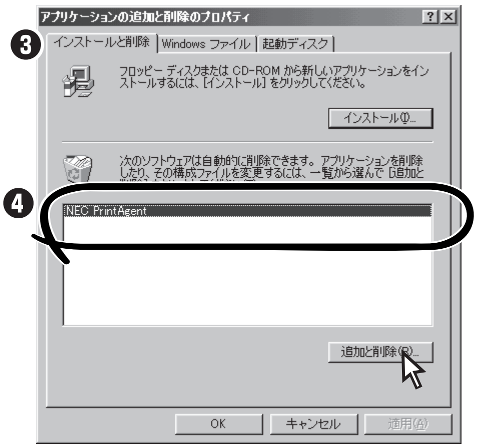
Windows 98/95の場合

❶ [コントロールパネル]フォルダーを開く。

❷ [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

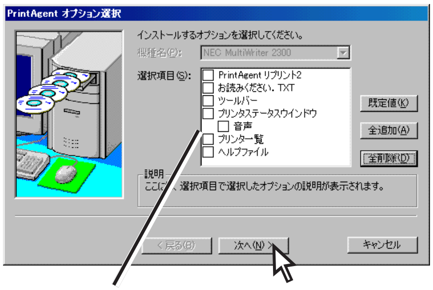
❸ [インストールと削除]シートを開く。

❹ 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。



❺ 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。



管理者向けカスタムインストールを行った方は選択できるオプションが異なります。

✔チェック

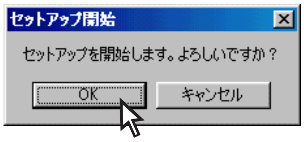
- MultiWriter 2050など他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❻ [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



❼ [OK]をクリックする。



❽ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❾ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

Windows 2000の場合

❶ ［コントロールパネル］フォルダーを開く。

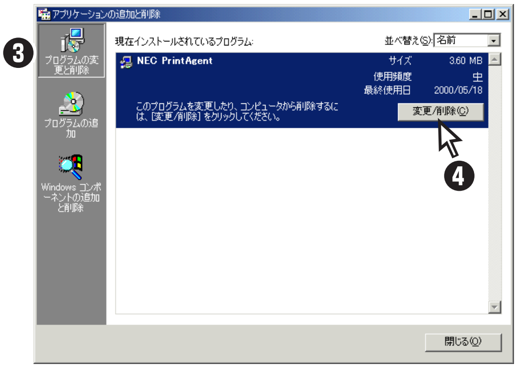
❷ ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。



❸ 左側の［機能選択］バーから［プログラムの変更と削除］をクリックする。

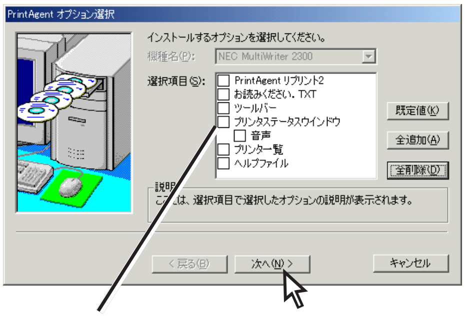
❹ ［NEC PrintAgent］を選んで、［変更/削除］をクリックする。

PrintAgentオプション選択ダイアログが表示されます。



❺ 対象機種を選択してからチェックを変更し、［次へ］をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。



管理者向けカスタムインストールを行った方は選択できるオプションが異なります。

✔チェック

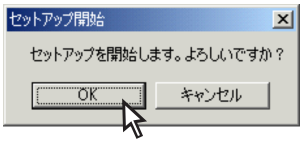
- MultiWriter 2050など他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❻ **変更する項目を確認して、[完了]をクリックする。**

> パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



❼ **[OK]をクリックする。**



❽ **追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❾ **すべてのオプションを削除した場合は、[現在インストールされているプログラム]から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。**

Windows NT 4.0の場合

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

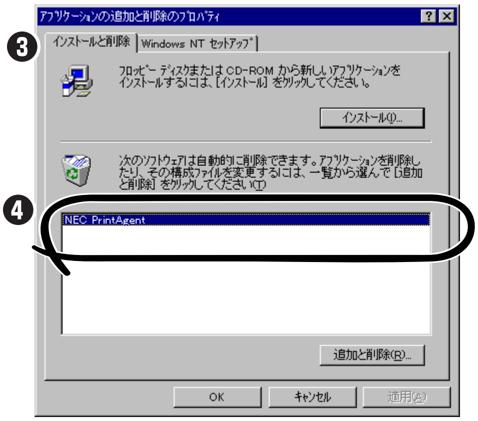
❷ **[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❸ **[インストールと削除]シートを開く。**

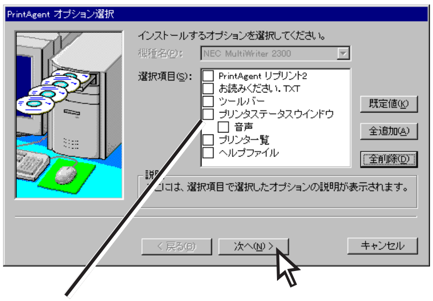
❹ **自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。**

PrintAgentオプション選択ダイアログが表示されます。



❺ **対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。**

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。



管理者向けカスタムインストールを行った方は選択できるオプションが異なります。

✔チェック

- MultiWriter 2050など他のプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

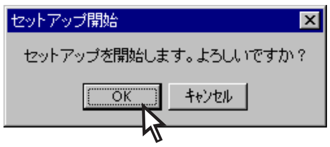
---

❻ **[完了]をクリックする。**

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



❼ **[OK]をクリックする。**



❽ **追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❾ **すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。**

その他のOS環境

Windows NT 3.5 日本語版/日本語MS-DOS環境

ここではWindows NT 3.5　日本語版、日本語MS-DOS 環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

＜Windows NT 3.5 環境で使用する場合＞
OSにバンドル(添付)されているドライバーを次の表に示す優先順位で指定してください。

＜MS-DOS環境で使用する場合＞
使用するアプリケーション上でプリンターの名称を「NEC MultiWriter 2300」、「NEC MultiWriter 2100」、あるいは「MultiWriter 210S」に指定してください。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。

チェック

MS-DOS用アプリケーションのプリンター設定によってはMultiWriter 2300/2100/210Sの機能の一部が使用できないことがあります。

優先順位	プリンター名称	動作モード*3
1	MultiWriter 2650M/2250H	ページプリンター（もしくは、レーザープリンター）
2	MultiWriter 2650/2650E/2250	
3	MultiWriter 2050	
4	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
5	MultiWriter 2200X	
6	MultiWriter 2000X	
7	MultiWriter 2000FW	
8	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
9	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
10	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
11	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
12	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4あるいはNPDL Level 2	
13	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
14	PC-PR2000あるいはNPDL	
15	PC-PR602R*1, *2、PC-PR602*1, *2、PC-PR601*1, *2	
16	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL	201PLエミュレーション
17	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	
18	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
19	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター（PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など）	

*1　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。
*2　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を優先順位の12、13または15の機種に変更してください。
*3　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード(お買い上げ時の設定)のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS 環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについてはユーザーズマニュアルの120 ～126 ページに、各設定項目についてはプリンターソフトウエアCD-ROM のオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201 系あるいは101 系プリンターを選択した場合は、アプリケーションとMultiWriter 2300/2100/210S を次のような設定にするのが標準的です。

ソフトウエア： シートフィーダー付き、単票(カット紙)、連続送り
プリンター： 201PL エミュレーションモード、136 桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS 環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS 環境で印刷する場合はメニューモードおよび操作パネルの両面スイッチにより設定します。

両面印刷の設定

MS-DOS アプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、32MB 以上のメモリーの増設をおすすめいたします。
MultiWriter 210S の場合は、両面印刷機能はありません。

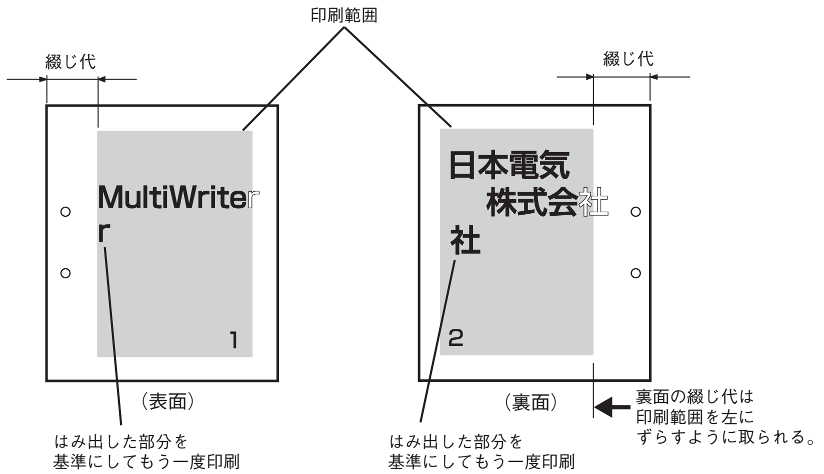
両面印刷のために必要な設定項目

メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー ー 表面微調整 ー 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: +3.9 ～ -3.9ミリ LM: +3.9 ～ -3.9ミリ
両面印刷メニュー ー 初期設定ON ー 初期設定OFF	ー
両面印刷メニュー ー とじしろロング1 ー とじしろショート1 ー とじしろロング2 ー とじしろショート2	添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0 ～ 20ミリ
両面印刷メニュー ー クリップON ー クリップOFF	余白を多くとりすぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。

クリッピング機能について

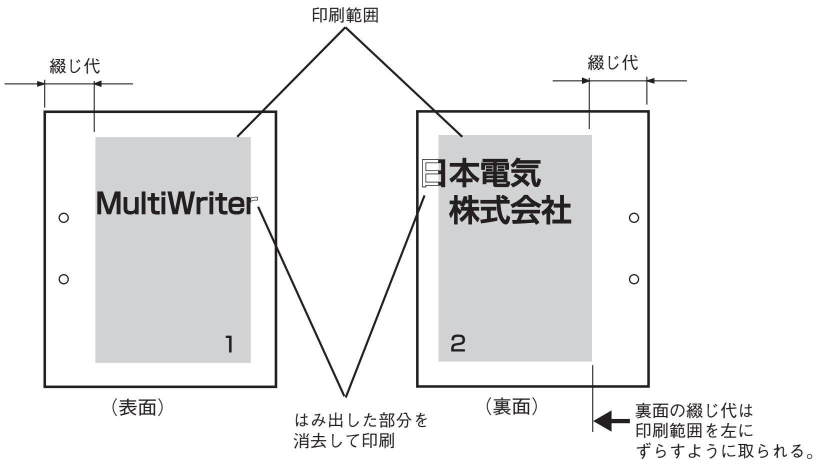
余白(とじしろ)を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次のページに印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのページを印刷するかを選択します。クリッピング機能は両面印刷時にのみ有効で、メニューモードで設定します。(114 ページ参照)

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次のページに引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1ページずつずれることになります。(アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります)。



クリッピングOFF(チェックしていない)の場合

- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。



クリッピングON(チェックしている)の場合

PC-PTOS環境でプリンターを選択する

MultiWriter 2300/2100/210S　は、PC-9800 シリーズのPTOS インストールモデルなどのPC-PTOS に対応しています。PC-PTOS で同期コード制御を行うアプリケーションを使用する場合はメモリースイッチ5-1 を有効にする必要があります。次の手順でプリンターを選択してください。

チェック

アプリケーションが同期コード制御を行っているかどうかは、アプリケーションの製造元に確認してください。

❶ プリンターのメニューモードでメモリースイッチ5-1「同期コードの有効／無効の切り替え」を「有効（ON）」にする。

本メモリースイッチでは背面2つのインターフェースの同期コードが変更されますが、以下のメモリースイッチにより、別々に設定することもできます。

＜[インタフェース1]コネクターに接続の場合＞
メモリースイッチ9-1「同期コード無効/有効の切り替え[インタフェース1]」を「有効（ON）」に設定します。

＜[インタフェース2]コネクターに接続の場合＞
メモリースイッチ9-2「同期コード無効/有効の切り替え[インタフェース2]」を「有効（ON）」に設定します。

チェック

このスイッチをONにしないとPC-PTOSとの同期が取れないため、アプリケーションによっては用紙切れ、紙づまり等の処理が正常に行えない場合があります。

なお、このスイッチをONにしたままでもMS-DOS、Windows等の他のOSからの印刷は可能ですがOFFに比べて性能が若干低下する場合があります。

❷ OSの設定で「PC-PR2200NW2」を指定する。

PC-PTOS VER.2.4よりも前のバージョンで使用する場合には「PTOS IV プリンタOS支援パッケージPX」が必要です。

制御コード、文字コード、印刷範囲等については「PC-PR PTOS入出力装置説明書」をご覧ください。（PC-PTOS出入力装置説明書の入手については、PC-PTOS関連商品取り扱い店にお問い合わせください。）

重要

- PC-PTOSから使用する場合、MultiWriter 2300/2100/210SはNPDLモードの拡張モードである「PTOS対応モード」で動作します。このモード切り替えは、PTOSが自動的に行いますので切り替えのための操作は必要ありません。
- プリンターのモード切り替えは自動的に行われますが、使い方によってこの切り替えが正しく行われないときがあります。PC-PTOSでお使いの場合は下記の点にご注意ください。
  - プリンターケーブルは指定のものを使用してください。正しいプリンターケーブルを使用していない場合、モードの切り替えが正しく行われないことがあります。
  - 上位装置とプリンターの間にプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンターネットワーク等を接続していると、モードの切り替えが正しく行われません。上位装置とプリンターは指定のケーブルで直接接続してください。
  - 一部の上位装置で本体およびプリンターの電源を入れたままOSの変更を行うとプリンターのモードの切り替えが正しく行われないことがあります。この場合はプリンターの電源を入れ直すか、プリンターの操作パネルからリセット操作([シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押す)を行うと復旧させることができます。
  - MultiWriter 2300/2100/210SはNPDL、ESC/Pの各言語をサポートしています。「PTOS対応モード」への自動切り替えが可能ですが、PC-PTOSから使用する場合はそのインターフェースにはNPDLを設定しておいてください。詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。
- プリンターへのデータ送信の速度が速すぎて、PC-PTOSからのデータ受信が間に合わなくなり、印刷が正常に行われない場合があります。このような場合は、データストローブのデータラッチタイミング(メモリースイッチ7-1、7-2)を後縁ラッチに変更したり、アクノリッジの幅(メモリースイッチ8-3、8-4、8-7、8-8)を広げてください。詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。
- 両面印刷はアプリケーションによっては正しく印刷されない場合があります。
- プリンターのメニューモードの「I／Fセッテイメニュー」で「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」または「ナシ」に設定してください。設定の変更を行った場合はプリンターの電源の再投入が必要です。

ESC/Pエミュレーションでプリンターを選択する

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/P エミュレーションとNPDL エミュレーションを切り替えることができます。

ESC/P エミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

チェック

“ドウサジドウキリカエ”は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、“ドウサエミュレーション”で設定し直してください。

❶ メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させせます。

❷ 操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“ESC/P”に設定する。

詳しくは、「メニューツリー」を120～126ページを参照してください。

❸ [メニュー終了]スイッチを押す。

```
ホッパ°      A4ヨコ ポ°ート
                  ESC/P
```

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ホッパ°      A4ヨコ ランド゛
                  ESC/P
```

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

❹ 設定が終わったら、アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンタを指定する。

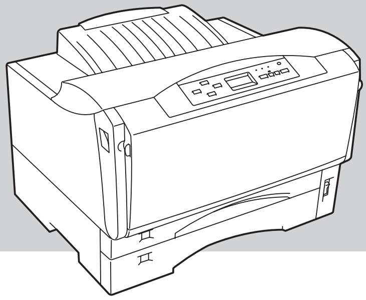
セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを115ページ～119ページにまとめてあります。参照してください。

（空白ページ）

3章
用紙のセット

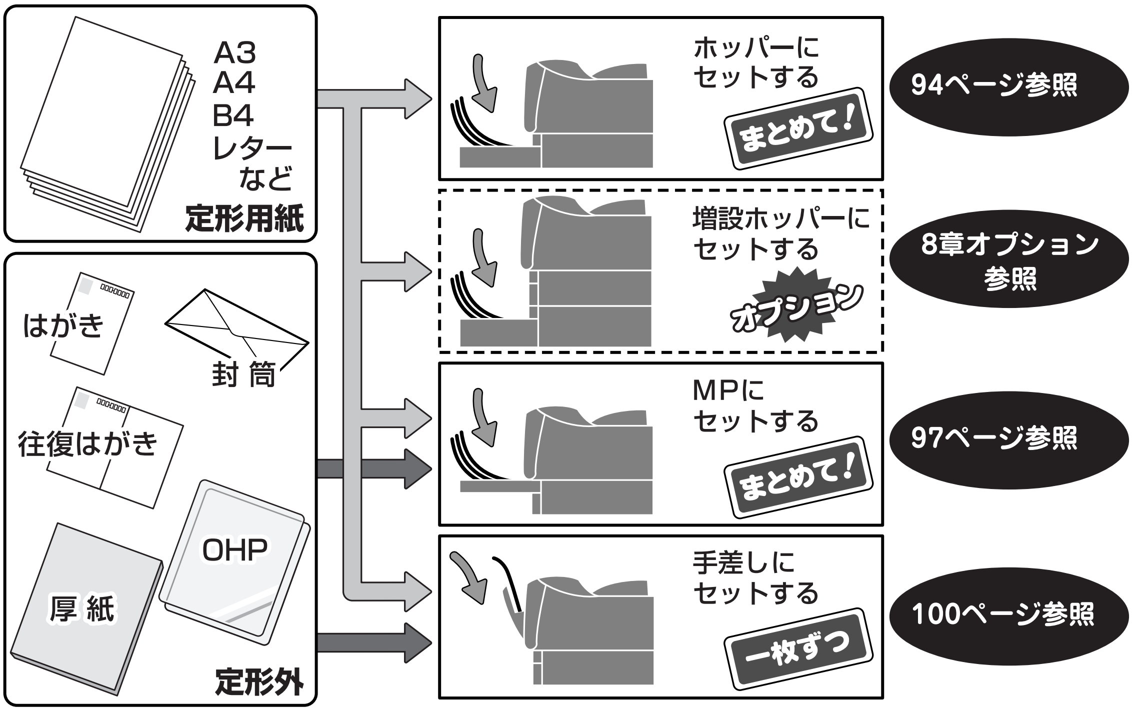


この章では、MultiWriter 2300/2100/210Sで使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

MultiWriter 2300/2100/210Sは豊富な給紙機構(ホッパー、MP、および手差し*)をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

* MultiWriter 2300/2100のみ対応しています。

ホッパー、MP、増設ホッパーに用紙をセットすると、自動的に給紙先を切り替えるリレー給紙機能がご利用できます。大量給紙するのに便利な機能です。設定手順については4章の「リレー給紙の設定」(127ページ)をご覧ください。



用紙について

ここではMultiWriter 2300/2100/210Sで使用できる用紙について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

用紙の規格、印刷範囲については「付録　技術情報」(289ページ)を参照してください。

MultiWriter 2300/2100で使用できる用紙

MultiWriter 2300/2100で使用できる用紙の種類とサイズは以下の表のとおりです。

給紙先	使用できる用紙種別	
	片面印刷	両面印刷
ホッパー	普通紙（250枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター ラベル紙（30枚） A4、B4	普通紙（250枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター
MP	普通紙（100枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター ラベル紙（30枚） A4、B4 はがき、往復はがき（30枚） OHPフィルム（30枚） 封筒（洋形4号）（10枚） 厚紙* 定形外用紙	普通紙（100枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター
手差し	普通紙 A3、B4、A4、B5、A5、レター ラベル紙 A4、B4 はがき、往復はがき OHPフィルム 封筒（洋形4号） 厚紙* 定形外用紙	普通紙 A3、B4、A4、B5、A5、レター
増設ホッパ（250）	普通紙（250枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター	普通紙（250枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター
増設ホッパ（500）	普通紙（500枚） A3、B4、A4、レター	普通紙（500枚） A3、B4、A4、レター

*　坪量81.4g/m^2～128g/m^2(連量70～110kg)の用紙です。

✔チェック

普通紙(定形用紙)以外の用紙は両面印刷できません。

MultiWriter 210Sで使用できる用紙

MultiWriter 210Sで使用できる用紙の種類とサイズは以下の表のとおりです。

給紙先	使用できる用紙種別
ホッパー	普通紙（250枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター ラベル紙（30枚） A4、B4
MP	普通紙（100枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター ラベル紙（30枚） A4、B4 はがき、往復はがき（30枚） OHPフィルム（30枚） 封筒（洋形4号）（10枚） 厚紙* 定形外用紙
増設ホッパ（250）	普通紙（250枚） A3、B4、A4、B5、A5、レター
増設ホッパ（500）	普通紙（500枚） A3、B4、A4、レター

* 坪量81.4g/m^2～128g/m^2（連量70～110kg）の用紙です。

用紙についての注意事項

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏移り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、濡れている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いている、などの用紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - のりが付いている封筒
  - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
  - 次のような状態のラベル紙
    台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
  - すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙や、いわゆる裏紙も含む）
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

ホッパーに用紙をセットする

ホッパーから印刷するには、標準カセットに用紙をセットします。用紙は普通紙の坪量64.0g/m²(連量55kg)なら250枚までセットできます。

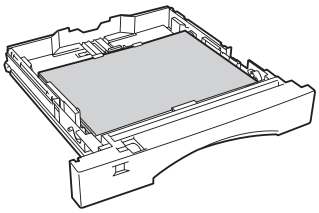
用紙のセット方向

A4サイズの用紙は横置き、縦置きどちらの方向でもセットできます。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙は次の4種類です。

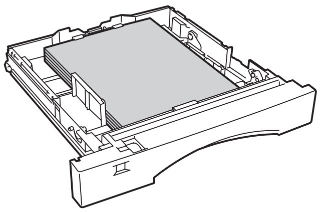
B5、A5、A4、レター



縦置き

右図のように縦置きにセットできる用紙は次の3種類です。

A3、B4、A4

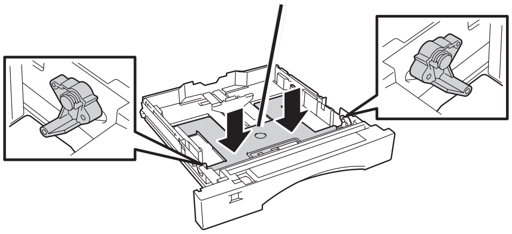


重要

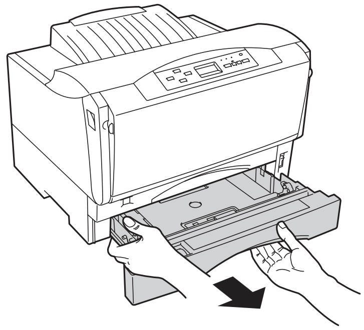
- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をホッパーにセットしないでください。
  一度印刷された用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。
- 標準カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

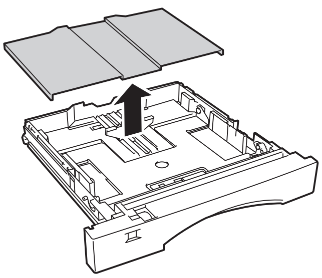
- 標準カセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、標準カセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。



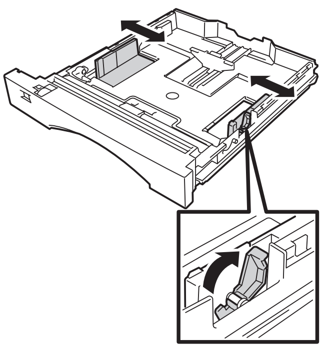
❶ **標準カセットを両手でゆっくりと取り外す。**



❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

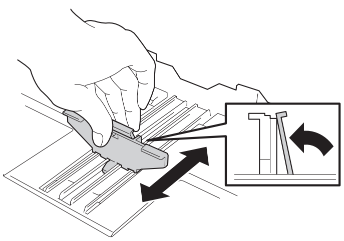


❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**



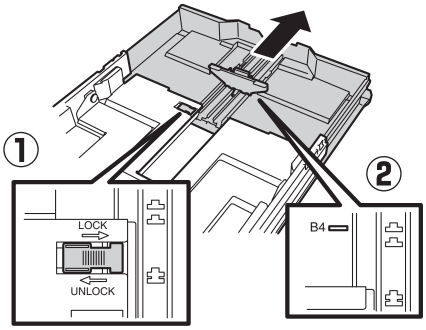
❹ **エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。**

＜B5、A5、A4、レターサイズの場合＞
エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。



＜B4、A3サイズの場合＞

① スライドカセットロックを左に動かし“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。
② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。

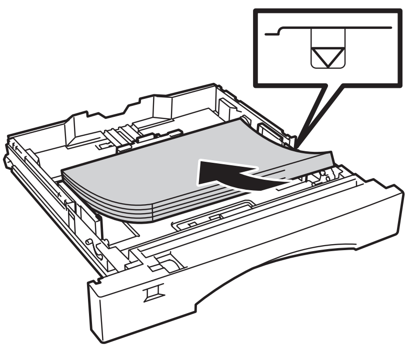


❺ **印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。**

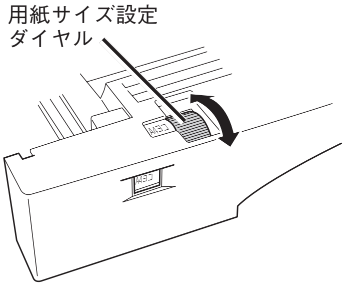
用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

✔チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▼)を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。



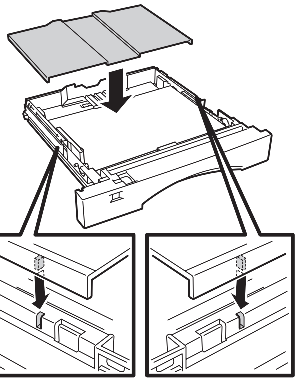
❻ 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせる。



重要

セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙のサイズと用紙設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因となる場合があります。

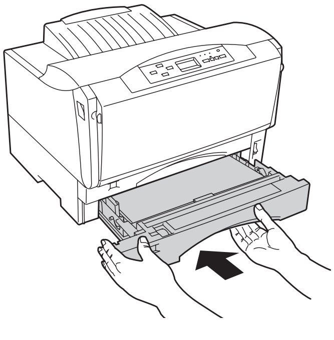
❼ カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。



❽ 標準カセットを両手でゆっくり取り付ける。

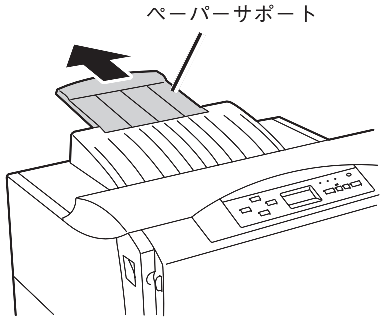
重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

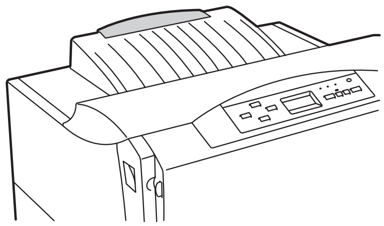


❾ ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。



A3、B4サイズ以外の場合は、そのままお使いください。



残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなどがつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

MPに用紙をセットする

MPとは「マルチパーパス」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる用紙機構のことを指します。MPから印刷するには、MPカセットに用紙をセットします。MPカセットには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

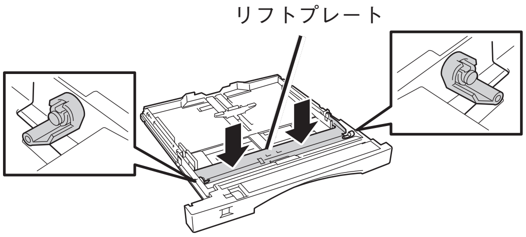
MPカセットの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙は約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。
厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」—「ヨウシシュベツ」—「MP　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は120～126ページのメニューツリーを参照してください。厚紙は坪量81.4g/m²～128.0g/m²(連量70kg～110kg)までセットすることができます。

重要

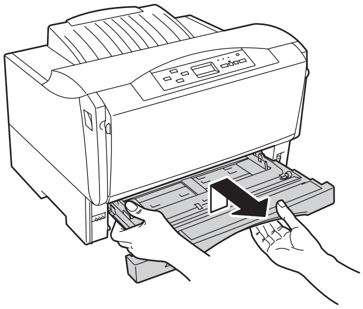
- MPカセットにセットする用紙は両面とも印刷していない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をMPカセットにセットすることはできません。一度印刷された用紙をセットし、その用紙の裏に印刷しようとすると給紙できない、紙づまりになるなど、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- MPカセットにレターサイズ、はがき、往復はがき、および封筒をセットした時は、MPカセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章　操作パネルについて」(105ページ)を参照して、[MP]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。
- MPカセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

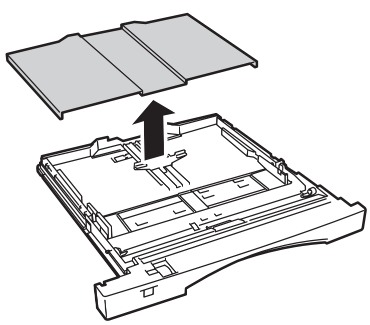
- MPカセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、MPカセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。



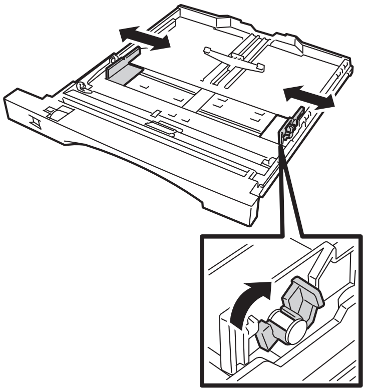
❶ **MPカセットを両手でゆっくりと取り外す。**



❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

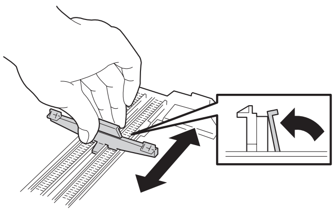


❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**



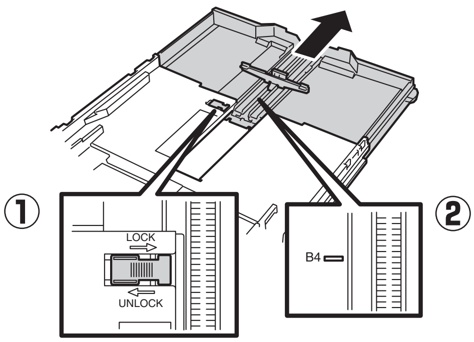
❹ **エンドガイドを使用する用紙サイズに合わせる。**

<B5、A5、A4、レターサイズの場合>
エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。



<B4、A3サイズの場合>

① スライドカセットロックを左に動かしに“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。
② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。



❺ **印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。**

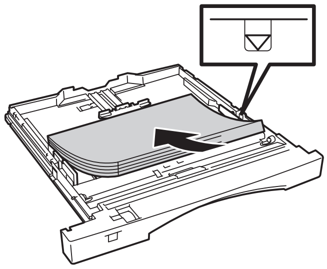
A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズ、OHPフィルム、往復はがきは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットすることができます。

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

✔チェック

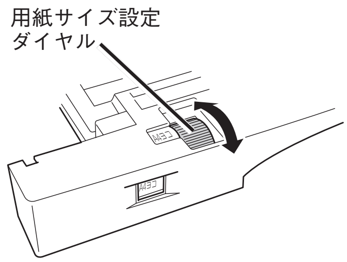
- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙はエンドガイドの最大積載表示(▼)を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。



❻ **用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに設定する。**

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。はがき、往復はがき、封筒、レター、定形外用紙をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「＊」に設定してください。
セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

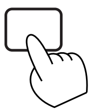


❼ **はがき、往復はがき、封筒、レターサイズをセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する。**

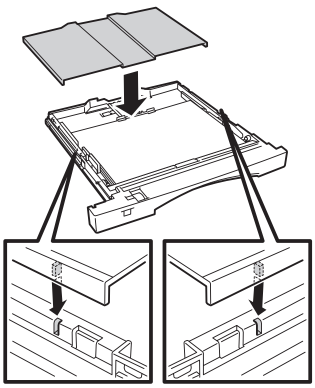
操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[MP]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。(操作パネルの詳細については105ページをご覧ください。)

チェック

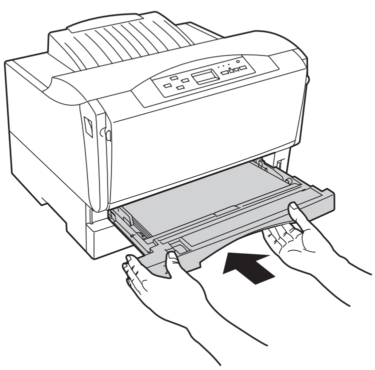
用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「＊」に設定していないと、[MP]スイッチによる用紙サイズ設定はできません。



❽ **用紙カセットカバーをMPカセットの溝に合わせて取り付ける。**



❾ **MPカセットを両手でゆっくり取り付ける。**

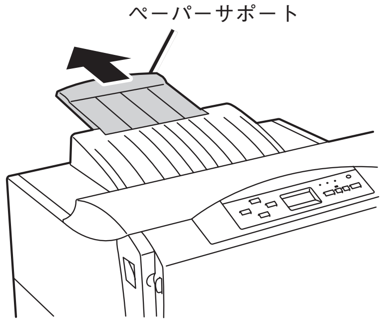


重要

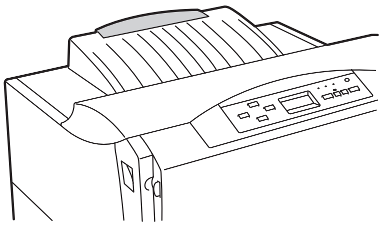
用紙をセットし終えたMPカセットは、重くなっています。取り付ける際はMPカセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

❿ **ペーパーサポートを引き出す。**

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。



A3、B4サイズ以外の場合、そのままお使いください。



残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなどがつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

3 用紙のセット

手差しに用紙をセットする

MultiWriter 2300/2100では手差しに普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙を一枚ずつセットすることができます。

厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」—「ヨウシシュベツ」—「テサシ　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は120～126ページのメニューツリーを参照してください。

⚠ 注意

- 手差しに用紙以外の物や、手を載せないでください。手差しが破損する原因となるおそれがあります。
- 手差しから印刷しないときは、必ずフロントカバーを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障の原因となるおそれがあります。

重要

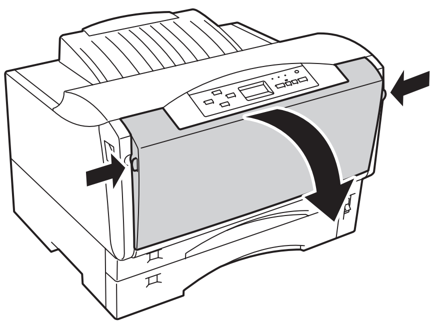
- 手差しにセットする用紙は両面とも印刷していない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙を手差しにセットすることはできません。一度印刷された用紙をセットし、その用紙の裏に印刷しようとすると給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
- 手差しに用紙をセットした時は、手差しの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章　操作パネルについて」(113ページ)を参照して、[手差し]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。

❶ フロントカバーを開く。

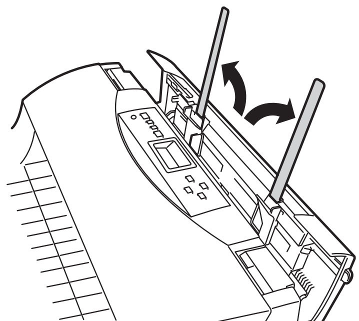
左右のフロントカバー開閉ボタンを押しながら、ゆっくり手前に引きます。

重要

フロントカバーは二段階に開閉します。手差しを使用する場合は、手前に一段開けてください。大きく二段階に開けると「カバーオープン」アラームとなります。また、印刷中にフロントカバーを大きく二段階に開けると紙づまりの原因となります。

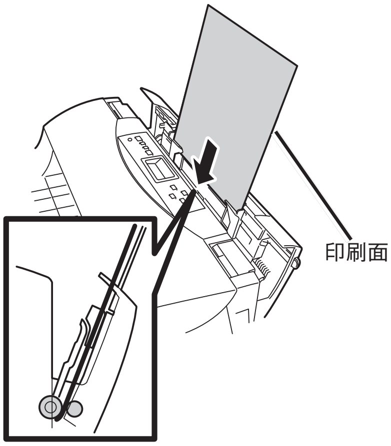


❷ 左右の手差し用紙サポートを開く。



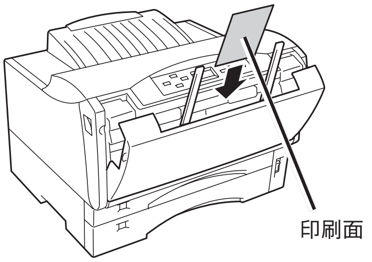
❸ 印刷したい面を手前にして、用紙を手差し用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。

A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。
A4サイズ、往復はがきは縦置き、横置きどちらでもセットできます。

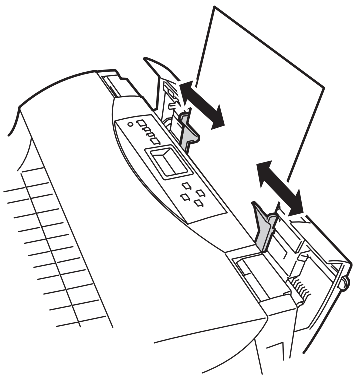


チェック

手差しに用紙をセットするする際には、印刷する面を手前にしてください。



❹ セットした用紙に手差し用紙ガイドを合わせる。



❺ 操作パネルでセットした用紙サイズを設定する。

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[シフト]スイッチを押しながら、[手差し]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。（操作パネルの詳細については105ページをご覧ください。）



[シフト]スイッチを押しながら[手差し]スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。

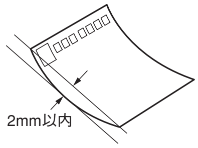
「A4ヨコ→A4タテ→A5→B4→B5→LT→ハガキ→ハガキ2ヨコ→ハガキ2タテ→フウトウ→A3」

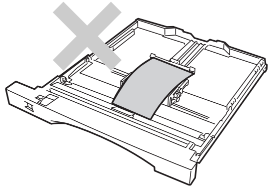
はがき、往復はがきをセットするときの注意

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でMPカセットや手差しにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

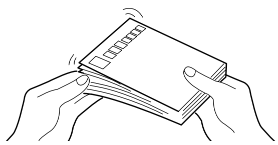
- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をMPカセットにセットする場合には、反りの方向を直して(反っている凸面を下にして)セットしてください。





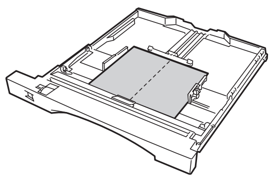
- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。

- はがきをまとめてMPカセットにセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

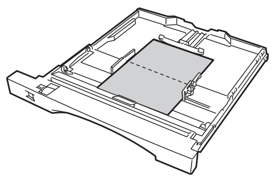


- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

- 往復はがきをMPカセットにセットする場合は、横、縦のどちらでもセットできます。横、縦のセット方向は、それぞれ下図を示しています。操作パネルで設定する際にご注意ください。

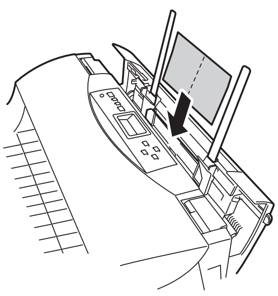


往復はがき　ヨコ

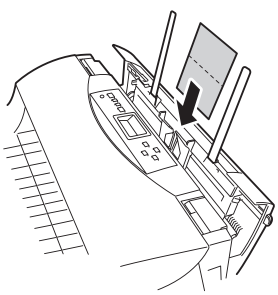


往復はがき　タテ

- 往復はがきを手差しにセットする場合は、ご使用の用紙の種類によっては正常な給紙ができない場合があります。往復はがきは縦方向にセットして給紙することをお勧めします。



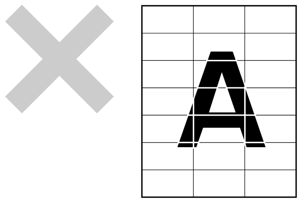
往復はがき　ヨコ



往復はがき　タテ

OHPフィルム、ラベル紙をセットするときの注意

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、使用OHPフィルムによって静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、手差しに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

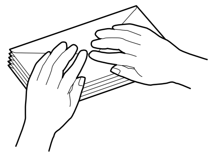


封筒をセットするときの注意

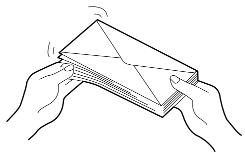
重要

フラップ(封筒の折り返し部分)面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

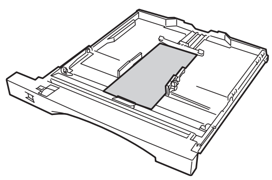
- 封筒は、洋形4号(LIFE洋封筒E506 ライフ株式会社製)をご使用ください。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。



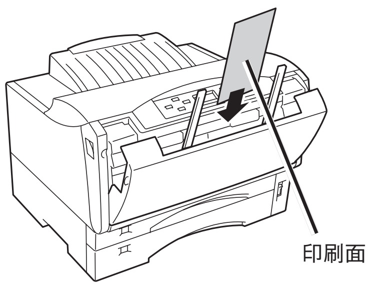
- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。



- MPにセットする場合は、縦にセットしてください。



- 手差しにセットする場合、印刷する面を手前にし、封筒を縦にしてセットしてください。



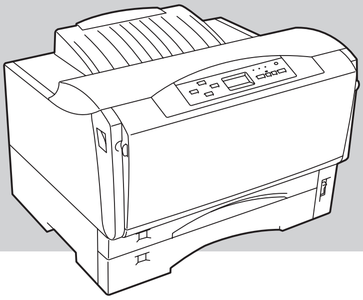
定形外用紙をセットするときの注意

重要

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- 対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定形用紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- Windows環境以外から印刷を行う場合、メニューモードの「用紙メニュー」で「定形外用紙」を「ON」にする必要があります。詳細は120～126ページのメニューツリーを参照してください。

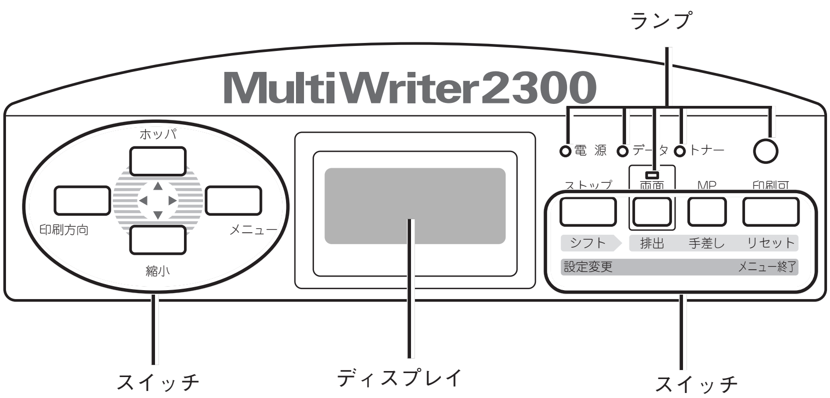
4章
操作パネルについて



この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL(Level 2)で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

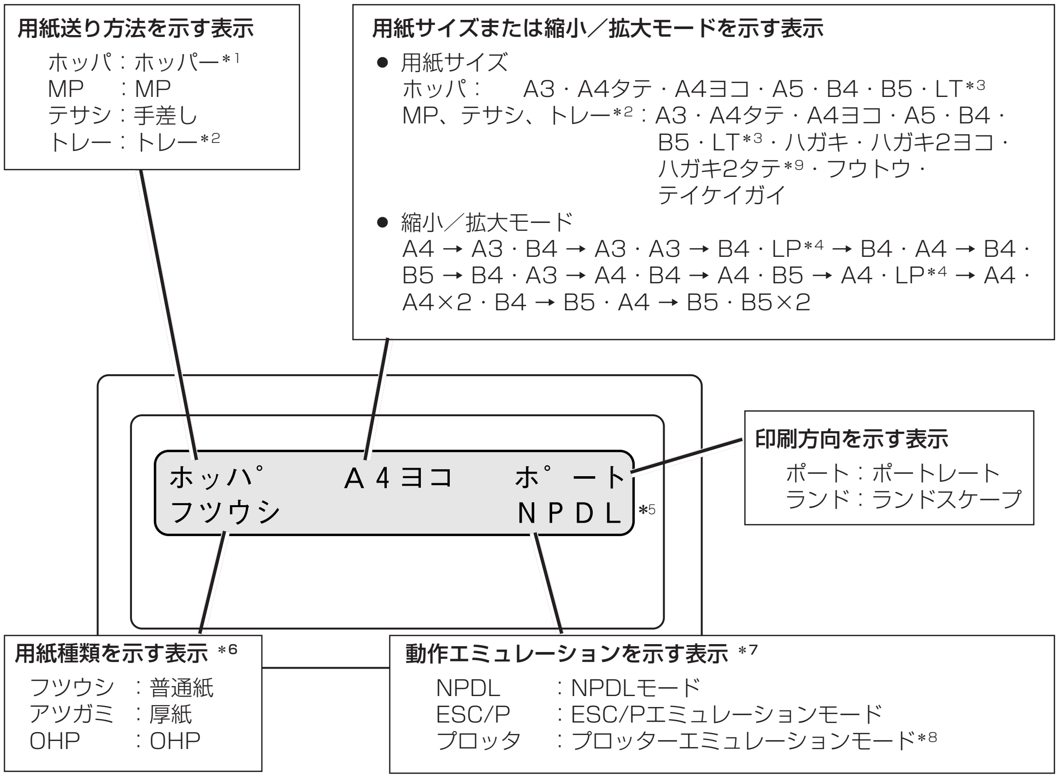
ESC/Pエミュレーションでは一部機能が異なります。詳しくは115～118ページの表をご覧ください。



操作パネル(MultiWriter 2300の場合)

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。



*[1] ホッパ 1：上から1段目のホッパー
ホッパ 2：上から2段目のホッパー（オプション）
ホッパ 3：上から3段目のホッパー（オプション）
*[2] トレーモード（MSW9-4=ON）でMP、手差しが選択されていることを示します。
*[3] “LT”はレターサイズであることを示しています。
*[4] “LP”は帳票であることを示しています。
*[5] 下段はセレクト状態（印刷可ランプ点灯）の時のみ表示されます。
*[6] MP、手差しから用紙を送る時に表示されます。
*[7] 双方向通信をしている時は表示されません。
*[8] オプションのプロッターエミュレーションボードを装着しているときのみ表示されます。
*[9] “ハガキ2”は往復はがきを示しています。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書の「アラーム表示が出ているときは」（227ページ）、「メニューツリー」（120～126ページ）または、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」の「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

ランプ

印刷可

印刷可ランプ(緑/赤)

点灯(緑)　プリンターがセレクト状態(印刷データを受信できる状態)になっています。

点滅(赤)　点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。
カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については本書の「アラーム表示が出ているときは」(227ページ)をご覧ください。

消灯　プリンターがディセレクト状態(印刷データを受信できない状態)になっています。(ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。)

電 源

電源ランプ(緑)

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

データ

データランプ(橙)*

* I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

点灯
- プリンター内に印刷データが残っています。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

消灯
- プリンター内にデータが残っていません。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

トナー

トナーランプ(赤)

点灯　EPカートリッジのトナーの残量が少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については「EPカートリッジの交換」(217ページ)をご覧ください。

消灯　EPカートリッジのトナーが十分にあります。

両面

両面ランプ(緑) *

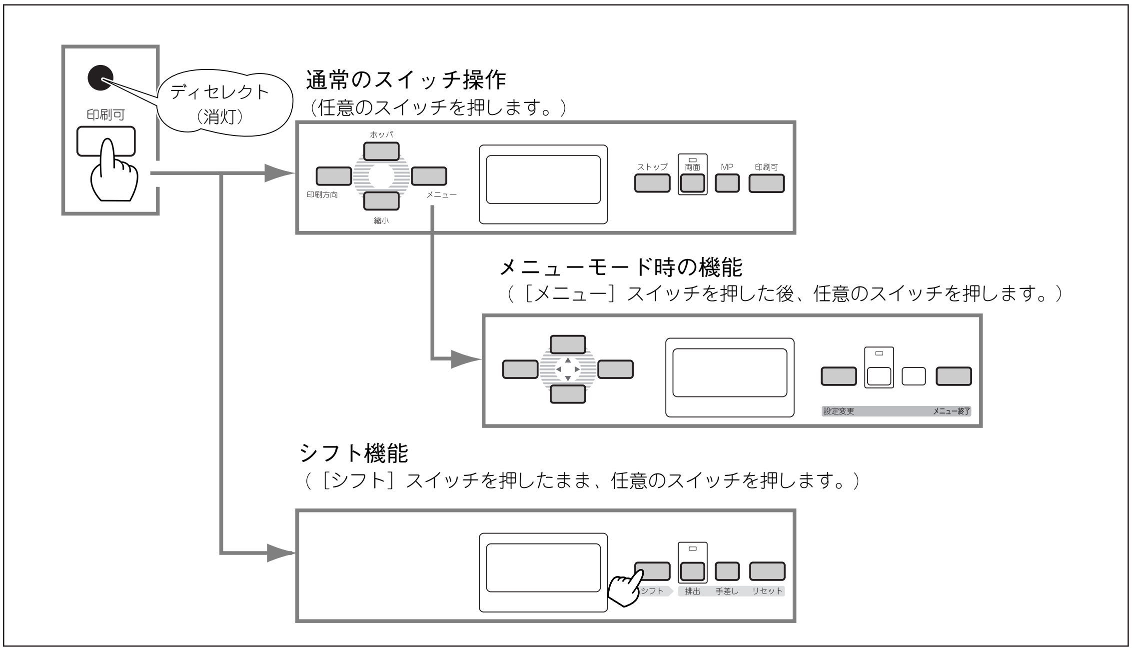
点灯　両面印刷モードに設定されています。

消灯　両面印刷モードではありません。

* MultiWriter 2300/2100のみ対応しています。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能を持っています。



スイッチのモード(MultiWriter 2300の場合)

通常のスイッチ機能 — [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します([ストップ]スイッチを除く)。

メニューモード時のスイッチ機能 — [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。

シフト時のスイッチ機能 — [シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。

✔チェック

- アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(227ページ)をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能



[印刷可]スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)に交互に切り替わります。

MP

[MP]スイッチ

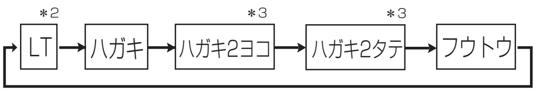
このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をMPにする。*1

ホッパーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、MPから用紙を給紙する状態に切り替わります。

MP給紙の用紙サイズを変更する。

MPにA3、A4、B4、B5をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズの設定をしますが、レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、このスイッチを押して用紙サイズを設定します。このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



チェック

MPに用紙をセットしたら、用紙サイズ設定ダイヤル、および[MP]スイッチで用紙サイズを変更してください。

*1 [ホッパ]スイッチでもMP給紙を選択することができます。
*2 「LT」は「レター」を意味します。
*3 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

両面

[両面]スイッチ*4

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

*4 MultiWriter 2300/2100のみ両面印刷機能に対応しています。

両面印刷モードにする(両面印刷モードを解除する)。

両面ランプが消灯している状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合両面ランプが点灯していても、印刷は片面で行われます。

- 用紙サイズがA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ以外の場合
- MP、手差し給紙で「厚紙」または「OHP」を指定した場合
- 定形外用紙に印刷した場合

ストップ

[ストップ]スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。
受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

メニュー

[メニュー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパ

[ホッパ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

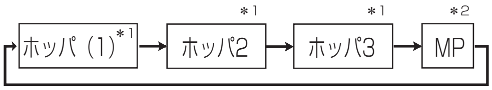
給紙先を切り替える。

手差しから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパーもしくはMPから用紙を送る状態に切り替わります。

給紙先を選択する(ホッパーを使用しているとき)。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパー/MPを次のように切り替えます。(選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。)

このスイッチを押したときの用紙サイズは、指定された給紙口の用紙サイズ設定ダイヤルにより自動設定されます。ただし、MP給紙で用紙サイズ設定ダイヤルを「✱」に設定した場合はMPスイッチで設定した用紙サイズとなります。



*1 増設ホッパー装着時のみ表示されます。

*2 トレーモード時は“トレー”と表示されます。

✔チェック

手差しから用紙を送る状態でMP給紙に切り替えると、メニューモードのホッパ初期設定で指定されているホッパーが選択されます。

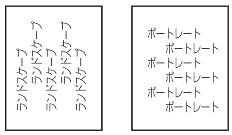
印刷方向

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。
用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。



縮小

[縮小]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。
印刷する用紙サイズによって、次ページの順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → （繰り返し）

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 → A3→A4 → A4×2 → B5→A4 → A4 → （繰り返し）

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → （繰り返し）

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 → B5 → （繰り返し）

— LPは帳票サイズ（136桁×66行）を意味します。
— A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
— B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

✔チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c1c2c3)によってA3、B4または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の『NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル』をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

メニューモード時のスイッチ機能

メニュー終了

[メニュー終了]スイッチ

メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

設定変更

[設定変更]スイッチ

設定変更したい項目(レベル3)を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。
なお、メニューモードのレベルについては、120ページのメニューツリーを参考にしてください。

[▶]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([→]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。

[▲]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↑]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

[◀]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([←]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。

[▼]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↓]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(120〜126ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

シフト

[シフト]スイッチ

このスイッチが押されている間、[両面]スイッチ、[MP]スイッチ、および[印刷可]スイッチの3つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「手差し」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

排出

[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、I/F設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

> ✔チェック
>
> プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

リセット

[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

チェック

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」の「NPDLの初期状態」をご覧ください。

手差し

[手差し]スイッチ*1

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

*1 MultiWriter 2300/2100のみ対応しています。

給紙先を手差しにする。

ホッパーから用紙を送る状態で[シフト]スイッチを押しながら、このスイッチを押すと、手差しから用紙を給紙する状態に切り替わります。

手差し給紙の用紙サイズを変更する。

手差し給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

A4タテ → A4ヨコ → A5 → B4 → B5 → LT*2 → ハガキ → ハガキ2ヨコ*3 → ハガキ2タテ*3 → フウトウ → A3 →(A4タテに戻る)

*2 「LT」は「レター」を意味します。

*3 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

メニューモードでの設定変更のしかた

❶ [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



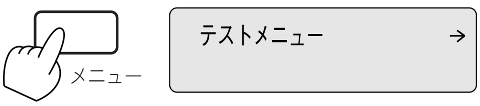
❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。



❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”を表示します。



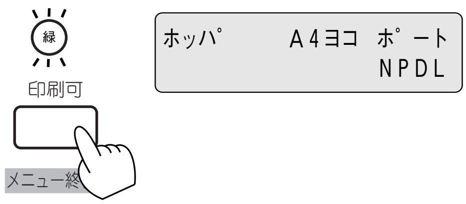
❹ メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および120〜126ページの「メニューツリー」を参照してください。
メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲]スイッチ	このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
[設定変更]スイッチ	押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。



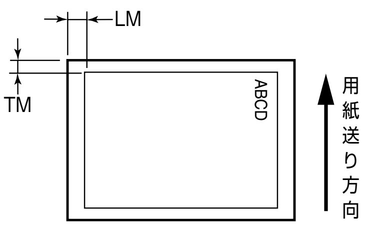
メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」を参照してください。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	×	○
	サンプル印刷	サンプル印刷を行います。	×	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	×	○
	トナー節約機能*1	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	×	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、MP、手差し*3設定を選択します。	×	○
	MPの用紙種別	MPで使用する用紙の種別を選択します。	×	○
	手差しの用紙種別*1	手差しで使用する用紙の種別を選択します。	×	○
	MP定形外用紙	MPで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○
	手差し定形外用紙*1	手差しで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	×	○
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、MP、両面印刷*1時の表面・裏面の印刷位置を調整します。	×	○
	ホッパ2微調整*2		×	○
	ホッパ3微調整*2		×	○
	MP微調整		×	○
	手差し微調整*1		×	○
	表面微調整*1		×	○
	裏面微調整*1		×	○
両面印刷*1メニュー	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	×	○
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	×	○
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	×	○
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	×	○

*1　MultiWriter 2300/2100に対応しています。　　*2　増設ホッパー装着時のメニューです。

メニューモード設定項目一覧(続き)

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	節電時間設定*1	節電するまでの時間を設定します。	×	○
	温度制御*2	温度制御を行うかどうかを設定します。	×	○
	自動排出*3	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○
	メモリー設定*4	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○
	解像度設定*5	解像度の設定をします。	○	○
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○*8
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○
動作メニュー	動作エミュレーション	［インタフェース1］と［インタフェース2］で個別にプリンターの動作モードを設定します。	×	○
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	×	○
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○*9
プロッタ設定メニュー*6	ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出などの選択をします。		×	×
I/F設定メニュー*7	インタフェース1	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とLANボード、LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○
	インタフェース2		×	○
RS-232C設定メニュー*6	RS-232Cインターフェースの通信速度、通信プロトコル、通信データのパリティ、データビット、ストップビットの選択をします。		×	○
設定初期化メニュー	初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、［MP］スイッチ、および［手差し］スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。（MSW1～10）		○	117～118ページ参照

*1　節電機能有効時のみ表示されます。

*2　MultiWriter 2300に対応しています。

*3　コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間(最大30秒)以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

*4　64MB以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。

*5　MultiWriter 2300/2100に対応しています。

*6　MultiWriter 2300/2100でプロッターエミュレーションボード(オプション)装着時に表示されます。

*7　I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F設定メニューの動作双方向が「ESC/Pモード」に設定されているときにIPアドレスとサブネットマスクが有効になります。
対応するLANボード、LANアダプターは型番 PR-NP-01T2、型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2です。

*8　「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k(漢字の書体選択)」によって切り替えることができます。

*9　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

メモリースイッチの内容

メモリースイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります(未使用のスイッチもあります)。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの機能
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。(オンラインマニュアル参照) **すべて0(日本語)**		○
1-2				
1-3				
1-4	グレースケールの網点の切り替え*1	**粗い**	細い	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	**0**	Ø	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PLエミュレーション**	ページプリンター(NPDL)	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×
2-4〜2-5	(未使用)			−
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定(136桁モード)	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位)(オンラインマニュアル参照) **すべて0(0インチ)**		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)	**左**	右	○
3-6	用紙位置の設定(136桁モード)	**左端合わせ**	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
4-1*2	物理解像度の設定	2つのスイッチの1／0の組み合わせにより、1200dpi*3、600dpi、400dpiのいずれかを設定します。(オンラインマニュアル参照) **600dpi**		○
4-2*2				
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○
4-6〜4-8	(未使用)			−

*1　解像度が600dpiの時のみ有効です。
*2　MultiWriter 2300/2100に対応しています。
*3　MultiWriter 2300のみ有効です。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容(続き)

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの機能
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*1	**無効**	有効	○
5-2～5-8	（未使用）			－
6-1*2	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	**停止する**	解像度を下げて印刷	○
6-3～6-6	（未使用）			－
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-8	（未使用）			－
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○
7-2	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース2］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○
7-3	（未使用）			－
7-4	ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○
7-5	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○
7-6	（未使用）			－
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY－ACK）のタイミング［インタフェース1］（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。 **タイミングA**（8-1：0、8-2：0）		○
8-3 8-4	アクノリッジ（ACK）の幅［インタフェース1］（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 **1μs**（8-3：0、8-4：0）		○
8-5 8-6	ビジィアクノリッジ（BUSY－ACK）のタイミング［インタフェース2］（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。 **タイミングA**（8-5：0、8-6：0）		○
8-7 8-8	アクノリッジ（ACK）の幅［インタフェース2］（組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 **1μs**（8-7：0、8-8：0）		○
9-1	同期コード無効／有効の切り替え*1［インタフェース1］	**無効**	有効	○
9-2	同期コード無効／有効の切り替え*1［インタフェース2］	**無効**	有効	○
9-3	（未使用）			－
9-4	トレーモード	**無効**	有効	○
9-5	節電モードの選択*3	**節電モード0**	節電モード1	○
9-6～9-8	（未使用）			－
10-1～10-8	（未使用）			－

*1　PC-PTOSから印刷を行う場合はMSW5-1、9-1、9-2のいずれかをONにしてください。本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

*2　MultiWriter 2300/2100のみのメニューです。

*3　節電モードの設定を行います。節電モード0は、節電状態からのウォームアップの待ち時間を短くするモードです。
節電モード1は、節電時の消費電力をより少なくするモードです。ただし、節電状態からのウォームアップ待ち時間がMultiWriter 2300では約15秒（室温20℃）、MultiWriter 2100/210Sでは約13秒（室温20℃）となります。

トレーモードについて

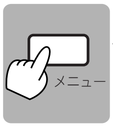
給紙先のMPと手差しを他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*のトレー給紙と同じ動作にするためのモードです。他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*用に作成したアプリケーションから、直接トレー指定コマンドを発行している場合、トレーモードを有効にすることで他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*と同様にお使いいただけます。

動作の詳細は添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。

* MultiWriter 2200X、MultiWriter 2200X2、MultiWriter 2200XE、MultiWriter 2000X2、MultiWriter 2050、MultiWriter 2650、MultiWriter 2250、MultiWriter 2650E、MultiWriter 2650M、MultiWriter 2250H

メニューツリー(MultiWriter 2300/2100)

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(下線部分は出荷時の設定値です。)「＊」で示す補足的な説明は123ページにあります。



レベル1 / レベル2 / レベル3

- テストメニュー
  - ステータスインサツジッコウ
  - サンプルインサツジッコウ ＊1
  - レンゾクインサツジッコウ
  - 16シンダンプジッコウ
- インサツセッテイメニュー
  - コピー枚数：1～20
  - トナー節約：OFF／ON
  - 印字濃度　：淡い～普通～濃い
- ヨウシメニュー
  - ホッパ　ショキセッテイ ＊2
    - ホッパ1～3、MP、テサシ
  - ヨウシシュベツ
    - MP　　：普通紙、厚紙、OHP
    - テサシ：普通紙、厚紙、OHP
  - テイケイガイヨウシ
    - MP　　：OFF／ON
    - テサシ：OFF／ON
  - リレーキュウシ　セッテイ ＊3
    - ホッパ　：リレーOFF／ON
    - ホッパ1：リレーOFF／ON
    - ～
    - ホッパ3：リレーOFF／ON
    - MP　　：リレーOFF／ON
  - ジョブセパレートキノウ
    - 無効／有効
- インジイチセッテイメニュー
  - ホッパ　ビチョウセイ ＊4
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
  - ホッパ1　ビチョウセイ ＊5
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
  - ホッパ2　ビチョウセイ ＊6
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
  - ホッパ3　ビチョウセイ ＊7
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
  - MP　ビチョウセイ
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
  - テサシ　ビチョウセイ
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
  - オモテメン　ビチョウセイ
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
  - ウラメン　ビチョウセイ
    - TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
    - LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm

(A)

(A)

- リョウメンインサツメニュー
  - 初期設定：OFF／ON
  - 綴じ代　：ロング1、ショート1、ロング2、ショート2
  - 余白　　：0mm ～ 20mm
  - クリップ：OFF／ON
- ウンヨウメニュー
  - セツデンキノウ *8
    - 無効、有効
  - セツデンジカン　セッテイ *9
    - 5分 ～ 10分 ～ 90分
  - オンドセイギョキノウ *10
    - OFF/ON
  - ジドウ　ハイシュツ
    - 無効、5秒、15秒、30秒
  - メモリ　セッテイ *11
    - 標準、フォーム登録優先、電子ソート優先
  - カイゾウド　セッテイ *12
    - 400dpi、600dpi、1200dpi
- フォントメニュー
  - 1バイト系ゼロ *13：0、Ø
  - 2バイト系ゼロ　：0、Ø
  - ANK：標準、イタリック、クーリエ、ゴシック
  - 漢字：明朝、ゴシック
  - 文字セット：JIS1978、JIS1983、JIS1990
  - 国別 *14：日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン
- ドウサメニュー
  - ドウサエミュレーション
    - インタフェース1：NPDL、ESC/P、プロッタ *15
    - インタフェース2：NPDL、ESC/P、プロッタ *15
    - RS232C *15　：NPDL、ESC/P、プロッタ
  - ドウサジドウ　キリカエ
    - インタフェース1：OFF／ON
    - インタフェース2：OFF／ON
    - RS232C *15　：OFF／ON
    - タイムアウト *16：5秒、15秒、30秒
- NPDLセッテイメニュー
  - A4ポートレート　ケタスウ *17
    - 78桁／80桁
  - エミュレーション *18
    - 201エミュレーション／ページプリンターモード
  - 136ケタモード　セッテイ *19
    - 136桁モード *20：無効／有効
    - 用紙位置 *21　：左／中央
    - 微調整 *22　：0 ～ 左15 ～ 右15
- プロッタセッテイメニュー *15
  - ペンハバ　セッテイ
    - ペン1：0.1mm ～ 2.0mm
    - ～
    - ペン8：0.1mm ～2.0mm
  - ゲンテンイチ　セッテイ
    - 左下／中央
  - ニンイスケール　セッテイ
    - 10% ～ 100% ～ 200%
  - カイテンカクド　セッテイ
    - 0° ～ 270°
  - センタンケイジョウセッテイ
    - なし、四角、三角、丸
  - セツゾクケイジョウ
    - なし、マイタ、マイタベベル、三角、丸、ベベル
  - マイタリミット　セッテイ
    - なし、1.0倍～5.0倍
  - SPコマンド　ハイシュツ
    - OFF／ON

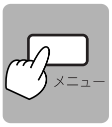
(B)　(C)

- B
  - I／Fセッテイメニュー
    - インタフェース1　セッテイ
      - 双方向設定*23：ニブル、ECP、なし
      - IPアドレスI/F1*24：000.000.000.000
      - サブネットマスクI/F1*24：000.000.000.000
    - インタフェース2　セッテイ
      - 双方向設定*23：ニブル、ECP、なし
      - IPアドレスI/F2*24：000.000.000.000
      - サブネットマスクI/F2*24：000.000.000.000
  - RS232Cセッテイメニュー*15
    - ボーレート：300 ～ 9600
    - 制御：XON/OFF、DTR、ENQ/ACK
    - パリティ：SPACE、EVEN、ODD、MARK
    - データビット：8／7
    - ストップビット：1／2
  - セッテイショキカメニュー
    - ショキカ　ジッコウ
    - ヨビダシ　ジッコウ
    - キオク　ジッコウ
  - メモリスイッチメニュー
    - MSW1：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW2：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW3：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW4：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW5：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW6：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW7：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW8：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW9：0 0 0 0 0 0 0 0
    - MSW10：0 0 0 0 0 0 0 0
- C
  - ミラー　セッテイ
    - OFF／ON
  - オーバレイ　セッテイ
    - OFF／ON
  - NRコマンドドウサ
    - オンライン／オフライン
  - カルーゼルバンゴウ
    - 1 ～ 5
  - カクチョウモード
    - 無効／有効

＊1　設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
＊2　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ1”が“ホッパ”と表示されます。
＊3　“ホッパ　リレー”はホッパーを増設していないときのみ表示されます。“ホッパ1　リレー”は増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。“ホッパ2　リレー”は増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。“ホッパ3　リレー”は増設ホッパー（オプション）を2段装着しているときのみ表示されます。
＊4　ホッパーを増設していないときのみ表示されます。
＊5　増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。
＊6　増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-4＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4＝0で250枚用の値を表示・設定します。
＊7　増設ホッパー（オプション）を2段装着しているときのみMSW7-5＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5＝0で250枚用の値を表示・設定します。
＊8　MSW6-7と同期します。
＊9　「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
＊10　MultiWriter 2300のみ表示されます。
＊11　増設されているメモリー量により表示・設定できる項目が異なります。また、増設されているメモリー容量によって工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。
＊12　MSW4-1、MSW4-2と同期します。1200dpi（47.2ドット/mm）はMultiWriter 2300でのみ有効です。
＊13　MSW2-1と同期します。
＊14　MSW1-1～MSW1-3と同期します。
＊15　プロッターエミュレーションボード（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
＊16　動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。
＊17　MSW2-7と同期します。
＊18　MSW2-2と同期します。
＊19　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
＊20　MSW3-7と同期します。
＊21　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
＊22　136ケタモード有効のときのみ表示します。MSW3-1～MSW3-5と同期します。
＊23　「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
＊24　LANボード（オプション）、またはLANアダプター（オプション）が装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。

メニューツリー(MultiWriter 210S)

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(下線部分は出荷時の設定値です。)「＊」で示す補足的な説明は126ページにあります。



レベル1	レベル2	レベル3
テストメニュー	ステータスインサツジッコウ	
	サンプルインサツジッコウ ＊1	
	レンゾクインサツジッコウ	
	16シンダンプジッコウ	
インサツセッテイメニュー		コピー枚数：1 ～ 20 印字濃度　：淡い～普通～濃い
ヨウシメニュー	ホッパ　ショキセッテイ ＊2	ホッパ1～3、MP
	ヨウシシュベツ	MP：普通紙、厚紙、OHP
	テイケイガイヨウシ	MP：OFF／ON
	リレーキュウシ　セッテイ ＊3	ホッパ　：リレーOFF／ON ホッパ1：リレーOFF／ON ～ ホッパ3：リレーOFF／ON MP　　：リレーOFF／ON
	ジョブセパレートキノウ	無効／有効
インジイチセッテイメニュー	ホッパ　ビチョウセイ ＊4	TM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm LM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm
	ホッパ1　ビチョウセイ ＊5	TM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm LM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm
	ホッパ2　ビチョウセイ ＊6	TM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm LM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm
	ホッパ3　ビチョウセイ ＊7	TM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm LM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm
	MP　ビチョウセイ	TM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm LM：+3.9mm ～ 0mm ～ -3.9mm
ウンヨウメニュー	セツデンキノウ ＊8	無効、有効
	セツデンジカン　セッテイ ＊9	5分 ～ 10分 ～ 90分
	オンドセイギョキノウ	OFF/ON
	ジドウ　ハイシュツ	無効、5秒、15秒、30秒
	メモリ　セッテイ ＊10	標準、フォーム登録優先、電子ソート優先

Ⓐ

Ⓐ

- フォントメニュー
  - 1バイト系ゼロ*11：0、Ø
  - 2バイト系ゼロ　：0、Ø
  - ANK：標準、イタリック、クーリエ、ゴシック
  - 漢字：明朝、ゴシック
  - 文字セット：JIS1978、JIS1983、JIS1990
  - 国別*12：日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン
- ドウサメニュー
  - ドウサエミュレーション
    - インタフェース1：NPDL、ESC/P
    - インタフェース2*13：NPDL、ESC/P
  - ドウサジドウ　キリカエ
    - インタフェース1：OFF／ON
    - インタフェース2*13：OFF／ON
    - タイムアウト*14：5秒、15秒、30秒
- NPDLセッテイメニュー
  - A4ポートレートケタスウ *15
    - 78桁／80桁
  - エミュレーション *16
    - 201エミュレーション／ページプリンターモード
  - 136ケタモード　セッテイ *17
    - 136桁モード*18：無効／有効
    - 用紙位置*19：左／中央
    - 微調整*20：0 〜 左15 〜 右15
- I／Fセッテイメニュー
  - インタフェース1　セッテイ
    - 双方向設定*21：ニブル、ECP、なし
    - IPアドレスI/F1*22：000.000.000.000
    - サブネットマスクI/F1*22：000.000.000.000
  - インタフェース2　セッテイ *13
    - 双方向設定*21：ニブル、ECP、なし
    - IPアドレスI/F2*22：000.000.000.000
    - サブネットマスクI/F2*22：000.000.000.000
- セッテイショキカメニュー
  - ショキカ　ジッコウ
  - ヨビダシ　ジッコウ
  - キオク　ジッコウ
- メモリスイッチメニュー
  - MSW1：00000000
  - MSW2：00000000
  - MSW3：00000000
  - MSW4：00000000
  - MSW5：00000000
  - MSW6：00000000
  - MSW7：00000000
  - MSW8：00000000
  - MSW9：00000000
  - MSW10：00000000

＊1　設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
＊2　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ1”が“ホッパ”と表示されます。
＊3　“ホッパ　リレー”はホッパーを増設していないときのみ表示されます。“ホッパ1　リレー”は増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。“ホッパ2　リレー”は増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。“ホッパ3　リレー”は増設ホッパー（オプション）を2段装着しているときのみ表示されます。
＊4　ホッパーを増設していないときのみ表示されます。
＊5　増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。
＊6　増設ホッパー（オプション）を1段以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-4＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4＝0で250枚用の値を表示・設定します。
＊7　増設ホッパー（オプション）を2段装着しているときのみMSW7-5＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5＝0で250枚用の値を表示・設定します。
＊8　MSW6-7と同期します。
＊9　「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
＊10　増設されているメモリー量により表示・設定できる項目が異なります。また、増設されているメモリー容量によって工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。
＊11　MSW2-1と同期します。
＊12　MSW1-1～MSW1-3と同期します。
＊13　LANボード（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
＊14　動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。
＊15　MSW2-7と同期します。
＊16　MSW2-2と同期します。
＊17　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
＊18　MSW3-7と同期します。
＊19　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
＊20　136ケタモード有効のときのみ表示します。MSW3-1～MSW3-5と同期します。
＊21　「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
＊22　LANボード（オプション）、またはLANアダプター（オプション）が装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズの用紙がホッパー、MPもしくは増設ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

また、A4用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにする必要があります。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1　リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

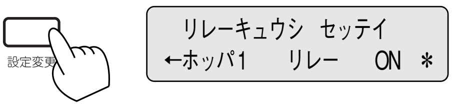
[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“リレーキュウシ”をONにする。**

詳しくは、「メニューツリー」(120〜126ページ)をご覧ください。

✔チェック

リレー給紙させるホッパーまたはMPの全てを“リレーキュウシ”ONにしてください。



❸ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

❹ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMPの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2　給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[自動]を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「プロパティダイアログボックス」(145ページ)を参照してください。

❸ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

PC-PTOS環境での機能

PC-PTOSから使用する場合は、メモリースイッチ5-1または9-1、9-2を「有効(ON)」にし(本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。)、それ以外のメニュー、メモリースイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままでお使いください。メニューの出荷時設定は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。メモリースイッチの出荷時設定は「メモリースイッチの内容」(117〜118ページ)をご覧ください。

設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。ただし、以下の項目についてはPC-PTOSからの印刷でも設定を変えて使用することができます。

メニューの設定

- 各種テスト印刷／16進ダンプの実行
- 各種環境の設定*1
- 用紙の設定*1
- 印字位置微調整の設定
- 運用環境の設定
- フォント環境の設定*2
- 動作環境の設定
- NPDL環境の設定
  - A4ポートレート桁数
  - 136桁モード設定
- RS-232C環境の設定
- メニュー項目の設定

*1　印刷環境の設定中のコピー枚数設定、用紙の設定中のホッパー初期設定に関しては、使用するアプリケーションによってはアプリケーションでの指定が優先されます。

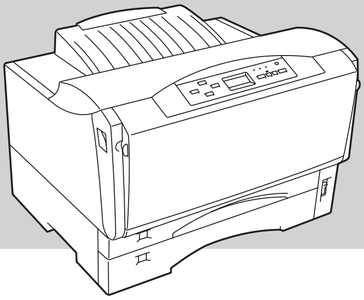
*2　PC-PTOSで規定した字形で印字する場合は、出荷時設定のままで使用してください。

メモリースイッチの設定(メニューで設定できるものを除く)

(1-5)	DC1、DC3の有効／無効の切り替え
(1-6)	自動復帰改行の切り替え
(1-7)	印刷指令の切り替え
(1-8)	CR機能の切り替え
(2-3)	グラフィックモードの切り替え
(2-6)	7ビット／8ビットデータの切り替え
(2-8)	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え
(3-8)	ブザー機能の有効／無効の切り替え
(4-1、4-2)	物理解像度の設定
(4-3)	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え
(4-4)	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え
(4-5)	ランドスケープ方向の切り替え
(5-1)	同期コードの無効／有効の切り替え
(6-1)	SETを使用する／しないの切り替え
(6-2)	メモリーオーバー時の動作指定
(7-1、7-2)	データストローブ信号のデータラッチタイミング
(7-4)	ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類
(7-5)	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類
(7-7、7-8)	FS fコマンドの動作に関する設定
(8-1、8-2、8-5、8-6)	ビジィアクノリッジ(BUSY-$\overline{ACK}$)のタイミング
(8-3、8-4、8-7、8-8)	アクノリッジ($\overline{ACK}$)の幅
(9-1、9-2)	同期コードの無効／有効の切り替え
(9-4)	トレーモード
(9-5)	節電モードの選択

PC-PTOS環境でプリンターをご使用になる前には、87ページの「PC-PTOS環境でプリンターを選択する」をお読みください。

5章
より進んだ使い方



この章では、MultiWriter 2300/2100/210Sの便利な機能の紹介、および使い方を説明しています。MultiWriter 2300/2100/210Sがもつ様々な機能を組み合わせて使うことにより、MOPYINGを実現することができ、印刷コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 2300/2100/210Sを使いこなしてください。

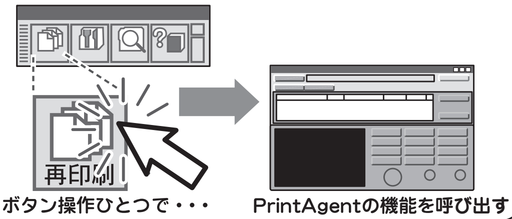
機能の紹介

ここでは、MultiWriter 2300/2100/210Sのもつ便利な機能を紹介します。

太枠の項目はネットワークでMultiWriter 2300/2100/210Sを管理するために便利な機能です。各機能の設定方法については機種ごとに記載しています。また、添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」、またはヘルプもご覧ください。

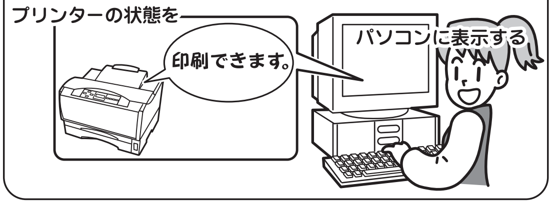
プリンタステータスウィンドウ、リプリント、文書の結合、仕分け印刷、拡大・縮小印刷、複数ページ印刷については132ページ以降で機能の概要を説明しています。詳細については、添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」、またはヘルプをご覧ください。

「PrintAgent」ツールバー 132ページ



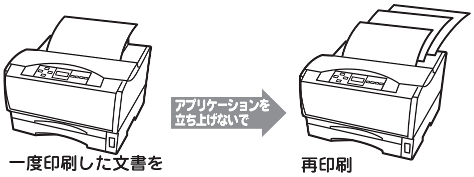
プリンターの状態や印刷状況を見る 133ページ

便利な機能　プリンタステータスウィンドウ



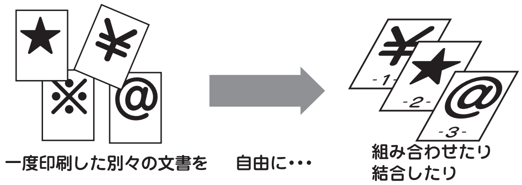
リプリントする

便利な機能　PrintAgent リプリント2



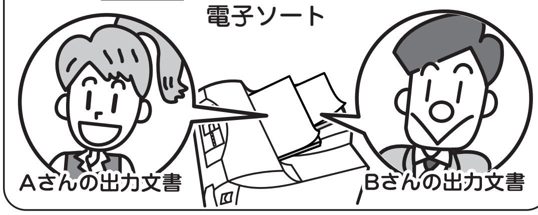
文書を結合する

便利な機能　PrintAgent リプリント2
DocuWorks E



仕分け印刷する

便利な機能　ジョブセパレート、丁合い、電子ソート

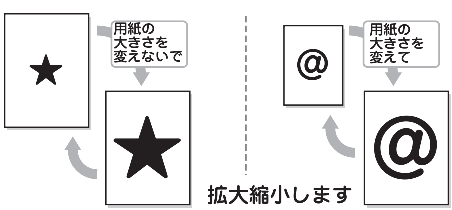


両面印刷*する......... 187ページ

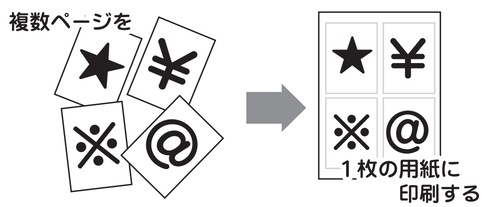
*MultiWriter 2300/2100に対応しています。



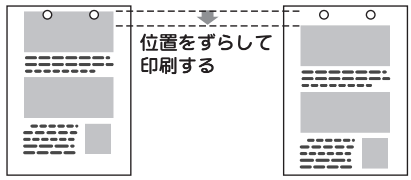
拡大・縮小印刷する



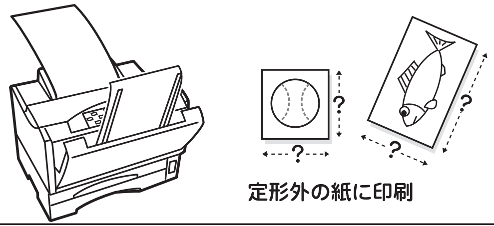
複数ページ印刷する



印刷位置をずらす

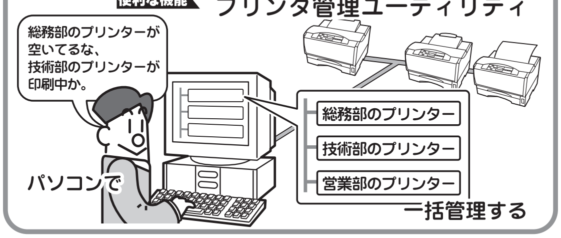


定形外サイズの用紙に印刷する

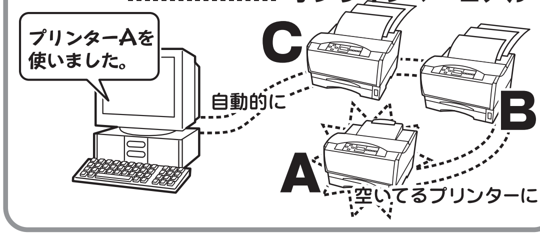


プリンターを一元管理する ………………………………オンラインマニュアル

便利な機能 プリンタ管理ユーティリティ

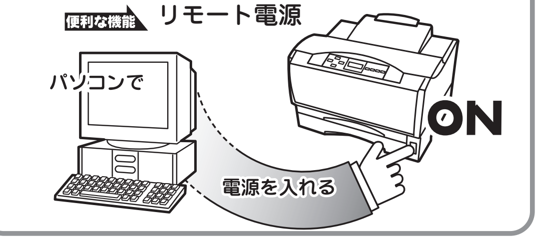


プリンターを自動切り替えする ………………… オンラインマニュアル



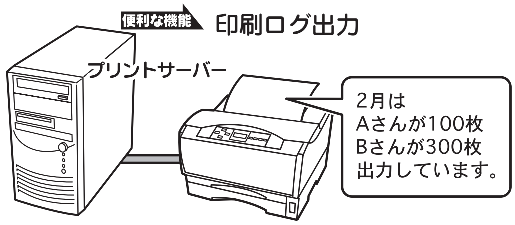
パソコンから電源を入れる ………………………………………オンラインマニュアル

便利な機能 リモート電源



印刷履歴状況を出力する ………………………オンラインマニュアル

便利な機能 印刷ログ出力



保守情報をメール通知する ………………… オンラインマニュアル

保守情報を 便利な機能 NEC e-mailメンテナンス



ブラウザでプリンターの状況を見る ………………… オンラインマニュアル

便利な機能 Web PrintAgent



印刷中にユーザー名を表示させる ………. オンラインマニュアル



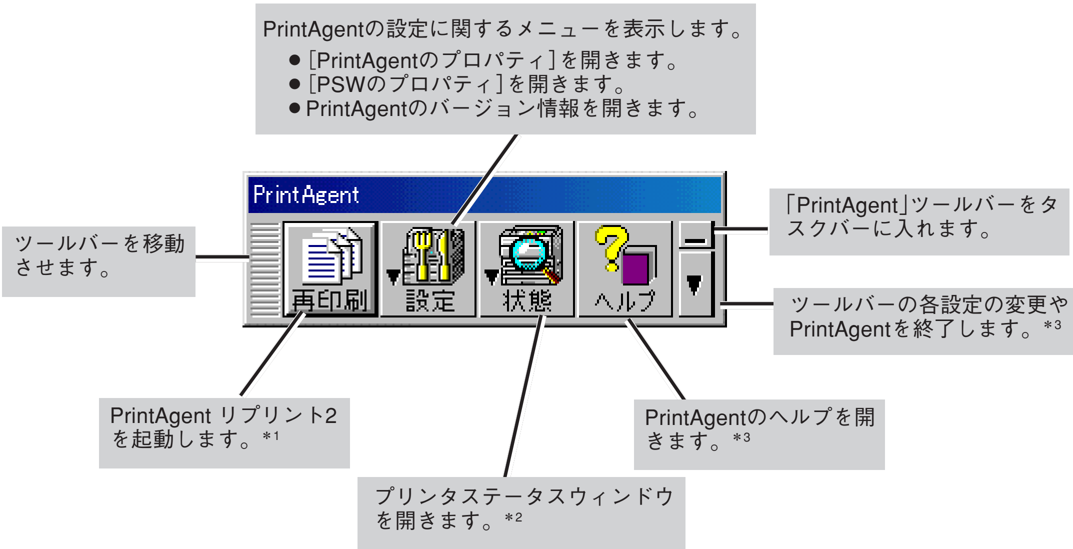
「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールすれば、お使いになれます。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左または右クリックし、[ツールバーを表示]をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。
前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」、または「PrintAgent」ツールバーのヘルプをご覧ください。

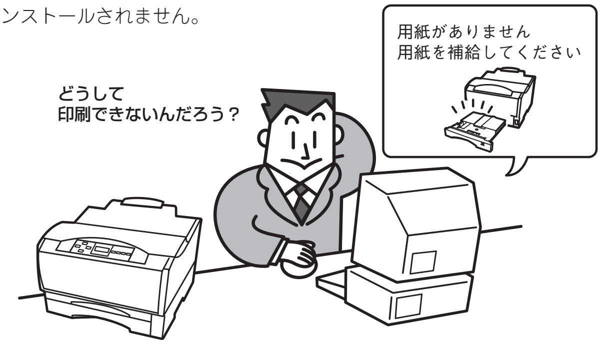


*1 PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合、[再印刷]ボタンはご利用になれません。
*2 PrintAgent対応プリンタがない場合、[状態]ボタンはご利用になれません。
*3 ヘルプがインストールされていない場合、ヘルプボタンとツールバー設定ボタンメニューの[ヘルプ]ボタンはご利用になれません。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*によるメッセージで通知します。

* 音声は標準ではインストールされません。



通常プリンターが印刷を開始したり印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。起動する方法は次の3種類です。

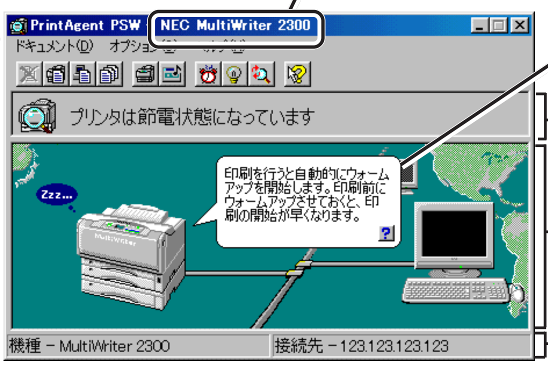
- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー＆ツールバー
送信中ドキュメントを中止したり、リプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

プリンター名
プリンターに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは「プリンタ」フォルダーで設定した名前です。

バルーンメッセージ
プリンターの状態やエラー時の対処方法をより詳細に表示します。



ステータス情報エリア
アイコンとメッセージでプリンターの状態などを表示します。

ビジュアル情報エリア
プリンターの構成、接続状態、印刷状況、障害の状況などをアニメーションで表示します。

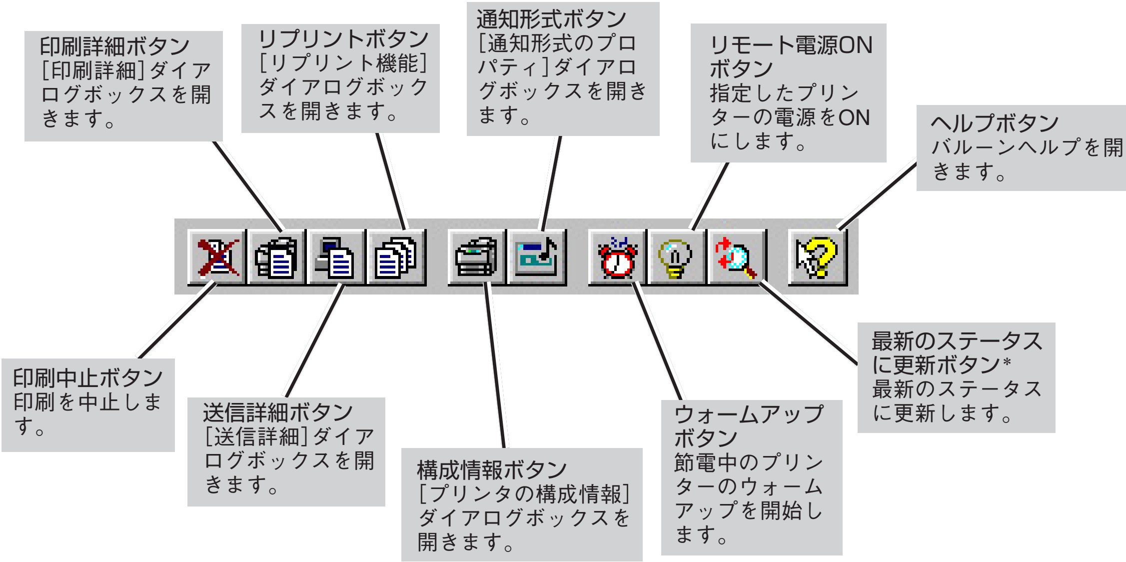
ステータスバー
プリンターの機種名とそのプリンターが接続されているポート名またはネットワークパス名を表示します。メニューを選択しているときはメニューの情報が表示されます。

使用条件

プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。

ツールバー

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行できます。
また常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。



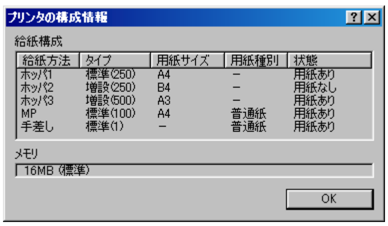
* 初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得するようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

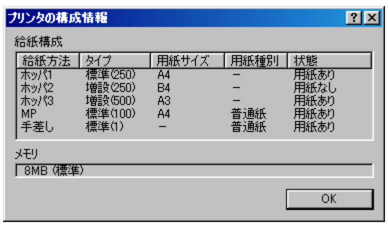
「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントを中止する機能です。
[印刷中止]ボタンをクリックします。

プリンターの構成情報を見る

＜MultiWriter 2300のとき＞



＜MultiWriter 2100のとき＞

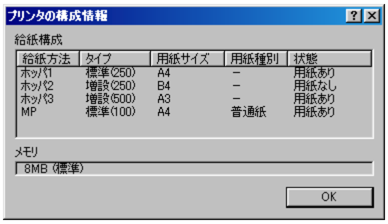


プリンターの構成情報(給紙構成、メモリー)を確認するダイアログボックスです。

このダイアログボックスを表示させるには[構成情報]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[プリンタの構成情報]を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

最新の情報に更新するにはツールバーの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択してください。
常に最新の情報を取得したい場合は[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[常にステータスを取得]をチェックしてください。
[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスの開き方については次ページの「通知形式を変更する」を参照してください。

<MultiWriter 210Sのとき>

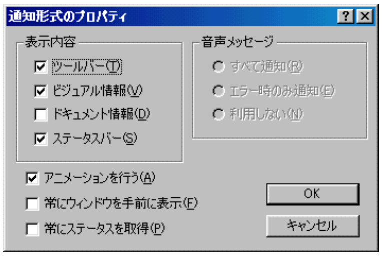


✔チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときは、各OSごとに以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」の内容が表示されます。

- Windows 98/95：[プロパティ]ダイアログボックス
- Windows 2000：[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス
- Windows NT 4.0：[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

通知形式を変更する



プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、プリンタステータスウィンドウのアニメーションを行うかどうか、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。

通知形式は[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで変更します。このダイアログボックスを表示させるためには、[通知形式]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[通知形式]を選択します。

✔チェック

[常にステータスを取得]について

- [常にステータスを取得]をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。
  Windows 2000/NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザーのみが設定を変更できます。
- プリンタ自動切替機能をご利用の場合、グループを構成するプリンターではプリンターの状態を常に監視しているため設定の変更はできません。

ウォームアップを行う



[ウォームアップ開始]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選択すると節電状態のプリンタのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。
なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする

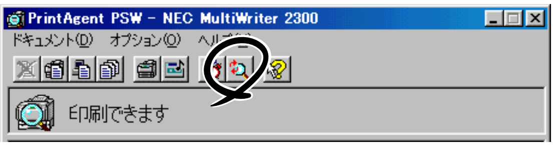


［リモート電源制御］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには、オンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」の「リモート電源制御」をご覧ください。

✔チェック

プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

最新のステータスに更新する



初期設定では印刷しているとき以外は、常にプリンターの状態を監視していません。最新のステータスを取得するには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

リプリント機能を使う



リプリント機能の使用方法については、次ページをご覧ください。
リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷（リプリント）できるようになります。

リプリントは左の［リプリント機能］ダイアログボックスを使って行います。このダイアログボックスは［リプリント］ボタンをクリックするか、［ドキュメント］メニューの［リプリント機能］を選択すると表示されます。
詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMのオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より多くの機能がご利用できます。PrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。

リプリント

リプリント（再印刷）は、一度印刷したデータをアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷する機能です。MultiWriter 2300/2100/210Sではコピー機感覚で操作できる「PrintAgent リプリント2」を提供しています。

PrintAgent リプリント2

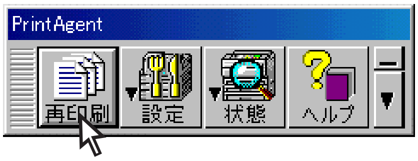
この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされていることが必要です。（PrintAgentのインストール方法については「2章　プリンターソフトウエアのインストール」をご覧ください）。これを使えば、「PrintAgent」ツールバーからPrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

- 標準モード　　　：再印刷する文書に対して丁合い機能、ジョブセパレート機能を選択して仕分け印刷や、両面印刷*をすることができます。
- ジョブ結合モード：一度印刷された複数の文書を結合し、一文書として再印刷することができます。（ジョブ結合の概要については次ページ以降の解説をご覧ください。）

＊　両面印刷機能は、MultiWriter 2300/2100でご利用できます。

PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックします。





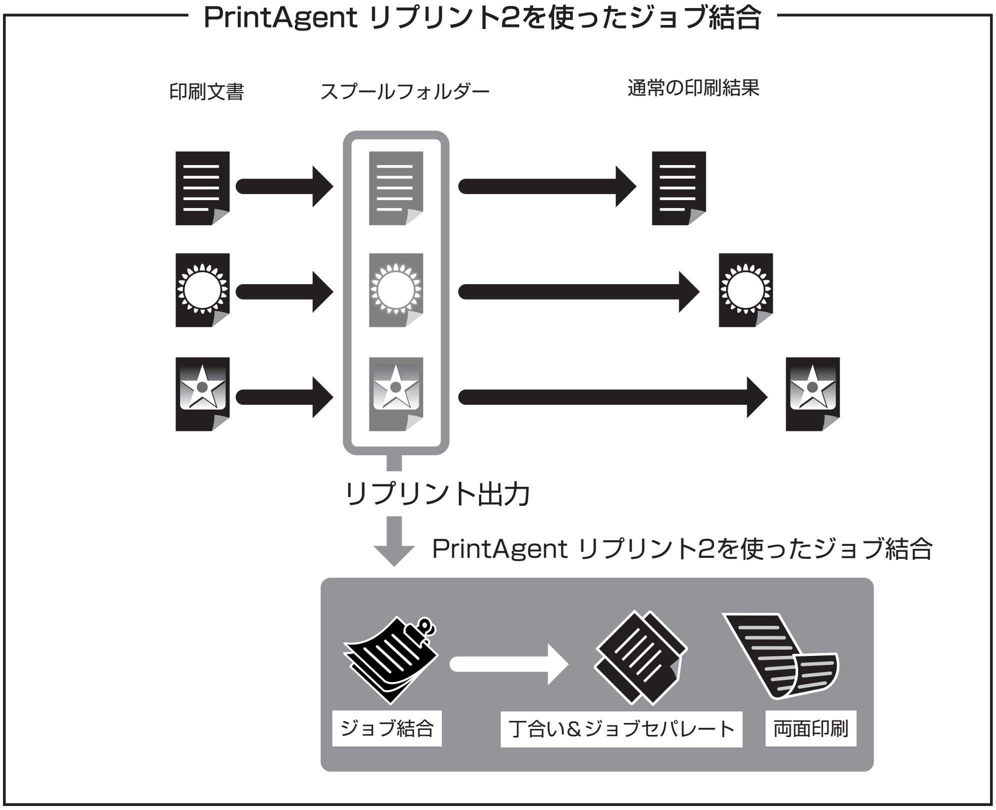
使用条件

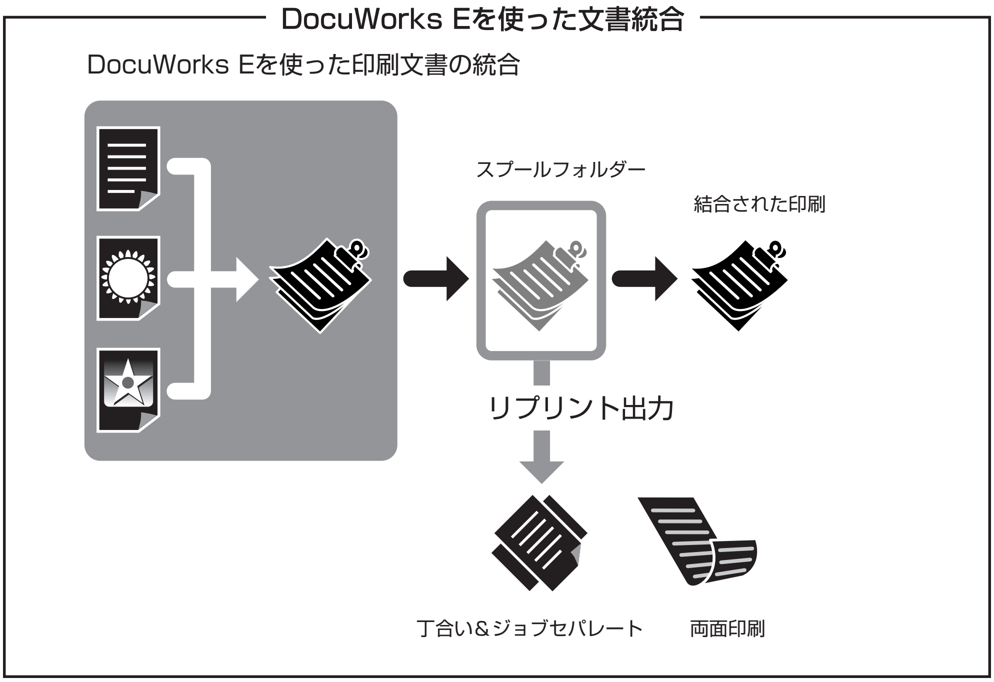
PrintAgentおよびPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。PrintAgent リプリント2はWindows 98/95/2000/NT 4.0で利用でき、PrintAgentをインストールする際に「PrintAgent リプリント2」オプションをチェックしておく必要があります。

文書を結合する

異なる文書を結合するには、次の2つの方法があります。

- 一度印刷した複数の文書を結合する（ジョブ結合）
- 異なるアプリケーションで作成した文書をページ単位に編集して統合する（文書統合）





ジョブ結合

PrintAgentリプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を自由に組み合わせ、選択した順番でひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しても丁合い出力やジョブセパレート出力による仕分け印刷ができます。

コピー作業のように原稿を並べ替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿を並び替えることができ、しかもオリジナルでの出力(MOPYING)が可能です。
設定は[PrintAgent リプリント2]の[ジョブ結合]シートで行います。

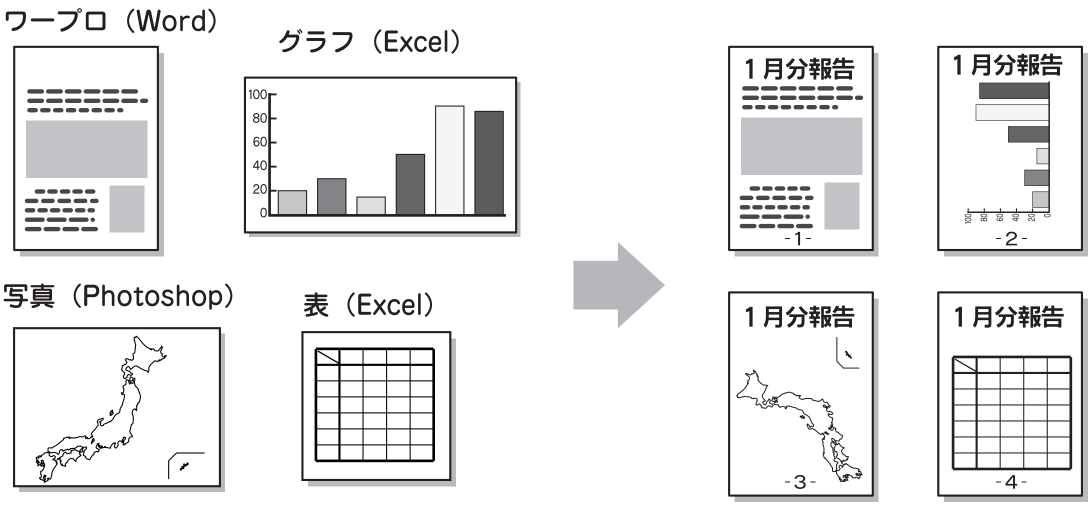


*1　ジョブセパレート機能が有効な場合、選択できます。
*2　両面印刷機能はMultiWriter 2300/2100で、ご利用できます。

文書統合(DocuWorks E)

ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.3.0E」は文書作りをさらに便利にします。

PrintAgent リプリント2は一度印刷した文書を自由に組み合わせる機能ですが、DocuWorks Eはパソコン上の文書ファイルをページ単位で組み合わせるアプリケーションです。組み合わせる文書はアプリケーションの種類を問いません。文書の内容がわかっていれば、いちいちアプリケーションを立ち上げなくても希望のページを抜き出してページ単位で編集することができます。(DocuWorks Eの詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているDocuWorks Eに添付の「ユーザーズマニュアル」をご覧ください。)



仕分け印刷

MultiWriter 2300/2100/210Sでは印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、ジョブセパレート機能、電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能と、丁合い機能、ジョブセパレート機能、電子ソート機能を組み合わせた場合の便利な使い方について説明します。

重要

これらの機能を使用するには、スプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。詳しくは7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(244ページ)をご覧ください。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ････)に印刷する機能です。

MultiWriter 2300/2100/210Sのプリンタードライバーは標準で丁合い機能が有効*になっています。

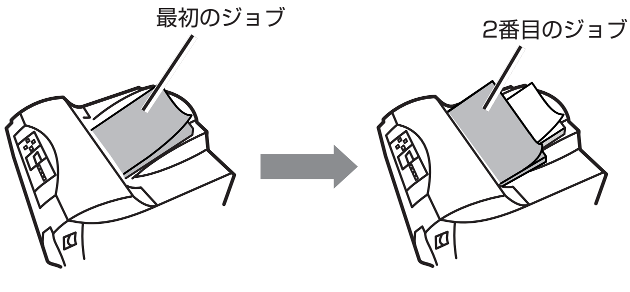
* Windows NT 3.51の場合は、メモリー増設による電子ソート機能有効時に丁合い機能が設定できます。

ジョブセパレート機能

A4サイズの用紙をお使いの場合、印刷ジョブ(ひとつの文書)ごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、排出される用紙をスタッカ上で仕分ける機能です。ホッパー、MP、あるいは増設ホッパーにA4用紙が縦方向と横方向にセットされている必要があります。

ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

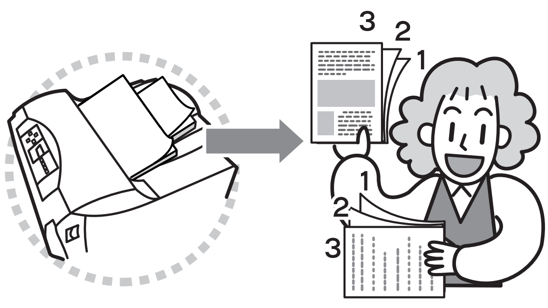
MultiWriter 2300/2100/210Sのプリンタードライバーは標準でジョブセパレート機能が有効になっています。



ジョブセパレートを使った仕分け印刷

ジョブセパレートを使った仕分け印刷とは、ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた場合の使い方です。ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使用すると、部単位ごとに印刷するとともに、用紙を縦置き、横置きと交互にスタッカー上に仕分けて排出します。

なお、本機能を使用するにはスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。

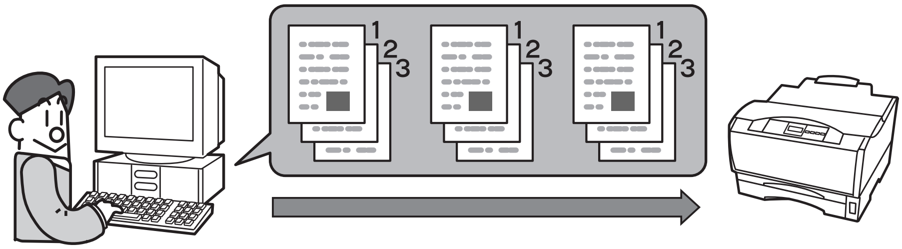


電子ソート機能

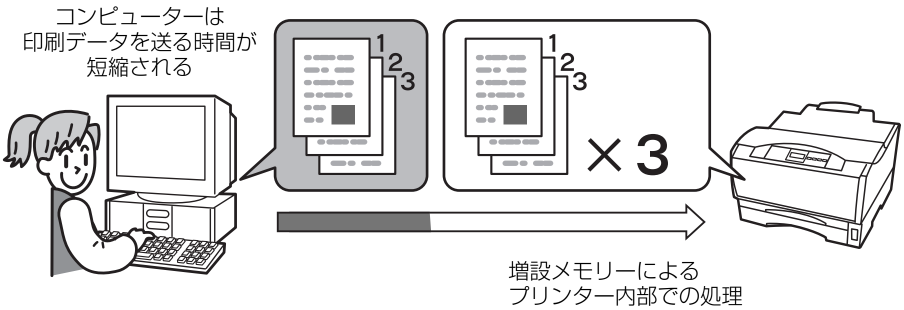
電子ソート機能は、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能*です。これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができます。また2部目以降は本プリンターの最高速度で印刷できます。丁合い機能、ジョブセパレート機能と組み合わせてお使いになると、複数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できる機能です。（増設メモリーによる印刷保証枚数については307ページを参照してください。）

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。（双方向通信有効時）

普通の丁合い印刷での印刷データの送り方

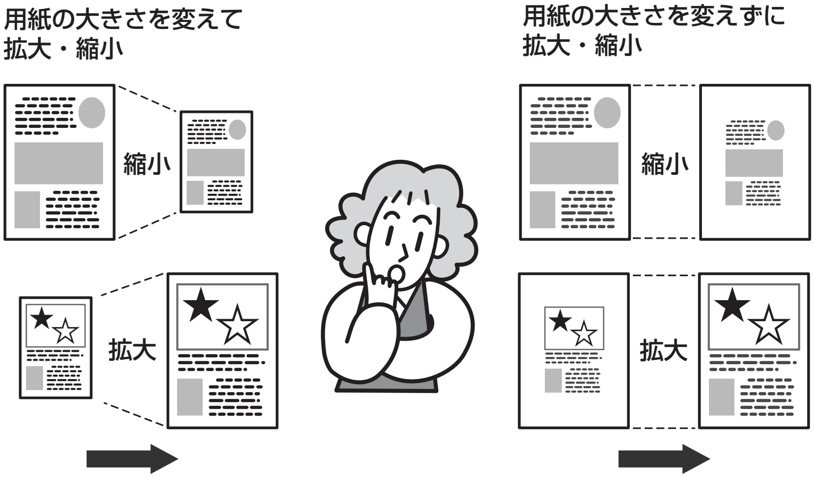


電子ソート機能を使った丁合い機能での印刷データの送り方



拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。



用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する .... MultiWriter 2300/2100：189ページ
MultiWriter 210S：209ページ

  Windows 98/95/2000/NT 4.0でご利用できます。

  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する .... MultiWriter 2300/2100：191ページ
MultiWriter 210S：211ページ

  Windows 98/95/2000/3.1/NT 4.0/NT 3.51でご利用できます。

  アプリケーションの用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ(「A4×2→A4」など)に指定します。この設定はプリンターの機能を利用して印刷を行います。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する .... MultiWriter 2300/2100：190ページ
MultiWriter 210S：210ページ

  Windows 98/95/2000/NT 4.0でご利用できます。
  任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

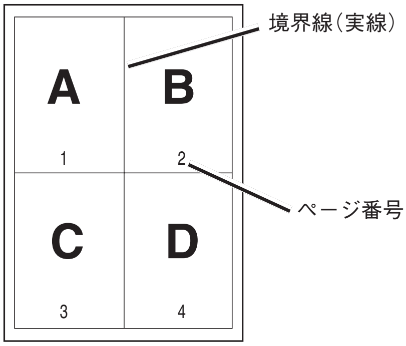
  前述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

複数ページ印刷

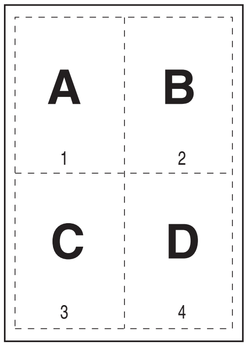
複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。境界線や、ページ番号を次のとおり設定することが出来ます。
他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

Windows 98/95/2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

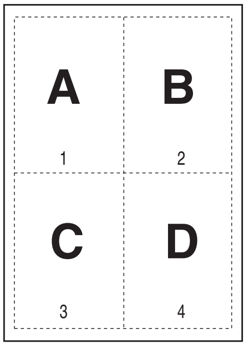
境界線のイメージ(ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定した場合)



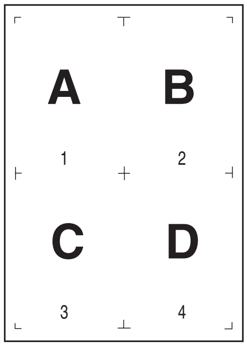
境界線（実線）、
ページ番号付加の場合



境界線（破線）、
ページ番号付加の場合



境界線（点線）、
ページ番号付加の場合

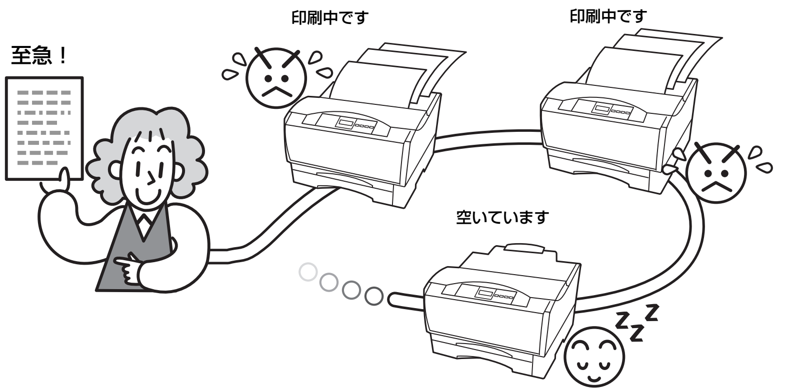


境界線（カットマーク）、
ページ番号付加の場合

プリンターの自動切替

複数のプリンターをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。設定方法については、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

なお、グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriter系のプリンターです。付録「グループプリンター適合表」(308ページ)を参照してください。



使用条件

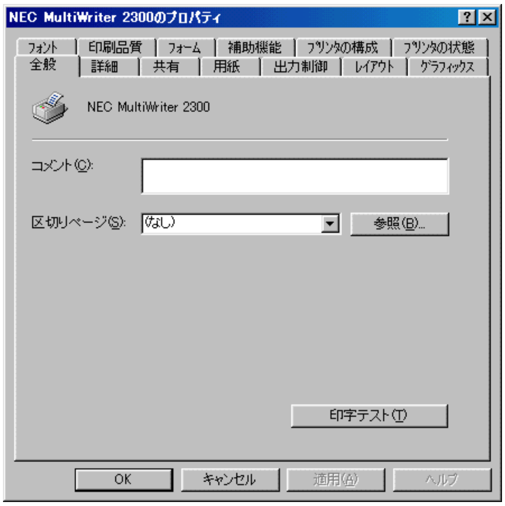
- Windows 98/95/2000/NT 4.0でご利用できます。
- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、自動切替オプションをインストールする必要があります。
- プリンター管理者が複数のMultiWriterをグループプリンタとして登録することが必要です。
- MultiWriter 2300/2100/210SやグループH可能なMultiWriterを複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows 98/95をお使いの場合、グループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

プロパティダイアログボックス（MultiWriter 2300/2100）

MultiWriter 2300/2100ではプロパティダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

Windows 98/95の場合

Windows 98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。
次の13枚のプロパティシートで構成されています。プロパティダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。



- [全般]シート*
- [詳細]シート
- [共有]シート
- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの構成]シート
- [プリンタの状態]シート

* お使いのシステムによっては[情報]シートと表示されることがあります。

[全般]シート

このプロパティシートはプリンターに関するコメントを設定・表示します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。）通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

[詳細]シート

このプロパティシートは印刷先のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示・設定します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

PrintAgentを使用する場合は[スプールの設定]の[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]が選択されている必要があります。

[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows 98/95対応のプリンターをネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合に表示されます。(Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。)

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[出力制御]シート

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーを検出する
- プリンタ自動切替機能

[レイアウト]シート

このプロパティシートはレイアウトに関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 両面印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 解像度
- ディザリング
- 濃度
- 描画方法
- ブラシパターン(解像度に合わせて印刷)
- ビットマップ(低解像度で印刷)
- グレースケール(網点を細かくして印刷)

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチを固定する/しない
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない

[フォーム]シート

このプロパティシートはフォーム印刷を利用する場合に、フォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷は見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷するものです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合は、それぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。
両面印刷ユニットは標準装備されるため、[プリンタの状態]シートに[現在の構成]としては表示されません。
双方向通信している場合[プリンタ情報取得]ボタンを押すと最新の情報を取得することができます。

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。
- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**
  ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

Windows 2000の場合

Windows 2000では、印刷の詳細設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

- [プリンタのプロパティ]ダイアログボックス 147ページ
- [印刷設定]ダイアログボックス 148ページ

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の6枚のプロパティシートで構成されています。[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは開くことができません。



- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [詳細設定]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート

[全般]シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[ポート]シート

このプロパティシートは印刷するポートの表示・設定をします。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]がチェックされている必要があります。

[詳細設定]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定]シート

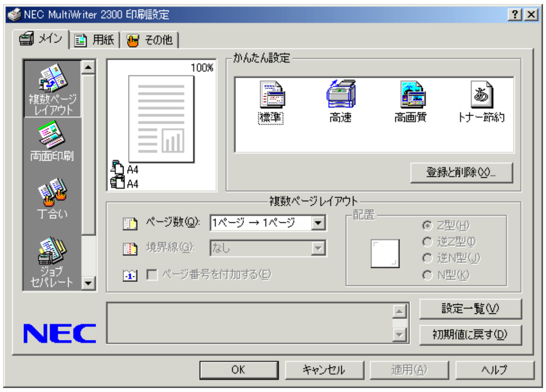
このプロパティシートは以下のプリンターの設定・情報の確認を行うことができます。詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- TrueTypeフォントの置き換え・割り付け
- 出力用紙の割り付け
- 文字セットの選択
- 従来互換の印刷範囲
- ハーフトーンセットアップ
- プリンタの構成
- プリンタ情報取得

設定・情報の確認はツリービューで項目を選んで右側のリストボックス、ボタンを使って行います。

[印刷設定]ダイアログボックス

[印刷設定]ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の3枚のプロパティシートで構成されています。[印刷設定]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。「かんたん設定」機能の使い方については150ページを参照してください。



- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [その他]シート

[メイン]シート

このプロパティシートはレイアウト、出力制御に関する以下の設定を行います。シート左側の[機能選択]バーから機能項目を選び、シート右下のエリア内で設定を行います。各設定の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 複数ページレイアウト
- 両面印刷
- 丁合い
- ジョブセパレート
- リプリント

シート右上の[かんたん設定]エリアはメインシート内の設定だけにかかわらず[印刷設定]ダイアログボックス内のすべてのシートの設定を登録するものです。「かんたん設定」機能の使い方については150ページを参照してください。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。各設定の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズの選択
- 出力サイズの選択
- 出力サイズの割り付け
- 拡大縮小率の指定
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[その他]シート

このプロパティシートは用紙、レイアウト、出力制御関係以外のプロパティを設定します。シート左側のツリービューから機能項目を選び、シート右側のエリア内で設定を行います。設定できる項目は次の5つのグループにまとめられています。詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- グラフィックス
- 印刷品質
- フォント
- 拡張機能
- プリンタ情報取得

プロパティダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから開けるのは[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**

  ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスともに、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

「かんたん設定」

「かんたん設定」はWindows 2000のプリンタードライバーでご利用になれます。[印刷設定]ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここではMultiWriter 2300を例にして、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ5つの機能が設定された[プリンターで登録済みの設定]アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

[プリンターで登録済みの設定]アイコン	設定内容				
	解像度	ブラシパターン	グレースケールの網点	SET機能	トナー節約機能
標準	600dpi	拡大する	細かく	使用する	使用しない
高速	300dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
高画質*	1200dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
トナー節約	600dpi	拡大する	標準	使用する	使用する

* MultiWriter 2300のみ対応

ユーザー設定の登録

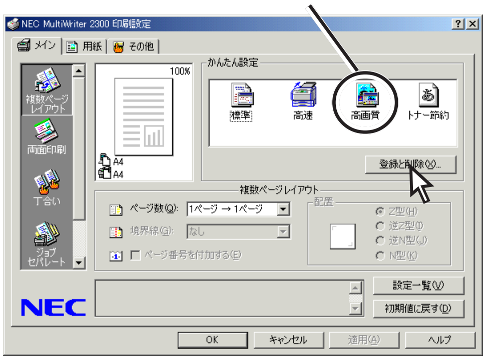
❶ **任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。**

設定内容を確認したい場合は[設定一覧]をクリックして、[設定一覧]ダイアログボックスを表示させます。

❷ **[登録と削除]をクリックする。**

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログが表示されます。

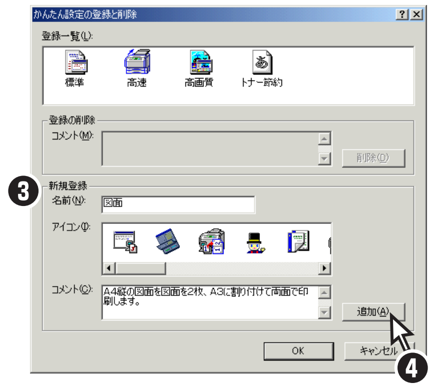
[高画質]アイコンはMultiWriter 2100の場合表示されません。



❸ **名前を入力し、任意のアイコンを選択します。**

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。
登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで[コメント]ボックスに入力することができます。

❹ **[追加]をクリックする。**



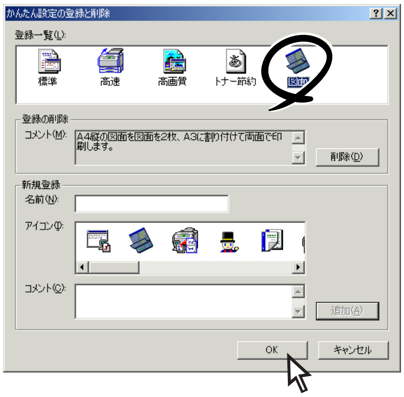
❺ 設定内容が表示されるので、確認して[OK]をクリックする。

[印刷設定]ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。



❻ [登録一覧]リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、[OK]をクリックする。

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。



各シートの右クリックメニューからも[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス[設定一覧]ダイアログボックスを開くことができます。

ユーザー設定の削除

❶ [メイン]シートを開く。

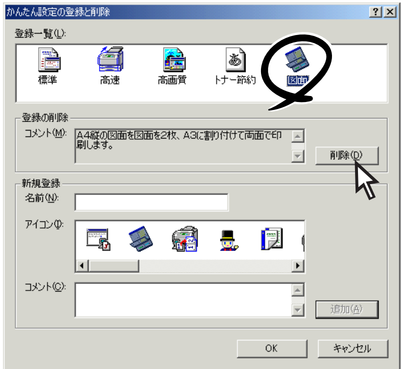
❷ [登録と削除]をクリックする。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスが表示されます。

❸ 削除したいアイコンを選択し、[削除]をクリックする。

✔チェック

[プリンターで登録済みの設定]アイコンは削除できません。



❹ [OK]をクリックする。



❺ [登録一覧]リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

各シートの右クリックメニューからも[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス[設定一覧]ダイアログボックスを開くことができます。

Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

- [デバイスプロパティ]ダイアログボックス 152ページ
- [ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス....... 153ページ

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の7枚のプロパティシートで構成されています。[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは開くことができません。



- [全般]シート
- [ポート]シート
- [スケジュール]シート
- [共有]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[全般]シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[ポート]シート

このプロパティシートは印刷するポートの表示・設定をします。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

PrintAgentを使用する場合は、「双方向サポートを有効にする」がチェックされている必要があります。

[スケジュール]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[共有]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。
プリンターを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 出力用紙の設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンセットアップ

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。

双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

双方向通信している場合[プリンタ情報取得]ボタンを押すと最新の情報を取得することができます。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の9枚のプロパティシートで構成されています。[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。



- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの状態]シート

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[出力制御]シート

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーを検出する
- プリンタ自動切替機能

[レイアウト]シート

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。

- 両面印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- グレイスケール(網点を細かくして印刷)
- ハーフトーンカラーの調整

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定

[フォーム]シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。
双方向通信している場合[プリンタ情報取得]ボタンを押すと最新の情報を取得することができます。

プロパティダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから開けるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスのみです。

- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**

  ダイアログボックスの設定は、[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

Windows NT 3.51の場合

Windows NT 3.51では以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

- [デバイスプロパティ]ダイアログボックス 155ページ
- [ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス 156ページ

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスはプリンターに関する設定を行うものです。次の2枚のプロパティシートで構成されています。[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティーごとに説明します。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。



- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

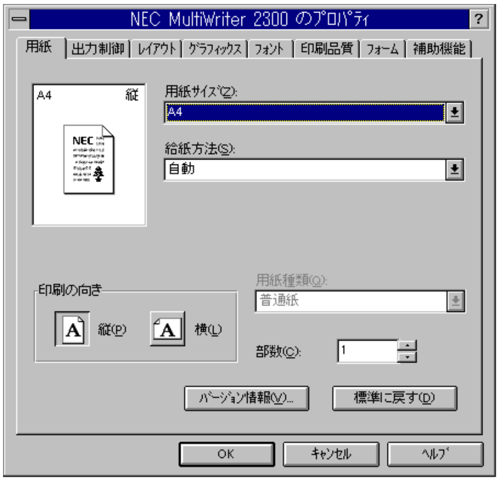
- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンの設定

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。それぞれ表示されている項目から装着されているオプションをクリックし、プリンターの構成を設定します。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の8枚のプロパティシートで構成されています。



- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[出力制御]シート

このプロパティシートは以下の出力制御に関する設定を行います。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- 用紙サイズエラーを検出する

[レイアウト]シート

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 両面印刷
- 印刷位置の調整

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- グレイスケール(網点を細かくして印刷)
- ハーフトーンカラーの調整

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定

[フォーム]シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

プロパティダイアログボックスの開き方

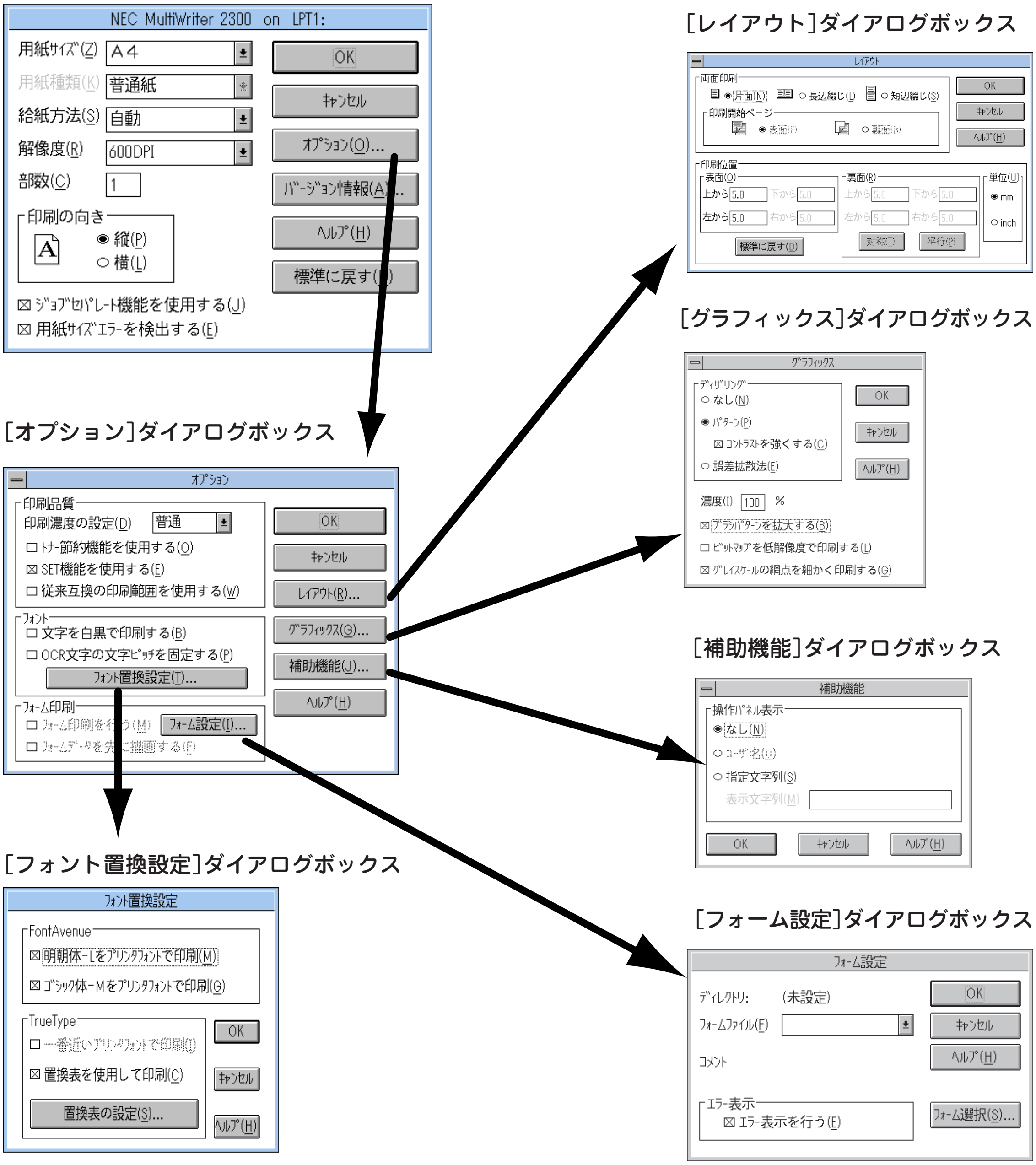
プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定項目などが表示されないことがあります。アプリケーションから開けるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスのみです。
- **[プリントマネージャ]を使って開く方法**
  ダイアログボックスの設定は[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

Windows 3.1の場合

Windows 3.1では、次のような[印刷設定]ダイアログボックスで印刷に関する詳細設定を行うことができます。ただし、MultiWriter 2300では解像度1200dpiをサポートしていますが、Windows 3.1をご利用の場合、解像度を1200dpiに設定することはできません。

[印刷設定]ダイアログボックス



[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは用紙や印刷品質に関する設定を行うものです。

さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は[オプション]ボタンをクリックすると表示する[オプション]ダイアログボックスから設定することができます。

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 給紙方法
- 解像度
- 部数
- 印刷の向き
- ジョブセパレート機能
- 用紙サイズエラーを検出する

[オプション]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行うものです。

- 印刷品質の設定
- フォントの設定
- フォーム印刷の設定
- [レイアウト]ダイアログボックスの起動
- [グラフィックス]ダイアログボックスの起動
- [補助機能]ダイアログボックスの起動

[レイアウト]ダイアログボックス

このダイアログボックスは両面印刷機能および印刷位置調整機能に関する設定を行うものです。

[フォントの置換設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷する設定を行うものです。

[グラフィックス]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。

- ディザリング
- 濃度
- ブラシパターン（解像度に合わせて印刷）
- ビットマップ（低解像度の印刷）
- グレイスケール（網点を細かくして印刷）

[フォーム設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[印刷設定]ダイアログボックスの開き方

[印刷設定]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

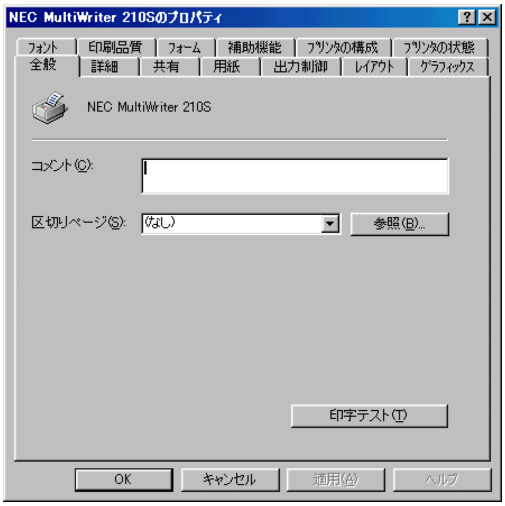
- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。
- **[コントロールパネル]を使って開く方法**
  ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

プロパティダイアログボックス（MultiWriter 210S）

MultiWriter 210Sではプロパティダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

Windows 98/95の場合

Windows 98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。
次の13枚のプロパティシートで構成されています。プロパティダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。



- ［全般］シート*
- ［詳細］シート
- ［共有］シート
- ［用紙］シート
- ［出力制御］シート
- ［レイアウト］シート
- ［グラフィックス］シート
- ［フォント］シート
- ［印刷品質］シート
- ［フォーム］シート
- ［補助機能］シート
- ［プリンタの構成］シート
- ［プリンタの状態］シート

* お使いのシステムによっては［情報］シートと表示されることがあります。

［全般］シート

このプロパティシートはプリンターに関するコメントを設定・表示します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバーとして共通のものです。）通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

［詳細］シート

このプロパティシートは印刷先のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示・設定します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

PrintAgentを使用する場合は［スプールの設定］の［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されている必要があります。

[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows 98/95対応のプリンターをネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合に表示されます。(Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。)

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[出力制御]シート

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーを検出する
- プリンタ自動切替機能

[レイアウト]シート

このプロパティシートはレイアウトに関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 解像度
- ディザリング
- 濃度
- 描画方法
- ブラシパターン(解像度に合わせて印刷)
- ビットマップ(低解像度で印刷)
- グレースケール(網点を細かくして印刷)

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチを固定する/しない
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 印刷濃度の設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない

[フォーム]シート

このプロパティシートはフォーム印刷を利用する場合に、フォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷は見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷するものです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。
双方向通信している場合[プリンタ情報取得]ボタンを押すと最新の情報を取得することができます。

ダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。
- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**
  ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

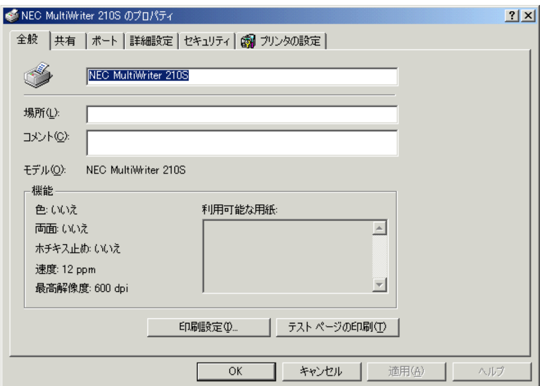
Windows 2000の場合

Windows 2000では、印刷の詳細設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

- [プリンタのプロパティ]ダイアログボックス 162ページ
- [印刷設定]ダイアログボックス 163ページ

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の6枚のプロパティシートで構成されています。[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。
このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは開くことができません。



- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [印刷設定]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート

[全般]シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[共有]シート

このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[ポート]シート

このプロパティシートは印刷するポートの表示・設定をします。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]がチェックされている必要があります。

[詳細設定]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定・情報の確認を行うことができます。詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

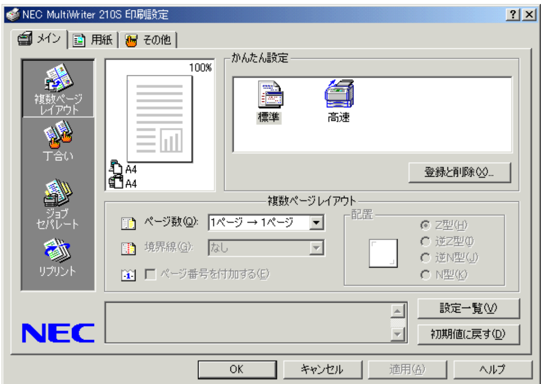
- TrueTypeフォントの置き換え・割り付け
- 出力用紙の割り付け
- 文字セットの選択
- 従来互換の印刷範囲
- ハーフトーンセットアップ
- プリンタの構成
- プリンタ情報取得

設定・情報の確認はツリービューで項目を選んで右側のリストボックス、ボタンを使って行います。

[印刷設定]ダイアログボックス

[印刷設定]ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の3枚のプロパティシートで構成されています。[印刷設定]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

「かんたん設定」機能の使い方については165ページを参照してください。



- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [その他]シート

[メイン]シート

このプロパティシートはレイアウト、出力制御に関する以下の設定を行います。シート左側の[機能選択]バーから機能項目を選び、シート右下のエリア内で設定を行います。各設定の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 複数ページレイアウト
- 丁合い
- ジョブセパレート
- リプリント

シート右上の[かんたん設定]エリアはメインシート内の設定だけにかかわらず[印刷設定]ダイアログボックス内のすべてのシートの設定を登録するものです。「かんたん設定」機能の使い方については165ページを参照してください。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。各設定の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズの選択
- 出力サイズの選択
- 出力サイズの割り付け
- 拡大縮小率の指定
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[その他]シート

このプロパティシートは用紙、レイアウト、出力制御関係以外のプロパティを設定します。シート左側のツリービューから機能項目を選び、シート右側のエリア内で設定を行います。設定できる項目は、次の5つのグループにまとめられています。詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- グラフィックス
- 印刷品質
- フォント
- 拡張機能
- プリンタ情報取得

プロパティダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから開けるのは[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**

  ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスともに、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

「かんたん設定」

「かんたん設定」はWindows 2000のプリンタードライバーでご利用になれます。[印刷設定]ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここでは「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ3つの機能が設定された[プリンターで登録済みの設定]アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

[プリンターで登録済みの設定]アイコン	設定内容		
	解像度	ブラシパターン	グレースケールの網点
標準	600dpi	拡大する	細かく
高速	300dpi	拡大する	標準

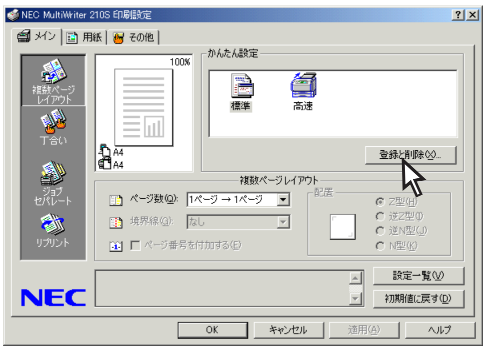
ユーザー設定の登録

❶ 任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。

設定内容を確認したい場合は[設定一覧]をクリックして、[設定一覧]ダイアログボックスを表示させます。

❷ [登録と削除]をクリックする。

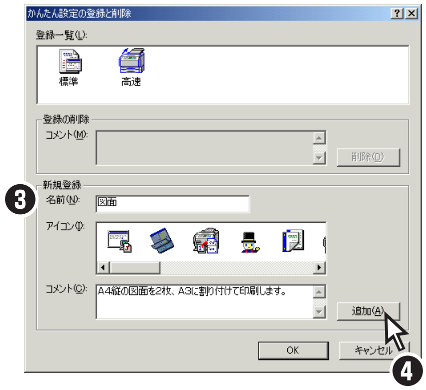
[かんたん設定の登録と削除]ダイアログが表示されます。



❸ 名前を入力し、任意のアイコンを選択します。

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。
登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで[コメント]ボックスに入力することができます。

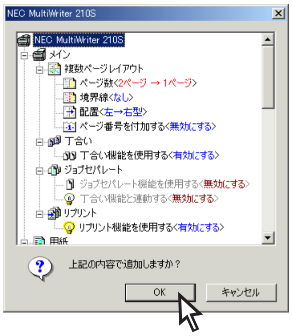
❹ [追加]をクリックする。



5 より進んだ使い方

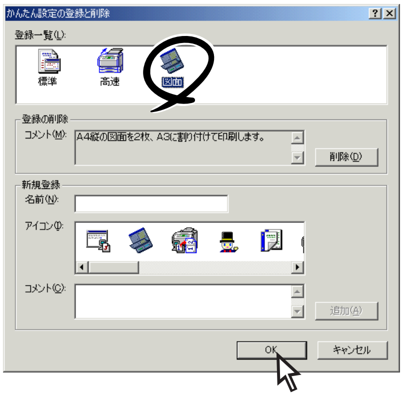
❺ **設定内容が表示されるので、確認して[OK]をクリックする。**

[印刷設定]ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。



❻ **[登録一覧]リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、[OK]をクリックする。**

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。



各シートの右クリックメニューからも[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス[設定一覧]ダイアログボックスを開くことができます。

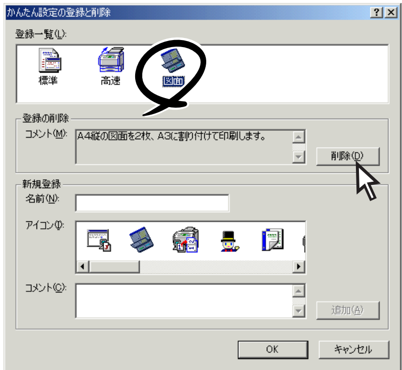
ユーザー設定の削除

❶ **[メイン]シートを開く。**

❷ **[登録と削除]をクリックする。**

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスが表示されます。

❸ **削除したいアイコンを選択し、[削除]をクリックする。**



✔チェック

[プリンターで登録済みの設定]アイコンは削除できません。

❹ **[OK]をクリックする。**



❺ **[登録一覧]リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。**

各シートの右クリックメニューからも[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス[設定一覧]ダイアログボックスを開くことができます。

Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

- ［デバイスプロパティ］ダイアログボックス 167ページ
- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス 168ページ

［デバイスプロパティ］ダイアログボックス

［デバイスプロパティ］ダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の7枚のプロパティシートで構成されています。［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは開くことができません。



- ［全般］シート
- ［ポート］シート
- ［スケジュール］シート
- ［共有］シート
- ［セキュリティ］シート
- ［プリンタの設定］シート
- ［プリンタの構成］シート

［全般］シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

［ポート］シート

このプロパティシートは印刷するポートの表示・設定をします。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

PrintAgentを使用する場合は、「双方向サポートを有効にする」がチェックされている必要があります。

［スケジュール］シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

［共有］シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。プリンターを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 出力用紙の設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンセットアップ

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。

双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

双方向通信している場合[プリンタ情報取得]ボタンを押すと最新の情報を取得することができます。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の7枚のプロパティシートで構成されています。[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。



- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの状態]シート

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。各項目の詳細はオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[出力制御]シート

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能
- 用紙サイズエラーを検出する
- プリンタ自動切替機能

[レイアウト]シート

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。

- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- グレイスケール(網点を細かくして印刷)
- ハーフトーンカラーの調整

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷濃度の設定を行うものです。

[フォーム]シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。

双方向通信している場合[プリンタ情報取得]ボタンを押すと最新の情報を取得することができます。

プロパティダイアログボックスの開き方

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから開けるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスのみです。
- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く方法**
  ダイアログボックスの設定は、[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

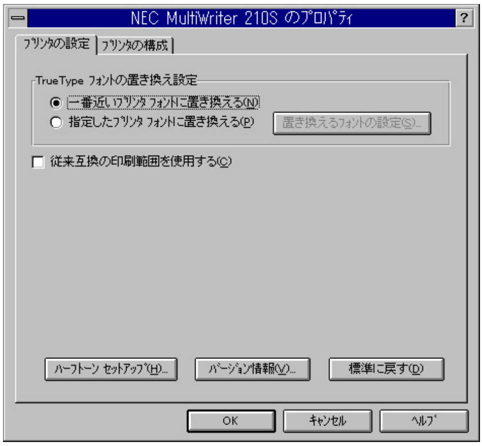
Windows NT 3.51の場合

Windows NT 3.51では以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

- [デバイスプロパティ]ダイアログボックス 170ページ
- [ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス 170ページ

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の2枚のプロパティシートで構成されています。[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。



- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
- ハーフトーンの設定

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。それぞれ表示される項目から装着されているオプションをクリックし、プリンターの構成を設定します。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の7枚のプロパティシートで構成されています。



- [用紙]シート
- [出力制御/レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

[出力制御/レイアウト]シート

このプロパティシートは以下の出力制御に関する設定を行います。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- 用紙サイズエラーを検出する
- 印刷位置の調整

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大して印刷
- 印刷データ全体をビットマップで印刷
- グレイスケール（網点を細かくして印刷）
- ハーフトーンカラーの調整

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。各項目の詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

- TrueTypeフォントの置き換え方法
- 文字を白黒で印刷する/しない
- OCR文字の文字ピッチ固定

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷濃度の設定を行うものです。詳細についてはオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。

[フォーム]シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[補助機能]シート

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

プロパティダイアログボックスの開き方

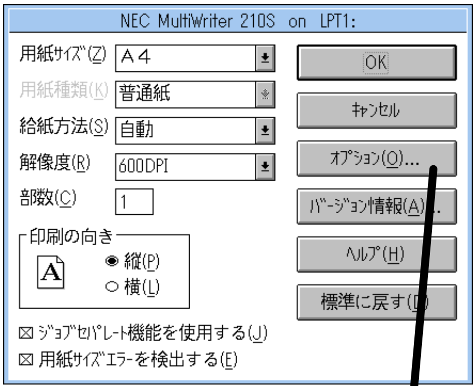
プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定項目などが表示されないことがあります。アプリケーションから開けるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスのみです。
- **[プリントマネージャ]を使って開く方法**
  ダイアログボックスの設定は[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

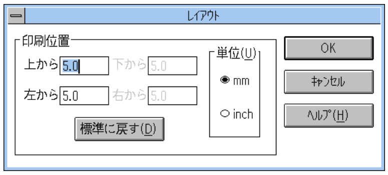
Windows 3.1の場合

Windows 3.1では、次のような[印刷設定]ダイアログボックスで印刷に関する詳細設定を行うことができます。

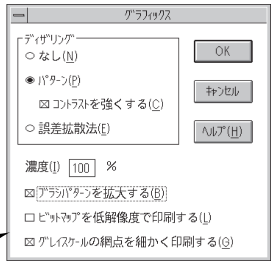
[印刷設定]ダイアログボックス



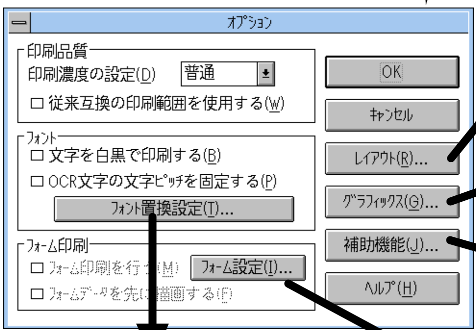
[レイアウト]ダイアログボックス



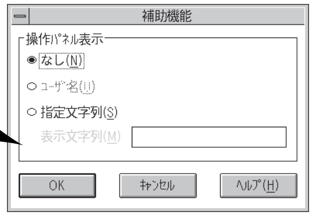
[グラフィックス]ダイアログボックス



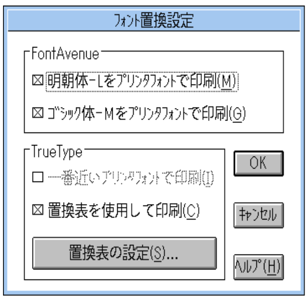
[オプション]ダイアログボックス



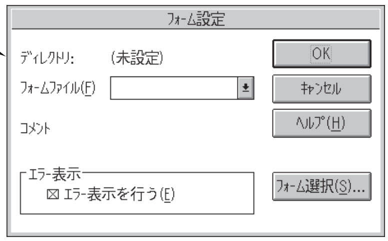
[補助機能]ダイアログボックス



[フォント置換設定]ダイアログボックス



[フォーム設定]ダイアログボックス



[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは用紙や印刷品質に関する設定を行うものです。さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は[オプション]ボタンをクリックすると表示する[オプション]ダイアログボックスから設定することができます。

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 給紙方法
- 解像度
- 部数
- 印刷の向き
- ジョブセパレート機能
- 用紙サイズエラーを検出する

[オプション]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行うものです。

- 印刷品質の設定
- フォントの設定
- フォーム印刷の設定
- [レイアウト]ダイアログボックスの起動
- [グラフィックス]ダイアログボックスの起動
- [補助機能]ダイアログボックスの起動

[レイアウト]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷位置調整機能に関する設定を行うものです。

[フォント置換設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷する設定を行うものです。

[グラフィックス]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。

- ディザリング
- 濃度
- ブラシパターン(解像度に合わせて印刷)
- ビットマップ(低解像度の印刷)
- グレイスケール(網点を細かくして印刷)

[フォーム設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[印刷設定]ダイアログボックスの開き方

[印刷設定]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。
- **[コントロールパネル]を使って開く方法**
  ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

設定方法
(MultiWriter 2300/2100)

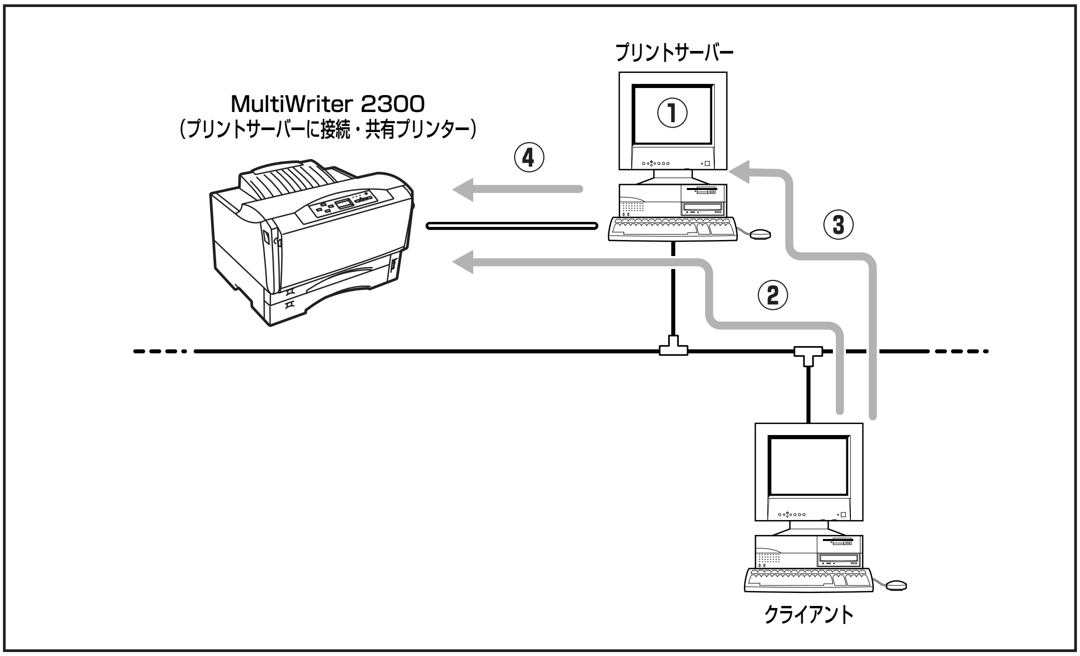
ここでは、MultiWriter 2300/2100でご利用可能な機能の設定方法について説明します。

リプリント機能

Windows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターで利用できます。
リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

Step 1　リプリント機能を設定する(リプリント機能の提供)
Step 2　印刷する(リプリント用ファイルのスプール)
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ(スプールファイルの選択)
Step 4　リプリントする(スプールファイルの出力)

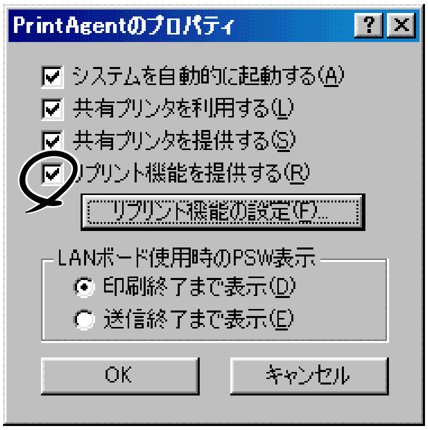
このイラストはクライアントからリプリントを実行する場合のステップを説明したものです。



MultiWriter 2300の場合

Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、［リプリント機能を提供する］をチェックする。



重要

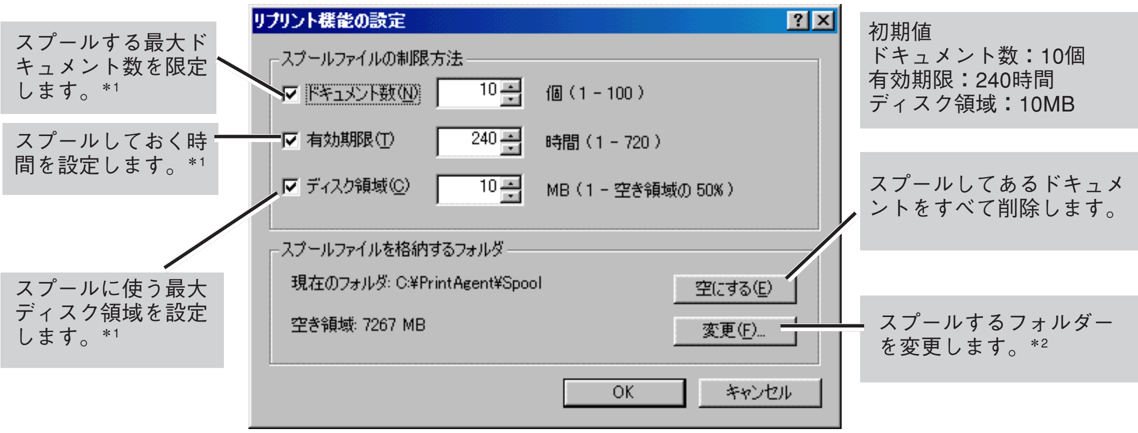
プリントサーバーがWindows 2000/NT 4.0の場合、Administratorsの権限がないと、この設定はできません。

［リプリント機能を提供する］

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには［リプリント機能の設定］ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

［リプリント機能の設定］ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。



*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

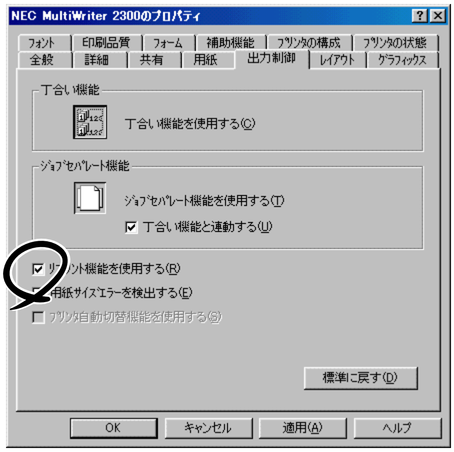
Step 2　印刷する

❶ **リプリント機能を利用するプリンターのプロパティダイアログボックスを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックする。**

リプリント機能は標準で有効になっています。

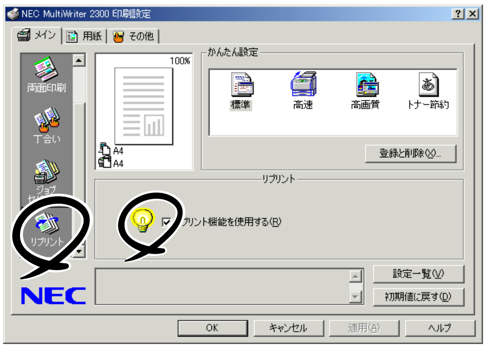
＜Windows 98/95の場合＞

プリンターのプロパティの[出力制御]シート



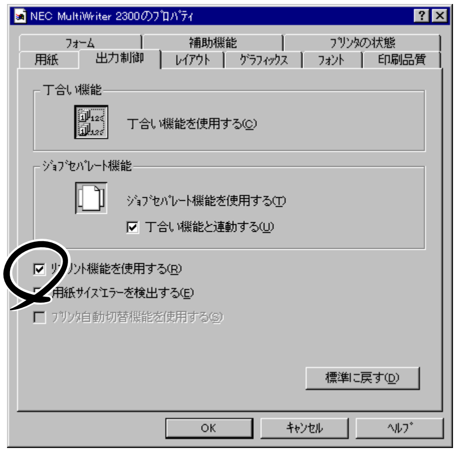
＜Windows 2000の場合＞

[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートの[機能選択]バーで[リプリント]ボタンを選択



＜Windows NT 4.0の場合＞

[ドキュメントプロパティ]の[出力制御]シート



❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ

❶ 「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。



❷ [標準]シートを開く。

❸ [PrintAgent リプリント2]でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。

✔チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは175ページを参照してください。



Step 4　リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷を設定して印刷する。

次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。



リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたって以下の内容を参考にしてください。

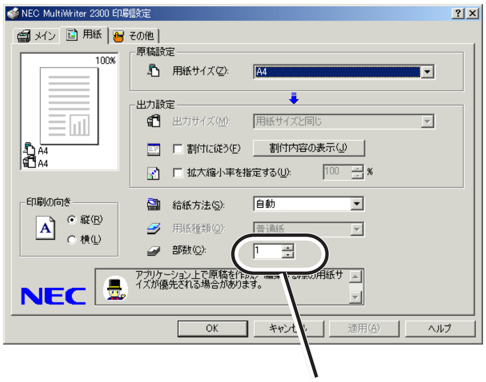
- **リプリントされるページは、最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。**

  たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。ただし部数、丁合い、ジョブセパレートの設定は初期化されますので、リプリントするときに再設定することになります。

  <Windows 98/95/NT 4.0の場合>



<Windows 2000の場合>



リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

- **リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**

  たとえば10ページある文書の中から下の[印刷]ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1ページと4～10ページをリプリントすることはできません。

  <Windows 98/95/NT 4.0の場合>



<Windows 2000の場合>



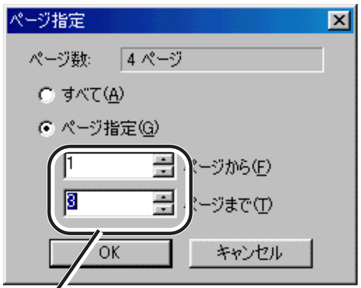
リプリントに有効なページは2～3ページです。

リプリント出力時は初期化されます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

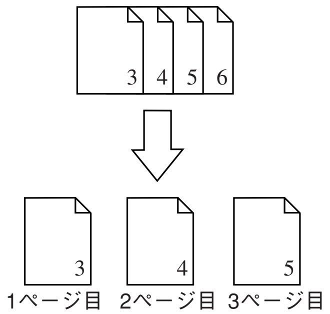
- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**

  たとえばアプリケーションで文書の3〜6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

PrintAgent リプリント2の場合

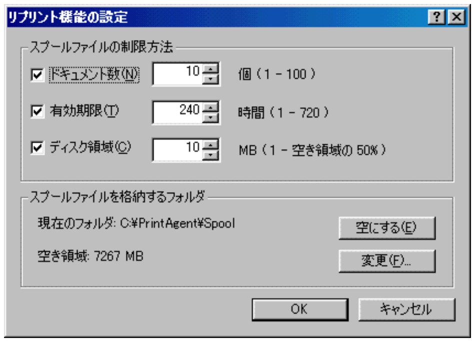


リプリント機能での印刷：[1]ページから
[3]ページまで



- **ネットワーク環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。**

  スプールされたファイルは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。



文書結合

ここではジョブ結合の設定方法について説明します。

ジョブ結合

ジョブ結合の使い方はPrintAgent リプリント2でリプリントする場合と最初の手順は同じです。

❶ **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。（詳細は175ページ）

❷ **アプリケーションから印刷する。**

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。（詳細は176ページ）

❸ **「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。**

PrintAgent リプリント2が起動します。



❹ **ジョブ結合シートを開く。**

❺ **ジョブ結合したいドキュメントを選択する。**

チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は[前へ]ボタンまたは[後へ]ボタンを押して変更してください。

❻ **必要に応じて丁合い、ジョブセパレート機能、両面印刷機能を選択して、印刷仕上がりを設定する。**

❼ **再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し[スタート]ボタンをクリックする。**

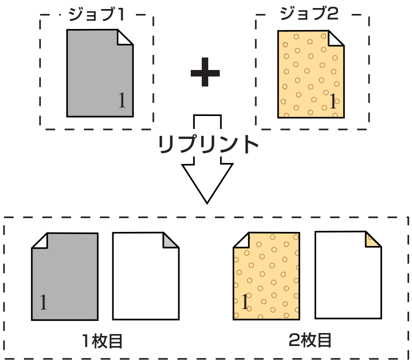


ジョブ結合における両面印刷の注意事項

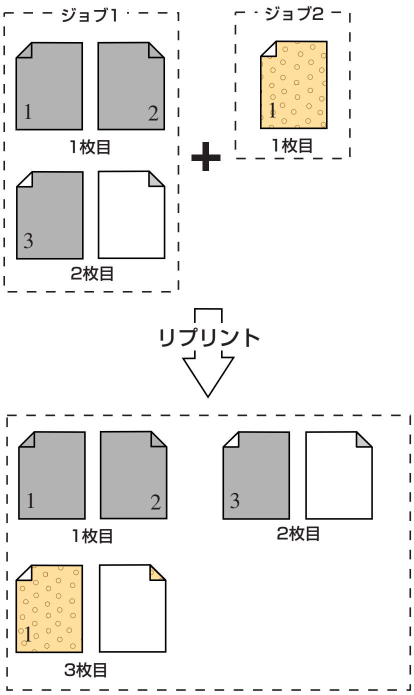
PrintAgent リプリント2のジョブ結合で両面印刷を利用するにあたって、以下の内容を参考にしてください。

- **プリンタードライバーで片面に印刷設定されたドキュメントジョブを結合し、両面印刷設定をして印刷したときは、次のように印刷されます。**

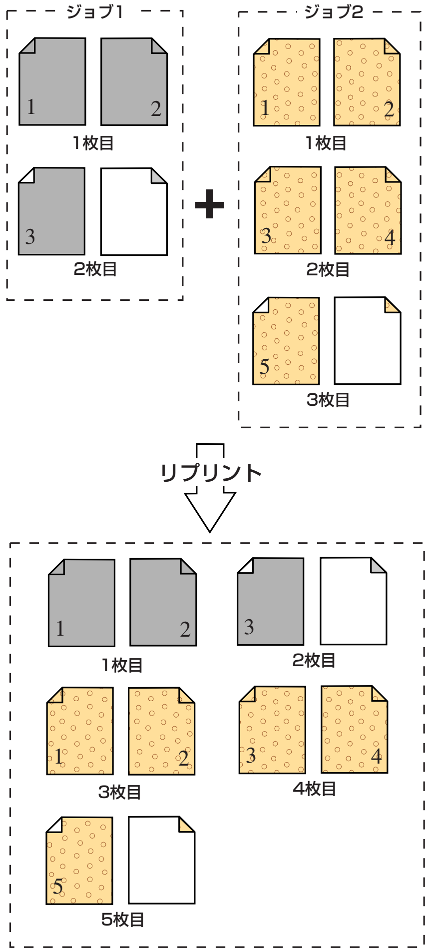
＜ジョブ1が1ページ(片面)、ジョブ2が1ページ(片面)の場合＞



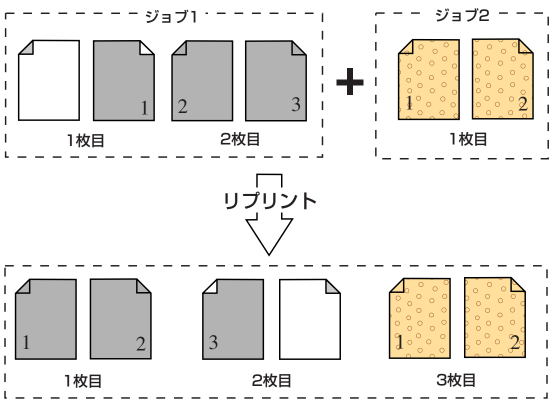
＜ジョブ1が3ページ(両面)、ジョブ2が1ページ(片面)の場合＞



＜ジョブ1が3ページ(両面)、ジョブ2が5ページ(両面)の場合＞



- **プリンタードライバーで裏面から印刷した両面のドキュメントジョブを結合し、両面設定をして印刷した場合は、次のように印刷されます。**



開始ページを裏面からにして両面印刷したい場合は、「変更しない」を選択してください。

仕分け印刷の設定

以下の3つの機能の設定方法について説明します。

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定をよくお読みになり、組み合わせたい機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能はWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1で動作しているコンピューターで利用できます。

✔チェック

- ジョブセパレート機能は、A4用紙を縦置き、横置きに2か所以上セットしたときに機能します。A4用紙サイズ以外の用紙サイズでは機能しません。
- MPにA4用紙をセットした場合は、用紙種類を[普通紙]に設定してください。設定されていないと、ジョブセパレート機能は動作しません。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが1台のプリンターを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を実現するためには、すべてのクライアントにおいて、[ジョブセパレート機能を使用する]および[給紙方法]の項目が[自動]に設定されている必要があります。
- プリンターと双方向通信が無効な場合、ジョブセパレートを使った仕分け印刷ができない場合があります。7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(244ページ)を参照して双方向通信を有効にしてください。

❶ ホッパー、MP、あるいは増設ホッパーにA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。

✔チェック

- A4用紙をセットする場合は用紙のセット方向(縦置き、横置き)を用紙サイズ設定ダイヤルで確認してください。
- プリンターの操作パネル表示が「ホッパ」もしくは「MP」になっていることを確認してください。

❷ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

❸ 給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

＜Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合＞

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート
- Windows NT 4.0/NT 3.51*は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。以下同様です。

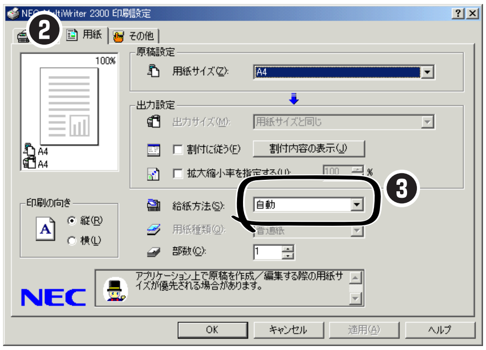


✔チェック

MPを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、[出力制御]シートの[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされている必要があります。

<Windows 2000の場合>

[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シート



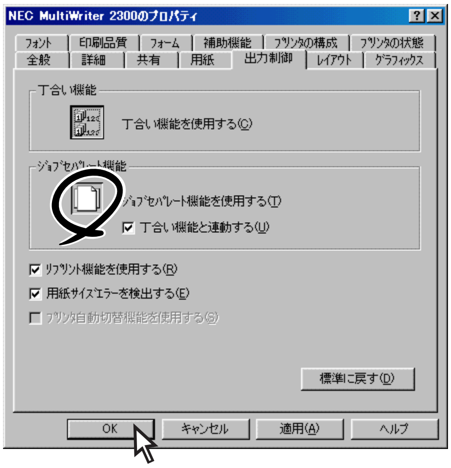
<Windows 3.1の場合>

[印刷設定]ダイアログボックス

❹ ジョブセパレート機能を有効にする。

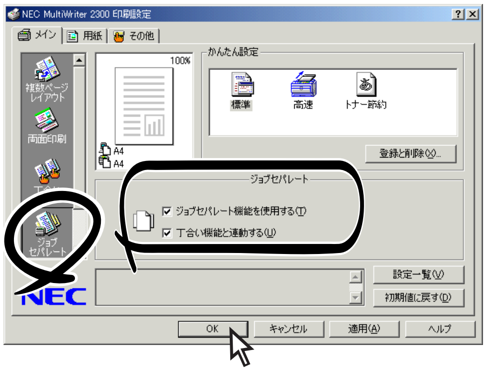
<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、ジョブセパレート機能の[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンをクリックします。
- Windows NT 4.0/NT 3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、ジョブセパレート機能の[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンをクリックします。



<Windows 2000の場合>

① プリンターの[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[ジョブセパレート]ボタンを選択します。
② [ジョブセパレート]の[ジョブセパレート機能を使用する]をチェックします。



<Windows 3.1の場合>

[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[ジョブセパレート機能を使用する]をチェックします。

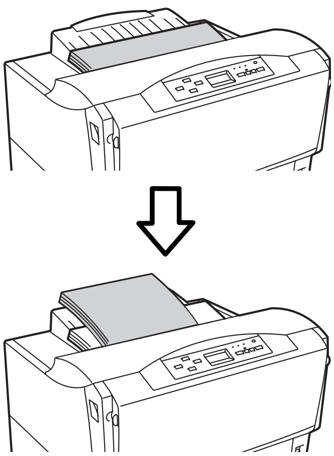
❺ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲を指定して[OK]をクリックする。

丁合や印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで指定してください。

印刷が始まり、給紙設定されている(プリンターのディスプレイに表示されている)給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

❻ 次の文書の印刷範囲、印刷部数を指定して印刷する。

前に印刷された用紙の置き方と別の向きにセットされている給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。



丁合い機能

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に印刷する機能です。

丁合い機能はWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。また、Windows NT 3.51や双方向通信が無効な環境の場合には、メモリーを増設して電子ソート機能を有効にすることにより、利用できるようになります。（電子ソート機能については186ページをご覧ください。）双方向通信については7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（244ページ）をご覧ください。

チェック

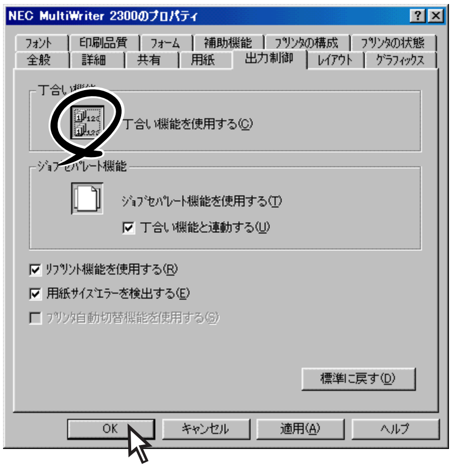
丁合い機能の選択はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*、部数の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合い、部数の指定をしないでください。

＊ アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

❶ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。

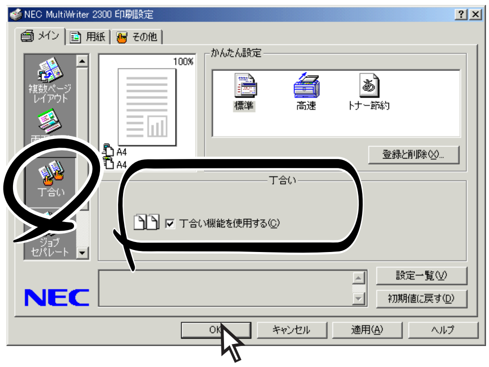
<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

- Windows 98/95は［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、［丁合い機能を使用する］ボタンをクリックします。
- Windows NT 4.0/NT 3.51は［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、［丁合い機能を使用する］ボタンをクリックします。



<Windows 2000の場合>

① プリンターの［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［丁合い］ボタンを選択します。
② ［丁合い］の［丁合い機能を使用する］をチェックします。



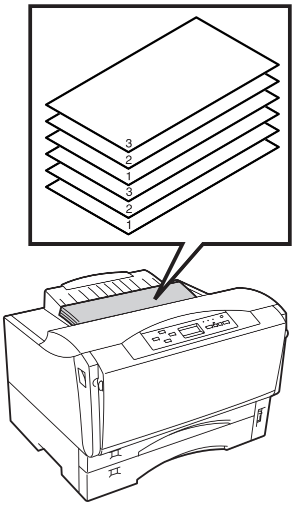
［丁合い機能と連動する］ボタンについて

［ジョブセパレート機能］で［丁合い機能と連動する］をチェックしておくと［丁合い機能を使用する］ボタンと［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンが連動してON/OFFできるようになります。

❷ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

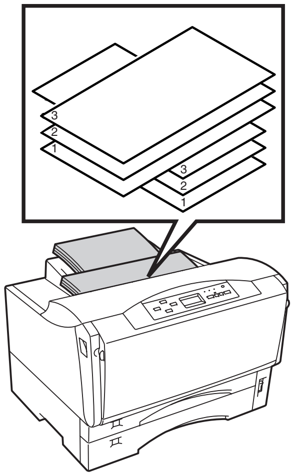
丁合や印刷部数は、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。



ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が縦置き、横置きに仕分けされながらスタッカー上に排出されます。



ジョブセパレート機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と182ページの「ジョブセパレート機能」手順❶〜❹の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。

電子ソート機能

電子ソート機能は複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*です。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。(増設メモリーの取り付け方は284ページを参照してください)。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

重要

MultiWriter 2300/2100/210Sを双方向通信が無効な環境でお使いの場合には、プリンター本体に装備したメモリー容量をプリンタードライバーで設定する必要があります。次の手順に従って、メモリー容量を設定してください。ただし、双方向通信が有効な環境ではPrintAgentの機能により自動的に設定されます。

電子ソート機能はWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51で動作しているコンピューターで利用できます。

また増設メモリーによる印刷保証枚数については、「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」(307ページ)を参照してください。

チェック

- 電子ソート機能を有効にするためには、プリンターに64MB以上のメモリーを増設してください。
- MultiWriter 2300をご使用の場合で、解像度を1200dpiに設定して電子ソート機能を利用した印刷を行うためには、256MBのメモリーを増設する必要があります。

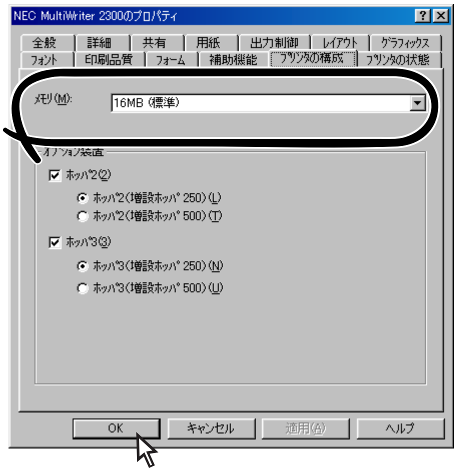
プリンタードライバーでの増設メモリーの設定

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの[プリンタの構成シート]を開き[メモリ]を増設したメモリーの構成に合わせます。

❶ ダイアログボックスの[プリンタの構成]シートを開き、[メモリ]を増設したメモリーの構成に合わせる。

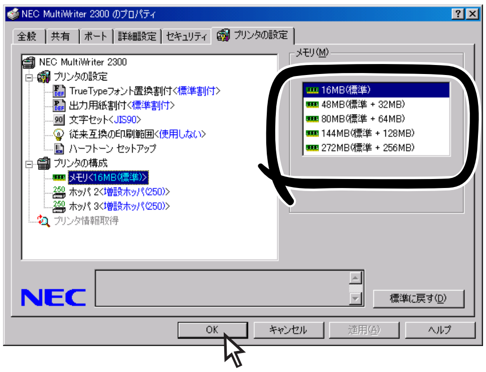
<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート
- Windows NT 4.0/NT 3.51は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート



<Windows 2000の場合>

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート



❷ アプリケーションより、プリンタードライバーの[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

両面印刷の設定

両面印刷はA3、B4、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。（用紙に関しては、付録の「用紙の規格」の両面印刷時をご覧ください。）

両面印刷の設定はWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1で動作しているコンピューターで利用できます。ただし、増設メモリー、解像度、片面印刷／両面印刷の条件によっては印刷できない場合があります。

重要

指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

❶ 両面印刷機能を有効にする。

＜Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合＞

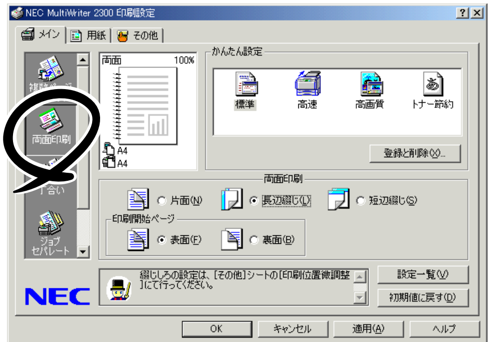
- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。
- Windows NT 4.0/NT 3.51*は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。



＜Windows 2000の場合＞

① [印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[両面印刷]ボタンを選択します。
② [両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。



＜Windows 3.1の場合＞

[レイアウト]ダイアログボックスの[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

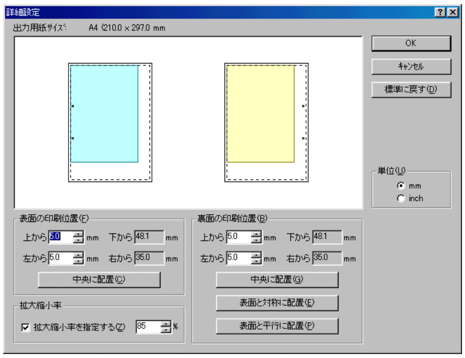
❷ **印刷開始ページを設定する。**

❸ **必要に応じて、綴じしろの位置、印刷位置を設定する。**

<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

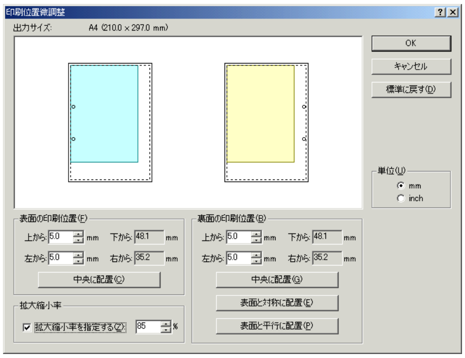
- Windows 98/95は[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス
- Windows NT 4.0/NT 3.51*は[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。



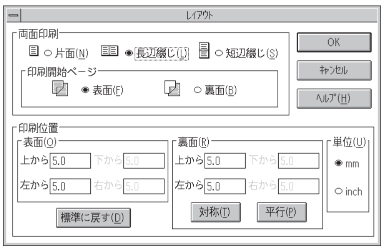
<Windows 2000の場合>

[その他]シートの[機能拡張]ツリーメニューの[印刷位置微調整]ダイアログボックス



<Windows 3.1の場合>

[レイアウト]ダイアログボックス



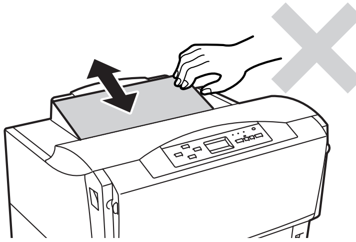
❹ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

プリンターの両面ランプが点灯して両面印刷を始めます。

重要

両面印刷中のプリンターの動作について

両面印刷中は、片面印刷を終了した用紙が、いったんスタッカー上に現れますが、再びプリンター内部に吸い込まれていきます。これは用紙を反転させるための動作です。片面印刷終了後にスタッカー上に現れた用紙を引き抜いたり、さわったりしないでください。印刷範囲がずれたり、正しく印刷できなくなるばかりでなく、紙づまりやプリンターの故障の原因となることがあります。



拡大・縮小印刷

出力用紙サイズを指定する

Windows 3.1/NT 3.51では、出力用紙サイズを指定する拡大・縮小印刷の機能は利用できません。

❶ [印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

❷ [用紙サイズ]のボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの設定」(194ページ)を参照してください。

❸ [出力サイズ]に任意の出力用紙サイズを設定する。

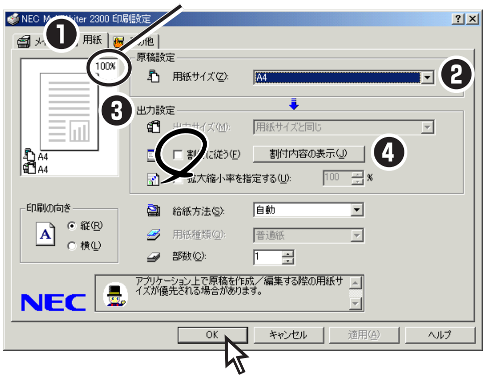
出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→❸-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→❸-(b)

❸-(a)<Windows 2000の場合>

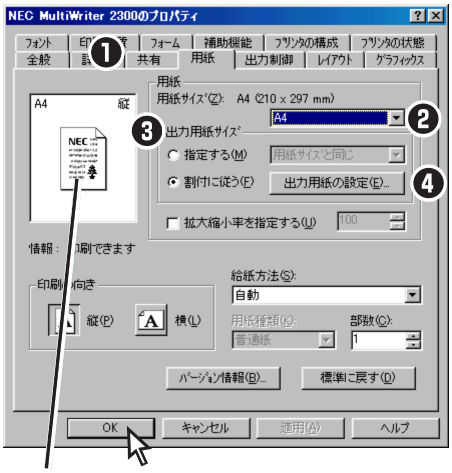
[出力設定]の[割付に従う]のチェックを外し、[出力サイズ]ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順❻に進んでください。

[用紙サイズ]と[出力サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。



<Windows 98/95/NT 4.0の場合>

[指定する]を選び、ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順❻に進んでください。



[用紙サイズ]と[出力用紙サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小のイメージが表示されます。

❸-(b)[割付に従う]をチェックする。

現在[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。
割り付けの設定を変更したい場合は手順❹に進んでください。
変更しない場合は手順❻に進んでください。

❹ 出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。

<Windows 2000の場合>

[プリンタの設定]シートの[出力用紙割付]で[ユーザ割付]を選び、[割付設定]をクリックします。
[割付内容の表示]をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

<Windows 98/95の場合>

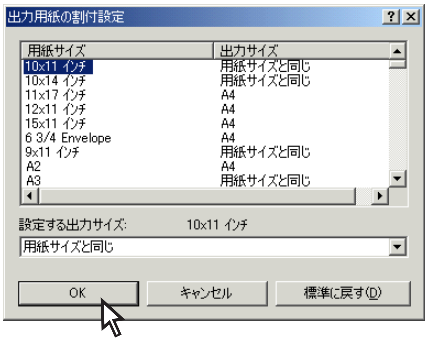
[出力用紙の設定]をクリックします。

<Windows NT 4.0の場合>

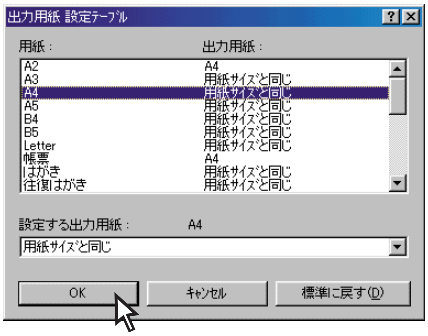
[プリンタの設定]シートの[出力用紙の設定]で[指定した出力用紙を使用する]を選び、[出力する用紙の設定]をクリックします。
[割付内容の表示]をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

❺ **設定したい出力用紙サイズを選択し、[OK]をクリックする。**

<Windows 2000の場合>



<Windows 98/95/NT 4.0の場合>



❻ **[用紙]シートの[OK]をクリックする。**

✔チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は[出力用紙サイズ]が固定となり、[出力用紙サイズ]で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

- [給紙方法]に増設ホッパ(500)が設定されている場合はA5、B5は指定できません。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。
Windows 3.1/NT 3.51では、拡大・縮小率を指定する拡大・縮小印刷機能は利用できません。

- [メイン]*1シートで複数ページ印刷を設定している
- [その他]*2シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙]シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

*1 Windows 98/95/NT 4.0の場合は［レイアウト]シートになります。
*2 Windows 98/95/NT 4.0の場合は［フォーム]シートになります。

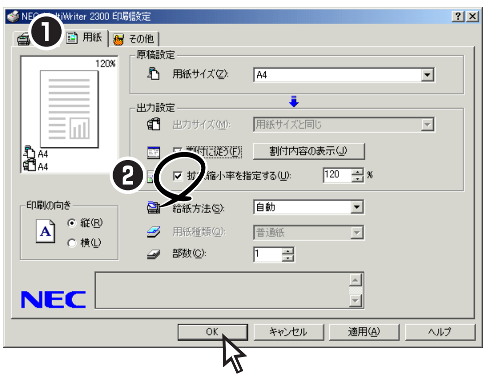
❶ **[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

❷ **[拡大縮小率を指定する]をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。**

❸ **[OK]をクリックする。**

<Windows 2000の場合>



<Windows 98/95/NT 4.0の場合>



拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

❶ **[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

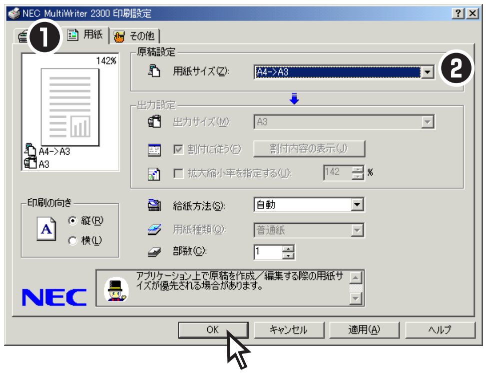
- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0/3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows 3.1は[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。

❷ **[用紙サイズ]のボックスから用紙サイズ(下記の拡大・縮小率)を選ぶ。**

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❸ **[OK]をクリックする。**

<Windows 2000の場合>

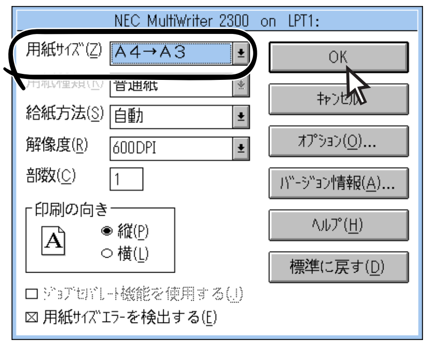


<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51*の場合>

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。



<Windows 3.1の場合>



複数ページ印刷

複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。なお、Windows 3.1、Windows NT 3.51で動作しているコンピュータでは複数ページ印刷機能は利用できません。

❶ **[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、[機能選択]バーで[複数ページレイアウト]を選択します。**

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[複数ページ印刷]を選択します。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[複数ページ印刷]を選択します。

❷ **[複数ページレイアウト]の[ページ数]から縮小配置するページ数を選択する。**

❸ **[複数ページレイアウト]の[配置]から配置方法を選択する。**

❹ **必要に応じて、[境界線]および[ページ番号を付加する]を選択する。**

❺ **[OK]をクリックする。**

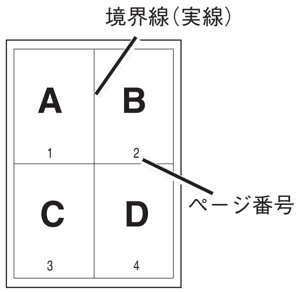
<Windows 2000の場合>



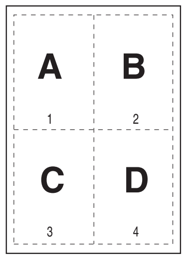
<Windows 98/95/NT 4.0の場合>



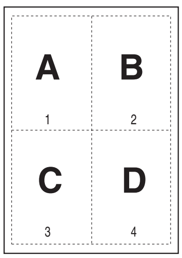
境界線のイメージ(ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定の場合)



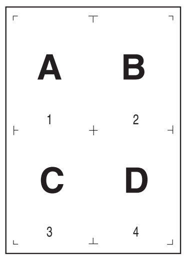
境界線(実線)、ページ番号付加の場合



境界線(破線)、ページ番号付加の場合



境界線(点線)、ページ番号付加の場合



境界線(カットマーク)、ページ番号付加の場合

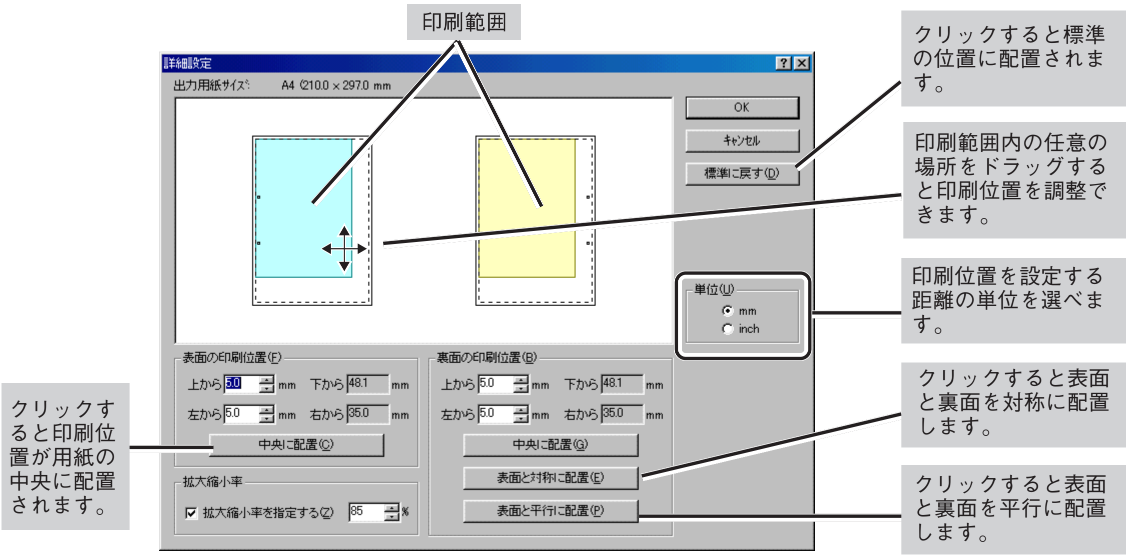
印刷位置の調整

各OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

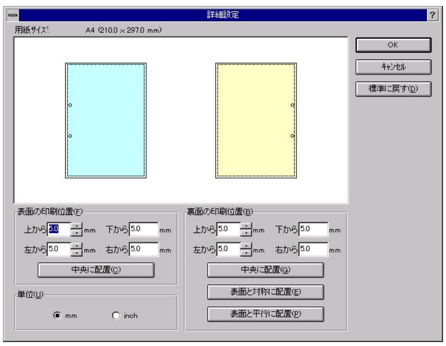
- Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51：[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス
- Windows 2000：[その他]シートの[拡張機能]ツリーメニューの[印刷位置微調整]ダイアログボックス
- Windows 3.1：[レイアウト]ダイアログボックス

以下は両面印刷するときのダイアログボックスの例です。片面印刷する場合には片面のみ設定するダイアログボックスが表示されます。

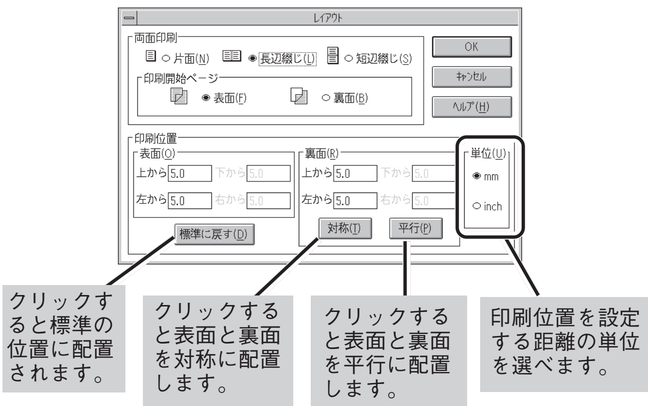
印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します（ボックスに入力はできません）。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます（Windows 3.1は除く）。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。



[詳細設定]ダイアログボックス（Windows 98/95/NT 4.0）
[印刷位置微調整]ダイアログボックス（Windows 2000）



[詳細設定]ダイアログボックス
（Windows NT 3.51）



[レイアウト]ダイアログボックス（Windows 3.1）

定形外用紙サイズの設定

定形外用紙サイズの用紙に出力するには、以下のステップが必要です。
Step 2およびStep 3は、各OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする（詳細は3章を参照してください。）
Step 2　ユーザー定義サイズを設定する
Step 3　ユーザー定義サイズを印刷する

MP、手差しに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「用紙の規格」をご覧ください。）

✔チェック

プリンターにセットできる用紙サイズは、幅100～297mm、高さは148～470mmです。プリンタードライバーで設定できる用紙サイズは、幅100～594mm、高さは148～800mmです。

Step 1　定形外用紙をセットする

＜MPにセットする場合＞

❶ MPカセットに用紙をセットする。

手順は、3章の「MPに用紙をセットする」（97ページ）を参照してください。

❷ MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」（アスタリスク）に設定する。

このとき、操作パネルの[MP]スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

＜手差しにセットする場合＞

❶ 手差しに用紙をセットする。

手順は、3章の「手差しに用紙をセットする」（100ページ）を参照してください。

❷ 操作パネル上の[手差し]スイッチで給紙先を「手差し」にする。

このとき、操作パネルの[手差し]スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

Step 2　ユーザー定義サイズを設定する

定形外用紙をユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OS ごとに説明します。

Windows 98/95/3.1の場合、設定できるユーザー定義サイズは一種類のみです。

Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。詳しくはOSのヘルプを参照してください。

各OSとも、プロパティーダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と、[プリンタ]フォルダーから開く方法があります。

アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタ]フォルダーから開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります（詳細は145ページを参照してください）。

Windows 98/95/3.1の場合

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。

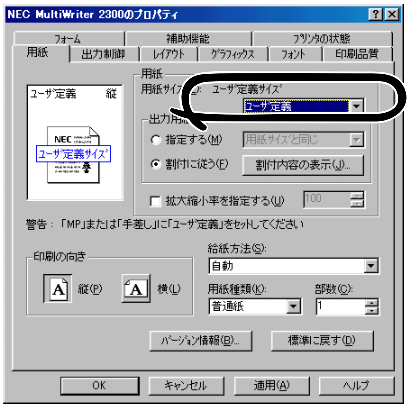
[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❹ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

Windows 3.1では[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙サイズ]ボックスで選択します。

チェック

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙種類]コンボボックスで[厚紙]を指定してください。



❺ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。



❻ [OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定されました。

Windows 2000/NT 4.0の場合

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

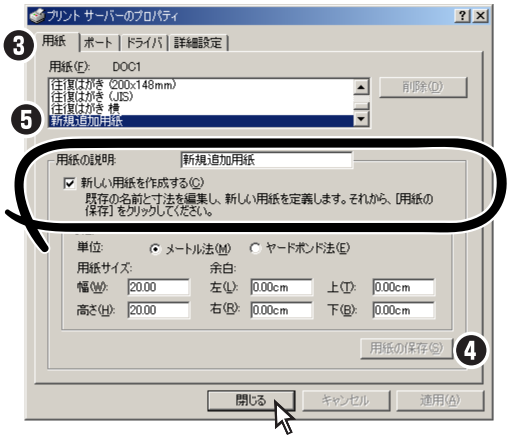
❷ [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]をクリックする。

❸ [用紙]シートを開く。

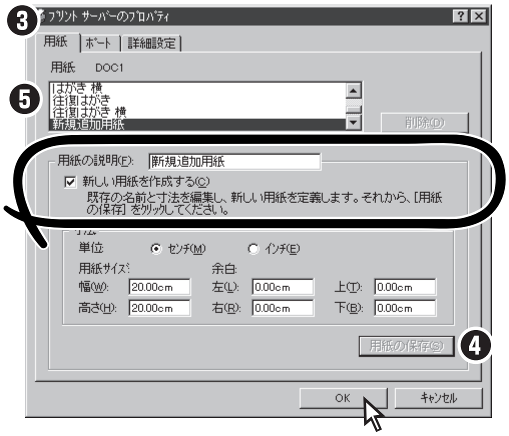
❹ [新しい用紙を作成する]をチェックして、[用紙の説明]に任意の用紙名、[寸法]にサイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[閉じる]をクリックする。

<Windows 2000の場合>



<Windows NT 4.0の場合>



これで新しい用紙サイズが追加されました。

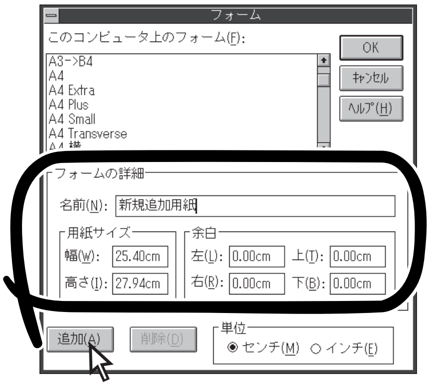
Windows NT 3.51 の場合

❶ [プリントマネージャ]を開く。

❷ [プリンタ]メニューの[フォーム]をクリックする。

[フォーム]ダイアログボックスが表示されます。

❸ [フォームの詳細]グループの[名前]ボックスに任意の用紙名、用紙サイズを入力してから[追加]をクリックする。



❹ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[OK]をクリックする。

これで新しい用紙サイズが設定されました。

Step 3 ユーザー定義サイズで印刷する

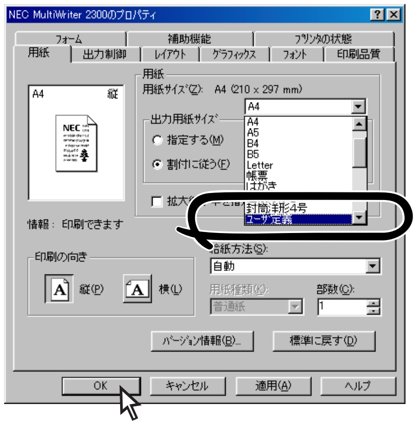
Step 2 で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。
なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

Windows 98/95/3.1の場合

❶ アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

❷ [プロパティ]をクリックする。

❸ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザ定義サイズ]を選択する。



❹ ユーザー定義サイズの[幅]と[長さ]を確認して、[OK]をクリックする。



❺ 印刷部数を指定して、[OK]をクリックする。

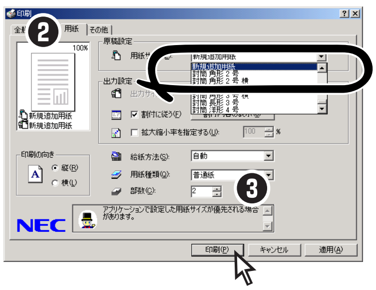
Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51 の場合

❶ アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[プロパティ](Windows NT 3.51の場合は[プリンタの設定])をクリックします。

❷ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step 2 で追加した用紙サイズを選択する。

❸ 印刷部数を指定して、[印刷](または[OK])をクリックする。



設定方法(MultiWriter 210S)

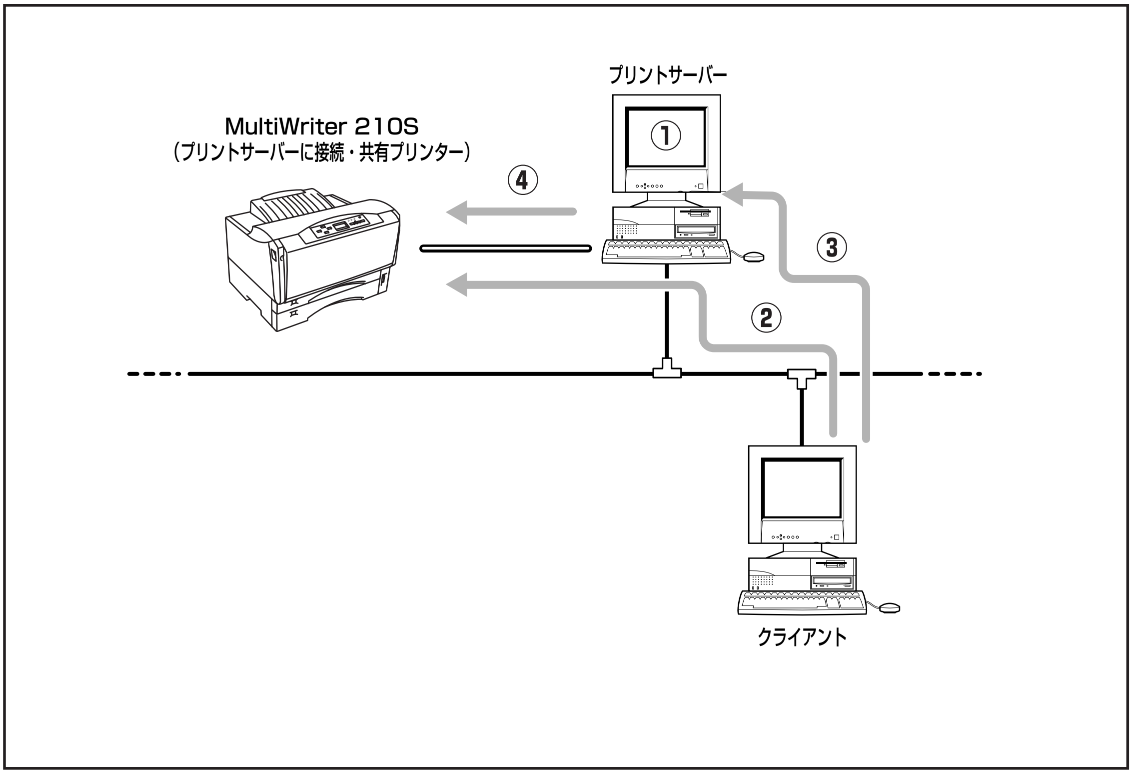
ここでは、MultiWriter 210Sでご利用可能な機能の設定方法について説明します。

リプリント機能

Windows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターで利用できます。
リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

Step 1　リプリント機能を設定する(リプリント機能の提供)
Step 2　印刷する(リプリント用ファイルのスプール)
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ(スプールファイルの選択)
Step 4　リプリントする(スプールファイルの出力)

このイラストはクライアントからリプリントを実行する場合のステップを説明したものです。



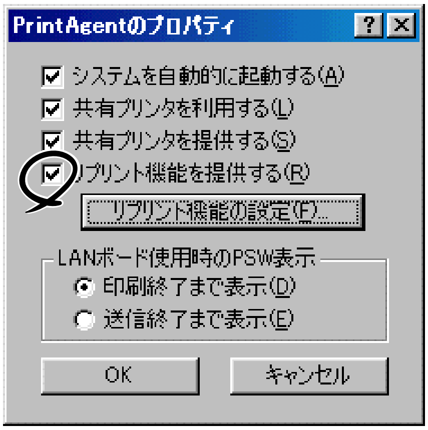
MultiWriter 210Sの場合

Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、[リプリント機能を提供する]をチェックする。

重要

プリントサーバーがWindows 2000/NT 4.0の場合、Administratorsの権限がないと、この設定はできません。



[リプリント機能を提供する]

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには[リプリント機能の設定]ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

[リプリント機能の設定]ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。



*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

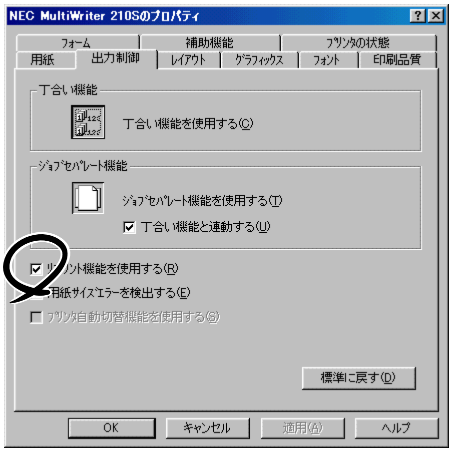
Step 2　印刷する

❶ **リプリント機能を利用するプリンターのプロパティダイアログボックスを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックする。**

リプリント機能は標準で有効になっています。

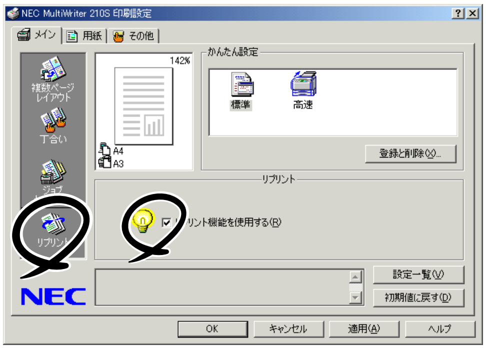
＜Windows 98/95の場合＞

プリンターのプロパティの[出力制御]シート



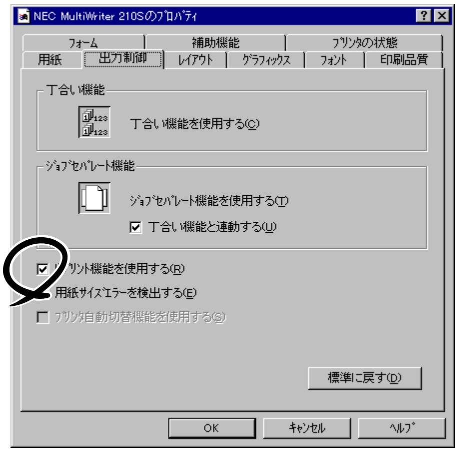
＜Windows 2000の場合＞

[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートの[機能選択]バーで[リプリント]ボタンを選択



＜Windows NT 4.0の場合＞

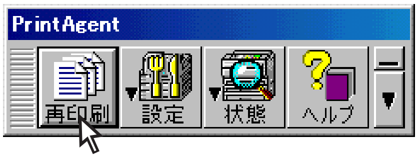
[ドキュメントプロパティ]の[出力制御]シート



❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ

❶ 「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。



❷ [標準]シートを開く。

❸ [PrintAgent リプリント2]でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。

✔チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは198ページを参照してください。



Step 4　リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合い、ジョブセパレートを設定し、印刷する。

次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。



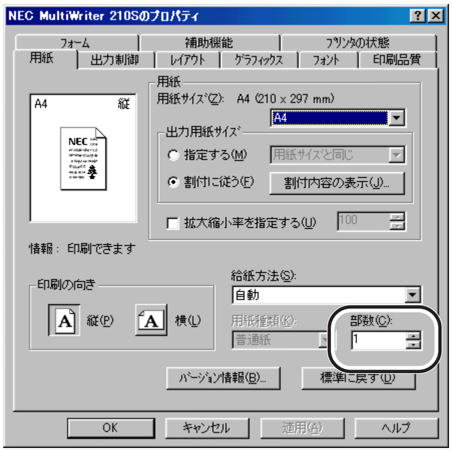
リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたって以下の内容を参考にしてください。

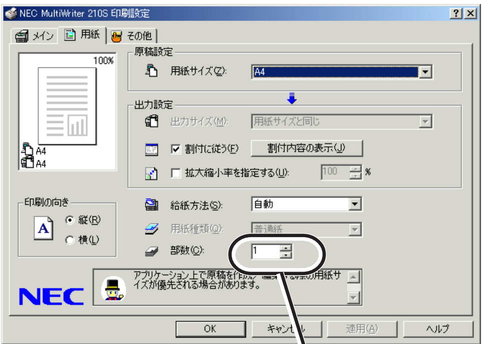
- **リプリントされるページは最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。**

  たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。ただし部数、丁合い、ジョブセパレートの設定はクリアされますので、リプリントするときに再設定することになります。

  ＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞



  ＜Windows 2000の場合＞

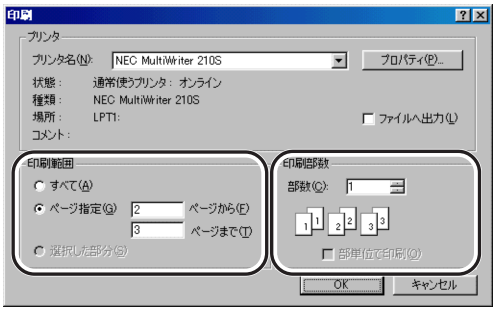


リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

- **リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**

  たとえば10ページある文書の中から下の[印刷]ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1ページと4～10ページをリプリントすることはできません。

  ＜Windows 98/95/NT 4.0の場合＞



  ＜Windows 2000の場合＞



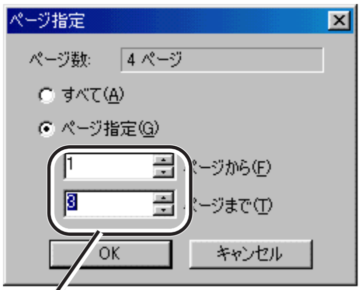
リプリントに有効なページは2～3ページです。

リプリント出力時は初期化されます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

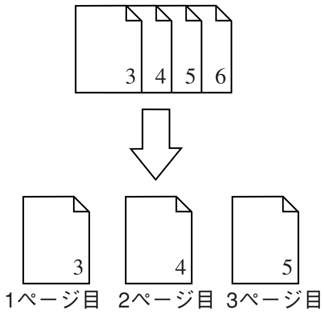
- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**

  たとえばアプリケーションで文書の3～6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

PrintAgent リプリント2の場合

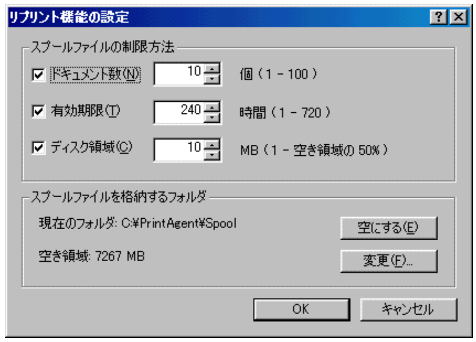


リプリント機能での印刷：[1]ページから
[3]ページまで



- **ネットワーク環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。**

  スプールされたファイルは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。



文書結合

ここではジョブ結合の設定方法について説明します。

ジョブ結合

ジョブ結合の使い方はPrintAgent リプリント2でリプリントする場合と最初の手順は同じです。

❶ **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

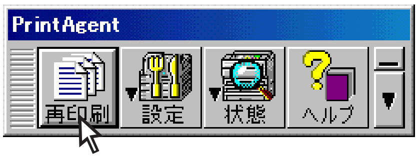
PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。（詳細は198ページ）

❷ **アプリケーションから印刷する。**

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。（詳細は199ページ）

❸ **「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。**

PrintAgent リプリント2が起動します。



❹ **[ジョブ結合]シートを開く。**

❺ **ジョブ結合したいドキュメントを選択する。**

チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は[前へ]ボタンまたは[後へ]ボタンを押して変更してください。

❻ **必要に応じて丁合い、ジョブセパレート機能を選択して、印刷仕上がりを設定する。**

❼ **再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し[スタート]ボタンをクリックする。**



仕分け印刷の設定

以下の3つの機能の設定方法について説明します。

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定をよくお読みになり、組み合わせたい機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能はWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1で動作しているコンピューターで利用できます。

✔チェック

- ジョブセパレート機能は、A4用紙を縦置き、横置きに2か所以上セットしたときに機能します。A4用紙サイズ以外の用紙サイズでは機能しません。
- MPにA4用紙をセットした場合は、用紙種類を[普通紙]に設定してください。設定されていないと、ジョブセパレート機能は動作しません。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが1台のプリンターを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を実現するためには、すべてのクライアントにおいて、[ジョブセパレート機能を使用する]および[給紙方法]の項目が[自動]に設定されている必要があります。

❶ 標準ホッパー、MP、あるいは増設ホッパーにA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。

✔チェック

- A4用紙をセットする場合は用紙のセット方向(縦置き、横置き)を用紙サイズ設定ダイヤルで確認してください。
- 操作パネル表示が「ホッパ」もしくは「MP」になっていることを確認してください。

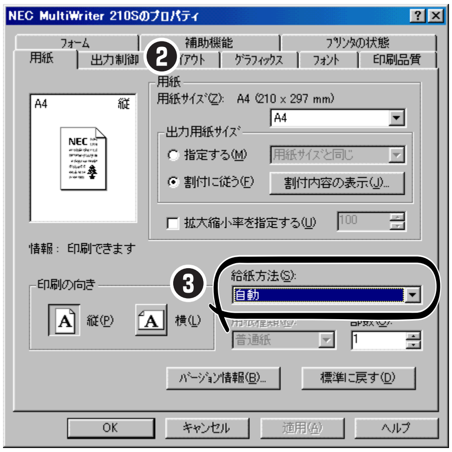
❷ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

❸ 給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート
- Windows NT 4.0/NT 3.51*は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シート

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。以下同様です。

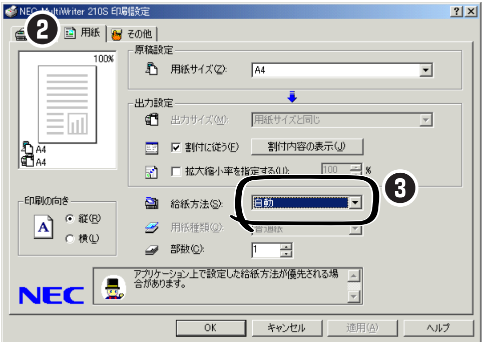


✔チェック

MPを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、[出力制御シート]の[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされている必要があります。

<Windows 2000の場合>

[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シート



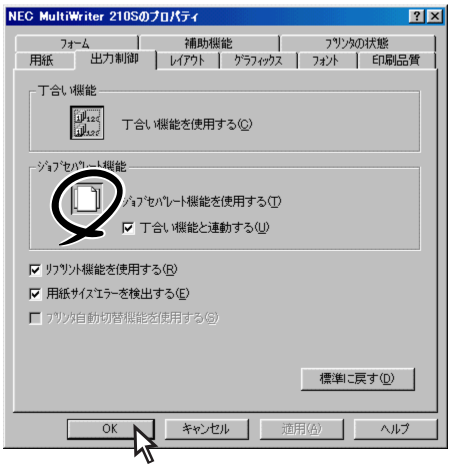
<Windows 3.1の場合>

[印刷設定]ダイアログボックス

❹ ジョブセパレート機能を有効にする。

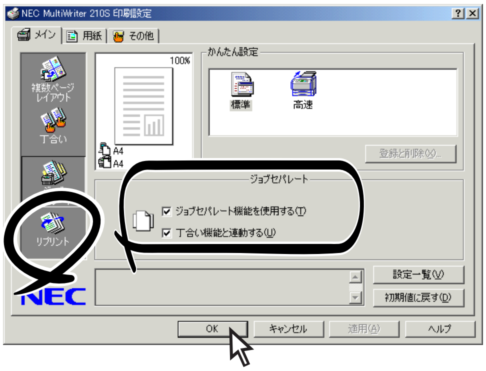
<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、ジョブセパレート機能の[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンをクリックします。
- Windows NT 4.0/NT 3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シート、Windows NT 3.51は[出力制御/レイアウト]シートを開き、ジョブセパレート機能の[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンをクリックします。



<Windows 2000の場合>

① プリンターの[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[ジョブセパレート]ボタンを選択します。
② [ジョブセパレート]の[ジョブセパレート機能を使用する]をチェックします。



<Windows 3.1の場合>

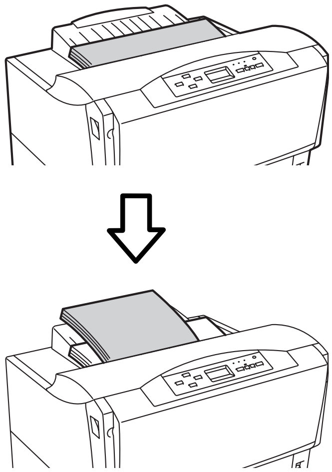
[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[ジョブセパレート機能を使用する]をチェックします。

❺ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

印刷が始まり、給紙設定されている(プリンターのディスプレイに表示されている)給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

❻ 次の文書の印刷範囲、印刷部数を指定して印刷する。

前に印刷された用紙の置き方と別の向きにセットされている給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。



丁合い機能

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に印刷する機能です。

丁合い機能はWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51で動作しているコンピューターで利用できます。

✔チェック

丁合い機能の選択はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合いの指定をしないでください。

＊ アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

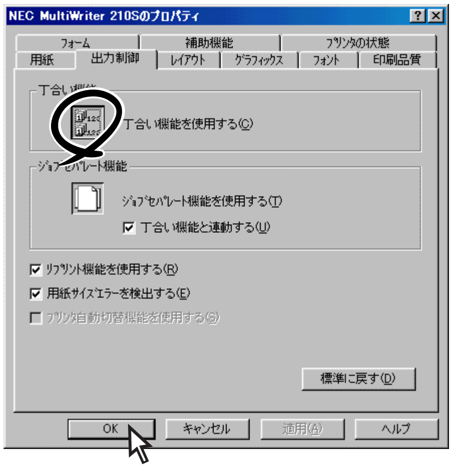
❶ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。

［丁合い］ボタンが使用不可になっている場合

メモリーの増設状態によっては［丁合い機能］ボタンが使用不可になっています。208ページを参照して、プリンタードライバーで増設メモリーの設定をしてください。

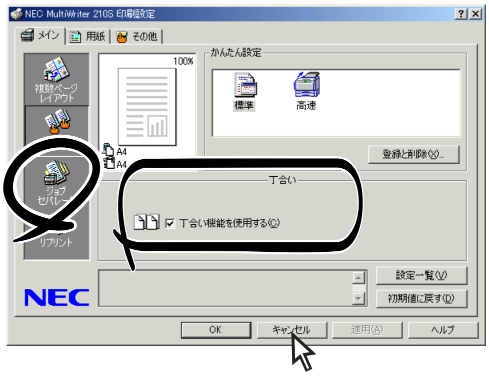
＜Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合＞

- Windows 98/95は［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、［丁合い機能を使用する］ボタンをクリックします。
- Windows NT 4.0/NT 3.51は［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シート、Windows NT 3.51は［出力制御/レイアウト］シートを開き、［丁合い機能を使用する］ボタンをクリックします。



＜Windows 2000の場合＞

① プリンターの［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［丁合い］ボタンを選択します。
② ［丁合い］の［丁合い機能を使用する］をチェックします。

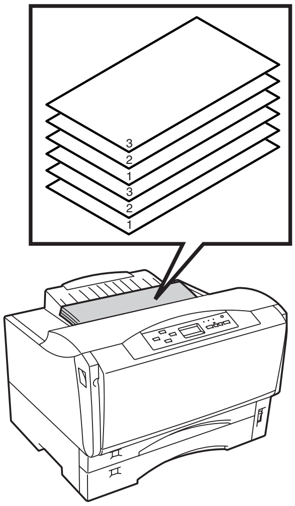


［丁合い機能と連動する］ボタンについて

［ジョブセパレート機能］で［丁合い機能と連動する］をチェックしておくと［丁合い機能を使用する］ボタンと［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンが連動してON/OFFできるようになります。

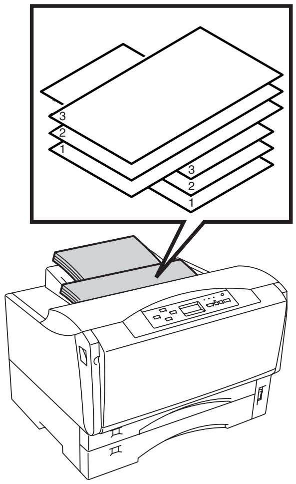
❷ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ‥‥)に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。



ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が縦置き、横置きに仕分けされながらスタッカー上に排出されます。



ジョブセパレート機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と204ページの「ジョブセパレート機能」手順❶〜❹の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にします。

プリンターの機能で丁合い印刷を行う場合はさらに、メモリーを増設することで実現できる電子ソート機能と組み合わせて使用すると高速に仕分け印刷することができます。(電子ソート機能の設定については次ページを参照してください。)

電子ソート機能

電子ソート機能は複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*です。これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができ、コンピューターの印刷処理を早期に解放できます。また2部目以降はプリンター内で印刷データを高速に処理されて印刷でき、複数部数印刷時の高速化が可能です。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できる機能です。(増設メモリーの取り付け方は284ページを参照してください)。ただし、双方向通信が行われていない環境でご利用の場合には以下の手順でプリンタードライバーの設定をしてください。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

増設メモリーによる印刷保証枚数については、307ページの「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」を参照してください。

電子ソート機能はWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51で動作しているコンピューターで利用できます。

✔チェック

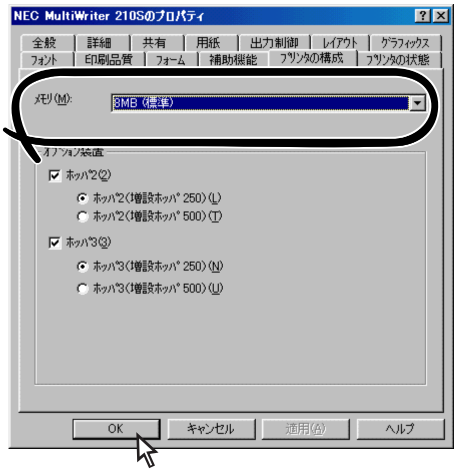
電子ソート機能を有効にするためには、プリンターに64MB以上のメモリーを増設してください。

増設メモリーの設定

❶ **ダイアログボックスの[プリンタの構成]シートを開き、[メモリ]を増設したメモリーの構成に合わせる。**

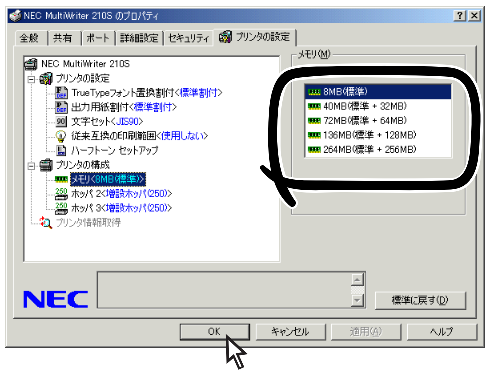
<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51の場合>

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート
- Windows NT 4.0/NT 3.51は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート



<Windows 2000の場合>

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート



❷ **アプリケーションより、プリンタードライバーの[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

拡大・縮小印刷

出力用紙サイズを指定する

Windows 3.1/NT 3.51では、出力用紙サイズを指定する拡大・縮小印刷の機能は利用できません。

❶ **[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

❷ **[用紙サイズ]のボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。**

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの設定」(214ページ)を参照してください。

❸ **[出力サイズ]に任意の出力用紙サイズを設定する。**

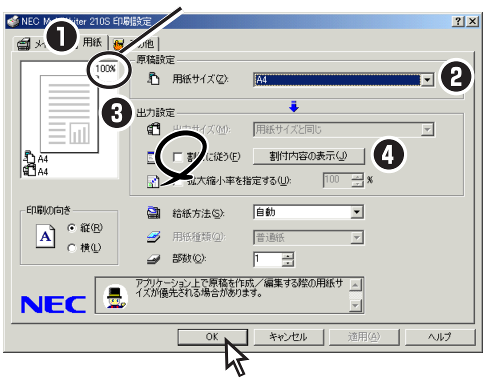
出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→❸-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→❸-(b)

❸-(a)<Windows 2000の場合>

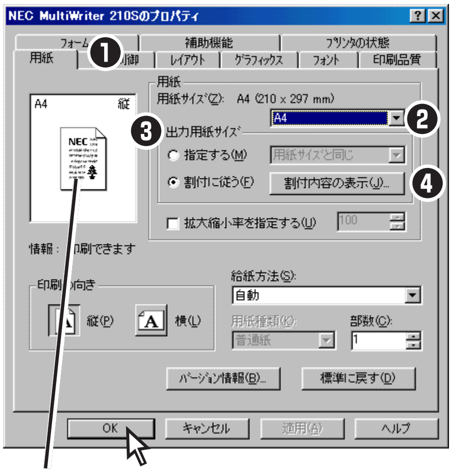
[出力設定]の[割付に従う]のチェックを外し、[出力サイズ]ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順❻に進んでください。

[用紙サイズ]と[出力サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。



<Windows 98/95/NT 4.0の場合>

[指定する]を選び、ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順❻に進んでください。



[用紙サイズ]と[出力用紙サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小のイメージが表示されます。

❸-(b)[割付に従う]をチェックする。

現在[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。
割り付けの設定を変更したい場合は手順❹に進んでください。
変更しない場合は手順❻に進んでください。

❹ **出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。**

<Windows 2000の場合>

[プリンタの設定]シートの[出力用紙割付]で[ユーザ割付]を選び、[割付設定]をクリックします。
[割付内容の表示]をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

<Windows 98/95の場合>

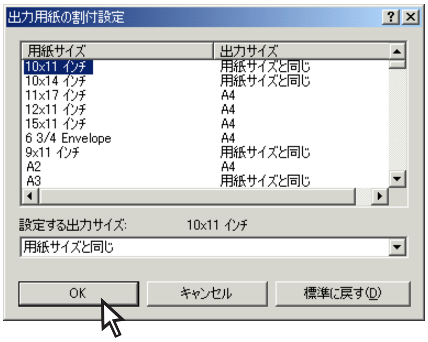
[出力用紙の設定]をクリックします。

<Windows NT 4.0の場合>

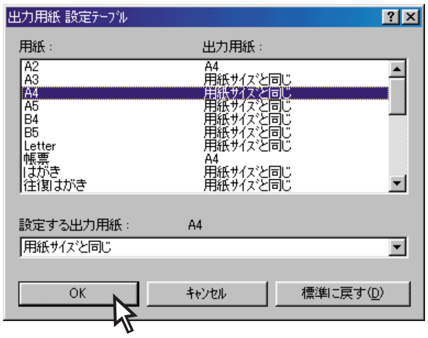
[プリンタの設定]シートの[出力用紙の設定]で[指定した出力用紙を使用する]を選び、[出力する用紙の設定]をクリックします。
[割付内容の表示]をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

❺ **設定したい出力用紙サイズを選択し、[OK]をクリックする。**

<Windows 2000の場合>



<Windows 98/95/NT 4.0の場合>



❻ **[用紙]シートの[OK]をクリックする。**

✔チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は[出力用紙サイズ]が固定となり、[出力用紙サイズ]で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

- [給紙方法]に増設ホッパ(500)が設定されている場合はA5、B5は指定できません。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。
Windows 3.1/NT 3.51では、拡大・縮小率を指定する拡大・縮小印刷機能は利用できません。

- [メイン]*1シートで複数ページ印刷を設定している
- [その他]*2シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙]シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

*1 Windows 98/95/NT 4.0の場合は［レイアウト]シートになります。
*2 Windows 98/95/NT 4.0の場合は［フォーム]シートになります。

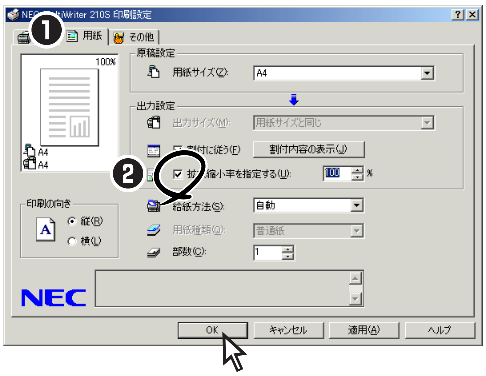
❶ **[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

❷ **[拡大縮小率を指定する]をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。**

❸ **[OK]をクリックする。**

<Windows 2000の場合>



<Windows 98/95/NT 4.0の場合>



拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

❶ [印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

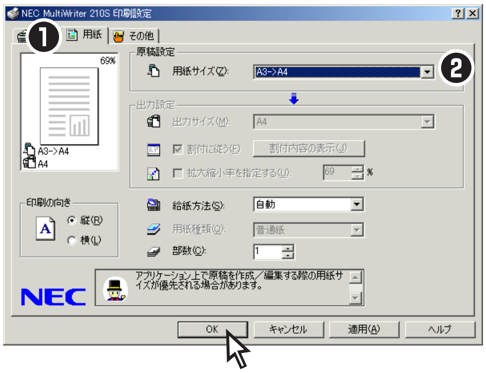
- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0/3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows 3.1は[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。

❷ [用紙サイズ]のボックスから用紙サイズ(下記の拡大・縮小率)を選ぶ。

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❸ [OK]をクリックする。

<Windows 2000の場合>

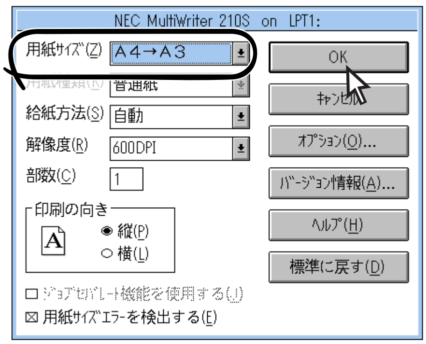


<Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51*の場合>

＊ Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。



<Windows 3.1の場合>



複数ページ印刷

複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。なお、Windows 3.1、Windows NT 3.51で動作しているコンピュータでは複数ページ印刷機能は利用できません。

❶ **[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、[機能選択]バーで[複数ページレイアウト]を選択します。**

- Windows 98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[複数ページ印刷]を選択します。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[複数ページ印刷]を選択します。

❷ **[複数ページレイアウト]の[ページ数]ボックスから縮小配置するページ数を選択する。**

❸ **[複数ページレイアウト]の[配置]から配置方法を選択する。**

❹ **必要に応じて、[境界線]および[ページ番号を付加する]を選択する。**

❺ **[OK]をクリックする。**

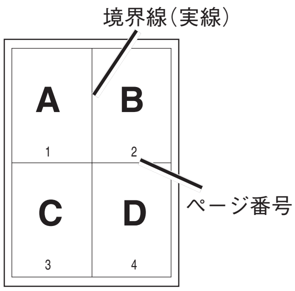
<Windows 2000の場合>



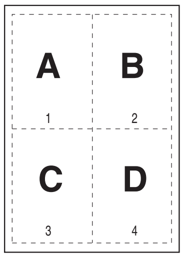
<Windows 98/95/NT 4.0の場合>



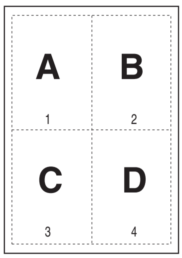
境界線のイメージ(ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定の場合)



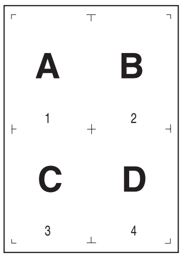
境界線（実線）、ページ番号付加の場合



境界線（破線）、ページ番号付加の場合



境界線（点線）、ページ番号付加の場合



境界線（カットマーク）、ページ番号付加の場合

印刷位置の調整

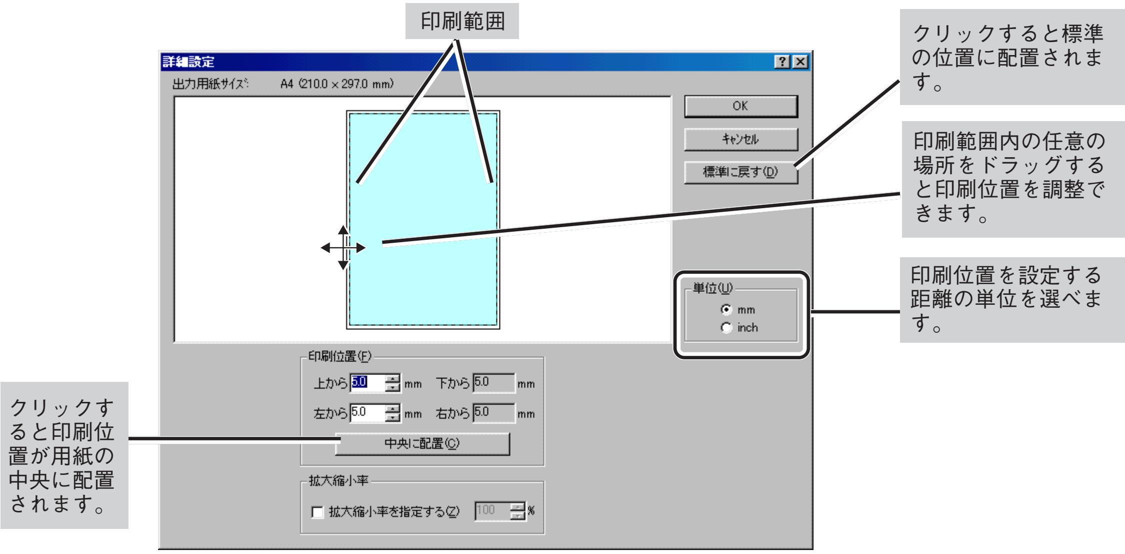
各OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

- Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51*：[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス
- Windows 2000：[その他]シートの[拡張機能]ツリーメニューの[印刷位置微調整]ダイアログボックス
- Windows 3.1：[レイアウト]ダイアログボックス

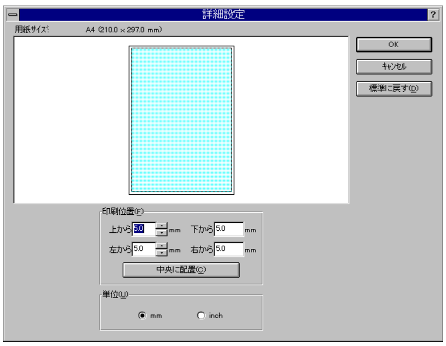
* Windows NT 3.51は[出力制御/レイアウト]シートになります。

以下は印刷するときのダイアログボックスの例です。

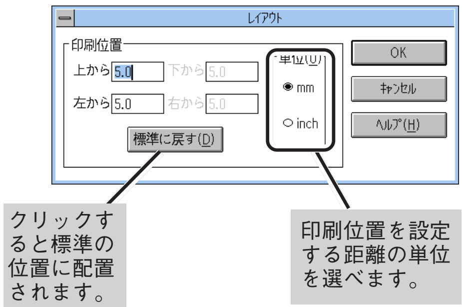
印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します（ボックスに入力はできません）。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます（Windows 3.1は除く）。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。



[詳細設定]ダイアログボックス（Windows 98/95/NT 4.0）
[印刷位置微調整]ダイアログボックス（Windows 2000）



[詳細設定]ダイアログボックス
（Windows NT 3.51）



[レイアウト]ダイアログボックス（Windows 3.1）

定形外用紙サイズの設定

定形外用紙サイズの用紙に出力するには、以下のステップが必要です。
Step 2およびStep 3は、各OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする（詳細は3章を参照してください。）
Step 2　ユーザー定義サイズを設定する
Step 3　ユーザー定義サイズを印刷する

MP定形外の用紙をセットする際に、あらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については「付録」を参照してください。）

Step 1　定形外用紙をセットする

❶ **MPカセットに用紙をセットする。**

手順は3章の「MPに用紙をセットする」（97ページ）を参照してください。

❷ **MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」（アスタリスク）に設定する。**

このとき、操作パネルの［MP］スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

Step 2　ユーザー定義サイズを設定する

定形外用紙をユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OS ごとに説明します。

Windows 98/95/3.1の場合、設定できるユーザー定義サイズは一種類のみです。

Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。詳しくはOSのヘルプを参照してください。

> 各OSとも、プロパティーダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と、［プリンタ］フォルダーから開く方法があります。
>
> アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、［プリンタ］フォルダーから開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります（詳細は160ページを参照してください）。

Windows 98/95/3.1の場合

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。

[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❹ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

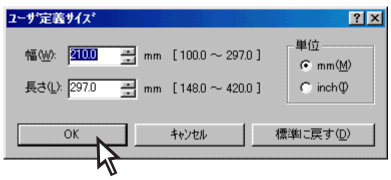
Windows 3.1では[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙サイズ]ボックスで選択します。

✔チェック

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙種類]コンボボックスで[厚紙]を指定してください。



❺ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。



❻ [OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定されました。

Windows 2000/NT 4.0の場合

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

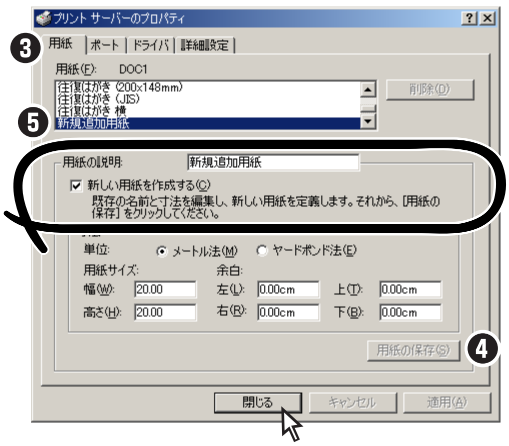
❷ [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]をクリックする。

❸ [用紙]シートを開く。

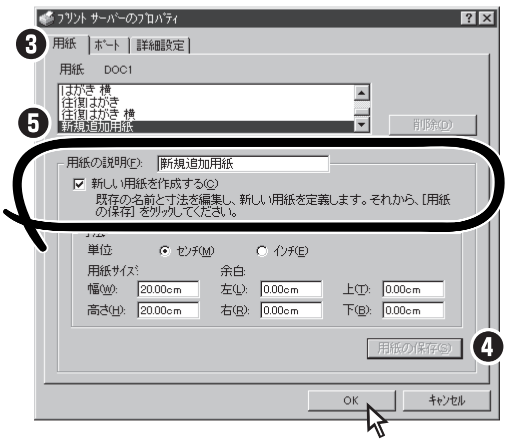
❹ [新しい用紙を作成する]をチェックして、[用紙の説明]に任意の用紙名、[寸法]にサイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[閉じる]をクリックする。

<Windows 2000の場合>



<Windows NT 4.0の場合>



これで新しい用紙サイズが追加されました。

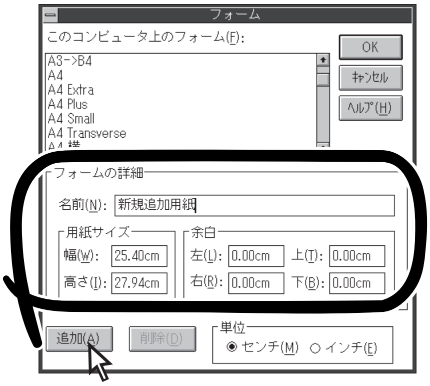
Windows NT 3.51 の場合

❶ [プリントマネージャ]を開く。

❷ [プリンタ]メニューの[フォーム]をクリックする。

[フォーム]ダイアログボックスが表示されます。

❸ [フォームの詳細]グループの[名前]ボックスに任意の用紙名、用紙サイズを入力してから[追加]をクリックする。



❹ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[OK]をクリックする。

これで新しい用紙サイズが設定されました。

Step 3 ユーザー定義サイズで印刷する

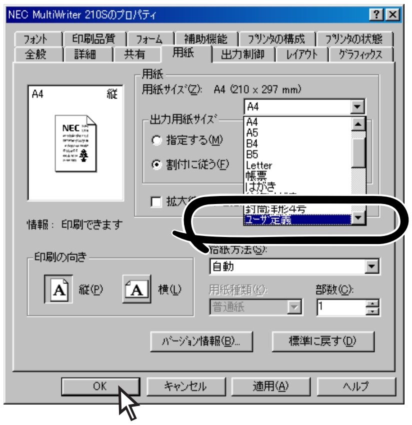
Step 2 で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。
なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

Windows 98/95/3.1の場合

❶ アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

❷ [プロパティ]をクリックする。

❸ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザ定義サイズ]を選択する。



❹ ユーザー定義サイズの[幅]と[長さ]を確認して、[OK]をクリックする。



❺ 印刷部数を指定して、[OK]をクリックする。

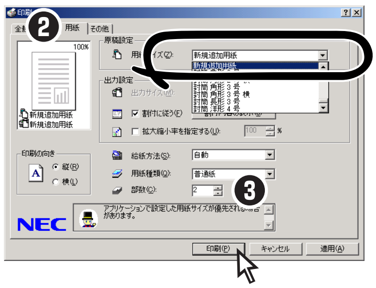
Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51 の場合

❶ アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

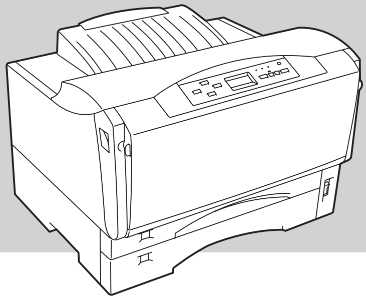
アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[プロパティ](Windows NT 3.51の場合は[プリンタの設定])をクリックします。

❷ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step 2 で追加した用紙サイズを選択する。

❸ 印刷部数を指定して、[印刷](または[OK])をクリックする。



6章
日常の保守



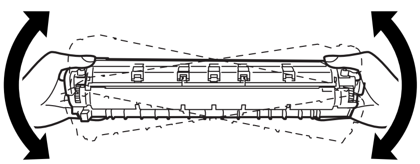
この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃はMultiWriter 2300/2100/210Sを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”または“89　ＥＰジュミョウ　ＥＰコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。
“89　ＥＰジュミョウ　ＥＰコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。



チェック

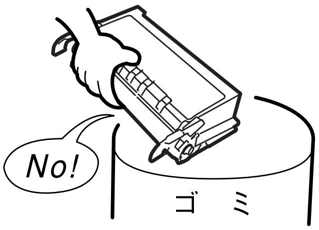
EPカートリッジは取っ手を持たず、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。

もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。
トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けるような場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

NECのEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。



ご使用後は古いEPカートリッジを捨てずに、EPカートリッジ回収センタに直接お送り頂くか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

購入について

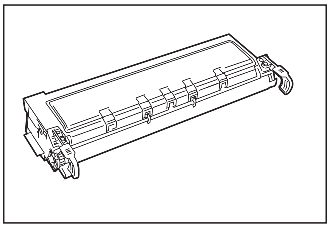
新しいEPカートリッジは、MultiWriter 2300/2100/210Sをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

重要

プリンターによって、使用できるEPカートリッジが異なります。他のモデルに対応したEPカートリッジでは代用できません。お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジを、お選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 2300/2100/210Sご購入時に添付されているEPカートリッジは、PR-L2300-11(相当品)です。



EPカートリッジ (型番 PR-L2300-11)

印刷可能ページ数は約6,000枚です。

EPカートリッジ (型番 PR-L2300-12)

印刷可能ページ数は約12,000枚です。

チェック

- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。(220ページ参照)
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は、異なります。

EPカートリッジの交換手順

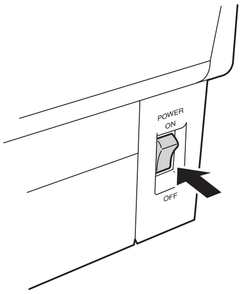
ここではEPカートリッジの交換手順を説明します。

⚠ 注意

電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

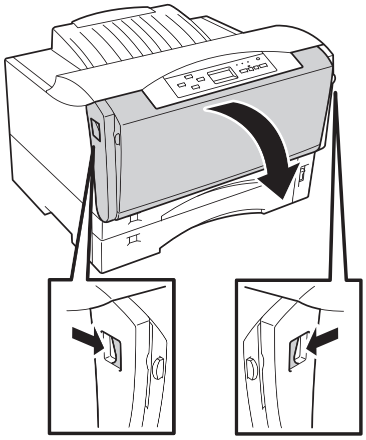
❶ 電源スイッチをOFFにする。

電源ランプが消灯します。

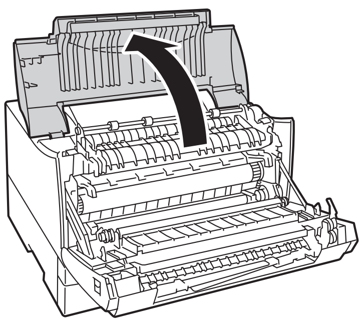


❷ 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。

フロントユニットが開いて止まります。



❸ トップカバーの左右を持ち、ゆっくり開ける。

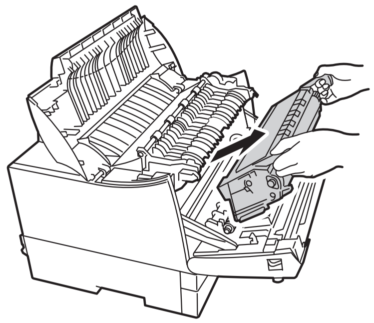


❹ 左右の取っ手を図のように持ち、使い終わったEPカートリッジを引き出す。

EPカートリッジは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

重要

トナーで手や衣服を汚さないように気を付けてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。



EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については218ページをご覧ください。

❺ 新しいEPカートリッジを1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」(20ページ)に従って取り付ける。

❻ 電源スイッチをONにする。

❼ テスト印刷を実行する。

1章の「8　テスト印刷をする」(25ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

プリンターに添付されているEPカートリッジ(PR-L2300-11相当品)の寿命は、A4用紙で画像面積比率(1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率)約5%のとき、約6,000枚(PR-L2300-11使用時も同等)になります。また、PR-L2300-12使用時は約12,000枚になります。

以下は、画像面積比約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」には寿命６０００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５％の意味及びEPカートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、

① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。

の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域(印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域)に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。　１ページの中に印刷が全くない状態が０％、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００％です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５％より高い場合、６０００枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５％相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例

✔チェック

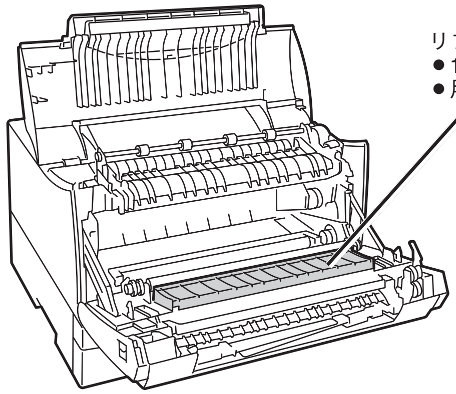
- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境(OS、アプリケーション、使用フォントなど)により変化します。

清　掃

MultiWriter 2300/2100/210Sを正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

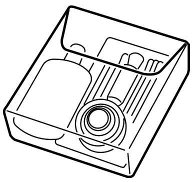
清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。



清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）



プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃手順

ここでは、プリンターの清掃について説明します。

⚠注意

- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

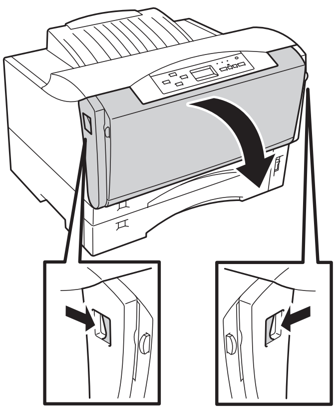
リブプレートの清掃

給紙方向に縦にかすれる、白いスジが入る、文字や黒い部分の輪郭がにじむときにおこないます。

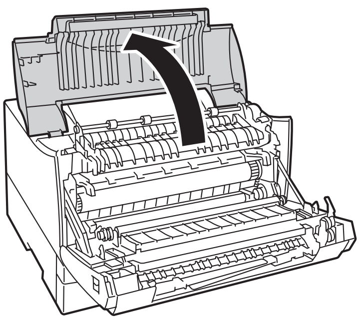
❶ プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。

❷ 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。

フロントユニットが開いて止まります。



❸ トップカバーの左右を持ちゆっくり開ける。

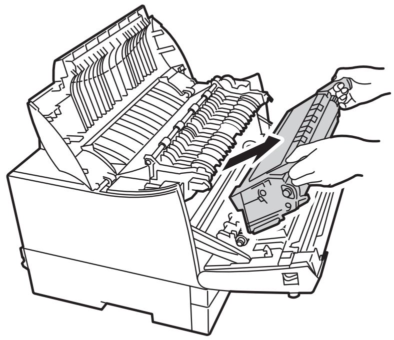


❹ 左右の取っ手を図のように持ち、EPカートリッジを取り出す。

EPカートリッジは手前にスライドさせれば簡単に取り出せます。

重要

トナーで手や衣服を汚さないように気を付けてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。



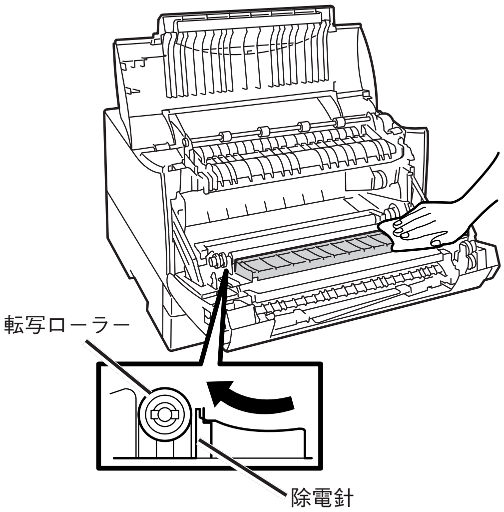
チェック

清掃時に取り外したEPカートリッジは立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光が当たる場所や、ほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

❺ **リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取る。**

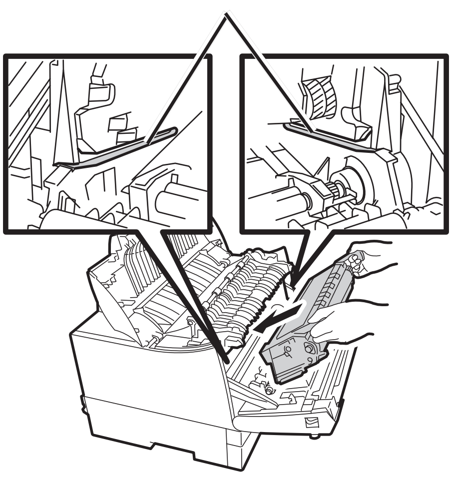
重要

転写ローラー、除電針には触らないようにしてください。

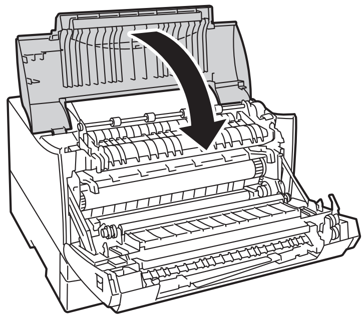


❻ **EPカートリッジをプリンター本体に再びセットする。**

図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ち、EPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットします。
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに確実に奥までセットされていることを確認してください。

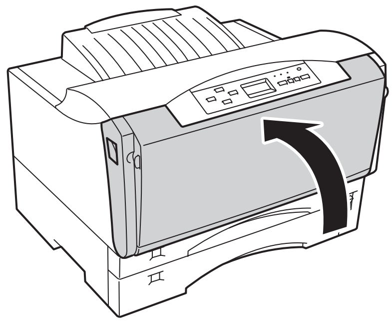


❼ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**



❽ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

カチッと音がするまでゆっくりとフロントユニットを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。



❾ **プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込む。**

❿ **電源スイッチをONにする。**

⓫ **テスト印刷を実行する。**

1章の「8　テスト印刷をする」(25ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

プリンターの表面の清掃

プリンターの表面が汚れているときに清掃します。

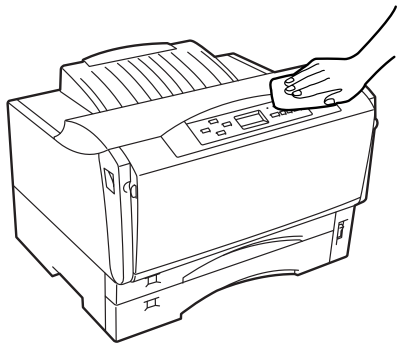
❶ **外観の汚れは柔らかい清潔な布でふき取る。**

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。

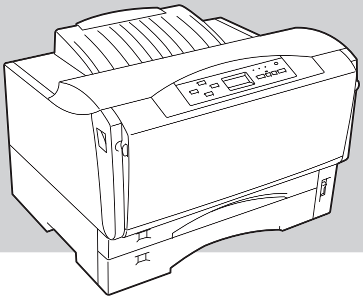
❷ **乾いた布で拭く。**

重要

アルコール、シンナー等はプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。



7章
故障かな？と思ったら



この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- リプリント機能が動作しないときは
- 紙づまりのときは
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- ジョブセパレート機能が動作しないときは

また、「PrintAgentを正しく動作させるために」、「ユーザーサポートについて」も記載しています。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。** →　287ページおよび27ページを参照して、プリンターケーブルの種類を確認後、接続してください。

症　状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない（続き）	**改ページまたは排出コードがない（データランプ点灯）。** →　［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない（印刷可ランプ（赤）点灯）。** →　「3章　用紙のセット」（91ページ）を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ（赤）が点灯している。** →　「アラーム表示が出ているときは」（227ページ）をご覧ください。 **データ送信中（データランプ（橙）点滅）** →　プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。 **MultiWriter 2300/2100/210Sが「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　MultiWriter 2300/2100/210Sを「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙のセットのしかたが悪い。** →　「ホッパーに用紙をセットする」（94ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。 **用紙サイズ設定ダイヤルの設定が正しくない。** →　セットした用紙サイズを用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。
MPから印刷ができない	**給紙方法が自動、ホッパー、手差しのいずれかになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法をMPに設定し直してください。 **MPにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。** →　A3、A4、A5、B4、B5サイズをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズを設定してください。レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定して、［MP］スイッチで用紙サイズを設定してください。（99ページ参照） **用紙をセットしてください。** →　「MPに用紙をセットする」（97ページ）を参照して用紙をセットし直してください。
手差しから印刷ができない、または給紙方法を手差しとし、印刷したのに「テサシ　XX　セット」が表示される	**給紙方法が自動、ホッパ、MPのいずれかになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法を手差しに設定し直してください。 **手差しにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** →　［手差し］スイッチで用紙サイズを設定してください。（101ページ参照） **用紙をセットし直してください。** →　「手差しに用紙をセットする」（100ページ）を参照して用紙をセットし直してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。

チェック

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

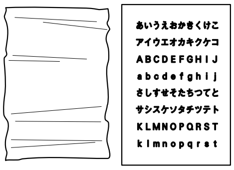
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ﾎｯﾊﾟ 1　A4ﾖｺ ﾎｷｭｳ ホッパが増設されているときは、この位置にホッパ番号（1、2または3）が表示されます。 MP　A4ﾖｺ ﾎｷｭｳ ﾃｻｼ　A4ﾖｺ ｾｯﾄ ﾌﾂｳ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** → 標準カセット、MPカセット、または手差しのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
ﾄﾚｰ　A4ﾀﾃ ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。（メモリースイッチ9-4がONの場合）** → MPカセット、または手差しのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
ﾖｳｼｶｾｯﾄ ﾅｼ ﾎｯﾊﾟ	**用紙カセットが抜かれている。** → 用紙をセットし、表示された場所の用紙カセットをゆっくり戻してください。
MP　LT ﾎｷｭｳ ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｦﾍﾝｺｳｼﾏｽ	**MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」のときに設定の異なる用紙サイズを指定して印刷した。** → MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定を確認してください。 → MPカセットを引き抜き、用紙をセットし、用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定してください。 → ［印刷可］スイッチを押してください。
72 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ﾎﾝﾀｲ 72 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ﾘｮｳﾒﾝ	**フロントユニット、トップカバー、フロントカバーが開いている。** → フロントユニット、トップカバー、フロントカバーをきちんと閉じてください。
73 EPｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾅｼ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** → EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントユニットをきちんと閉じてください。

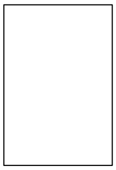
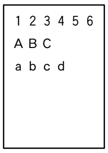
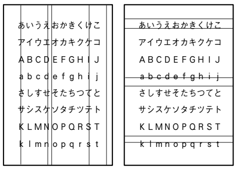
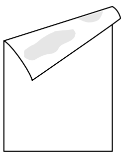
症　状	原因と処理方法
74　カミヅマリ ホンタイ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	**紙づまりが発生している。** →　この後の「紙づまりのときは」に従って、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズエラー ホッパ 1 増設ホッパが選択されているときは、ホッパ番号（1、2、または3）、またMP、テサシが右端に表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** →　指定サイズの用紙をホッパーにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。 →　MPの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズとあっているか確認してください。
76　トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** →　「EPカートリッジの交換」(217ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76　トナーナシ”アラームは解除できません。
77　テイキホシュ	**定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期を示している。** →　販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78　ヨウシピックミス ホッパ ピックミスが発生した給紙口が表示されます。	**用紙ピックミスが発生している。** →　この後の「紙づまりのときは」に従って、給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
82　メモリオーバー メモリヲゾウセツシテクダサイ	**印刷データを蓄えるメモリーが不足している(メモリースイッチ6-2　OFFの場合のみ表示する)。** →　[印刷可]スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83　インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設してください。
83　インサツフカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。** →　[印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設してください。
84　フォーム　オーバーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** →　[印刷可]スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(×××)のフォームデータが読み捨てられます。 メモリーを増設し、メニューモードのウンヨウメニューで「メモリ セッテイ」の「メモリワリアテ」を「フォームトウロクユウセン」とすることでフォーム登録用メモリーを増加させることができます。

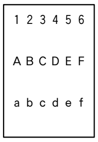
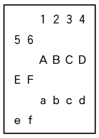
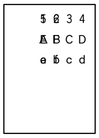
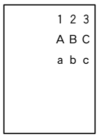
症　状	原因と処理方法
88 EPﾀｲﾌﾟﾁｶﾞｲ EPｺｳｶﾝ	**EPカートリッジのタイプが違う。** → 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。
89 EPｼﾞｭﾐｮｳ EPｺｳｶﾝ	**EPカートリッジの寿命を示している。** → 「EPカートリッジの交換」(217ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
XX ｺｰﾙXXX	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき 	**用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(293ページ)を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** → 「3章　用紙のセット」(91ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **手差し給紙の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** → プロパティーダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき 	**プリンターの内部が汚れている。** → 「清掃」(221ページ)を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき 	**トナーがない(トナーランプ点灯)。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(217ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** → メニューモード、プリンタードライバーでトナー節約機能を解除してください。 **設定濃度が淡すぎる。** → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** → 「EPカートリッジを取り付ける」(20ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **手差し給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** → プロパティーダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。

症　状	原因と処理方法
何も印刷されない 	**トナーがない(トナーランプ点灯)。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(217ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのビニールシールが引き抜かれていない。** → 「EPカートリッジを取り付ける」(20ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。
真っ黒に印刷されたとき 	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「EPカートリッジの交換」(217ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** → 「EPカートリッジの交換」(217ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
文字のグレー印刷ができない 	**プリンタードライバーの設定が正しくない。** → Windows 98/95/NT 4.0：プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 Windows 2000：プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[文字の表現]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。
印刷に縦線や横線が入るとき 	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「EPカートリッジの交換」(217ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** → 「EPカートリッジの交換」(217ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき 	**転写ローラが汚れている。** → 数枚テスト印刷をしてください。 重要　**転写ローラーを直接清掃すると用紙送り不良の原因となるおそれがあります。** **リブプレートが汚れている。** → 「清掃」(221ページ)を参照して、プリンターの内部を清掃してください。
部分的に白く抜けるとき 	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「3章　用紙のセット」(91ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(293ページ)を参照して、確認してください。 **冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。** → 電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。

症　状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき（続き）	**EPカートリッジに問題がある可能性がある。** →「EPカートリッジの交換」（217ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき 	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →「EPカートリッジの交換」（217ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →「EPカートリッジの交換」（217ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** → 切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 → LANボード接続に変更してください。
改行量（行の間隔）が2倍になる  1行が2行にわたる  各行の文字が重なって印刷されてしまう  用紙の途中から印刷が始まってしまう  	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** → ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 → メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないとき、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** →　プリンタードライバーによっては接続先のポート(LPT1:、COM1:など)に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1、9-1または9-2がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** →　お使いのプリンターをWindowsから印刷する場合は、メモリースイッチ5-1、または9-1、9-2をONのままメニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要となります。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** →　お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** →　「PrintAgentシステムが起動しないときは」(237ページ)を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(244ページ)を参照してください。
斜線の太さが均一でない(線の角度によって、線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「ON」になっている。** →　プリンタードライバープロパティまたはメニューモードでSETの設定を「OFF」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** →　プリンタードライバープロパティまたはメニューモードでトナー節約機能をOFFにしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** →　アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** →　メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。 A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。

症　状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない(続き)	**使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** →　「用紙の規格」(293ページ)を参照して、確認してください。 MultiWriter 2300/2100/210Sのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターとMultiWriter 2300/2100/210Sとの間に印刷位置の互換性がない。** →　プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。プリンタードライバーの「従来互換の印刷範囲を使用する」(Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]の[プリンタの設定]、Windows 98/95の場合は[プロパティ]の[印刷品質]、Windows 3.1の場合は[オプション]ダイアログボックス、Windows NT 4.0/3.51の場合は[デバイスのプロパティ]の[プリンタの設定])をチェックしてください。
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** →　[印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 MultiWriter 2300/2100/210Sはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード (0Ch) を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能(コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能)があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。

症　状	原因と処理方法
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう（続き）	**綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　「2章　プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　「メニューモード」（114ページ）を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷･排出してしまうことがあります。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切替器を使用している。** →　プリンターバッファーや切替器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで「136桁モード」を有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモードが合っていない。** →　メニューモードの両面印刷に関する設定を確認してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** →　両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。 **MPの用紙種類を普通紙以外に設定している。** →　MPから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 **MPの定形外用紙がONになっている。** →　メニューモードで定形外用紙をOFFにしてください。 **メモリーが足りない。** →　A3、B4サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。「8章　オプション」の「増設RAMサブボード」（284ページ）をご覧になり、メモリーを増設してください。

症　状	原因と処理方法
両面印刷が正しく機能しない(続き)	**メモリースイッチ5-1、または9-1、9-2がONになっている。** → メモリースイッチ5-1、または9-1、9-2をOFFにしてください。PC-PTOS等の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。
1200dpi印刷時に“82 メモリオーバー”が表示され、一部分が白紙で印刷される*1	**プリンターのメモリーが足りない。** → メモリーの増設が必要です。309ページの「増設RAMサブボードのメモリー対応」の表をご覧になって、印刷保証容量のメモリーを増設してください。
解像度1200dpi時で用紙にしわが入る*1	**メニューモードが正しく設定されていない。** → 400dpi、600dpiで印刷を行った後で1200dpiに解像度を切り替えて印刷した場合、用紙にしわができる場合があります。メニューモードのウンヨウメニューで「オンドセイギョキノウ」を「ON」に設定し直してください。ただしこの場合、印刷開始時間が通常よりも遅くなります。
ユーザー定義サイズで印刷されない	**[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされていない。** → Windows 98/95/NT 4.0/NT 3.51/3.1：[給紙方法]で[自動]が選択されている場合、プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスで[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされていないと、[MP]または[手差し]からの給紙を行わない場合があります。[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてから印刷してください。 → Windows 2000：[給紙方法]で[自動]が選択されている場合、プリンタードライバーの[印刷設定]ダイアログボックスで[用紙サイズエラー]で[検出しない]から[検出する]に変更されていないと、[MP]または[手差し]からの給紙を行わない場合があります。[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてから印刷してください。
丁合印刷ができないまたは多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない** → 7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(244ページ)を参照してください。 → 双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、5章の「電子ソート機能」をご覧ください。 → アプリケーションでの丁合印刷または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている** → パソコン本体とプリンターとの接続に市販のプリンターバッファー、プリンター切替器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(244ページ)を参照して双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない** → 7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(244ページ)を参照してください。

*1 MultiWriter 2300のみ対象です。

1200dpi*2での印刷について

MultiWriter 2300をお使いの場合でWindows 3.1対応のプリンタードライバーでは、解像度の設定で1200dpiをサポートしておりません。他の解像度設定で印刷してください。

*2 解像度47.2ドット/mm

PrintAgentシステムが起動しないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と処理方法</th></tr>
<tr><td>画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない</td><td>[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスで[システムを自動的に起動する]をチェックしていない。
→　チェックしてください。Windows 98/95の場合は次回起動時から、Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51の場合は次回ログオン時から自動的に表示されます。

PrintAgentを終了している。
→　[スタート]-[プログラム]-[MultiWriter 2300/2100/210S]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。</td></tr>
<tr><td>PrintAgentが機能しない</td><td>PrintAgentシステムファイルを削除した。インストール、またはアンインストールの失敗などによりPrintAgentが正しくインストールされていない。
→　Windowsを再起動して、PrintAgentをアンインストールします。再び、Windowsを再起動して、プリンターソフトウエアを再インストールしてください。</td></tr>
<tr><td>双方向通信機能が有効になっていない</td><td>Windowsのポート設定が正しく設定されていない。
→　双方向通信が可能なポートに接続していることを確認してください。
<table>
<tr><th>OS</th><th>ローカル接続</th><th>LAN接続</th><th>USBケーブル接続</th></tr>
<tr><td>Windows 98/95</td><td>LPTx</td><td>NEC TCP/IP Printing System</td><td>LPTUSBx</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td>LPTx</td><td>NEC Network Port</td><td>LPTUSBxxx:</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>LPTx</td><td>NEC Network Port</td><td>- - -</td></tr>
</table>
上記のポート以外を設定して印刷を行う場合には、プリンターのプロパティ設定で双方向機能を無効(サポートしない)に設定してください。

→　プリンターのプロパティの設定で双方向通信機能サポートを有効にします。「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(244ページ)を参照してください。</td></tr>
</table>

プリンタステータスウィンドウがおかしいときは

プリンタステタスウィンドウでプリンター状態を表示しなかったりおかしいときは、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが[スタート]メニューに登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →　システムの管理者にご相談ください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンタフォルダーに「NEC MultiWriter 2300/2100/210S」のプリンターが登録されていない。** →　PrintAgentおよび、プリンタードライバーをインストールしてください。 **プリンタードライバーが変更されている。** →　プリンタードライバーを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →　権限を確認してください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。 **コンピューターのメモリー不足。** →　必要のないアプリケーションを終了してください。 **プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。** →　コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →　印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。 **[通知形式のプロパティ]の設定が変更されている。** →　設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**最新のステータスを取得していない。** →　プリンターステータスウィンドウの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。 **14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →　このインターフェースではプリンターの情報を取得することができず、プリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。 **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　Windows 98/95：プリンターのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 Windows 2000/NT 4.0：プリンターのプロパティの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない（続き）	**プリンターが直接つながっているコンピューターがWindows 2000/NT 4.0でプリンタープールを使用している。** →　Windows 2000/NT 4.0上のすべてのプリンターの[プリンタのプロパティ]-[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。 **お使いのコンピュータープリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのI/F設定が異なっている。** →　双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」（245ページ）を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声がインストールされていない。** →　標準インストールでは音声はインストールされません。アプリケーションの追加と削除で音声を選択してインストールしてください。（79ページ参照） **音声を通知しない設定になっている。** →　[通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。 **[PSWのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が「自動起動する」になっていない。** →　自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 **ボリューム、Windowsのサウンド設定が変更されている。** →　設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →　すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、削除できません。 **プリンターのアクセス権がない。** →　ネットワーク管理者に権限を確認してください。 **印刷先がネットワーク共有プリンターである。** →　ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows 2000/NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSを「ログオフ」→「ログオン」してください。
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない、または自動起動してしまう	**[PSWのプロパティ]の設定が変更されている。** →　設定を確認してください。 **LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。** →　LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は[PSWのプロパティ]で[自分のドキュメントを印刷していないとき]の起動条件として[印刷中にアイコンで自動起動する]を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただし、この場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示内容が実際の構成と異なっている	**プリンターが双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファーなどを経由して接続されている。** →　プリンターの現在の設定は読み込むことはできません。双方向通信できないときは、初期状態として最大構成が入っています。この場合の構成はプリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できない。** →　ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により、正しくプリンターの情報が取得できなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

リプリント機能が動作しないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	**[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。** →　PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。) **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　Windows 98/95:プリンターのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 Windows 2000/NT 4.0:プリンターのプロパティの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。 →　「使用できるコンピューターとプリンターケーブル」(287ページ)を参照して、ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **PrintAgent リプリントがインストールされていない。** →　PrintAgent リプリント2を追加インストールしてください。(79ページ参照) **プリンタードライバーがインストールされていない。** →　「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(39ページ)を参照して、ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてください。
リプリントしたい印刷ジョブが蓄えられない	**[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。** →　<Windows 98/95の場合> [プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、確認してください。 <Windows 2000の場合> [印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートで機能選択バーの[リプリント]を選択し、確認してください。 <Windows NT 4.0の場合> [ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、確認してください。
蓄えられた印刷ジョブがなくなった	**印刷ジョブのスプールサイズが大きい。** →　[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスでディスク領域を大きくしてください。(175ページ参照) **ドキュメント数が制限を越えている。** →　[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスでドキュメント数の値を大きくしてください。(175ページ参照) **有効期限が過ぎている。** →　[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで有効期限の時間を長くしてください。(175ページ参照)

ジョブセパレート機能が動作しないときは

データを送ったが、ジョブセパレートできなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
ジョブセパレート機能が使用できない	**A4サイズが縦置き、横置きでセットされていない。** →　プリンターにセットされている用紙を確認してください。(詳細は5章参照) **MPの用紙サイズが設定されていない。** →　MPの用紙サイズを「A4ヨコ」もしくは「A4タテ」に設定してください。 →　メニューモードのヨウシメニューで「MP　テイケイガイヨウシ」を「OFF」に設定してください。 →　メニューモードのヨウシメニューで「MP　ヨウシシュベツ」を「フツウシ」に設定してください。 **MPの用紙種類を普通紙以外に設定している。** →　MPから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 **給紙方法が自動に設定されていない。** →　プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、自動に設定してください。 **[ジョブセパレート機能を使用する]がチェックされていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタードライバーで[ジョブセパレート機能を使用する]にしてください。 **プリンターの給紙先が[手差し]になっている。** →　[ホッパ]スイッチ、または[MP]スイッチを押して、給紙先を[ホッパ]もしくは[MP]に設定してください。 **プリンターで双方向通信ができない** →　「PrintAgentシステムが起動しないときは」(237ページ)を参照してください。双方向通信ができない場合には、丁合機能と組みあわせた多部数印刷時のジョブセパレートはできません。
ジョブセパレート機能がうまく働かない	**丁合い機能が正しく選択されていない。** →　アプリケーションの印刷機能から丁合い機能を指定している場合は正しく機能しません。アプリケーションの指定を外してください。 **すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用するように設定されていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが[ジョブセパレート機能を使用する]に設定していることを確認してください。
PrintAgent リプリント2でジョブセパレートが設定できない	**プリンタードライバーの給紙方法が[自動]以外の設定で印刷された印刷ジョブを選択している。** →　給紙方法を[自動]に設定し、印刷してください。 **A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。
PrintAgent リプリント2でジョブ結合したとき、ジョブセパレートが設定できない	**A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブの選択を解除してください。 →　結合するジョブをA4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項をネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

共有プリンターの利用/提供について

本項目は、Windows 2000/NT 4.0では、共有プリンターの提供のみAdministrators権限のある方が設定を変更できます。[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**

  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

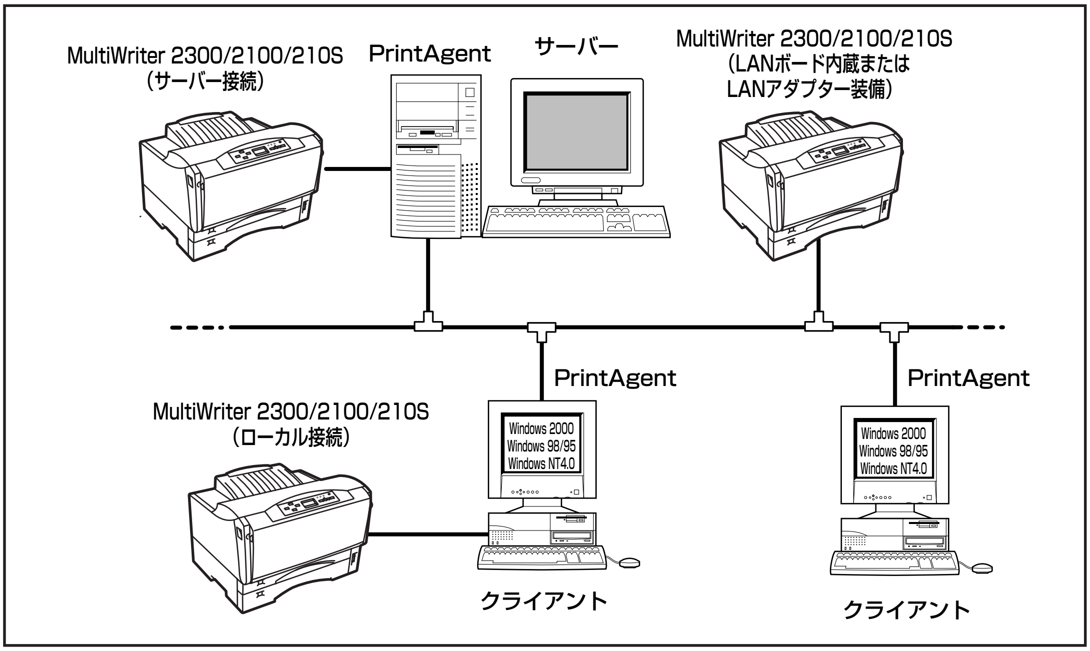
従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。

  サーバーコンピューターがWindows 98/95の場合はプリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバー、クライアント両者にインストールされている必要があります。



- PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでご利用の場合、1台のサーバーに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

- PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでご利用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用されることを推奨します。(Windows 2000 日本語版をプリントサーバーとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	ローカル接続	LAN接続	USBケーブル接続
Windows 98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBx
Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	LPTUSBxxx:
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	- - -

✔チェック

上記の表以外のポートでご利用の場合には、双方向通信を無効に設定してください。PrintAgentの機能はご利用になれません。

- 双方向通信を有効にしてください。

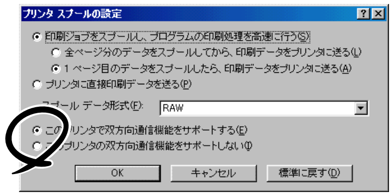
<Windows 2000の場合>

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]をチェックしておく必要があります。



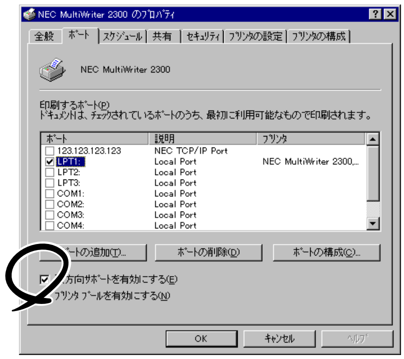
<Windows 98/95の場合>

プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]をチェックしておく必要があります。



<Windows NT 4.0の場合>

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックしておく必要があります。



その他

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows 2000/NT 4.0の場合、プリンタプールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタプールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]－[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPのみです。
- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。

PrintAgentの動作中は

一つのコンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照しプリンターポート（パラレルポート）の設定を変更していただくか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「メニューモード」（114〜126ページ）を参照してください。

重要

Windows 95で赤外線通信インタフェースアダプタを使ってMultiWriter 2300/2100/210Sに接続している場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。片方向通信での印刷となります。

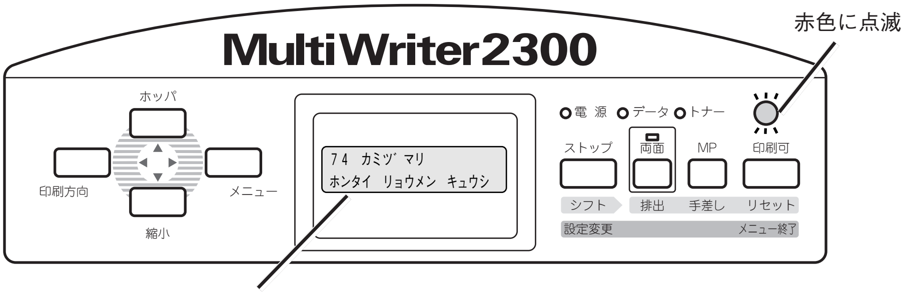
OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- Windows 98/95、Windows NT 4.0用のプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）はWindows 2000では使用できません。
- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」（74ページ）、「PrintAgentの追加・削除」（79ページ）の手順に従ってプリンタードライバー、およびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ　ホンタイ　リョウメン　キュウシ”、または“78　ヨウシピックミス　ホッパ　MP　テサシ”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが赤色に点滅)になります。



(MultiWriter 2300の場合)

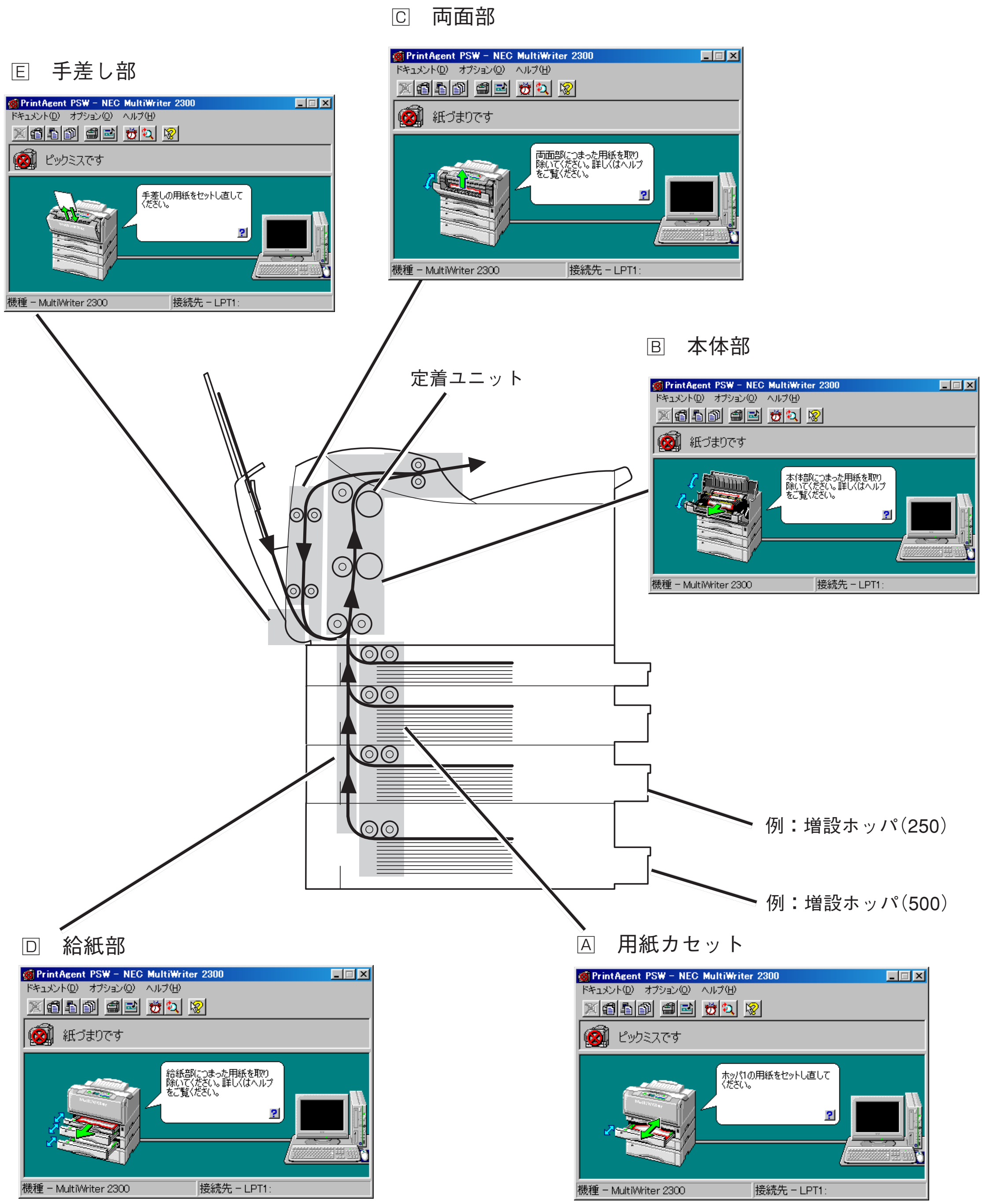
紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“ホンタイ”	B 本体部 E 手差し部
	“リョウメン”	C 両面部
	“キュウシ”	D 給紙部
“78　ヨウシピックミス”	“ホッパ”	A 用紙カセット
	“MP”	
	“テサシ”	E 手差し部

次ページの図を参考にしてA、B、C、D、Eのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、249ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

Ａ～Ｅで示す網掛け部分がMultiWriter 2300/2100での紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については249ページ以降を参照してください。

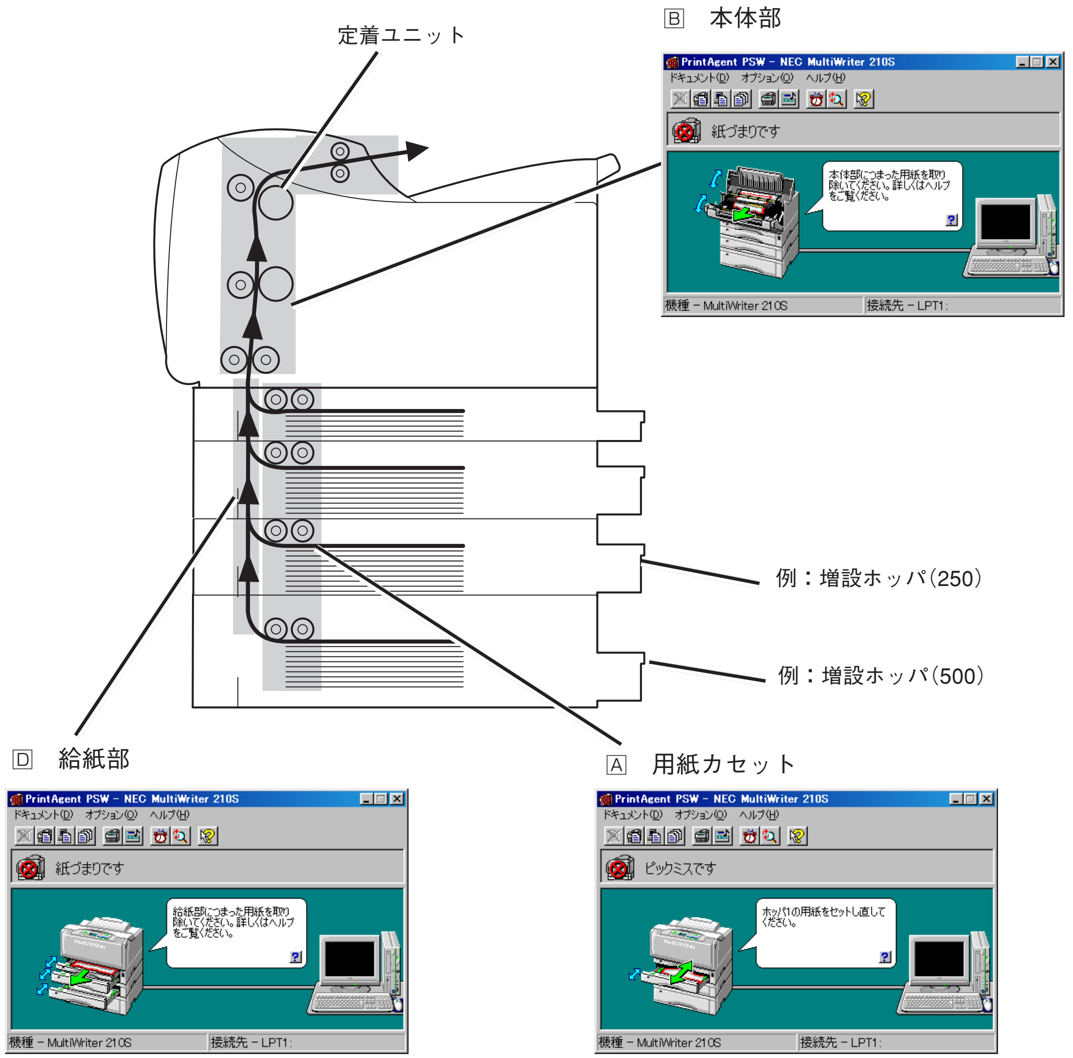


⚠注意

定着ユニット周辺、および装置内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまり、ピックミスの発生箇所(MultiWriter 2300/2100の場合)

Ⓐ～Ⓒで示す網掛け部分がMultiWriter 210Sでの紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については249ページ以降を参照してください。



⚠注意

定着ユニット周辺、および装置内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまり、ピックミスの発生箇所（MultiWriter 210Sの場合）

ピックミス(用紙給紙ミス)の処理

発生箇所(A、E)に応じて、ピックミス(用紙給紙ミス)の処理をしてください。

給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

ピックミスが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」(255ページ)を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。

✔チェック

給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。

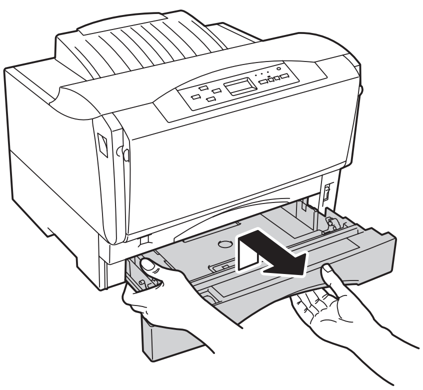
A 用紙カセット

❶ **操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。**

❷ **プリンターの電源をONにしたまま、ピックミスが発生した箇所の用紙カセットをゆっくりと取り外す。**

重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

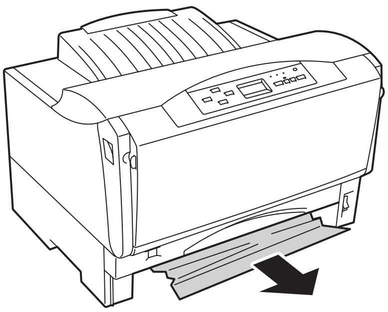


❸ **給紙されなかった用紙を取り除く。**

✔チェック

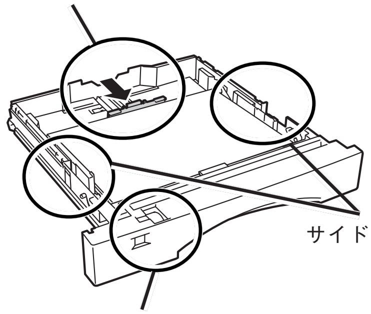
給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

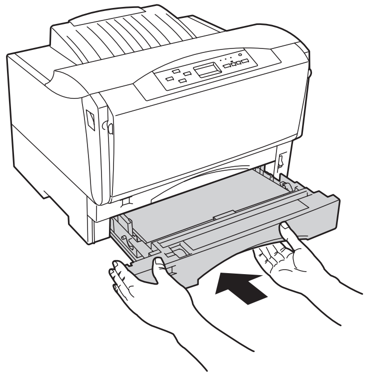


❹ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

用紙カセットカバーを外し、エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(91ページ)を参照してください。



❺ **用紙カセットを取り付ける。**

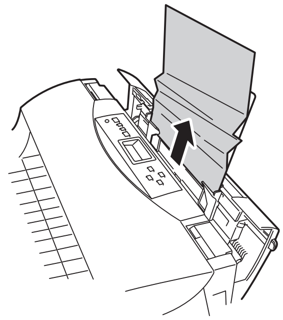


重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

E　手差し部

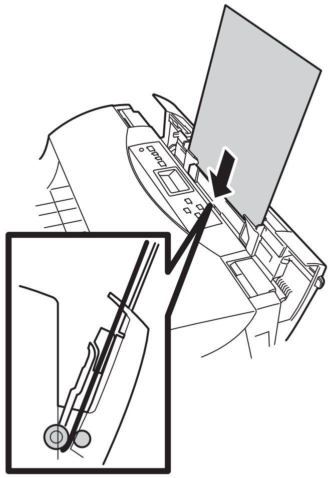
❶ **プリンターの電源をONにしたまま手差し給紙できなかった用紙を取り除く。**



❷ **新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。**

チェック

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は手差しから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。



❸ **用紙のセット方法が正しいか確認する。**

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。
3章の「手差しに用紙をセットする」(100ページ)を参照してください。

紙づまりの処理

発生箇所(B、C、D、E)に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」(255ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

✔チェック

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- MultiWriter 2300/2100/210Sで紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

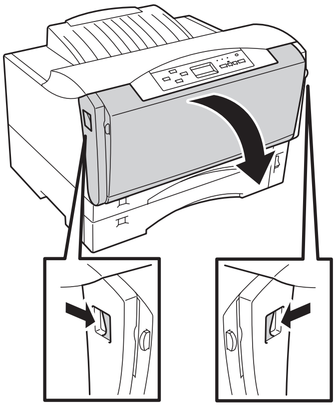
B　本体部の紙づまり

⚠注意

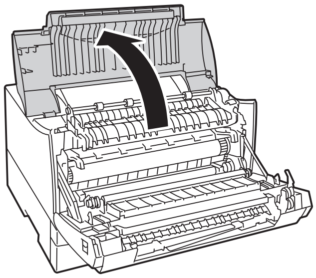
定着ユニット周辺、および装置内部の金属部は高温になっています。触れると火傷をするおそれがありますので、十分に注意してください。

❶ プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。

フロントユニットが開いて止まります。

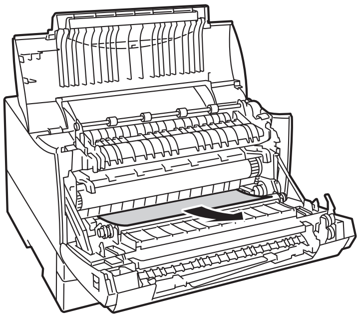


❷ トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。



❸ つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。

用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。つまった用紙が見つからない場合は、手順❻に進んでください。

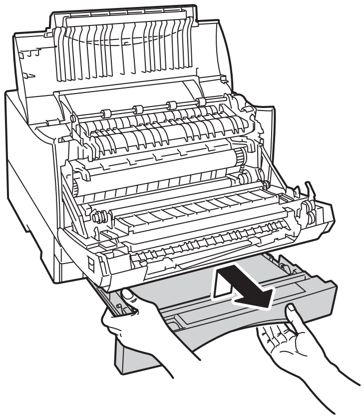


❹ トップカバーをゆっくりと閉じる。

❺ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

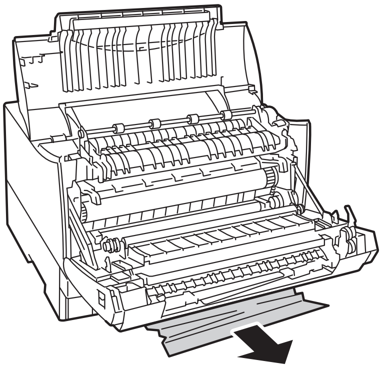
❻ **標準カセット、またはMPカセットをゆっくりと取り外す。**



❼ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと下方向に引き抜く。**

✔チェック

つまった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。
用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。



❽ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

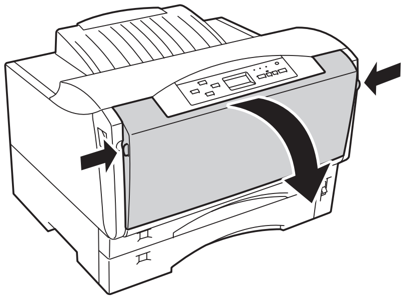
❾ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

❿ **取り外した標準カセット、またはMPカセットを取り付ける。**

C　両面部の紙づまり

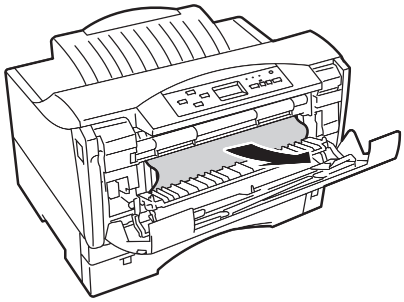
❶ **プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントカバー開閉ボタンを押しながら手前に引いて、フロントカバーをゆっくりと開ける。**

フロントカバーを60°くらいの位置まで開けます。操作パネルのディスプレイに「カバーオープン」と表示されます。



❷ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。**

用紙が取れない、または見つからない場合はフロントカバーを閉じた後、「B　本体部の紙づまり」(251ページ)の手順に従って処理してください。



❸ **フロントカバーをゆっくりと閉める。**

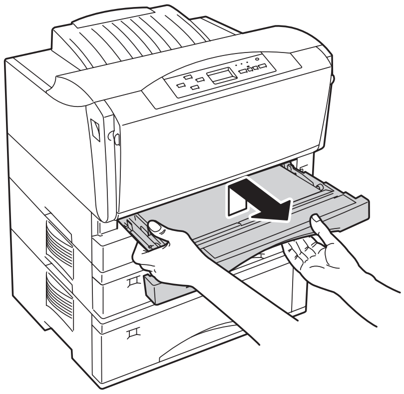
D　給紙部の紙づまり

増設ホッパーを装着した場合を例にして、処理方法を説明します。

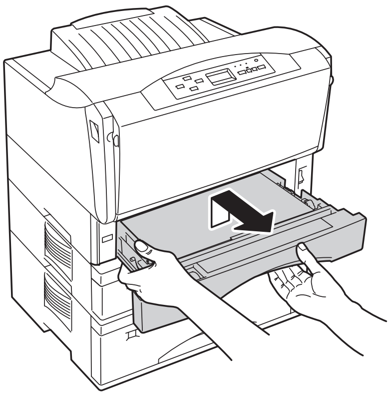
重要

- 用紙カセットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙カセットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい取り除けなくなるおそれがあります。

❶ MPカセットをゆっくりと取り外す。

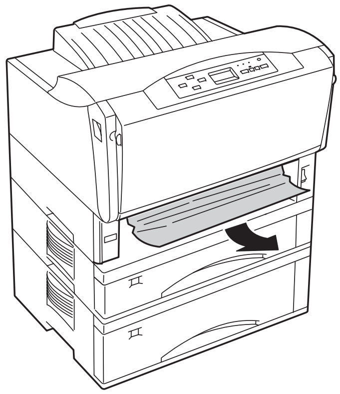


❷ 標準カセットをゆっくりと取り外す。



❸ つまった用紙をゆっくり引き抜く。

用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。
つまった用紙が見つからない場合は、手順❺に進んでください。

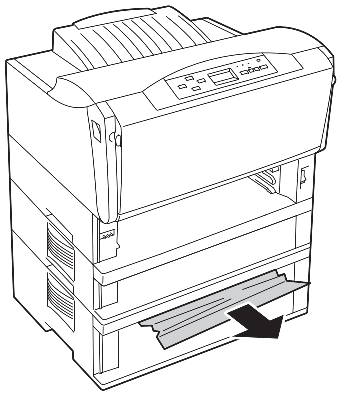


❹ 標準カセット、MPカセットを取り付ける。

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❺ つまった用紙が見つからない場合は、増設カセットを上から順番に取り外し、つまった用紙を取り除く。

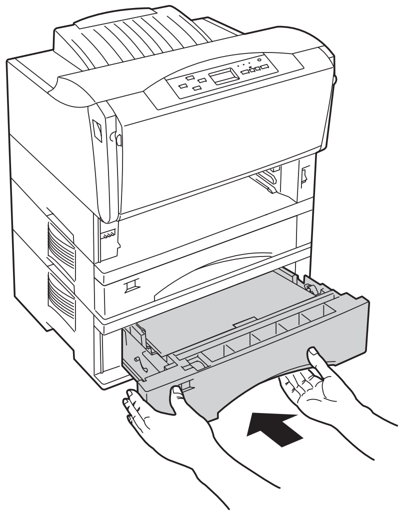
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。



重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

❻ **増設カセットを取り付ける。**

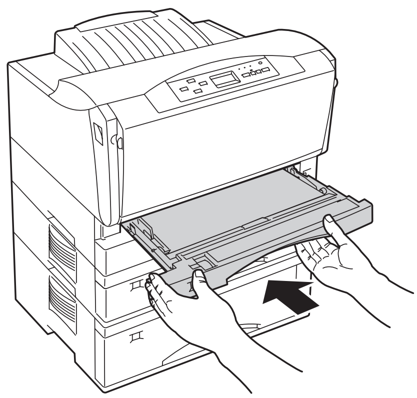


重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

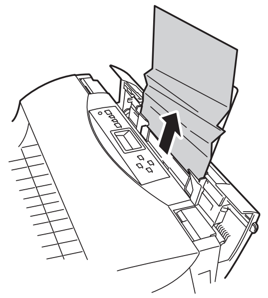
❼ **標準カセット、MPカセットを取り付ける。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。



E　手差し部の紙づまり

❶ **プリンターの電源をONにしたまま、フロントカバー開閉ボタンを押しながら手前に引いてフロントカバーを開けて、つまった用紙を取り除く。**



❷ **用紙が取れない、または見つからない場合は「B　本体部の紙づまり」(251ページ)の手順に従って処理する。**

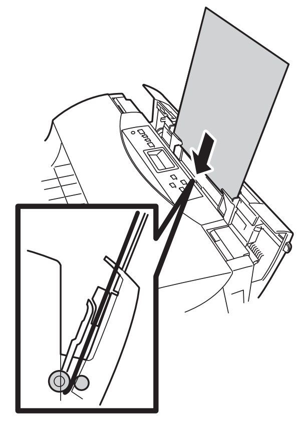
このとき、フロントカバーは開けておいてください。

❸ **新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。**

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。
3章の「手差しに用紙をセットする」(100ページ)を参照してください。

チェック

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。



ピックミス、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙、または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの設定は合っていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」(293ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- □ 用紙の量が多すぎませんか。エンドガイドの最大積載表示(▼)以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で、標準ホッパーの容量は約250枚です。)
- □ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □ プレ印刷用紙(すでに罫線などが印刷されている用紙)を使用していませんか。
- □ フロントユニット、トップカバー、フロントカバーは確実に閉じられていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、または増設カセットは奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

上記の確認後、「テスト印刷をする」(25ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後は、ローラー等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

ユーザーサポートについて

NECはMultiWriter 2300/2100/210Sの「お客様登録」された方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

ユーザーサポートの内容

お客様登録申込書について

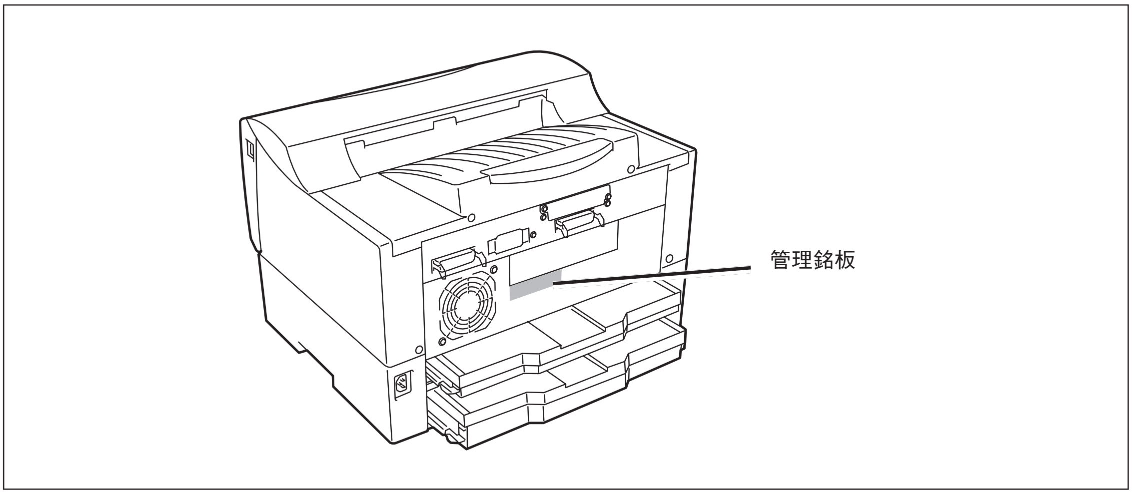
添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、ご記入の上、投函してください。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスは以下のような種類があります。

- 契約保守 .... 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 .... サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- 持込修理 .... お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。

<table>
<tr><th rowspan="2">種　類</th><th rowspan="2">概　要</th><th colspan="2">修理料金</th><th rowspan="2">お支払い方法</th><th rowspan="2">受付窓口*[1]</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>契約保守</td><td>ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。</td><td colspan="2">機器構成、契約期間に応じた一定料金</td><td>契約期間に応じて一括払い</td><td rowspan="2">NECフィールディング(株)</td></tr>
<tr><td>出張修理</td><td>修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。</td><td>無料*[2]</td><td>修理料
＋
出張料</td><td rowspan="2">そのつど清算</td></tr>
<tr><td>持ち込み修理</td><td>修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。</td><td>無料</td><td>修理料のみ</td><td>NECフィールディング(株)
NEC Bit-INN</td></tr>
</table>

*[1] 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのホームページアドレス http://www.fielding.co.jp/per/index.htmをご覧ください。

*[2] 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル（コピー版）を実費で再度購入することができます。

- 品名　　MultiWriter 2300/2100/210S　ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター
　URL：http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/
　電話：03-5476-1900
　　受付時間　月曜から金曜　10：00〜12：00/13：00〜16：00
　　（土曜、日曜、祭日は、ご利用になれません）
　FAX：03-5476-1967
　　受付時間　24時間（いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。）

情報サービスについて

プリンター製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネット NECホームページ 「121ware.com」 アドレス　http://121ware.com

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談は下記で電話にて承ります。

NECパソコンインフォメーションセンター
（電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

❶ 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。

❷ 定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認してください。

❸ 本章の225～255ページをご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、『保証書』を添えてお申し込みください。

またプリンターをお持ち込みいただくときは本書や梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

プリンターの寿命について

MultiWriter 2300/2100/210Sの製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。MultiWriter 2300/2100/210Sは、10万枚ごとに定期保守が必要です。継続使用される場合や定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用部品について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品(EPカートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル)を取り付けたときと逆の手順で取り外す。(「1章　プリンターの設置」を参照してください。)**

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、「8章　オプション」を参照して取り外す。**

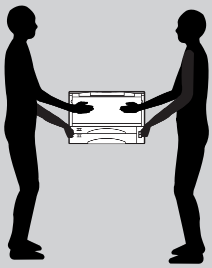
❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。**

⚠ 注意

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです。
(EPカートリッジ含まず。)

- MultiWriter 2300：約16.7kg
- MultiWriter 2100：約16.7kg
- MultiWriter 210S：約14.7kg

装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて2人以上で運んでください。装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。



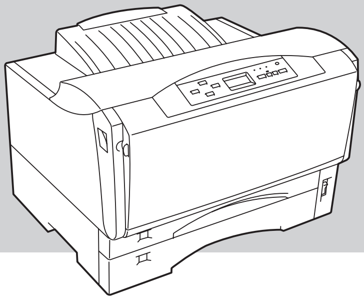
プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。

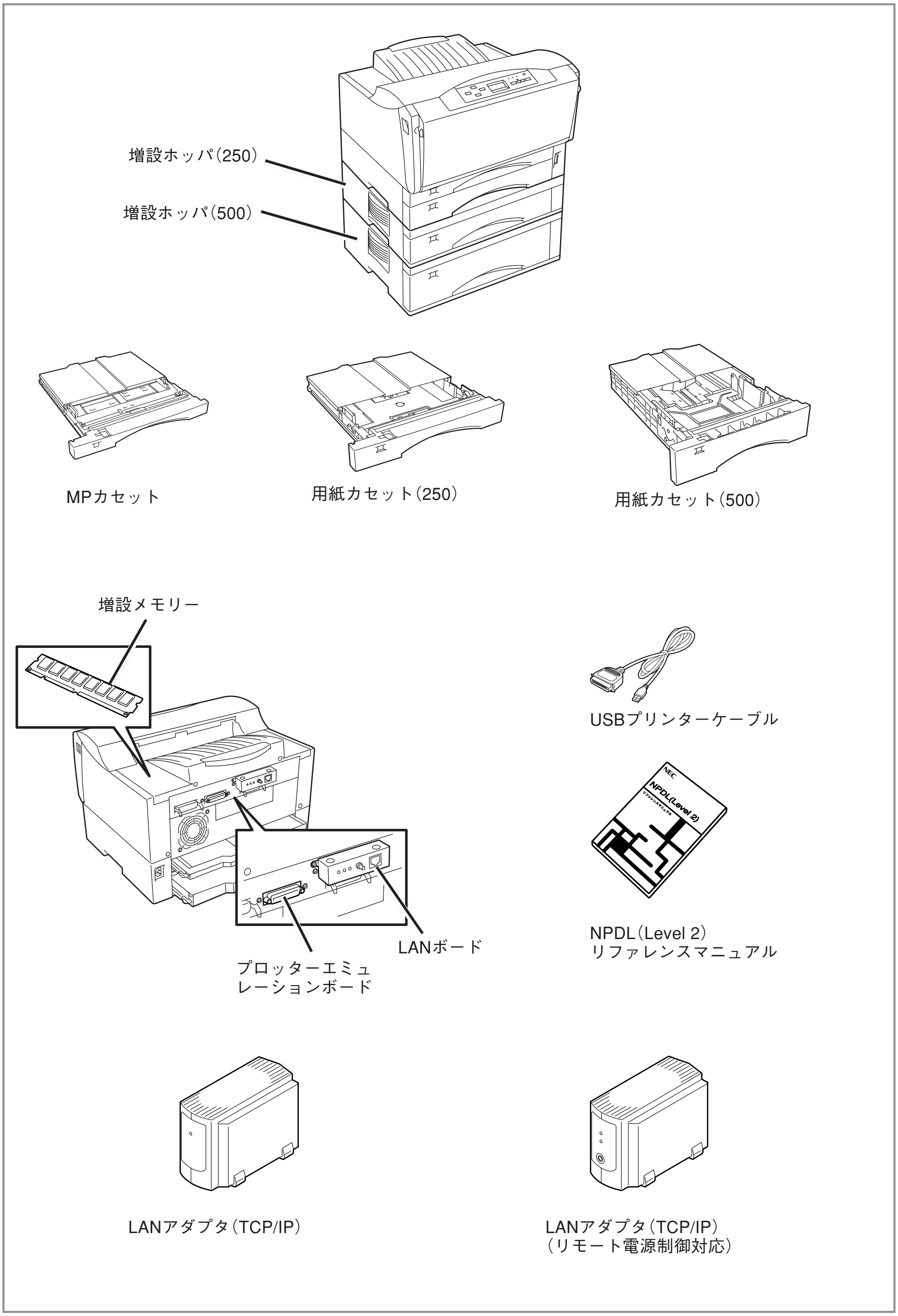
- NECのEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用後は古いEPカートリッジを捨てずに、EPカートリッジ回収センタに直接お送り頂くか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

（空白ページ）

8章
オプション



この章では、MultiWriter 2300/2100/210S用として提供される別売品(オプション)を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。


増設ホッパ(250)
増設ホッパ(500)
MPカセット
用紙カセット(250)
用紙カセット(500)
増設メモリー
USBプリンターケーブル
NPDL(Level 2)
リファレンスマニュアル
LANボード
プロッターエミュ
レーションボード
LANアダプタ(TCP/IP)
LANアダプタ(TCP/IP)
(リモート電源制御対応)

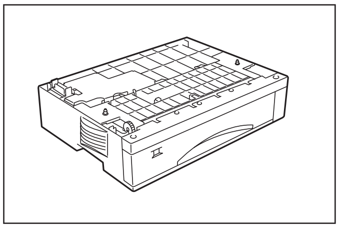
オプション一覧

オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

ホッパー・カセット

増設ホッパ(250) (型番 PR-L2300-02)

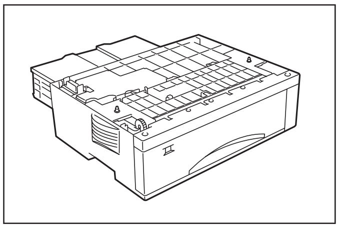


A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズの用紙(普通紙)を250枚までセットすることができます。

PR2000/4R-02、PR2200X-02、PR-L2200X2-02、PR-L2650-02は使用できません。

項目	型番 PR-2300-02
サイズ	459(W)×555(D)×104(H) mm (A3、B4サイズセット時、最大) 459(W)×420(D)×104(H) mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小で突起部含まないサイズ)
質量	約4.3kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、A5、B5、レター
備考	2段目、3段目に増設可能

増設ホッパ(500) (型番 PR-L2300-03)



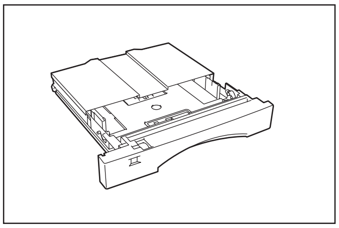
A3、A4、B4、レターサイズの用紙(普通紙)を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03、PR2200X-03、PR-L2200X2-03、PR-L2650-03は使用できません。

項目	型番 PR-L2300-03
サイズ	459(W)×562(D) ×139(H) mm (突起部を含まないサイズ)
質量	約5.5kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、レター
備考	2段目、3段目に増設可能

MultiWriter 2300/2100/210Sそれぞれが対応しているホッパーは以下のとおりです。

ホッパ型番	MultiWriter 2300	MultiWriter 2100	MultiWriter 210S
PR-L2300-02	○	○	○
PR-L2300-03	○	○	○

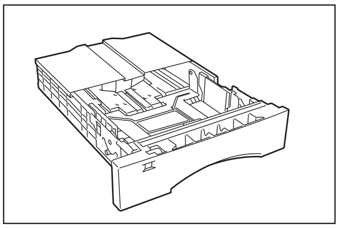
用紙カセット(250) (型番 PR-L2300-04)



MultiWriter 2300/2100/210Sの標準ホッパー、増設ホッパ(250)用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意して、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換して使用する場合に便利です。

サイズ　：　414(W)×555(D)×65(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
414(W)×420(D)×65(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)
質量　：　約1.6kg

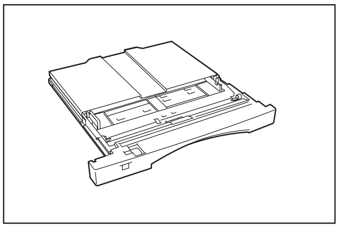
用紙カセット(500) (型番 PR-L2300-05)



増設ホッパ(500)用の用紙カセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

サイズ　：　414(W)×562(D)×100(H)mm
質量　：　約2.5kg

MPカセット (型番 PR-L2300-MP)



MultiWriter 2300/2100/210SのMP用の増設MPカセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

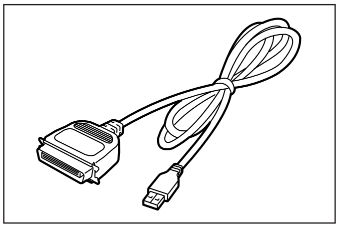
サイズ　：　414(W)×546(D)×39(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
414(W)×411(D)×39(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)
質量　：　約1.1kg

MultiWriter 2300/2100/210S それぞれが対応しているカセットは以下のとおりです。

カセット型番	増設ホッパ (250)	増設ホッパ (500)	MultiWriter 2300/2100/210S	MultiWriter 2300/2100/210S
	PR-L2300-02	PR-L2300-03	標準ホッパー	MP
PR-L2300-04	○	X	○	X
PR-L2300-05	X	○	X	X
PR-L2300-MP	X	X	X	○

インターフェースオプション

USBプリンタケーブル(型番 PR-CA-U02)

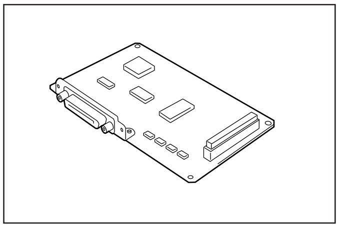


このUSBプリンターケーブルは、PC98-NXシリーズでご使用いただけます。

USBプリンターケーブルをご使用になる場合、コンピューターにUSBプリンターケーブルドライバーをインストールする必要があります。すでにコンピューターにケーブルドライバーがインストールされている場合、ケーブルドライバーのアップデートが必要になる場合があります。

USBプリンターケーブルに関する最新情報は情報サービス窓口(258ページ参照)より提供していますので、ご利用ください。(情報サービスの問い合わせ先は、USBプリンターケーブルのマニュアルを参照してください。)

プロッターエミュレーションボード (型番 PR-L2300-06)



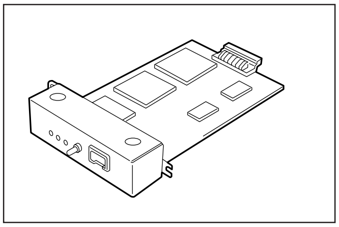
プロッタHP 7550対応のアプリケーションから印刷することができます。

日本ヒューレット・パッカード株式会社のプロッタHP 7550のアプリケーションから印刷することができるプリンター内蔵型のプロッターエミュレーションボードです。RS-232Cインターフェースとしても利用できます。

MultiWriter 2300/2100ではPR-L2300-06以外のプロッターエミュレーションボードは使用できません。お買い求めの際はご注意ください。

ネットワークオプション

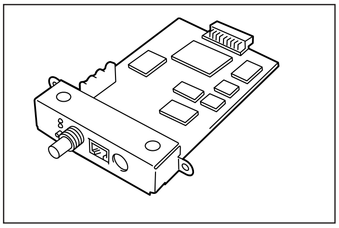
LANボード(型番 PR-NP-01T2)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している内蔵型LANボードです。さらに、MultiWriter 2300/2100/210Sと組み合わせる事で、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

Printer-MIB、操作パネルによるIPアドレス、サブネットマスク設定の機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、1章の「4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する」(35ページ)を参照してください。

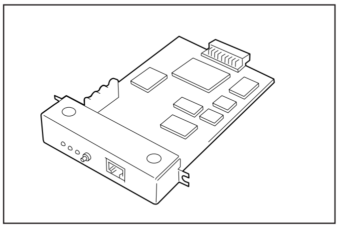
マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)



10BASE-2、10BASE-T、LocalTalkインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

また別売の拡張プリンタドライバ(PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)

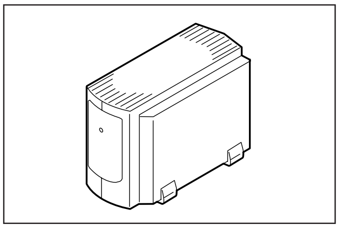


100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

LANボードネットワーク環境

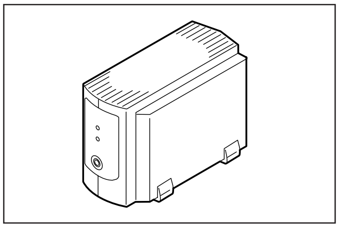
ネットワークOS		プロトコル	PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)	IPX/SPX	×	○	○
IntranetWare	4.11J(NDS対応)	IPX/SPX	×	○	○
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP	○	○	○
		DLC	×	○	○
LANマネージャ	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LAN ServerJ3.0	NetBEUI	×	○	×
Windows	98/95(NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP	○	○	○
Windows	2000	TCP/IP	○	○	○
Macintosh	漢字Talk7.1.X、7.5.X、 Mac OS 7.6.X、8.0、8.1、8.5.X、8.6、9.0.X (ただしQuickDraw GXには未対応)	AppleTalk EtherTalk	×	○	×
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)	○	○	○

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-02T2)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。さらに、MultiWriter 2300/2100/210Sと組み合わせる事で、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-03TR2)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。さらに、MultiWriter 2300/2100/210Sと組み合わせる事で、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンタの管理が行えます。PrintAgent(プリンタ管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。(詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウエアの詳細」をご覧ください。)

Printer-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、1章の「4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する」(35ページ)を参照してください。

LANアダプターネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル	PR-NP-02T2	PR-NP-03TR2
Windows	98/95 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP	○	○
Windows	2000	TCP/IP	○	○
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP	○	○*1
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)	○	○

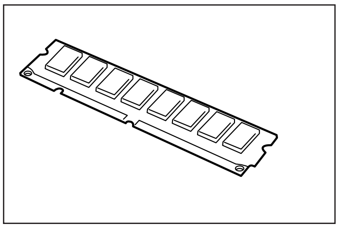
*1 Windows NT 3.1には対応していません。

LANボード/LANアダプターが対応している環境は以下のとおりです。

タイプ/ネットワーク環境		PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02	PR-NP-02T2	PR-NP-03TR2
内蔵型/外置き型		内蔵	内蔵	内蔵	外置き	外置き
マルチプロトコル対応		X	○	○	X	X
TCP/IPプロトコル対応		○	○	○	○	○
	リモート電源制御対応	X	X	X	X	○
100BASE-TX		○	X	○	○	○
10BASE-T		○	○	○	○	○
10BASE-2		X	○	X	X	X
LocalTalk		X	○	X	X	X

メモリー

増設メモリ(64MB)、増設メモリ(128MB)、増設メモリ(256MB)
(型番　PR-MW-M002、PR-MW-M003、PR-MW-M004)

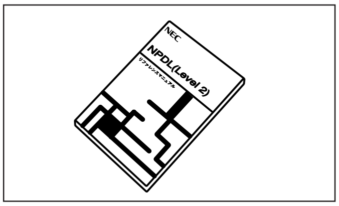


MultiWriter 2300/2100/210Sには1枚だけ取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

- 解像度1200dpiでの印刷時のメモリー不足の解消(MultiWriter 2300のみ)
- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない両面印刷などの解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

リファレンスマニュアル

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル
(型番 PC-PRNPDL2-RM)



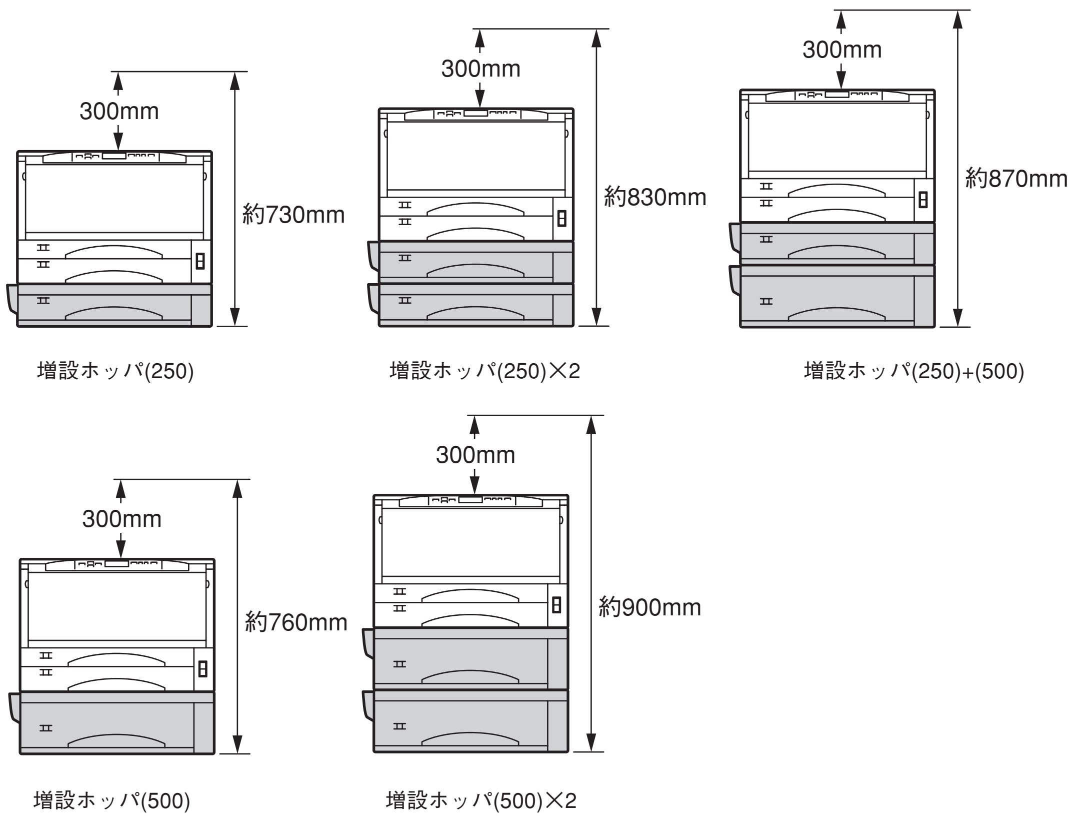
ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

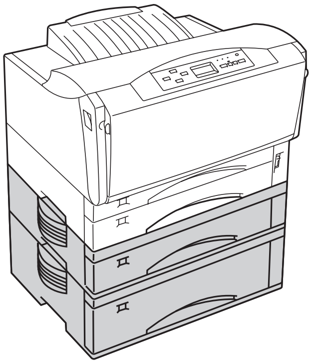
大量印刷をサポートするために、MultiWriter 2300/2100/210Sには型番 PR-L2300-02増設ホッパ(250)と型番 PR-L2300-03増設ホッパ(500)の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意され、3段目まで増設可能です。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについては14ページをご覧ください。



増設ホッパーの取り付け



増設ホッパ(250)/(500)は、上から2段目(ホッパー2)、3段目(ホッパー3)どちらにでも取り付けることができます。
2段目と3段目に取り付ける方法は同じです。ここでは2段目に取り付ける方法を示します。

⚠注意

MultiWriter 2300/2100/210Sは、それぞれ標準で約16.7kg/16.7kg/14.7kgの質量があります。取り付けは2名以上で行ってください。

重要

取り付け方法の詳細について、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り付けてください。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

重要

電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ プリンターを一時的に移動する。

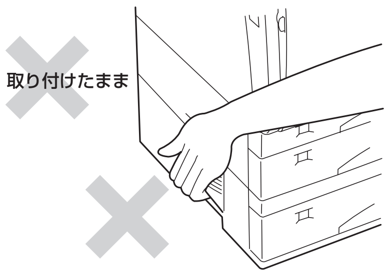
プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

❸ プリンターのあった場所に増設ホッパーを置く。

増設ホッパーの向きに注意してください。

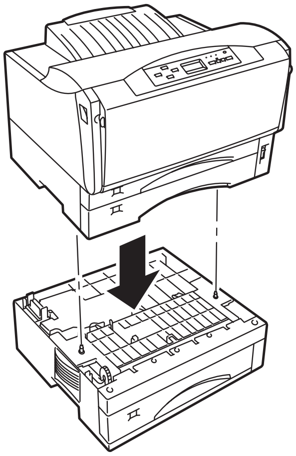
重要

増設ホッパーを運ぶ際は、増設ホッパーの左右の取っ手を持って1段ずつ運んでください。左側にある凸部は持たないでください。



❹ **増設ホッパーの上にプリンターを取り付ける。**

取り付けピンに合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。



重要

増設ホッパーを3段目にも取り付ける場合は、3段目の増設ホッパーを設置した後、2段目の増設ホッパー、プリンターの順でひとつずつ載せてください。

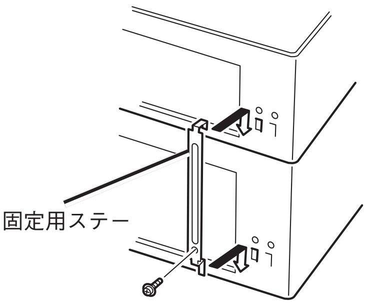
❺ **プリンター本体と増設ホッパーを固定用ステーで固定する。**

❻ **増設ホッパーを2段増設する場合は、2段目の増設ホッパーと3段目の増設ホッパーの右側を固定用ステーで固定する。**

固定用ステーの突起部を穴に引っかけた後、ネジで1か所固定します。

チェック

固定用ステーとネジは増設ホッパーにそれぞれ添付されており、増設ホッパ(250)用と増設ホッパ(500)用では、長さが異なります。下の段に付けた増設ホッパー用のステーをお使いください。



❼ **電源コードとプリンターケーブルをプリンターに取り付ける。**

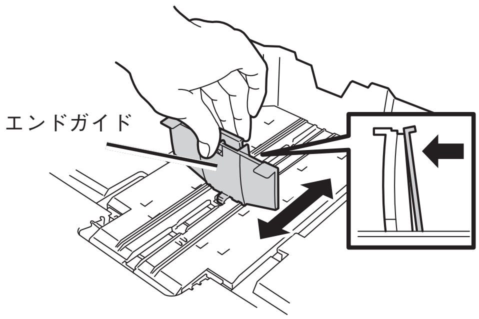
増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。1章の「6　用紙をセットする」(22ページ)をご覧ください。

チェック

- 増設ホッパ(500)にセットできる用紙の種類、量は異なります。増設ホッパ(500)にはA3、B4、A4、レターサイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ(500)の用紙カセットは縮めることはできません。
- 増設ホッパ(500)のエンドガイドは、標準のホッパー、増設ホッパ(250)のエンドガイドと形状が異なります。

  増設ホッパ(500)のエンドガイドの取り外し/取り付けは下図のように左右のつまみを押しながら行ってください。エンドガイドはA3サイズの用紙をセットするときも使用します。



- 用紙をセットし終えた用紙カセットは重くなっています。増設ホッパーに取り付ける際は増設カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

プリンターの設定

標準では増設ホッパ(250)に設定されています。次の場合は、プリンターのメモリースイッチ(MSW)の設定を変更する必要があります。該当しない方は、次ページの「ホッパーの切り替え」へ進んでください。

- 増設ホッパ(500)を取り付けたとき
- 増設ホッパ(500)から増設ホッパ(250)に取り換えたとき

位置	取り付けた増設ホッパー	MSWの設定
2段目	増設ホッパ（500）	MSW7-4　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-4　0
3段目	増設ホッパ（500）	MSW7-5　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-5　0

次の手順は2段目に増設ホッパ(500)を取り付けたときの操作パネルによる設定の変更方法です。3段目に取り付ける場合も同様の手順で行います。

❶ プリンターの電源をONにする。

❷ [メニュー]スイッチを押して、メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して"テストメニュー　→"を表示させます。

```
テストメニュー          →
```

❸ [▲]スイッチを1回押す。

"メモリスイッチメニュー　→"と表示されます。

```
メモリスイッチメニュー    →
```

❹ [▶]スイッチを1回押す。

MSW1が表示されます。

```
            12345678
←MSW1       00000000*
```

❺ [▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して、MSW7を表示させる。

```
            12345678
←MSW7       00000000*
```

❻ [▶]スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させる。

```
            12345678
←MSW7       00000000*
```

❼ [設定変更]スイッチを押して、MSW7-4を1に変更する。

```
            12345678
←MSW7       00010000*
```

❽ [印刷可]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」または「ホッパ3」にします。
ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

プリンターが初期化されるまで維持する方法 .... [ホッパ]スイッチによる切り替え
プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法 .... メニューモードによる切り替え

次にそれぞれの選び方について説明します。

プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ]スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

❶ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。**

❷ **[ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を"ホッパ2"または"ホッパ3"にする。**

```
ﾎｯﾊﾟ 2    A 4ﾖｺ  ﾎﾟｰﾄ
```

❸ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

❹ **コンピューターからデータを送る。**

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- 手差し給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して"テストメニュー →"を表示させます。

```
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ              →
```

❷ **[▼]スイッチを2回押す。**

"ヨウシメニュー →"と表示されます。

```
ﾖｳｼﾒﾆｭｰ              →
```

❸ **[▶]スイッチを2回押す。**

ホッパー初期設定の表示になります。

```
ﾎｯﾊﾟ   ｼｮｷｾｯﾃｲ
←               ﾎｯﾊﾟ 1*
```

8 オプション

❹ **[設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を “←　ホッパ2＊”または“←　ホッパ3＊”に変更する。**

```
 ホッパ゜ ショキセッテイ
←              ホッパ゜ 2＊
```

❺ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

ディスプレイ上段に“ホッパ2　××　×××”または“ホッパ3　××　×××”、と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ホッパ゜2   A4ヨコ ポ゜ート
                 NPDL
```

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

リレー給紙について

印刷しているホッパー、またはMPの用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。ホッパー、MP、または増設ホッパーを装着し、同じ用紙サイズの用紙をセットした場合のみ実現できます。

リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。以下の手順で印刷してください。

詳しい手順は、4章の「リレー給紙の設定」(127ページ)を参照してください。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“リレーキュウシ”をONにする。**

✔チェック

リレー給紙させるホッパーまたはMPの全てを“リレーキュウシ”ONにしてください。

❸ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

❹ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMPの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

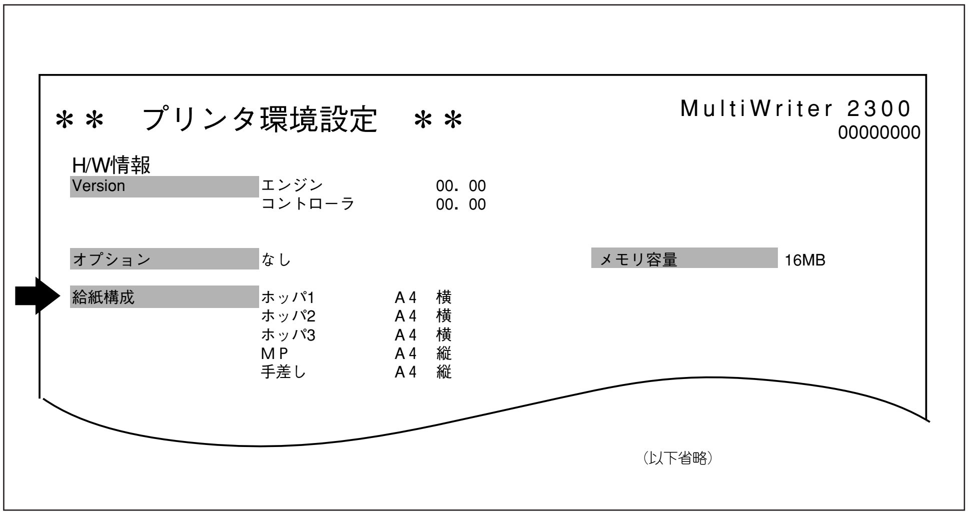
❺ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートで、給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**

❻ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

テスト印刷

増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については1章の「8　テスト印刷をする」(25ページ)を参照してください。

2段目に増設ホッパーが取り付けられ、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。3段目に取り付けた場合は「ホッパ3」と印刷されます。



増設ホッパーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。2段目と3段目の取り外し方法は同じです。ここでは2段目を取り外す方法を示します。

注意

- プリンターを一人では持ち上げないでください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。プリンターを移動する時には、必ず二人以上で行ってください。MultiWriter 2300/2100/210Sは、それぞれ標準で約16.7kg/16.7kg/14.7kgの質量があります。
- プリンターに増設ホッパーを取り付けたまま、運搬、移設を行わないでください。プリンターや増設ホッパーを落下させ、破損するおそれがあります。運搬、移設の際は必ず固定用ステーを取り外し、プリンター、増設ホッパーの順にそれぞれ持ち上げてください。

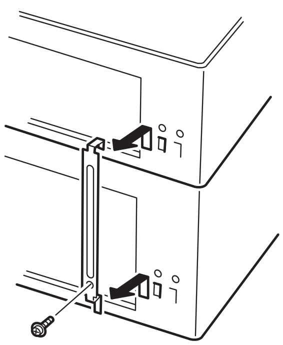
重要

取り外し方法の詳細について、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り外してください。

1 プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

2 増設ホッパーと固定した固定用ステーを取り外す。

1か所のネジをそれぞれ外してから、固定用ステーを取り外します。



3 プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。

重要

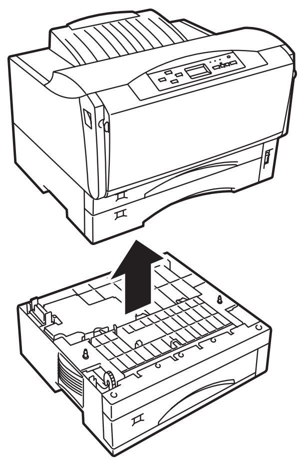
プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。

4 増設ホッパーを台の上から外す。

3段目の増設ホッパーが取り付けられている場合は、プリンター、2段目の増設ホッパーを一時的に台や机の上に置いてから3段目を移動させてください。

重要

増設ホッパーを運ぶときは、増設ホッパーの左右の取っ手を持って運んでください。
左側にある凸部は持たないでください。



5 プリンターを元の位置に置く。

6 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

プロッターエミュレーションボード

MultiWriter 2300/2100にプロッターエミュレーションボードを取り付けることにより、プロッタHP 7550の言語(HPGL)を使用できるようになるため、CADなどのアプリケーションからの印刷が可能になります。またRS-232Cインターフェースとして使用することも可能です。

プロッターエミュレーションボード上のRS-232Cインターフェースをご使用の場合は、次の表を参照して、使用するコンピューターに合うRS-232Cケーブルを別途お求めください。

使用しているコンピューター	RS-232Cケーブル
PC98-NXシリーズ	PC-CA602、PC-9896、PC-9897のいずれかと、シリアル変換アダプタPK-CA102を組み合わせてお使いください。
PC-9801 PC-9821シリーズ(下記以外)	PC-CA602 PC-9896 PC-9897
PC-H98	PC-H98-K02
PC-9801　NL/A、NS/A	PC-98HA-16
PC-9821　Nr166, Nr150, Nr15, Nr13, Nr12, Na13, Na12, Na9, Na7, Nb10, Nb7, Ls150, La13, Ls12, La10, La7, Nf, Np, Nx, Es, Ne2, Nd, Ld, Nm, Lt, Ne3, Nd2, Lt2, Ns	

チェック

データ転送制御で「DTRコントロール」を行った場合、ご使用のソフトウエアによっては正常に動作しない場合があります。ご使用の際にはメニューモードで「XON/XOFFコントロール」または「ENQ/ACKコントロール」に設定してください。

プロッターエミュレーションボードの取り付け

ここでは、プロッターエミュレーションボードの取り付け手順を説明します。使い方や操作方法については、プロッターエミュレーションボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

重要

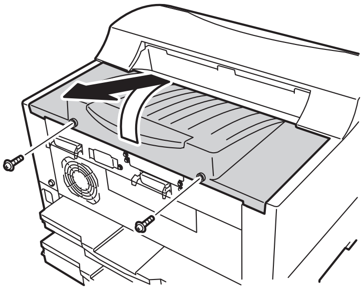
プロッターエミュレーションボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のセントロニクスインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品や端子、半田付け面には触れないようにしてください。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

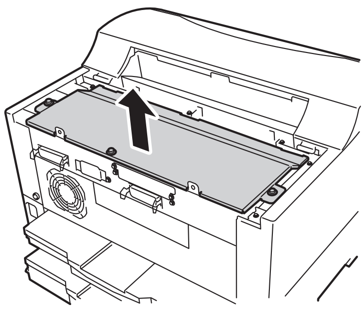
重要

電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因になることがあります。

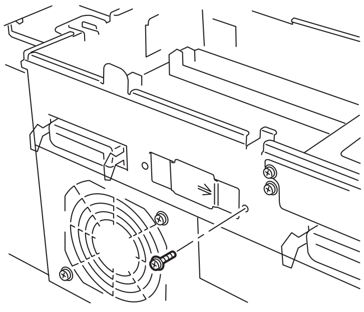
❷ プリンター上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外す。



❸ コントロールカバーに矢印で指示された3か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外す。



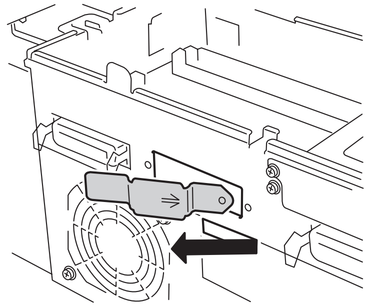
❹ 1か所のネジを外す。



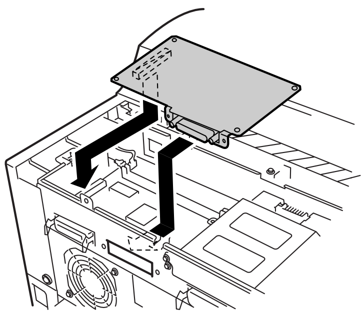
❺ プロッターボード用スロットのプレートを右にスライドさせて、取り外す。

チェック

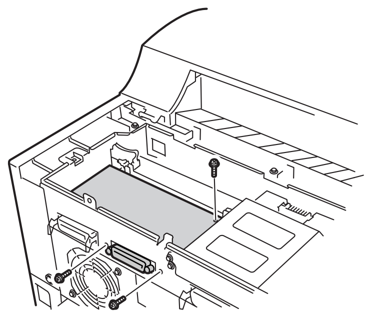
プロッターボード用スロットのプレートはボードを取り外し、プリンターを元に戻すとき必要です。大切に保管しておいてください。



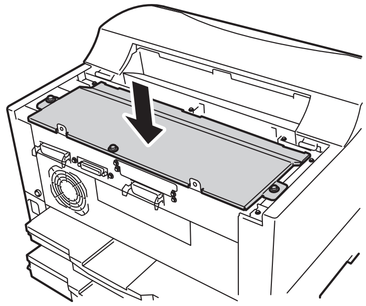
❻ RS-232Cコネクタ側をプロッターボード用スロットに差し込み、プリンターのコネクターとボードのコネクターを接続する。



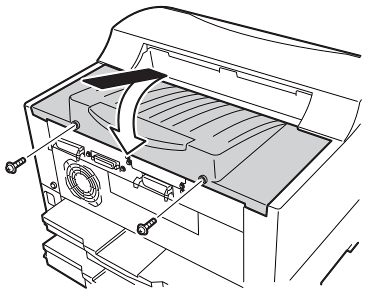
❼ プロッターエミュレーションボードに添付のネジ2本とプロッターボード用スロットのプレートのネジ1本でプロッターエミュレーションボードを固定する。



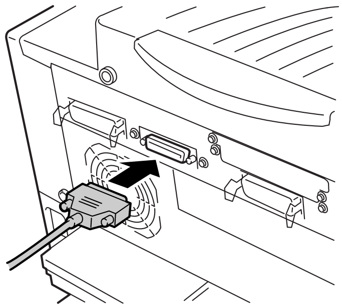
❽ コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された3か所のネジで固定する。



❾ リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。



❿ RS-232C用プリンターケーブルを取り付ける。

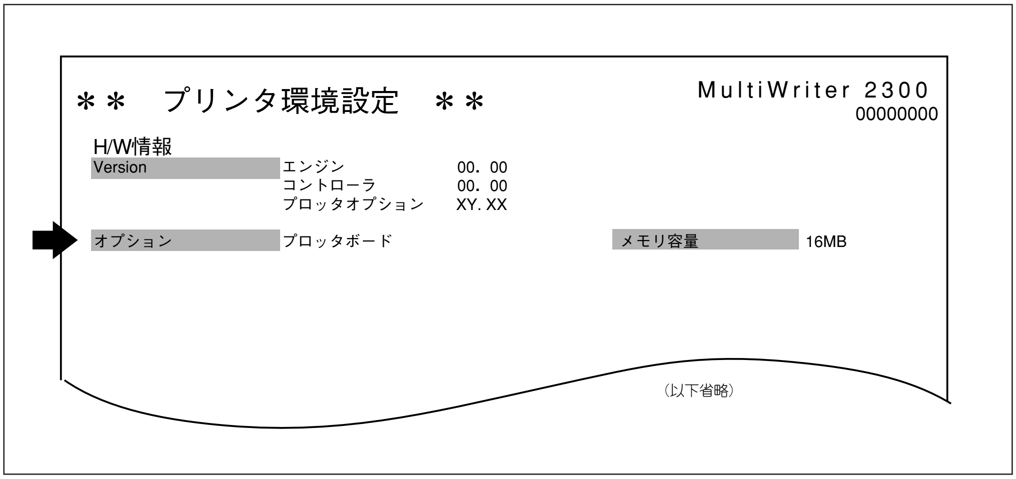


⓫ プリンターケーブルと電源コードを取り付ける。

テスト印刷

プロッターエミュレーションボードが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。
手順については、1章の「8　テスト印刷をする」(25ページ)を参照してください。

次のように「プロッタエミュレーションボード」と印刷されていれば、プロッターエミュレーションボードは確実に取り付けられていることになります。



プロッターエミュレーションボードのステータス印刷例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。
これで、プロッターエミュレーションボードの取り付けは完了です。

プロッターエミュレーションボードの取り外し

プロッターエミュレーションボードを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

LANボード

各種のネットワークに接続するLANボードは3種類用意されています。（268ページ参照）

LANボードの取り付け・取り外し手順については、1章の「10　ネットワークに接続する」（29ページ）を参照してください。PC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2の取り付け手順は同じです。

使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク用ケーブルの種類

LANボードをお使いになるには、ネットワーク用ケーブルが必要です。以下に示すケーブルを別途お求めください。
MacintoshにLocalTalkで接続する場合は、Macintoshのマニュアルを参照して接続してください。

- ケーブルのタイプ .... 100BASE-TX、10BASE-Tに対応したUTPカテゴリー5ケーブル
- 型番 .... LANケーブル（5M）（PK-CA117）、LANケーブル（10M）（PK-CA118）

✔チェック

PC-PR-L01を使用し、Macintoshから印刷を行うには、別売のPR2200NW2-21 拡張プリンタドライバが必要です。また、Macintoshからの印刷においては、両面印刷、リプリント機能、ジョブセパレート機能などサポートしていない機能があります。

LANアダプター

各種のネットワークに接続するLANアダプターが2種類用意されています。（269ページ参照）

LANアダプターの取り付け・取り外し手順については、1章の「10　ネットワークに接続する」（29ページ）を参照してください。PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2の取り付け手順は異なります。

使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

✔チェック

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大
- 両面印刷や解像度1200dpiでの印刷時のメモリー不足の解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

MultiWriter 2300をお使いのお客様へ

MultiWriter 2300は、標準(16MB)でも1200dpiでの印刷は可能です。さらに印刷性能の向上のためにメモリーの増設をお勧めいたします。

重要

指定のDIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設メモリーの取り付け

重要

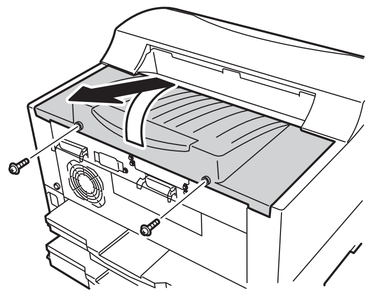
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。メモリーボードを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

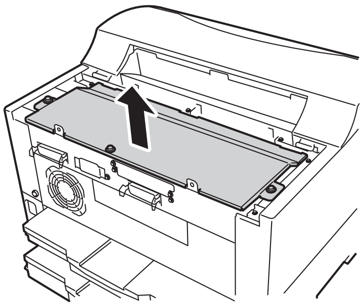
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

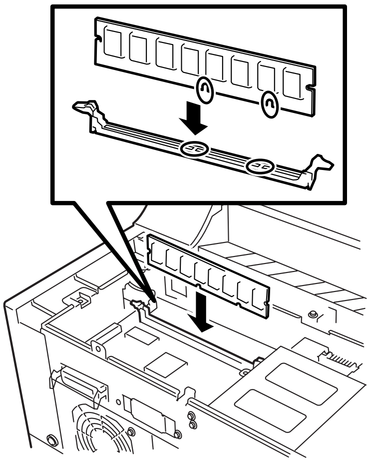
❷ **プリンター上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外す。**



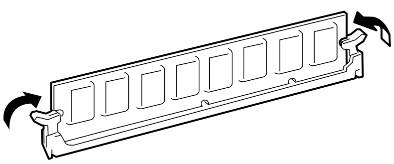
❸ コントロールカバーに矢印で指示された3か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外す。



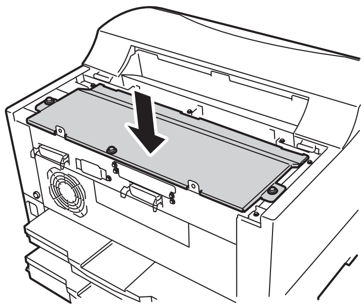
❹ 両端のイジェクターを開き、切り欠き部をそろえ、「ガチッ」という音がするまでソケットに押し込む。



❺ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。



❻ コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された3か所のネジで固定する。



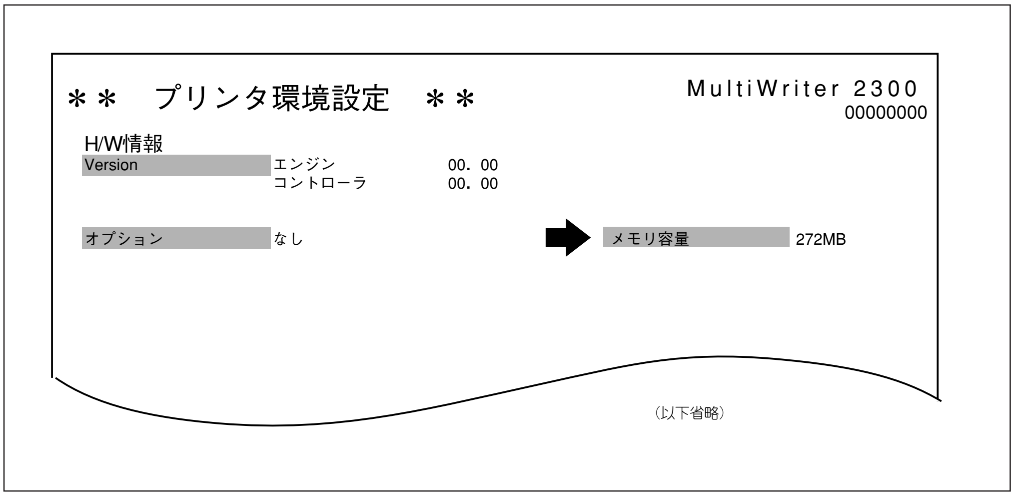
❼ リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。

❽ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、1章の「8　テスト印刷をする」(25ページ)を参照してください。

次のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。



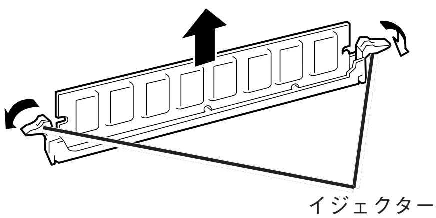
増設メモリーを増設したステータス印刷の例(256MBの場合)

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

なお、増設メモリーを取り外すときはイジェクターを横に押し広げてください。



使用できるコンピューターとプリンターケーブル

MultiWriter 2300/2100/210Sで使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。

コンピューター		プリンターケーブル*1
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*2 PR-CA-U02*3
	IBM、富士通、東芝、Compaq、DELL、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *5	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	PC-98XA・XL・XL・RL*5	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*2
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *5 SV-98シリーズ	PC-CA202*4 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*4 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*4 PC-CA204*2

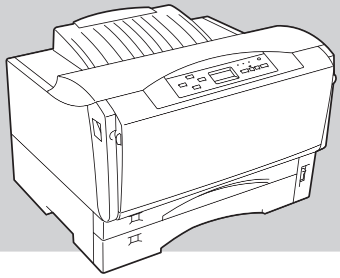
*1　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*2　PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。
*3　USBプリンタケーブルに関する最新情報は、情報サービス窓口（258ページ）より提供していますので、ご利用ください。
*4　ケーブルの長さは1.5m。
*5　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

✔チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

（空白ページ）

付録
技術情報



仕　様

●MultiWriter 2300

印刷方式

電子写真記録方式
露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー
現像方式：1成分乾式

印刷速度*

約20ページ/分
(A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時)：600dpi時
約12ページ/分
(A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時)：1200dpi時

＜補足＞

・A4サイズ縦置き給紙で連続印刷100枚までの場合は、約15.1ページ/分になります。ただし、100枚を越える連続印刷を行った場合は約10～12ページ/分になります。
・はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約9ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は、約4.5ページ/分になります。

*　印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

ウォームアップの待ち時間

電源投入時　：約15秒以内(室温20℃)
節電時　　　：約8秒以内(室温20℃)

ファーストプリントタイム(600dpi時)

片面印刷時
　A3サイズ　約9.5秒(ホッパー給紙)
　B4サイズ　約9秒(ホッパー給紙)
　A4サイズ　約7秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)
両面印刷時
　A3サイズ　約18.5秒(ホッパー給紙)
　B4サイズ　約17秒(ホッパー給紙)
　A4サイズ　約15秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

用紙容量

標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙(連量55kg相当)の場合
MP：　100枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙(連量55kg相当)の場合
手差し：　1枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙(連量55kg相当)の場合

スタック容量

250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙(連量55kg相当)の場合

ドット間隔

0.0212×0.0212mm(1/1200×1/1200インチ)
0.0423×0.0423mm(1/600×1/600インチ)
0.0635×0.0635mm(1/400×1/400インチ)

CPU

RV4640(150MHz)

メモリー

標準16MB、最大272MB(オプション増設時)

オプションRAMソケット

1ソケット(DIMM用)

インターフェース

セントロニクス仕様に準拠*1(背面に2つ装備)

*1 IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

言語

NPDL Level 2(201PLエミュレーション含む)、ESC/P エミュレーション

環境

動作温度: 10〜32.5℃
動作湿度: 20〜80%(RH)ただし結露しないこと
保管温度: 0〜32.5℃
保管湿度: 10〜80%(RH)ただし結露しないこと
塵埃量: 一般事務室程度
ガス成分: 一般事務室程度
気　圧: 1.013×10^5 〜 0.7524×10^5 Pa(海抜0〜2500m)

騒音(音圧レベル、A補正)

動作時:50dB以下
待機時:36dB以下

電源

電　圧:AC 100V±10%
周波数:50/60Hz±1Hz

消費電力

動作時最大*2(プリンター単体時):780 W(790 VA)
動作時最大*2(フルオプション時):810 W(820 VA)
動作時平均(プリンター単体時):370 W
節電モード時:45W(メモリースイッチ9-5=0の時)
:20W(メモリースイッチ9-5=1の時)

*2 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

外形寸法

カセット伸長時、最大
459(幅)×583(奥行き)×319mm(高さ)
カセット縮小時、最小
459(幅)×448(奥行き)×319mm(高さ)

質量

約16.7kg(消耗品、オプション含まず)

製品寿命*3

印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方

*3 定期交換部品の交換が必要です。

消耗品寿命

EPカートリッジ(本体添付):約6,000枚(印刷枚数)
(ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)

内蔵フォント

アウトラインフォント　2種類(明朝体、ゴシック体)

対応OS

- Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版
- PC-PTOS Ver. 1.0以上
  PC-PTOS Ver. 1.0〜2.3でお使いの場合は「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。
- 日本語MS-DOS (ver 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上(DOS/V)
- Macintosh 漢字Talk 7.5.x、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0〜8.6、Mac OS 9.0.X(PC-PR-L01使用時)ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

●MultiWriter 2100

印刷方式

電子写真記録方式
露光方式:レーザーダイオード+ポリゴンスキャナー
現像方式:1成分乾式

印刷速度*4

約12ページ/分(A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時)

<補足>
はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約6ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は、約3ページ/分になります。

*4 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

ウォームアップの待ち時間

電源投入時: 約13秒以内(室温20℃)
節電時　: 約9.5秒以内(室温20℃)

ファーストプリントタイム(600dpi時)

片面印刷時
A3サイズ 約15秒(ホッパー給紙)
B4サイズ 約14秒(ホッパー給紙)
A4サイズ 約10.5秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)
両面印刷時
A3サイズ 約30秒(ホッパー給紙)
B4サイズ 約28秒(ホッパー給紙)
A4サイズ 約25秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

用紙容量

標準ホッパー:250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合
MP: 100枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合
手差し: 1枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

スタック容量

250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

ドット間隔

0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）
0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）

CPU

RV4640（100MHz）

メモリー

標準8MB、最大264MB（オプション増設時）

オプションRAMソケット

1ソケット（DIMM用）

インターフェース

セントロニクス仕様に準拠*1（背面に2つ装備）

*1 IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

言語

NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）、ESC/Pエミュレーション

環境

動作温度： 10〜32.5℃
動作湿度： 20〜80%（RH）ただし結露しないこと
保管温度： 0〜32.5℃
保管湿度： 10〜80%（RH）ただし結露しないこと
塵埃量： 一般事務室程度
ガス成分： 一般事務室程度
気　圧： 1.013×10^5 〜 0.7524×10^5 Pa（海抜0〜2500m）

騒音（音圧レベル、A補正）

動作時：48dB以下
待機時：36dB以下

電源

電　圧： AC 100V±10%
周波数： 50/60Hz±1Hz

消費電力

動作時最大*2（プリンター単体時）：770W（780VA）
動作時最大*2（フルオプション時）：800W（810VA）
動作時平均（プリンター単体時）：260W
節電モード時：30W（メモリースイッチ9-5＝0の時）
：20W（メモリースイッチ9-5＝1の時）

*2 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

外形寸法

カセット伸長時、最大
459（幅）×583（奥行き）×319mm（高さ）
カセット縮小時、最小
459（幅）×448（奥行き）×319mm（高さ）

質量

約16.7kg（消耗品、オプション含まず）

製品寿命*3

印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方

*3 定期交換部品の交換が必要です。

消耗品寿命

EPカートリッジ（本体添付）：約6,000枚（印刷枚数）
（ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）

内蔵フォント

アウトラインフォント　2種類（明朝体、ゴシック体）

対応OS

- Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版
- PC-PTOS Ver. 1.0以上
PC-PTOS Ver. 1.0〜2.3でお使いの場合は「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。
- 日本語MS-DOS（ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V）
- Macintosh 漢字Talk 7.5.x、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0〜8.6、Mac OS 9.0.X（PC-PR-L01使用時）、ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

●MultiWriter 210S

印刷方式

電子写真記録方式
露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー
現像方式：1成分乾式

印刷速度*4

約12ページ/分（A4サイズ横置き、ホッパー給紙印刷時）

＜補足＞
はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約6ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は、約3ページ/分になります。

*4 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

ウォームアップの待ち時間

電源投入時：約13秒以内（室温20℃）
節電時　　：約9.5秒以内（室温20℃）

ファーストプリントタイム（600dpi時）

A3サイズ　約15秒（ホッパー給紙）
B4サイズ　約14秒（ホッパー給紙）
A4サイズ　約10.5秒（A4用紙横置き、ホッパー給紙）

用紙容量

標準ホッパー： 250枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合
MP： 100枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合

スタック容量

250枚、坪量64.0g/m^2の普通紙(連量55kg相当)の場合

ドット間隔

0.0423×0.0423mm(1/600×1/600インチ)

CPU

RV4640(100MHz)

メモリー

標準8MB、最大264MB(オプション増設時)

オプションRAMソケット

1ソケット(DIMM用)

インターフェース

セントロニクス仕様に準拠*1(背面に1つ装備)

*1 IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

言語

NPDL Level 2(201PLエミュレーション含む)、ESC/Pエミュレーション

環境

動作温度： 10〜32.5℃
動作湿度： 20〜80%(RH)ただし結露しないこと
保管温度： 0〜32.5℃
保管湿度： 10〜80%(RH)ただし結露しないこと
塵埃量： 一般事務室程度
ガス成分： 一般事務室程度
気　圧： $1.013×10^5$ 〜 $0.7524×10^5$ Pa(海抜0〜2500m)

騒音(音圧レベル、A補正)

動作時：48dB以下
待機時：36dB以下

電源

電　圧：AC 100V±10%
周波数：50/60Hz±1Hz

消費電力

動作時最大*2(プリンター単体時)　：760W(770VA)
動作時最大*2(フルオプション時)　：790W(800VA)
動作時平均(プリンター単体時)　　：240W
節電モード時：30W(メモリースイッチ9-5=0の時)
　　　　　　：20W(メモリースイッチ9-5=1の時)

*2 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

外形寸法

カセット伸長時、最大
　459(幅)×583(奥行き)×319mm(高さ)
カセット縮小時、最小
　459(幅)×448(奥行き)×319mm(高さ)

質量

約14.7kg(消耗品、オプション含まず)

製品寿命*3

印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方

*3 定期交換部品の交換が必要です。

消耗品寿命

EPカートリッジ(本体添付)：　約6,000枚(印刷枚数)
(ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)

内蔵フォント

アウトラインフォント　2種類(明朝体、ゴシック体)

対応OS

- Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版
- PC-PTOS Ver. 1.0以上
  PC-PTOS Ver. 1.0〜2.3でお使いの場合は「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。
- 日本語MS-DOS (ver 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上(DOS/V)
- Macintosh 漢字Talk 7.5.x、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0〜8.6、Mac OS 9.0.X(PC-PR-L01使用時)、ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

用紙の規格

●通常印刷(片面印刷)時

普通紙(乾式PPC用紙)

寸法

A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)、定形外用紙(100～297×148～420mm)(定形外用紙はMP、手差しのみ)

坪量

ホッパー給紙：64～81.4g/m²(連量*¹55～70kg)
MP給紙：　64～81.4g/m²(連量*¹55～70kg)
手差し給紙：　64～81.4g/m²(連量*¹55～70kg)

*1　連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

表面電気抵抗

1×10^{9}～$1\times10^{12}\Omega$

厚紙

寸法

A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)、定形外用紙(100～297×148～420mm)

坪量

MP給紙：　81.4～128g/m²(連量*¹70～110kg)
手差し給紙：　81.4～128g/m²(連量*¹70～110kg)

*1　連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

表面電気抵抗

1×10^{9}～$1\times10^{12}\Omega$

はがき

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。

寸法

官製はがき(100×148mm)
官製往復はがき(200×148mm)

坪量

MP給紙：　157g/m²(連量*¹135kg)
手差し給紙：　157g/m²(連量*¹135kg)

*1　連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

OHPフィルム

乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。

寸法　A4判(210×297mm)
厚さ　0.1mm±0.025mm(100μm±25μm)

ラベル紙

乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

寸法　A4判(210×297mm)、B4判(257×364mm)

封筒

洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ株式会社製)のものに限ります。

寸法　105×235mm

●両面印刷時*²

*2　MultiWriter 210Sは未対応です。

普通紙(乾式PPC用紙)

寸法

A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)

坪量

ホッパー給紙：64～81.4g/m²(連量*¹55～70kg)
MP給紙：　64～81.4g/m²(連量*¹55～70kg)

*1　連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

表面電気抵抗

1×10^{9}～$1\times10^{12}\Omega$

✔チェック

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値をご参照ください。

- 坪量　64～67g/m² (JIS P8124)
- 紙厚　0.085～0.092mm (JIS P8118)
- 平滑度 25～50sec (JIS P8119)
- 剛度　60cm³/100以上 (クラーク式：JIS P8143)
- 表面電気抵抗 1×10^{9}～$1\times10^{12}\Omega$

付録

印刷範囲

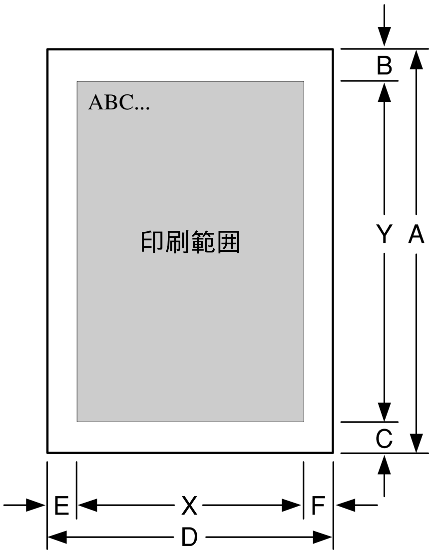
定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

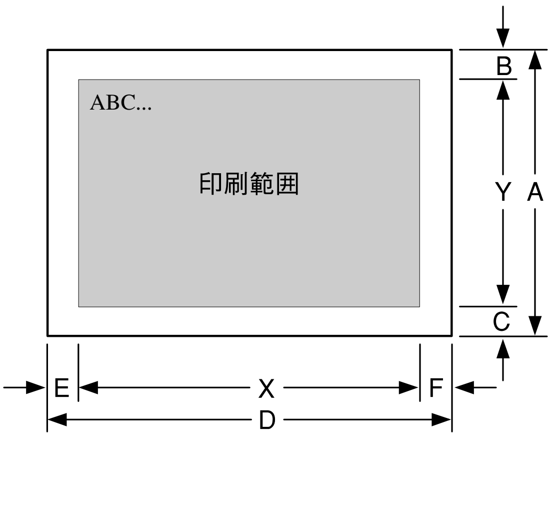
重要

添付のプリンタードライバーを使用した場合、ドライバーの機能により余白量をすべて約5mmにできます。

- ポートレート



- ランドスケープ



- Windows環境*1
  添付プリンタードライバーのプロパティ上で「従来互換の印刷範囲を使用する」にチェックした場合
- MS-DOS環境

ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*5	行*2	mm	mm	mm	ドット*5	文字*3	文字*4
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	80	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	80	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
A4×2 (80)	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	280	5.00	5.00	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。
*2 改行ピッチが6LPIの場合
*3 文字ピッチが10CPIの場合(7.2ポイントのフォント使用時)
*4 10.8ポイントのフォント使用時
*5 解像度が240dpiの場合

- Windows環境*1
  添付プリンタードライバーのプロパティ上で「従来互換の印刷範囲を使用する」にチェックした場合
- MS-DOS環境

ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*5	行*2	mm	mm	mm	ドット*5	文字*3	文字*4
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2 (80)	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。
*2 改行ピッチが6LPIの場合
*3 文字ピッチが10CPIの場合(7.2ポイントのフォント使用時)
*4 10.8ポイントのフォント使用時
*5 解像度が240dpiの場合

● PC-PTOS（Ver 1.0以上）

ポートレート

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*4	行*1	mm	mm	mm	ドット*4	文字*2	文字*3
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	15.58	7.63	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	16.01	8.37	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	8.07	3320	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	7.63	3320	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	31.86	3320	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	7.54	8.37	3320	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	12.18	3320	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	17.91	2680	67	297	5.00	14.61	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	5.00	7.52	1920	80	53
	B4	364	8.60	15.04	2680	67	257	10.54	8.65	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.00	5.16	1920	80	53
	A4	297	5.00	8.37	2680	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	11.97	2680	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
A4×2(80)	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
B5	B4	364	11.35	8.90	2320	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	7.10	2320	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	6.47	2320	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	6.68	3272	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	3.10	840	35	23
レター	レター	280	5.00	5.76	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1 改行ピッチが6LPIの場合
*2 文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）
*3 10.8ポイントのフォント使用時
*4 解像度が240dpiの場合

付録

● PC-PTOS(Ver 1.0以上)

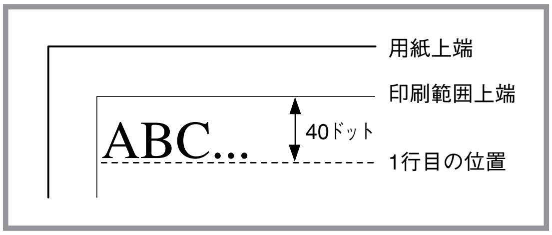
ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*[4]	行*[1]	mm	mm	mm	ドット*[4]	文字*[2]	文字*[3]
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	7.27	11.39	2712	67	297	16.85	7.52	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	6.17	3336	139	92
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	5.94	3336	139	92
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	30.80	3336	139	92
	A4(4/5)	210	5.57	11.39	2280	57	297	7.01	7.52	3336	139	92
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	8.58	3336	139	92
A4	A3	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	A3(80)	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	B4	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	B4(80)	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	A4	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	A4(80)	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	B5	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
	B5(80)	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
A4×2	A4	210	9.49	11.39	2680	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2 (80)	A4	210	7.27	11.39	2712	-	297	12.62	7.52	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	9.27	1600	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.95	1600	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.85	1600	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.43	8.85	2320	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	45.63	3336	139	92
	A4	210	12.35	11.39	2640	66	297	30.82	30.80	3336	139	92
ハガキ	ハガキ	100	5.64	5.46	840	21	148	5.00	3.30	1320	55	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*[1] 改行ピッチが6LPIの場合
*[2] 文字ピッチが10CPIの場合(7.2ポイントのフォント使用時)
*[3] 10.8ポイントのフォント使用時
*[4] 解像度が240dpiの場合

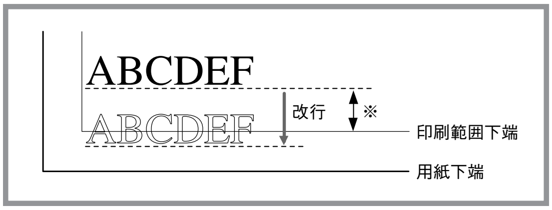
補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて9.45ドット/mm(240dpi)の解像度で規定されています。23.6ドット/mm(600dpi)での印刷可能ドット数は9.45ドット/mmのドット数を5/2倍にした値、47.2ドット/mm(1200dpi)での印刷可能ドット数は9.45ドット/mmのドット数を5倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は9.45ドット/mm(240dpi)相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。 したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。



  - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39) (9.45ドット/mm) を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



  最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。
  計算に用いる値は右のとおりです。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

  - 値はすべて9.45ドット/mm(240dpi)でのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて9.45ドット/mmで行います。
  - 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
  - 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

文字コード表

MultiWriter 2300/2100/210Sは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1〜1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	”	注1	注2	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	￣	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

注 15（00〜10）
注 17（30）
注 13（80〜90）
注 14（A0〜D0）
注 13（E0〜F0）
注 16（20〜F0）

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	”	注1	注2	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	￣	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

注 15（00〜10）
注 17（30）
注 13（80〜90）
注 14（A0〜D0）
注 13（E0〜F0）
注 16（20〜F0）

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注1〜12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1〜1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A〜D行はひらがなモード（ESC &で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC $で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2〜F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「Ø」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。（本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。）ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

付録

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
2340		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
2350	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
2360		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
2370	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蘂	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟
4570	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	囊	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

付録

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	藪	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
5140	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
5220		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5370	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
5440	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
5460	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
5740	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
6130	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6460	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6C40	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6D40	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

MultiWriter 2300の場合

用紙サイズ	解像度(dpi)	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400	13枚	31枚	67枚
	600	3枚	11枚	28枚
	1200	—	—	3枚
B4片面	400	18枚	42枚	90枚
	600	5枚	15枚	37枚
	1200	—	—	5枚
A4片面*	400	27枚	64枚	137枚
		13枚	32枚	68枚
	600	7枚	24枚	57枚
		3枚	12枚	28枚
	1200	—	—	8枚
		—	—	4枚

—：電子ソート機能が働きません。

MultiWriter 2100の場合

用紙サイズ	解像度(dpi)	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400	13枚	31枚	67枚
	600	3枚	11枚	28枚
B4片面	400	18枚	42枚	90枚
	600	5枚	15枚	37枚
A4片面*	400	27枚	64枚	137枚
		13枚	32枚	68枚
	600	7枚	24枚	57枚
		3枚	12枚	28枚

MultiWriter 210Sの場合

用紙サイズ	解像度(dpi)	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	600	3枚	11枚	28枚
B4片面	600	5枚	15枚	37枚
A4片面*	600	7枚	24枚	57枚
		3枚	12枚	28枚

* それぞれの解像度の上段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート＝OFFとして印刷した場合です。
下段はプリンタードライバー上でジョブセパレート＝ON（プリンタードライバーの初期設定）として印刷した場合です。

グループプリンター適合表

使用するプリンタードライバーによって、グループプリンターとして設定できるプリンターの機種は以下の表のとおりです。

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
MultiWriter 2300	MultiWriter 2300
MultiWriter 2100	MultiWriter 2300, 2100
MultiWriter 210S	MultiWriter 210S
MultiWriter 2650M	MultiWriter 2300, 2100 MultiWriter 2650M, 2250H
MultiWriter 2250H	MultiWriter 2300, 2250H
MultiWriter 2650E	MultiWriter 2300, 2100 MultiWriter 2650M, 2250H MultiWriter 2650E, 2650 MultiWriter 2250, 2050
MultiWriter 2650	MultiWriter 2300, 2100 MultiWriter 2650M, 2250H MultiWriter 2650E, 2650 MultiWriter 2250, 2050
MultiWriter 2250	MultiWriter 2300, 2100 MultiWriter 2650M, 2250H MultiWriter 2650E, 2650 MultiWriter 2250, 2050
MultiWriter 2050	MultiWriter 2300, 2100 MultiWriter 2650M, 2250H MultiWriter 2650E, 2650 MultiWriter 2250, 2050

増設メモリー対応表

増設メモリー対応表を次に示します。ここではプリンター電源投入時の解像度が1200dpi(MultiWriter 2300のみ)と600dpiの時について説明します。その他、詳細についてはオンラインマニュアルの「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。

MultiWriter 2300の場合

メモリー容量		16MB(標準)		48MB(32MB)				80MB(64MB)		
メモリー割当設定*1		標準		標準		フォーム登録優先		標準		電子ソート優先
用紙サイズ 印刷解像度 \ プリンターの電源投入時解像度*2		600dpi	1200dpi	600dpi	1200dpi	600dpi	1200dpi	600dpi	1200dpi	600dpi
A3片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	◎
A3両面	600dpi	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
B4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	◎
B4両面	600dpi	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
A4横片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4横両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	◎

◎:印刷保証
○:印刷可能(印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります)
網掛け部分は工場出荷時設定、または工場出荷時設定のプリンターにメモリーを増設したときの初期設定となります。

MultiWriter 2300の場合(続き)

メモリー容量		144MB（128MB）			272MB（256MB）			
メモリー割当設定*1		標準		電子ソート優先	標準		電子ソート優先	
プリンターの電源投入時解像度*2 / 用紙サイズ 印刷解像度		600dpi	1200dpi	600dpi	600dpi	1200dpi	600dpi	1200dpi
A3片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A3両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	◎	○	○	◎	○	◎
B4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
A4横片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4横両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）
網掛け部分は工場出荷時設定、または工場出荷時設定のプリンターにメモリーを増設したときの初期設定となります。

MultiWriter 2100の場合

メモリー容量	8MB(標準)	40MB（32MB）		72MB（64MB）		136MB（128MB）		264MB（256MB）	
メモリー割当設定*1	標準	標準	フォーム登録優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先
A3片面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A3両面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4片面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4両面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4横片面	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4横両面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）
網掛け部分は工場出荷設定、または工場出荷時設定のプリンターにメモリーを増設したときの初期設定になります。

MultiWriter 210Sの場合

メモリー容量	8MB (標準)	40MB (32MB)		72MB (64MB)		136MB (128MB)		264MB (256MB)	
メモリー割当設定*1	標準	標準	フォーム登録優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先
A3片面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4片面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4横片面	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）
網掛け部分は工場出荷設定、または工場出荷時設定のプリンターにメモリーを増設したときの初期設定になります。

*1　メモリー割当ての設定について

プリンターの操作パネルで切り替えます。

メニューモードの"ウンヨウメニュー"→"メモリセッテイ"です。詳しくは、4章の「メニューモード」(114ページ)を参照してください。

メモリー増設量	メモリー割当設定	
32MB増設時	ヒョウジュン	フォームトウロクユウセン
64MB〜増設時	ヒョウジュン	デンシソートユウセン

1)　網掛け部分は、メモリーを増設した時の初期設定です。
2)　MultiWriter 2300の電源投入時のプリンター立ち上げ解像度は1200dpiで、電子ソート機能を使用するためには、256MBの増設メモリーが必要です。

*2　プリンターの電源投入時の解像度について

プリンターの操作パネルで切り替えます。

工場出荷時は、600dpiに設定されています。

電源投入時の解像度	設定の変更方法（以下のいずれかの方法で行います。）
400dpi (MultiWriter 2300/2100のみ)	●メモリスイッチの設定：MSW4-1=ON、MSW4-2=OFFに設定 ●メニューモードの"ウンヨウメニュー"→"カイゾウドセッテイ"を400dpiに設定
600dpi (工場出荷時設定)	●メモリスイッチの設定：MSW4-1=OFF、MSW4-2=OFFに設定 ●メニューモードの"ウンヨウメニュー"→"カイゾウドセッテイ"を600dpiに設定
1200dpi (MultiWriter 2300のみ)	●メモリスイッチの設定：MSW4-1=OFF、MSW4-2=ONに設定 ●メニューモードの"ウンヨウメニュー"→"カイゾウドセッテイ"を1200dpiに設定

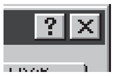
例）MultiWriter 2300で、用紙サイズ：A3、レイアウト：両面印刷、解像度：1200dpiで印刷する場合は以下の条件で印刷保証となります。

1)　増設メモリーを64MB以上にする。
2)　メモリー割当て設定を"ヒョウジュン"に設定する。
3)　プリンターの電源投入時解像度を、1200dpiにする。

用語解説

英数字

[?]ボタン



Windows 2000/ 98/95、Windows NT 4.0/3.51で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-2/10BASE-T/100BASE-TX

LANの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-2/Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターでこれらの規格のケーブルを使ってLAN接続するにはLANボードまたはLANアダプターが必要(詳細は「8章オプション」参照)。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

```
1B 48 1C 30 36 46 31 2D 30 30 30 1B 73 30 1B 24
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F
30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F
70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 8A 8B 8C 8D 8E 8F
90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 9A 9B 9C 9D 9E 9F
A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 AA AB AC AD AE AF B0
B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 BA BB BC BD BE BF C0
C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9 CA CB CC CD CE CF D0
D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 DA DB DC DD DE DF E0
E1 E2 E3 E4 E5 E6 E7 E8 E9 EA EB EC ED EE EF F0
                       .
                       .
```

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。本プリンターの場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタードライバー「PR2200NW2-21」が必要。

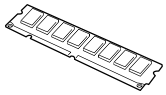
CR

Carriage Return キャリッジリターンの略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有をはかることができる。

DIMM

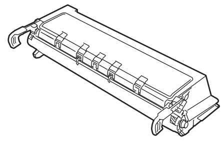


Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

DPI

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ



OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76 トナーナシ　EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は「6章日常の保守」参照)。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization：国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。本プリンターの場合、マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」を装着することで対応可能。

Macintosh
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。本プリンターと接続する場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタードライバー「PR2200NW2-21」が必要。

Mac OS
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem(日本語では漢字Talk)であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB
Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING
Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

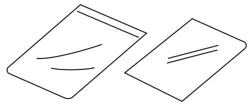
NetBEUI
ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。本プリンターの場合LANボード「PC-PR-L01」、「PC-PR-L02」を装着することで対応可能。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム
OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、MPまたは手差しを用いる。



OPC
Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS
Operating Systemの略。オペレーティングシステム。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent
双方向通信により、印刷状況の確認、プリンターの設定をコンピューター画面上から実現したソフトウエア。NEC MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニタで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。NECのMultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SNMP
Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコルの一種。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間はMIBで定義された管理情報がやり取りされる。(→MIB)

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows 98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

アップルコンピュータ社とマイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。本プリンターではUSBコネクターを装備しないがUSBプリンターケーブルを使ってプリンター装備のセントロニクス仕様準拠コネクターとコンピューターのUSBコネクターを結ぶことができる。

WAN

Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windowsアプリケーション

Windows専用のソフトウエアプログラムの総称。

WWW

World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。



アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アドミニストレーター(Administrator)

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イニシャライズ

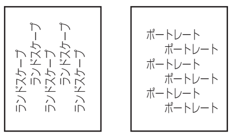
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長(ランドスケープ)と縦長(ポートレート)がある。



印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

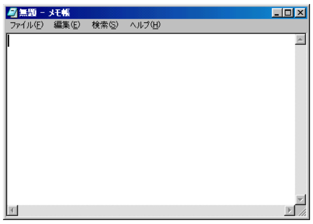
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンターの場合、標準のコネクターでセントロニクスの仕様に準拠したインターフェースが利用できる。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。



ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。「節電モード」状態になっている場合、ヒーターをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともプリンタステータスウィンドウのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能

他の装置(プリンター)のために開発されたソフトウエアの制御コードをこのプリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ(25.4mm)当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC（1BH）、FS（1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。(↔基本制御コード)

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows 2000でのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows 2000でのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR（0DH）、LF(0AH)のように単独で機能を表すコード。(↔拡張制御コード)

クライアント

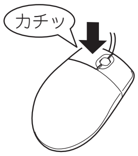
ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバー)にアクセスしている利用者または、利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー(システム)

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。



グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
(→ハーフトーン)

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

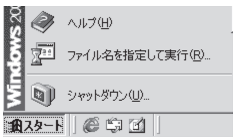
文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン

Windows 98/95やWindows 2000、Windows NT 4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。



ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR(改行コード)やFF(改ページ)など。

セントロニクス・インターフェース

旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

双方向通信

コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信にはセントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア

コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。(↔ハードウエア)

ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。



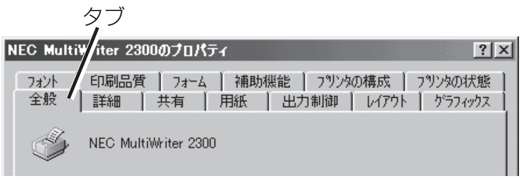
タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。



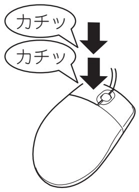
タブ

Windowsでは、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。
ワープロなどでカーソルの移動機能を指すこともある。



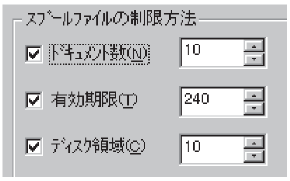
ダブルクリック

マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。



チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン/オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。



通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m^{2}単位の重さをいう。(本マニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m^2)。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

従来、丁合い印刷する場合、コンピューターは部数分のデータをプリンターに送る必要があった。そのためコンピューターは印刷が完了するまでデータ処理し続けなければならなかった。電子ソート機能を使うとデータの送信は1部分で済み、2部目以降は1部目のデータを使って処理されるので短時間で丁合い印刷が完了する。
電子ソート機能を使って印刷するには最低64MBのメモリー増設が必要だが、その時の用紙サイズ、印刷解像度、両面印刷するか否かによっても保証される枚数が異なる(詳細は「付録　技術情報」、またはオンラインマニュアル参照)。

ドライバー

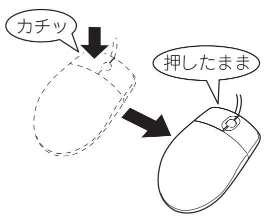
周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。



ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

ハードウエア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウエア)

バッファーフル

ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点(網点)に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(→クライアント・サーバー)

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel(Picture elementからの合成語)。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧(ブラウズ)するためのソフトウエア、WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigator がある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プリントマネージャ

Windows 3.1やWindows NT 3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。



プログラムマネージャ

Windows 3.1やWindows NT 3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

1ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開(作成)して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント(マウスの)

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)

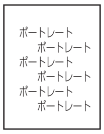
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。(↔ランドスケープ)



ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。



マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

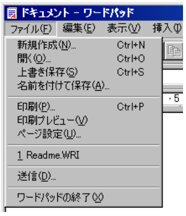


丸め誤差

四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。



メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。



メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ(MSW)

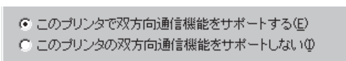
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン／オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

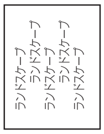
ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。



ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。(↔ポートレート)



リストボックス

ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。



リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows 98/95/2000/NT 4.0の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷の設定も可能。



PrintAgent リプリント2のウィンドウ
(MultiWriter 2300)

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう(本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg)。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

C

D

E

F

I

L

M

N

O

P

R

S

T

U

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

テ

ト

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、ネットワークオプション*を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* ネットワークオプションについては本書の268ページを参照してください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人日本電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

NEC　MultiWriter 2300/2100/210S
ユーザーズマニュアル

2000年　7月　初版
2001年　4月　第4版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号